

平成19年度

生活習慣に関するアンケート調査

報 告 書

平成20年 3 月

千葉県健康福祉部健康づくり支援課

はじめに

生涯にわたり、健康で生きがいのある人生を送ることは、すべての県民の願いです。

千葉県では、この県民の願いを実現するために、平成14年2月に、都道府県健康増進計画である「健康ちば21」を策定いたしました。

この計画に基づき、県では、県民の皆様が健康で生き生きとした生活を送り、長寿を達成することができるよう、県民一人ひとりが健康に関心を持ち、家庭や学校・職場の仲間と一緒に健康づくりなどに取り組んでいくための仕組みや、それらの取り組みを支援する環境づくりを行ってまいりました。

本年度は「健康ちば21」の見直しや、今後の健康づくり施策を展開していくための基礎資料とさせていただくために、皆様の健康や生活習慣などについてお伺いする「千葉県生活習慣に関するアンケート」を実施し、このたび、報告書に取りまとめました。

関係者の皆様に、健康づくり施策の推進のために御活用いただくとともに、一般の県民の方にも、御覧いただき、健康について考えるきっかけとしていただければ幸いです。

終わりに、このアンケート調査に御協力をいただきました県民の皆様にご心からお礼申し上げます。

平成20年3月

千葉県健康福祉部長

小川 雅 司

目 次

はじめに

調査概要	1
調査結果	7
1. あなたの健康	11
2. 栄養・食生活	38
3. 運動	46
4. 休養・心の健康	53
5. たばこ	59
6. お酒	63
7. 歯	68
8. 健康診断・生活習慣病	78
9. がん	87
10. 病気	106
11. 女性専用外来	116
12. 性差を考慮した健康相談	121
13. 健康増進事業	125
調査票	129

調查概要

調査概要

1 調査目的

この調査は、千葉県民の健康に係る生活習慣の現状を把握することにより、健康や医療に関する課題を明らかにし、今後の健康づくり推進の基礎資料とするとともに、「(仮称)新健康ちば21」の策定に必要なデータを得ることを目的とする。

2 調査項目

- | | |
|-------------|------------------|
| (1) あなたの健康 | (8) 健康診断・生活習慣病 |
| (2) 栄養・食生活 | (9) がん |
| (3) 運動 | (10) 病気 |
| (4) 休養・心の健康 | (11) 女性専用外来 |
| (5) たばこ | (12) 性差を考慮した健康相談 |
| (6) お酒 | (13) 健康増進事業 |
| (7) 歯 | |

3 調査対象

(1) 調査対象者

層化無作為により抽出した、千葉県内在住の満15歳以上の男女個人6,000人
(男性3,000人、女性3,000人)

(2) 対象抽出方法と対象地域・人数

県内を二次保健医療圏(5ページ参照)により9つに分類し、各地域内の健康福祉センター(保健所)を層として管轄する市から調査地域を選択した。調査地域の人口に応じて標本数を比例配分し、住民基本台帳を利用して調査地域から一定のサンプル抽出を行った。対象地域と人数は表に示す通りである。

(注) ここでいう市とは、平成19年12月1日現在の市制施行の地域をさす。

表 調査対象地域と標本数

二次保健医療圏	健康福祉センター (保健所)名	調査地域	標本数(人)
千葉 (調査数920人)	千葉市	千葉市	920
東葛南部 (調査数1,610人)	習志野	習志野市	160
		八千代市	180
	船橋市 市川	鎌ヶ谷市	100
		船橋市	560
		市川市	460
		浦安市	150
東葛北部 (調査数1,280人)	松戸 柏	松戸市	470
		柏市	380
	野田	流山市	150
		我孫子市	130
		野田市	150

(次ページへ続く)

二次保健医療圏	健康福祉センター (保健所)名	調査地域	標本数(人)
印旛山武 (調査数900人)	印旛 山武	佐倉市	380
		印西市	130
		白井市	120
		東金市	140
		山武市	130
香取海匝 (調査数310人)	香取 海匝	香取市	170
		銚子市	140
夷隅長生 (調査数240人)	夷隅 長生	いすみ市	70
		茂原市	170
安房 (調査数140人)	安房	館山市	70
		南房総市	70
君津 (調査数320人)	君津	木更津市	180
		君津市	140
市原 (調査数280人)	市原	市原市	280

4 調査方法

郵送法(郵送配付 - 郵送回収)

無作為に抽出した県民に調査票を郵送し、同封した返信用封筒にて回収した。

5 調査時点

平成19年12月

6 調査期日

調査票発送：平成19年12月7日

回収期限：平成19年12月28日

7 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、数値の合計が100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数(n [number of casesの略])を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (3) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (4) 本調査のような標本調査の場合、標本誤差が存在する。そのため、分析の軸(=表側)とした調査回答者の属性(性別、性/年齢別)のnが少ない(30人未満を目安)場合は、標本誤差が大きくなるため分析の対象からは除いている。ただし、男性の20歳未満については、回収した段階で24人であるため、例外的に述べるものとする。
- (5) 本文中で、比率の比較をする際には、ポイント(小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位で示している)と表記している。
- (6) 性/年齢別では、参考として、後期高齢者に該当する75~79歳、80歳以上の結果も図示しているが、文中では述べないこととしている。
- (7) 平成12年度及び平成17年度調査と比較する際には、15歳~19歳(62人)を除いた基数で新たに比率を算出している。

千葉県保健医療圏の二次保健医療圏



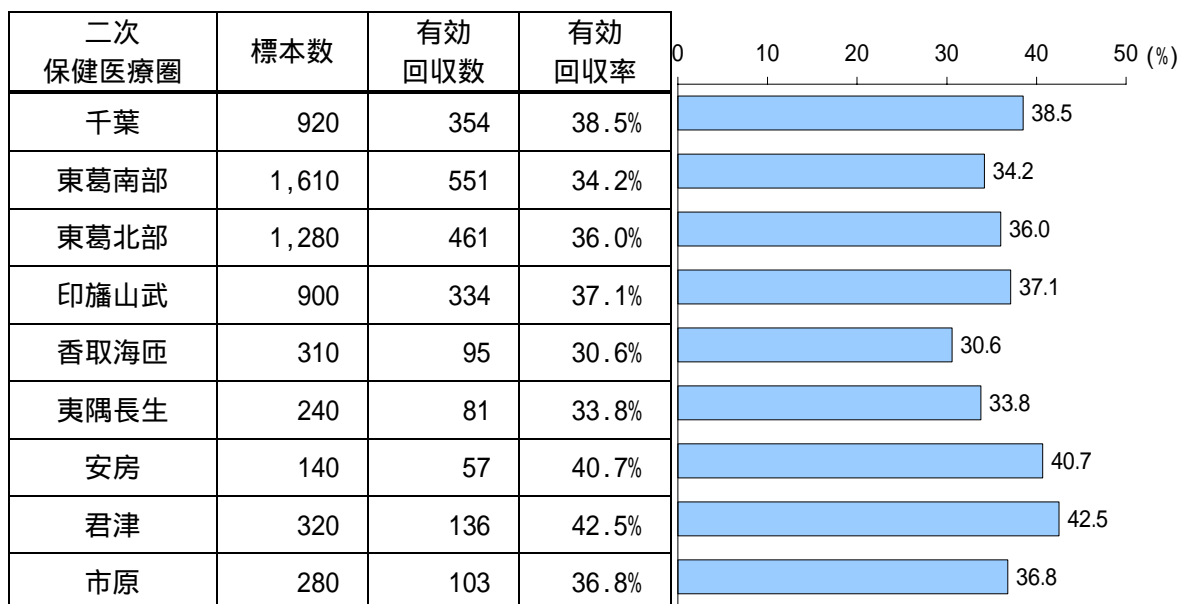
二次保健医療圏	構成市町村
千葉	千葉市
東葛南部	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市、浦安市
東葛北部	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市
印旛山武	成田市、佐倉市、東金市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、山武市、印旛郡酒々井町、印旛村、本埜村、栄町、山武郡大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町
香取海匝	銚子市、旭市、匝瑳市、香取市、香取郡神崎町、多古町、東庄町
夷隅長生	茂原市、勝浦市、いすみ市、夷隅郡大多喜町、御宿町、長生郡一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町
安房	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡鋸南町
君津	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市
市原	市原市

調查結果

調査結果

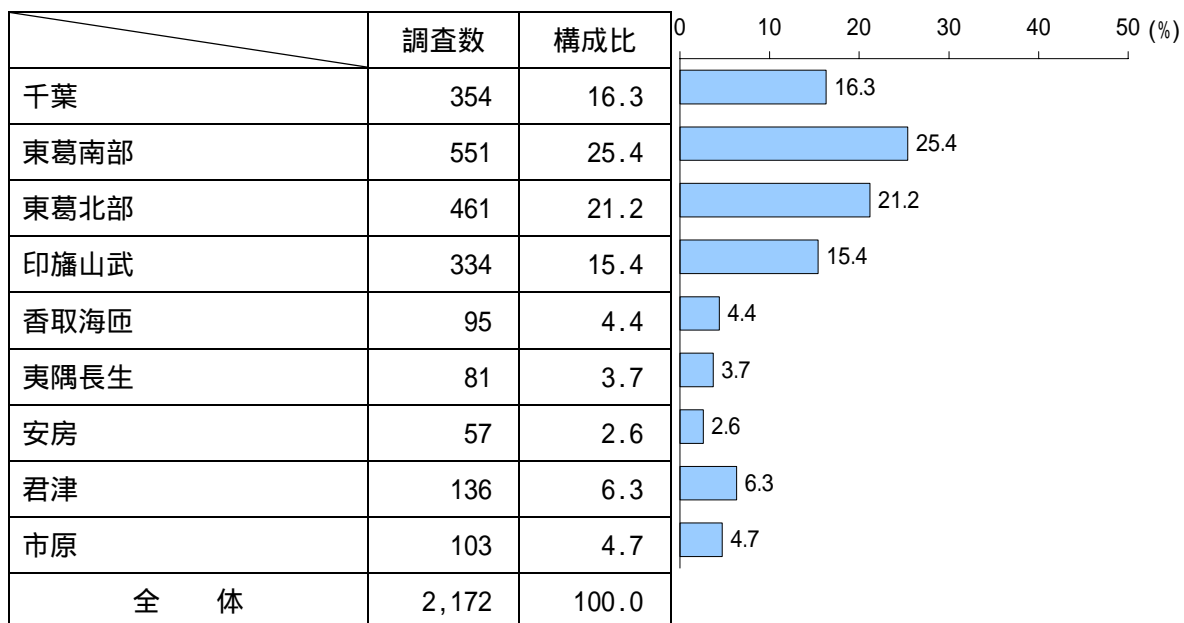
1 回収状況

- (1) 調査対象者数 6,000人
- (2) 総回収数 2,301人
- (3) 有効回収数 2,172人 (居住している市、性別、年齢が未記入の125人は無効とした)
- (4) 有効回収率 36.2%
- (5) 二次保健医療圏別の有効回収状況

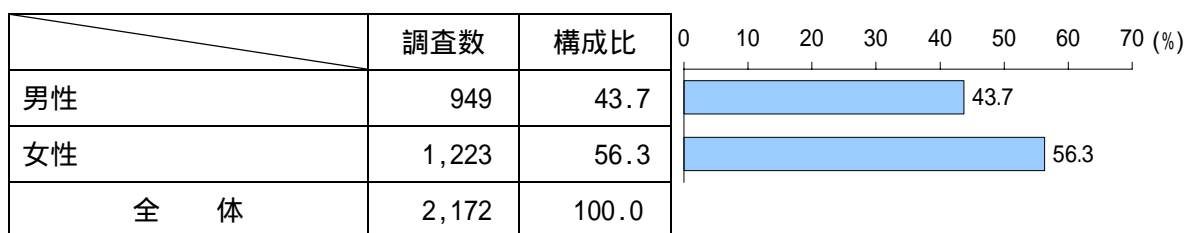


2 調査回答者の属性

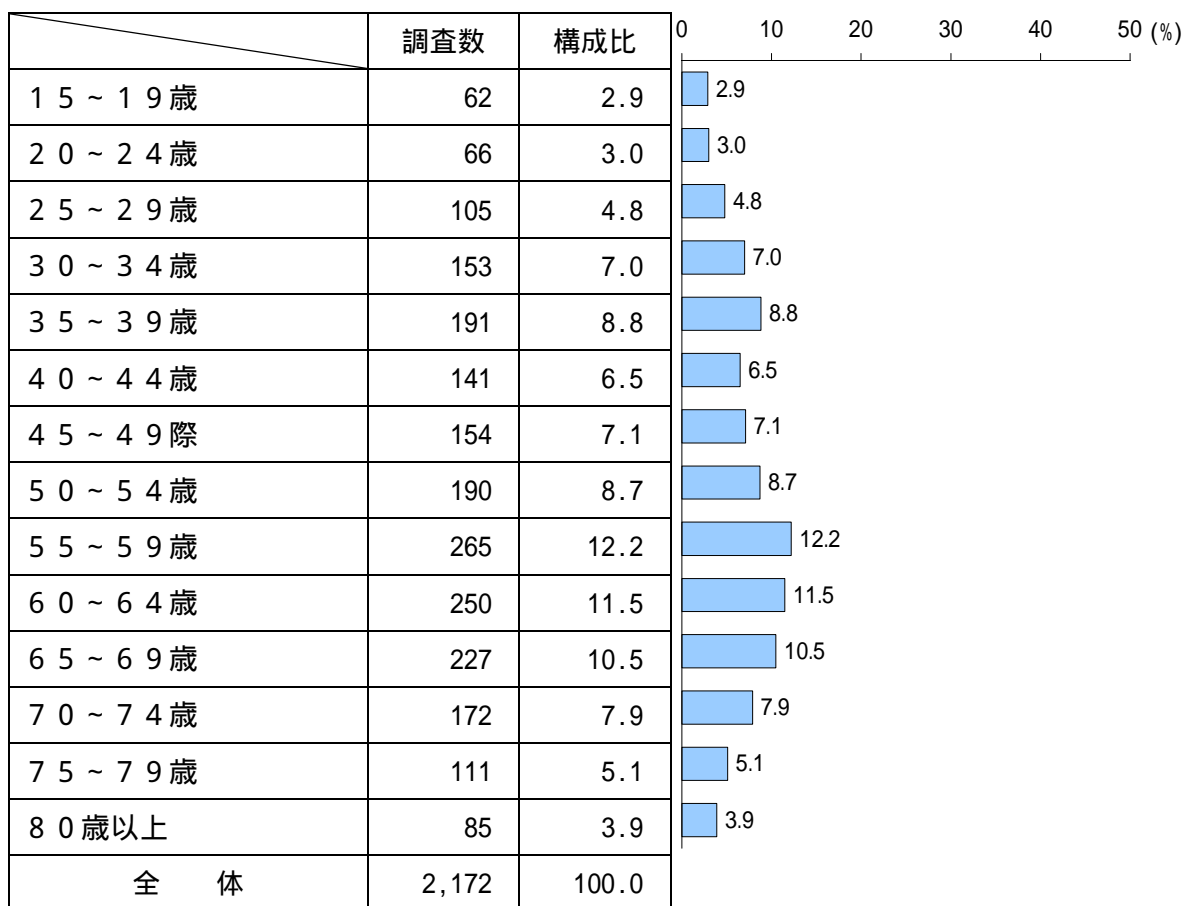
- (1) 二次保健医療圏域



(2) 性別



(3) 年齢



《 1 . あなたの健康》

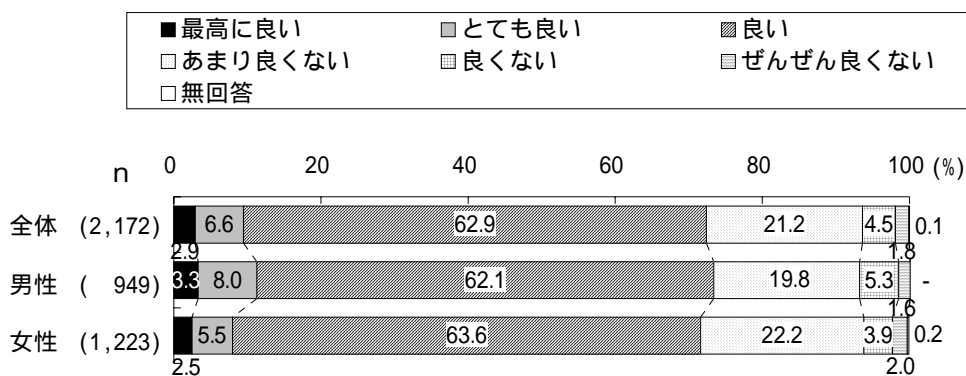
問 1 健康状態

全体では、「最高に良い」が2.9%、「とても良い」が6.6%と少数ながら、「良い」が62.9%と最も高く、これら3つを合わせると、《良い》が72.4%となっている。一方、「あまり良くない」が21.2%、「良くない」が4.5%、「ぜんぜん良くない」が1.8%で、これら3つを合わせると、《良くない》は27.5%となっている。

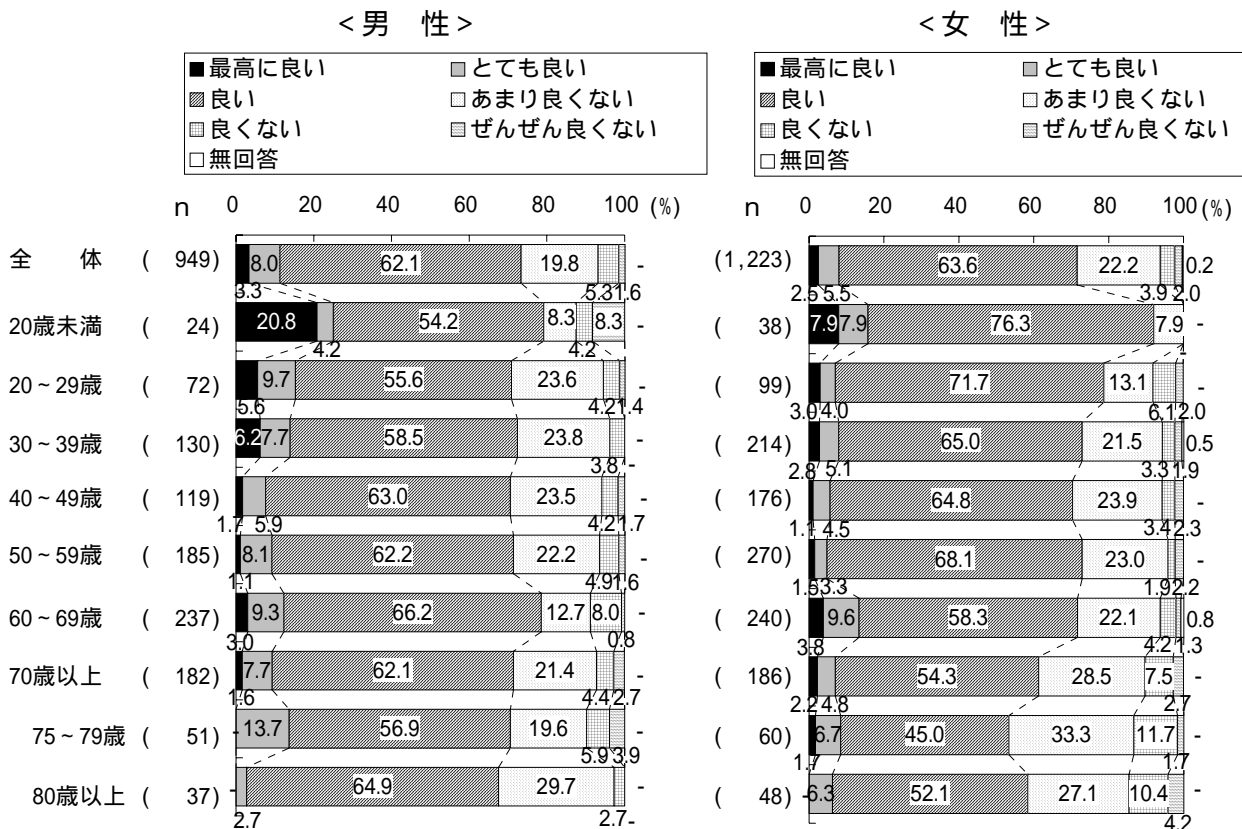
性別でみると、《良い》は男性が73.4%、女性が71.6%で、特に大きな違いはみられない。

性/年齢別でみると、《良い》は、男性では20歳未満が79.2%で最も高く、次いで60～69歳が78.5%となっている。一方、女性では20歳未満が92.1%で最も高くなっている。

問 1 健康状態（全体・性別）



問 1 健康状態（性/年齢別）

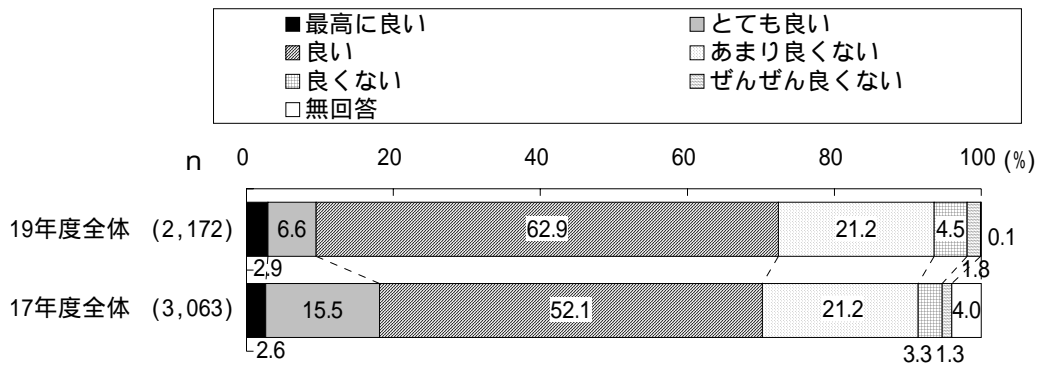


17年度調査結果と比較すると、全体では、「とても良い」(17年度：15.5% 19年度：6.6%)が8.9ポイント減少し、「良い」(17年度：52.1% 19年度：62.9%)が10.8ポイント増加している。

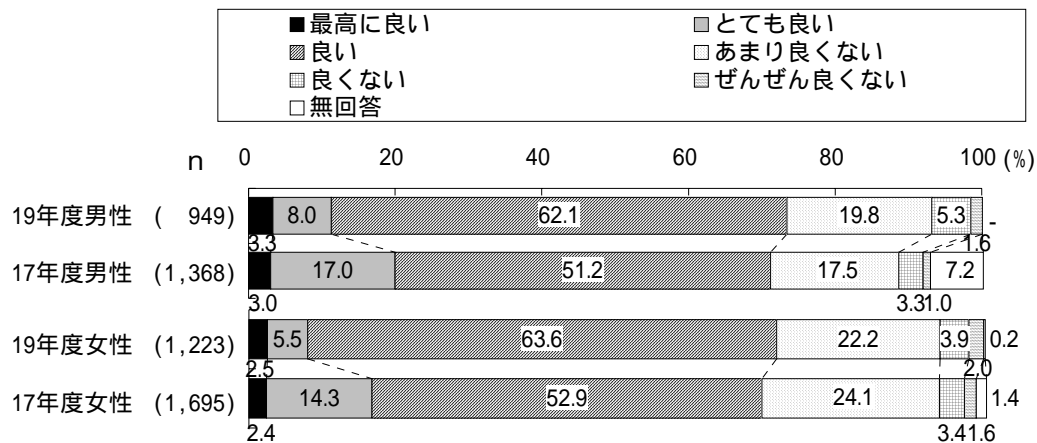
性別では、「とても良い」が、男性(17年度：17.0% 19年度：8.0%)で9.0ポイント、女性(17年度：14.3% 19年度：5.5%)で8.8ポイント減少している。逆に、「良い」が男性(17年度：51.2% 19年度：62.1%)で10.9ポイント、女性(17年度：52.9% 19年度：63.6%)で10.7ポイント増加している。

【平成17年度調査との比較】

健康状態(全体)



健康状態(性別)



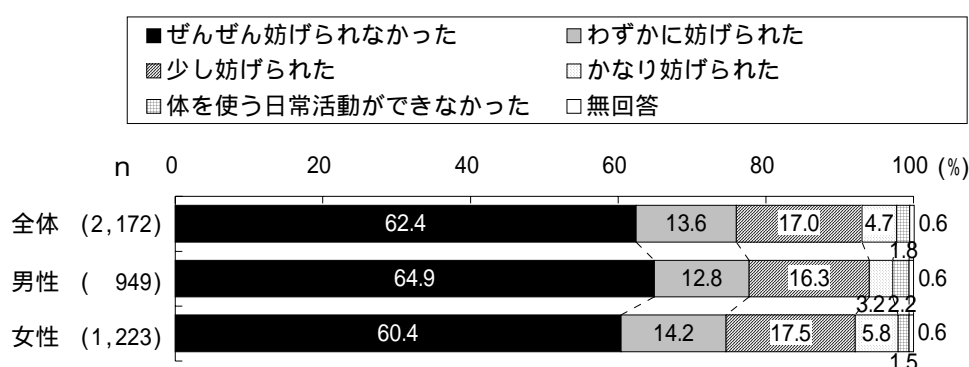
問2 身体的な理由で体を使う日常活動が妨げられた有無

全体では、「ぜんぜん妨げられなかった」が62.4%で最も高くなっている。一方、「わずかに妨げられた」は13.6%、「少し妨げられた」は17.0%、「かなり妨げられた」は4.7%、「体を使う日常活動ができなかった」は1.8%で、これら4つを合わせると、《妨げられた》は37.1%となっている。

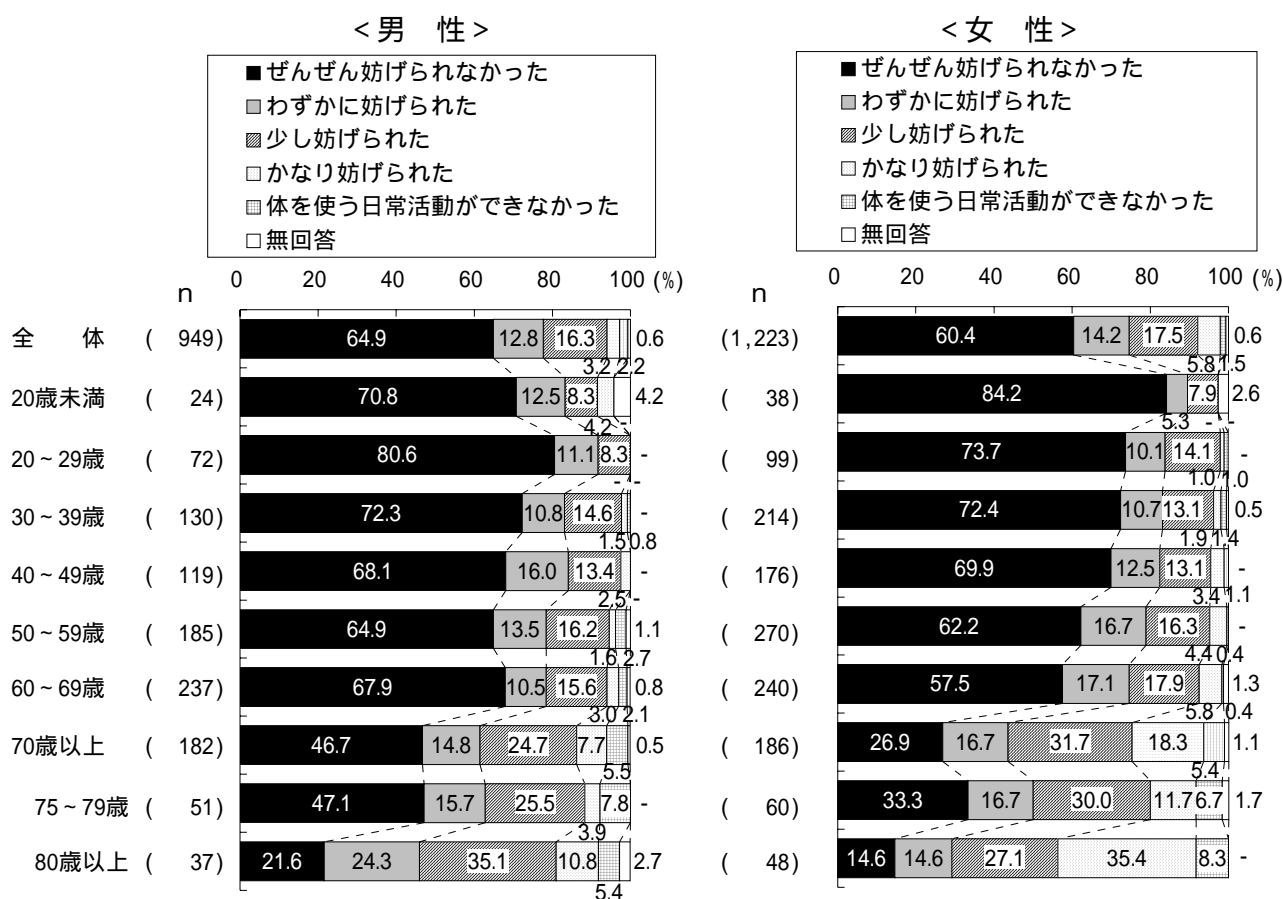
性別でみると、「ぜんぜん妨げられなかった」は、男性が64.9%、女性が60.4%で男性の方が4.5ポイント高くなっている。逆に、《妨げられた》は、男性が34.5%、女性が39.0%で女性の方が4.5ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「ぜんぜん妨げられなかった」は、男性では20～29歳が80.6%で最も高くなっている。一方、女性では20歳未満が84.2%で最も高く、年齢が上がるほど減少している。また、《妨げられた》としてみた場合、女性の70歳以上が72.1%で高くなっている。

問2 身体的な理由で体を使う日常活動が妨げられた有無（全体・性別）



問2 身体的な理由で体を使う日常活動が妨げられた有無（性/年齢別）

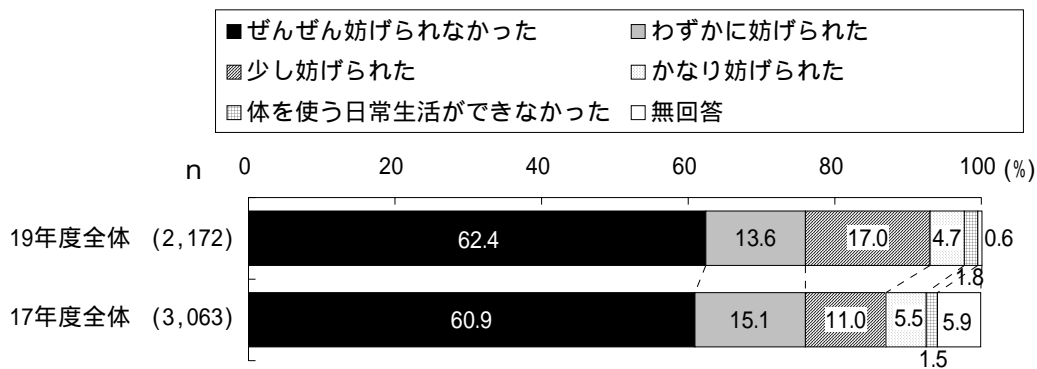


17年度調査結果と比較すると、全体では、「少し妨げられた」(17年度：11.0% 19年度：17.0%)が6.0ポイント増加している。

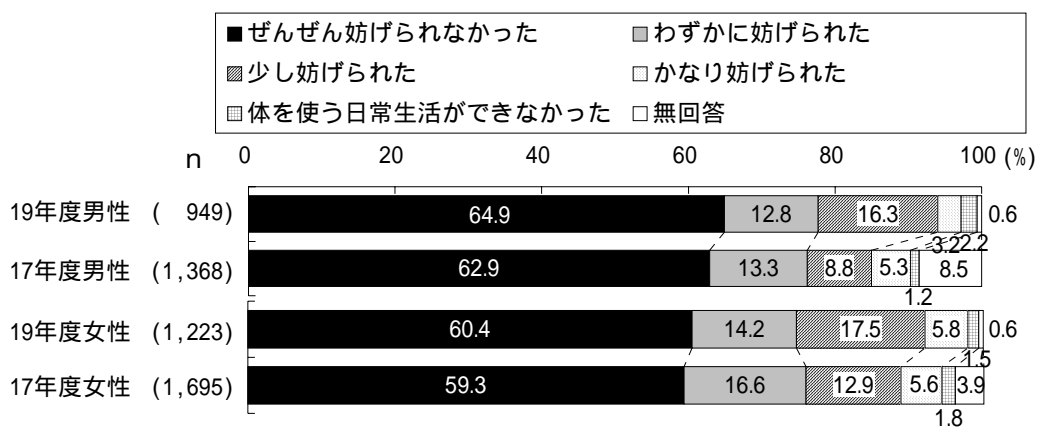
性別では、「少し妨げられた」が男性(17年度：8.8% 19年度：16.3%)で7.5ポイント増加し、女性(17年度：12.9% 19年度：17.5%)で4.6ポイント増加している。

【平成17年度調査との比較】

身体的な理由で体を使う日常活動が妨げられた有無(全体)



身体的な理由で体を使う日常活動が妨げられた有無(性別)



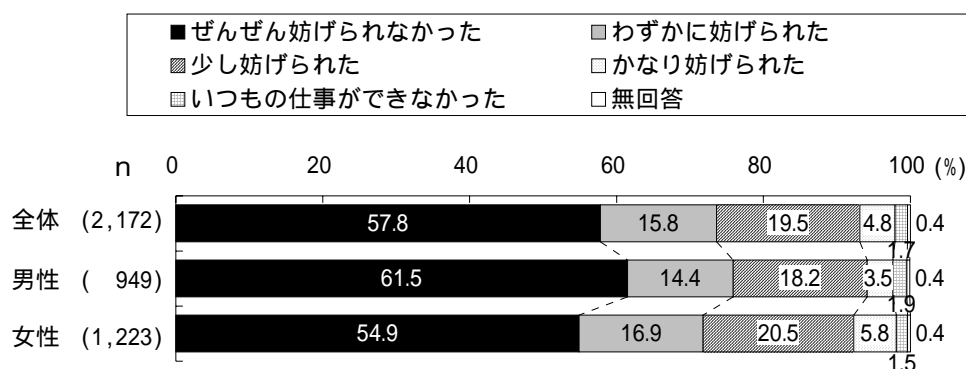
問3 身体的な理由でいつもの仕事をする事が妨げられた有無

全体では、「ぜんぜん妨げられなかった」が57.8%で最も高くなっている。一方、「わずかに妨げられた」が15.8%、「少し妨げられた」が19.5%、「かなり妨げられた」が4.8%、「いつもの仕事ができなかった」が1.7%で、これら4つを合わせると、《妨げられた》は41.8%となっている。

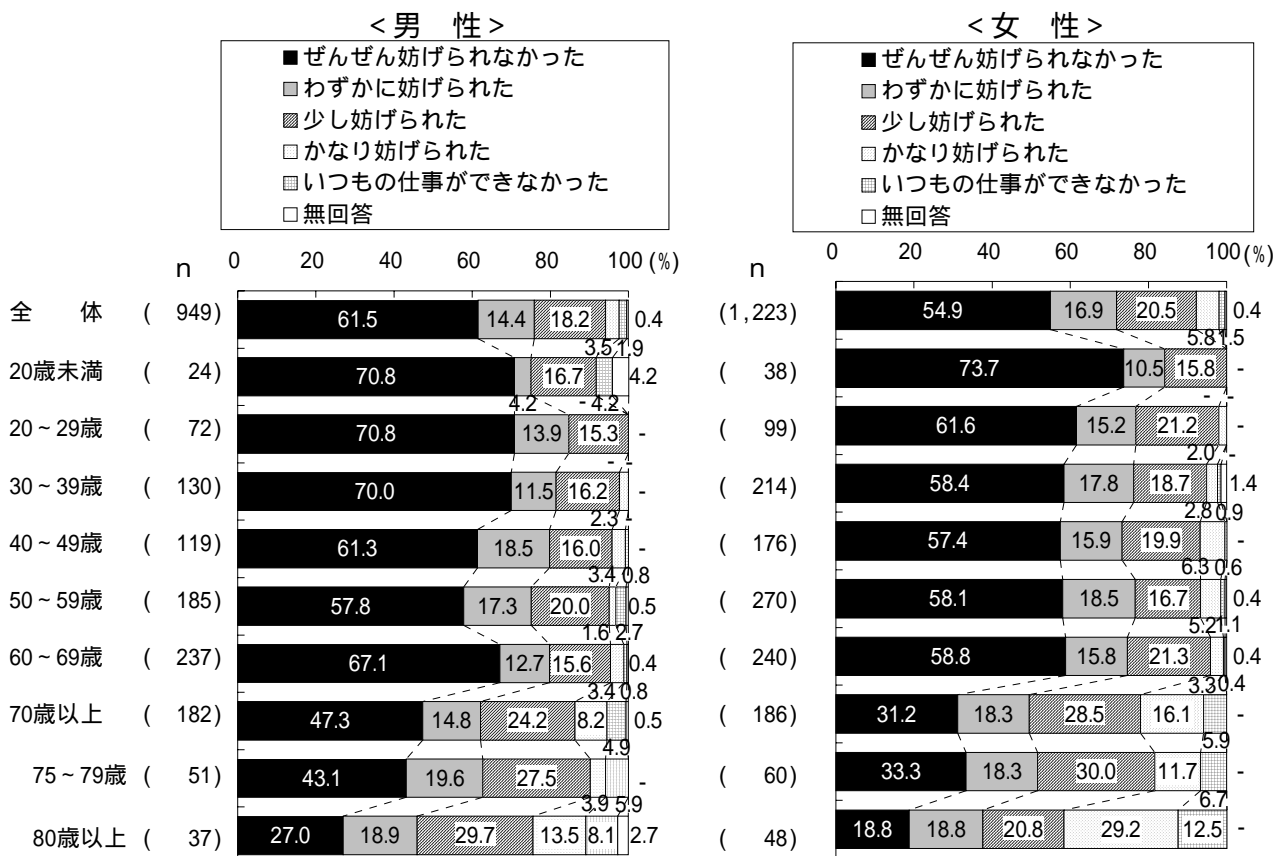
性別でみると、「ぜんぜん妨げられなかった」は、男性が61.5%、女性が54.9%で男性の方が6.6ポイント高くなっている。逆に、《妨げられた》は、男性が38.0%、女性が44.7%と、女性の方が6.7ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「ぜんぜん妨げられなかった」は、男性では20歳未満と20～29歳が70.8%、30～39歳が70.0%などとなっている。一方、女性では20歳未満が73.7%で最も高くなっている。また、《妨げられた》としてみた場合、女性の70歳以上が68.8%で高くなっている。

問3 身体的な理由でいつもの仕事をする事が妨げられた有無（全体・性別）



問3 身体的な理由でいつもの仕事をする事が妨げられた有無（性/年齢別）

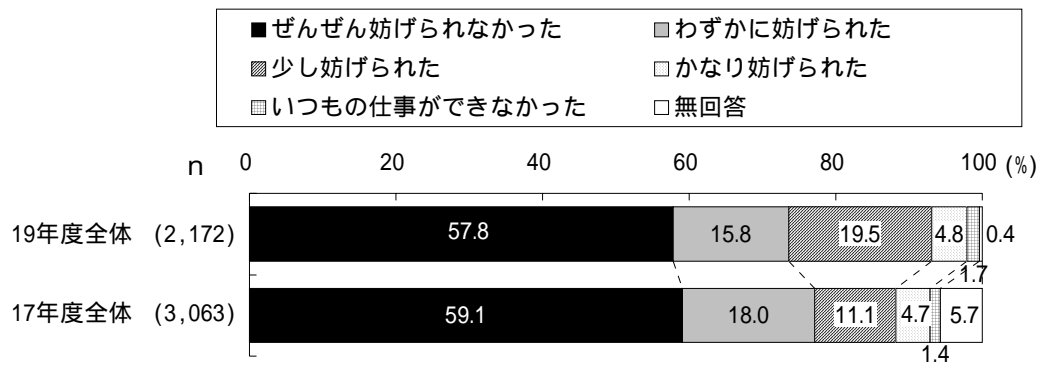


17年度調査結果と比較すると、全体では、「少し妨げられた」(17年度：11.1% 19年度：19.5%)が8.4ポイント増加している。

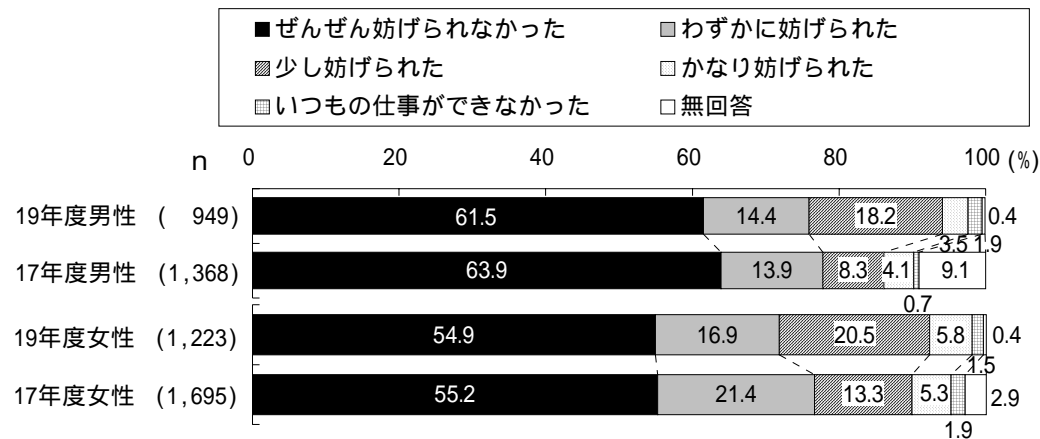
性別では、「少し妨げられた」が、男性(17年度：8.3% 19年度：18.2%)で9.9ポイント増加し、女性(17年度：13.3% 19年度：20.5%)で7.2ポイント増加している。

【平成17年度調査との比較】

身体的な理由でいつもの仕事をすることが妨げられた有無(全体)



身体的な理由でいつもの仕事をすることが妨げられた有無(性別)



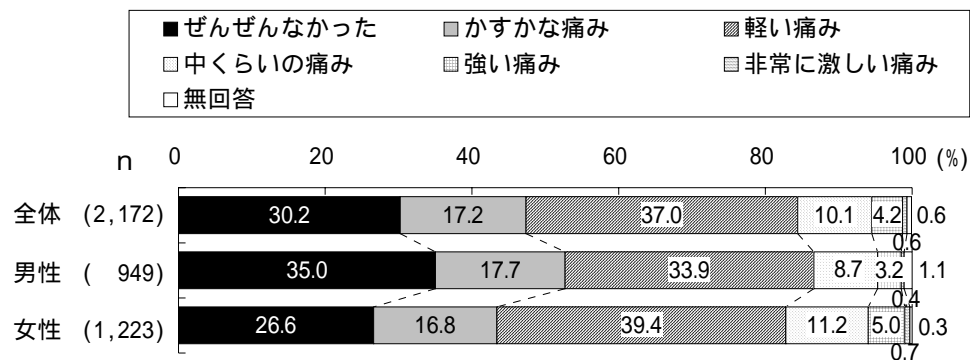
問4 体の痛みの程度

全体では、「ぜんぜんなかった」が30.2%となっている。一方、「軽い痛み」が37.0%で最も高く、「かすかな痛み」が17.2%、「中くらいの痛み」が10.1%、「強い痛み」が4.2%、「非常に激しい痛み」が0.6%で、これら5つを合わせると、「痛みがあった」は69.1%となっている。

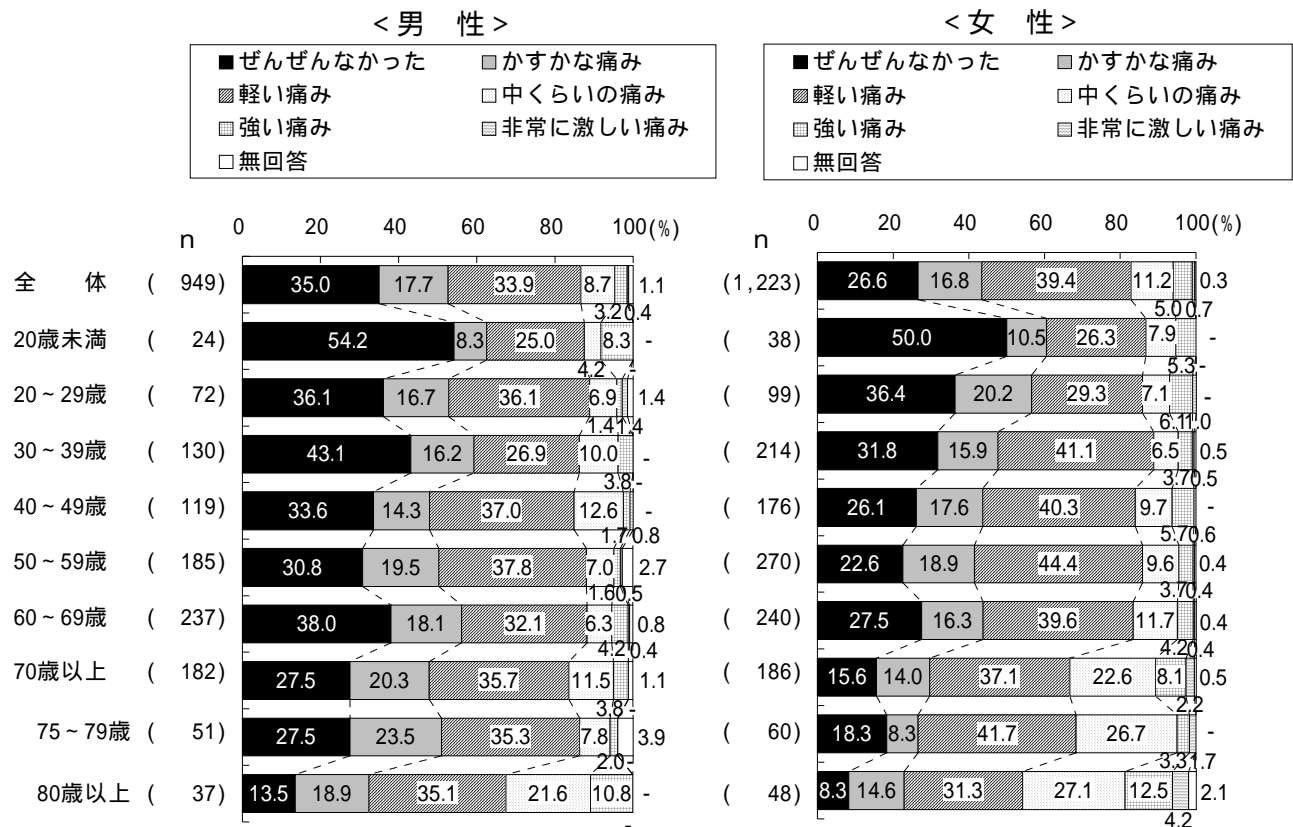
性別でみると、「ぜんぜんなかった」は、男性が35.0%、女性が26.6%で男性の方が8.4ポイント高くなっている。逆に、「軽い痛み」は、男性が33.9%、女性が39.4%と、女性の方が5.5ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「ぜんぜんなかった」は、男性の20歳未満が54.2%、女性の20歳未満が50.0%で高くなっている。

問4 体の痛みの程度（全体・性別）



問4 体の痛みの程度（性/年齢別）

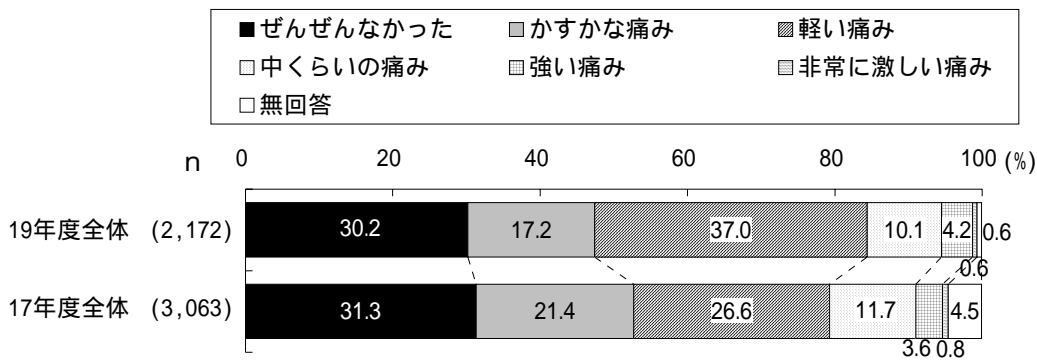


17年度調査結果と比較すると、全体では、「軽い痛み」(17年度：26.6% 19年度：37.0%)が10.4ポイント増加し、逆に、「かすかな痛み」(17年度：21.4% 19年度：17.2%)が3.8ポイント減少している。

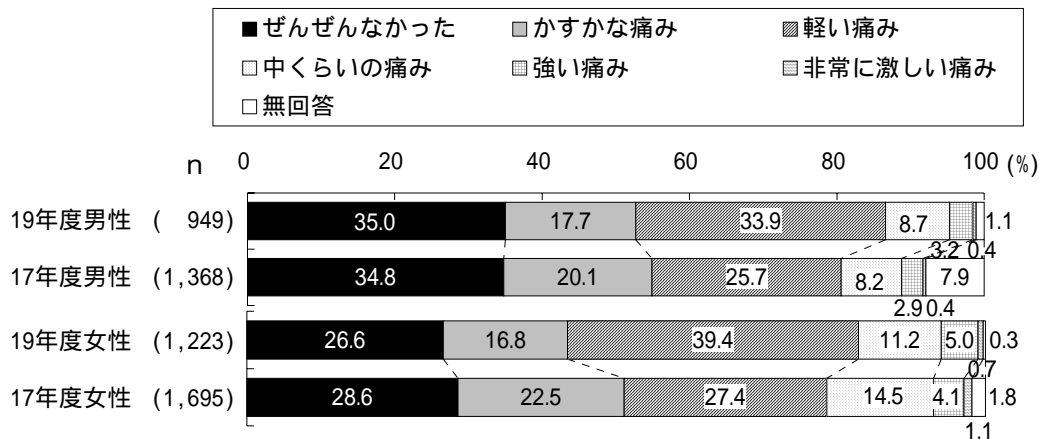
性別では、「軽い痛み」が、男性(17年度：25.7% 19年度：33.9%)で8.2ポイント増加し、女性(17年度：27.4% 19年度：39.4%)で12.0ポイント増加している。また、「かすかな痛み」は、女性(17年度：22.5% 19年度：16.8%)で5.7ポイント減少している。

【平成17年度調査との比較】

体の痛みの程度（全体）



体の痛みの程度（性別）



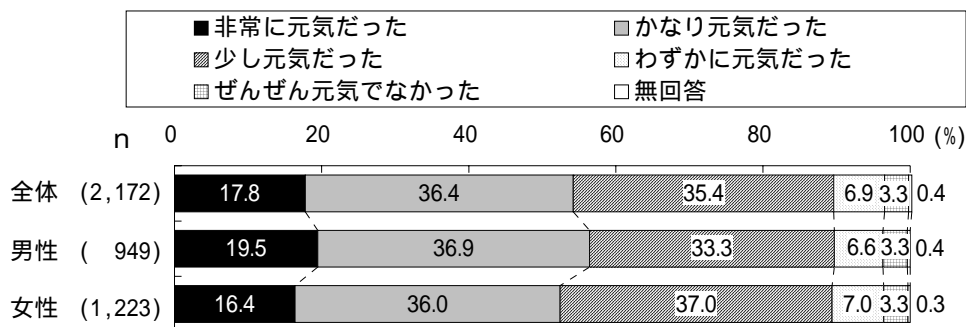
問5 元気の度合い

全体では、「非常に元気だった」が17.8%で、「かなり元気だった」が36.4%で最も高くなっている。このほか、「少し元気だった」が35.4%、「わずかに元気だった」が6.9%、「ぜんぜん元気でなかった」が3.3%となっている。

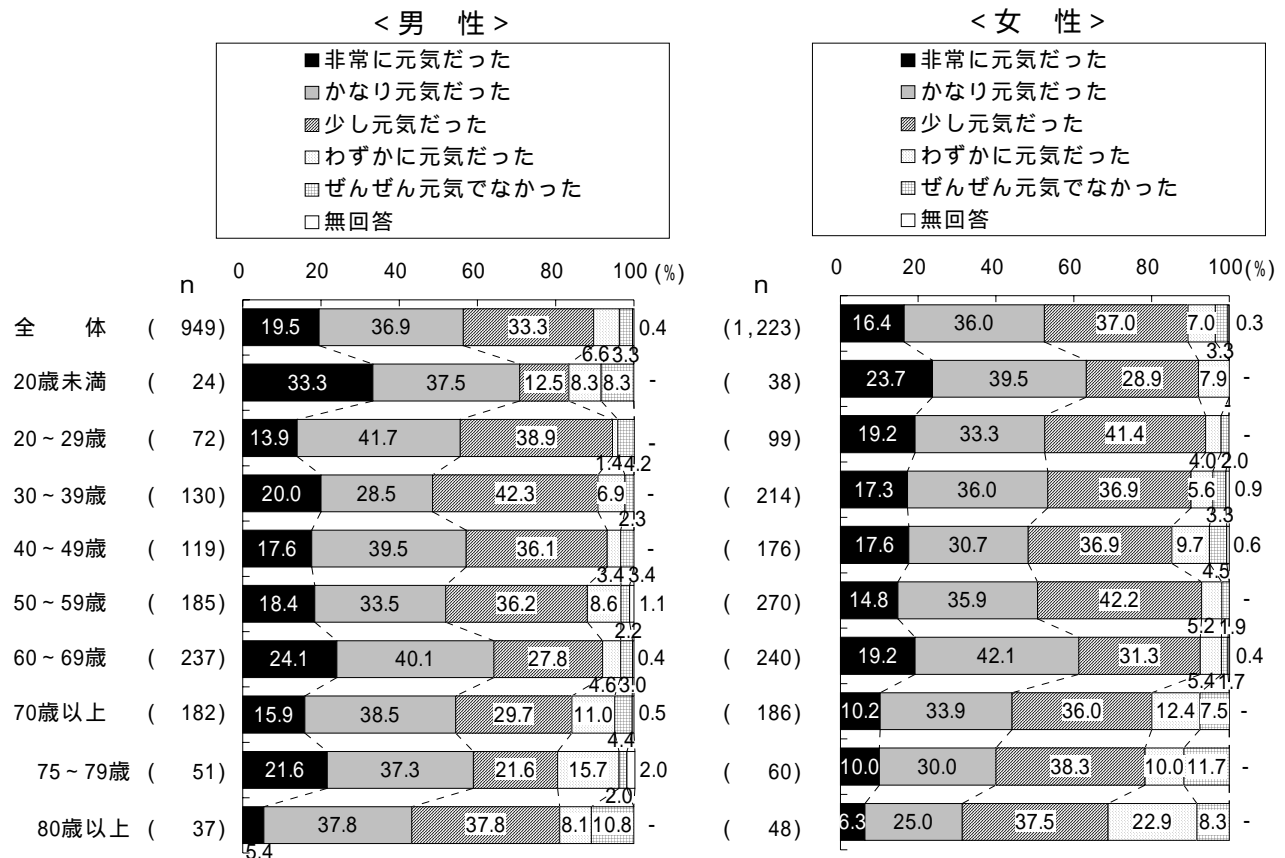
性別で見ると、「非常に元気だった」+「かなり元気だった」は、男性が56.4%、女性が52.4%で男性の方が4.0ポイント高くなっている。逆に、「少し元気だった」は、男性が33.3%、女性が37.0%と、女性の方が3.7ポイント高くなっている。

性/年齢別で見ると、「非常に元気だった」+「かなり元気だった」は、男性では20歳未満が70.8%で最も高く、次いで60～69歳が64.2%となっている。一方、女性でも同年齢層が高く、20歳未満が63.2%、60～69歳が61.3%となっている。

問5 元気の度合い（全体・性別）



問5 元気の度合い（性/年齢別）

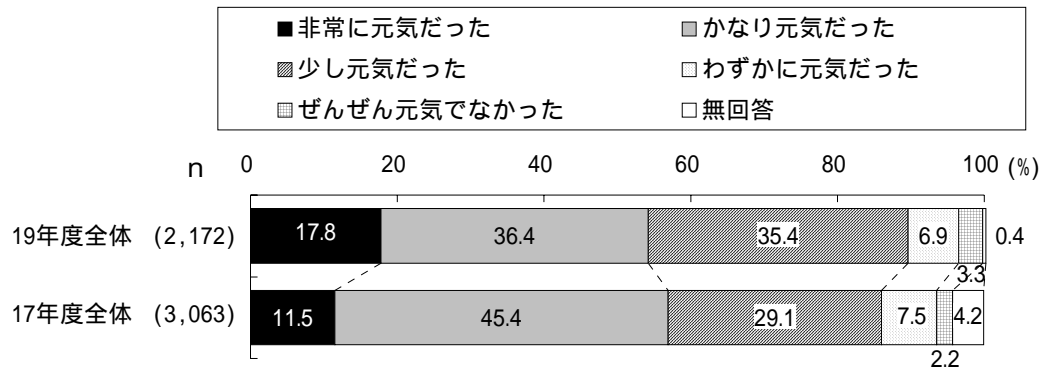


17年度調査結果と比較すると、全体では、「非常に元気だった」(17年度：11.5% 19年度：17.8%)が6.3ポイント増加しているものの、逆に、「かなり元気だった」(17年度：45.4% 19年度：36.4%)が9.0ポイント減少している。

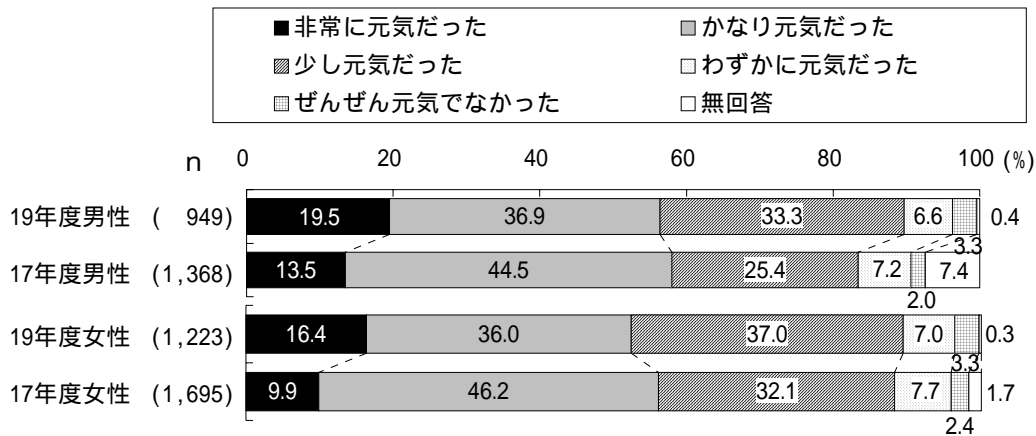
性別では、男性は、「非常に元気だった」(17年度：13.5% 19年度：19.5%)で6.0ポイント増加し、「かなり元気だった」(17年度：44.5% 19年度：36.9%)が7.6ポイント減少している。一方、女性は、「非常に元気だった」(17年度：9.9% 19年度：16.4%)が6.5ポイント増加し、「かなり元気だった」(17年度：46.2% 19年度：36.0%)が10.2ポイント減少している。

【平成17年度調査との比較】

元気の度合い(全体)



元気の度合い(性別)



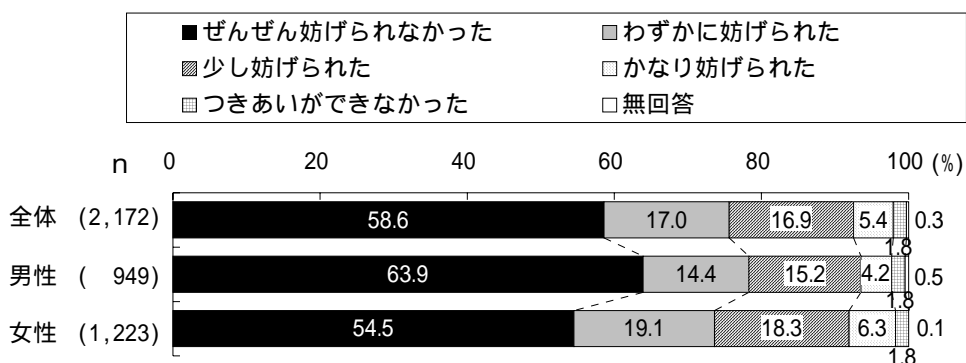
問6 身体的等の理由で家族や友人とのつきあいが妨げられた有無

全体では、「ぜんぜん妨げられなかった」が58.6%で最も高くなっている。一方、「わずかに妨げられた」が17.0%、「少し妨げられた」が16.9%、「かなり妨げられた」が5.4%、「つきあいができなかった」が1.8%で、これら4つを合わせると、《妨げられた》は41.1%となっている。

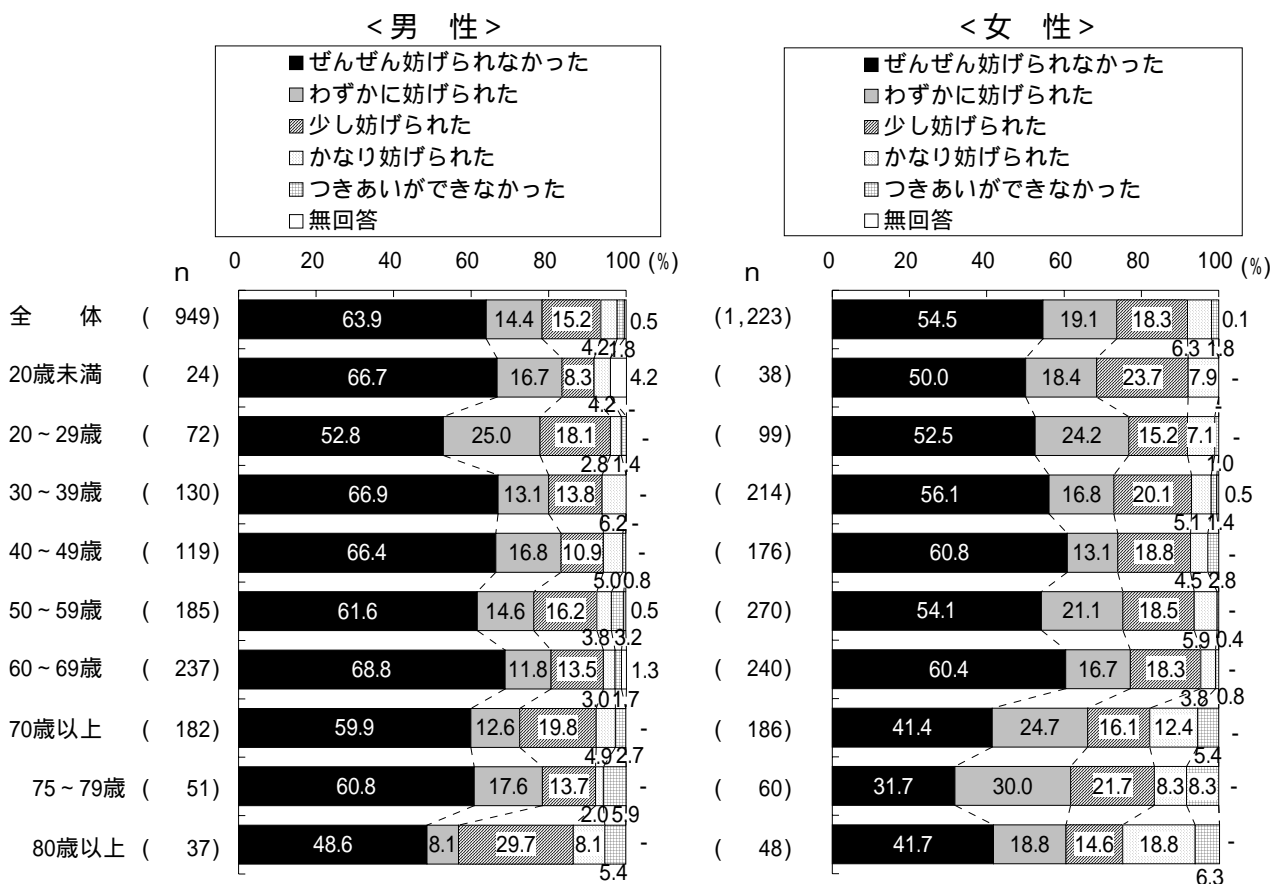
性別でみると、「ぜんぜん妨げられなかった」は、男性が63.9%、女性が54.5%で男性の方が9.4ポイント高くなっている。逆に、《妨げられた》は、男性が35.6%、女性が45.5%と、女性が9.9ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「ぜんぜん妨げられなかった」は、男性では60～69歳が68.8%で最も高くなっている。一方、女性では40～49歳が60.8%、60～69歳が60.4%で高くなっている。逆に、《妨げられた》としてみた場合、女性の70歳以上が58.6%で高くなっている。

問6 身体的等の理由で家族や友人とのつきあいが妨げられた有無（全体・性別）



問6 身体的等の理由で家族や友人とのつきあいが妨げられた有無（性/年齢別）

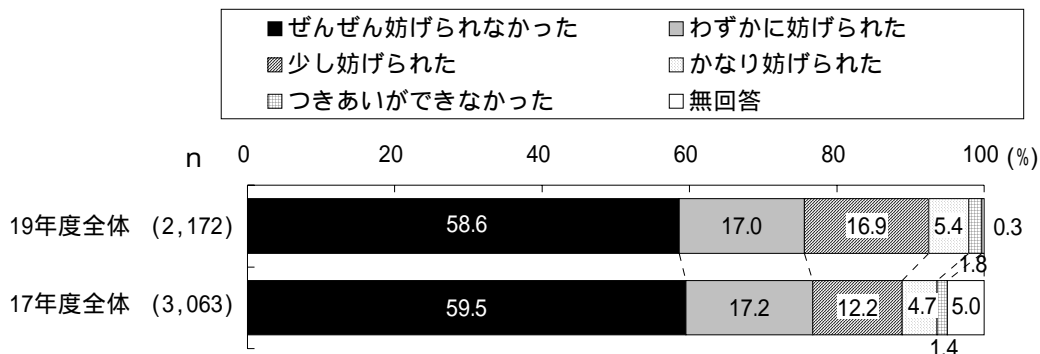


17年度調査結果と比較すると、全体では、「少し妨げられた」(17年度：12.2% 19年度：16.9%)が4.7ポイント増加している。

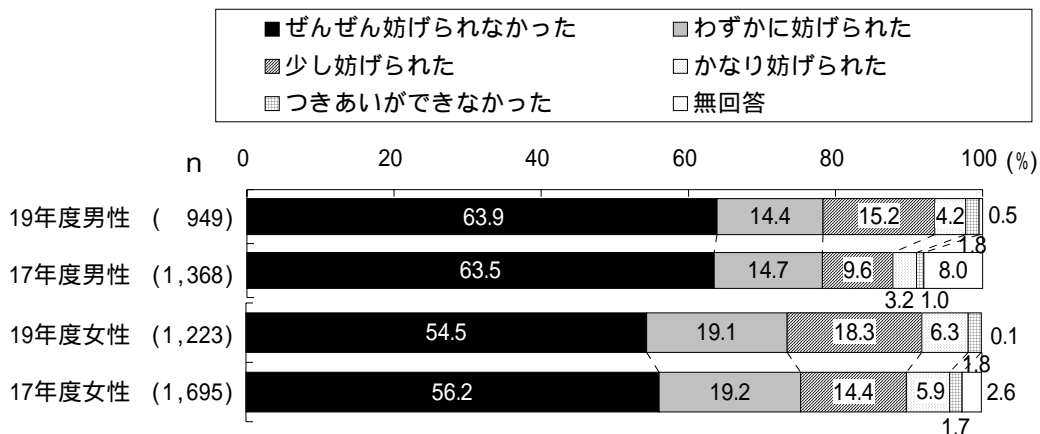
性別では、「少し妨げられた」が男性(17年度：9.6% 19年度：15.2%)で5.6ポイント増加し、女性(17年度：14.4% 19年度：18.3%)で3.9ポイント増加している。《妨げられた》としてみた場合、男性(17年度：28.5% 19年度：35.6%)は7.1ポイント、女性(17年度：41.2% 19年度：45.5%)は4.3ポイント増加している。

【平成17年度調査との比較】

身体的等の理由で家族や友人とのつきあいが妨げられた有無(全体)



身体的等の理由で家族や友人とのつきあいが妨げられた有無(性別)



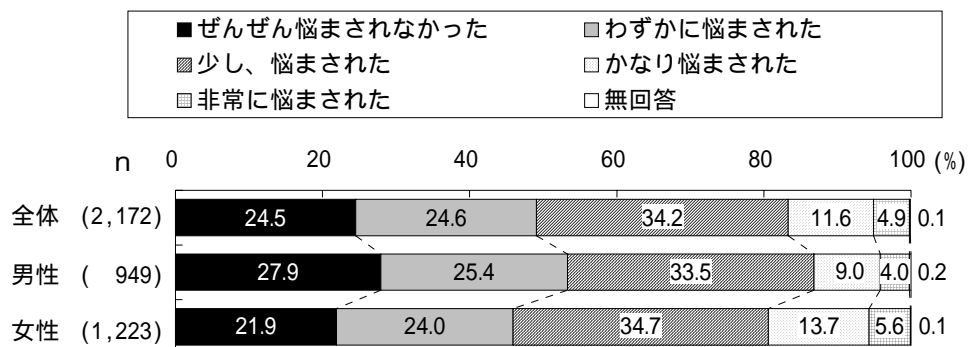
問7 心理的な問題の程度

全体では、「ぜんぜん悩まされなかった」が24.5%となっている。一方、「少し、悩まされた」が34.2%で最も高く、「わずかに悩まされた」が24.6%、「かなり悩まされた」が11.6%「非常に悩まされた」が4.9%で、これら4つを合わせると、「悩まされた」は75.3%となっている。

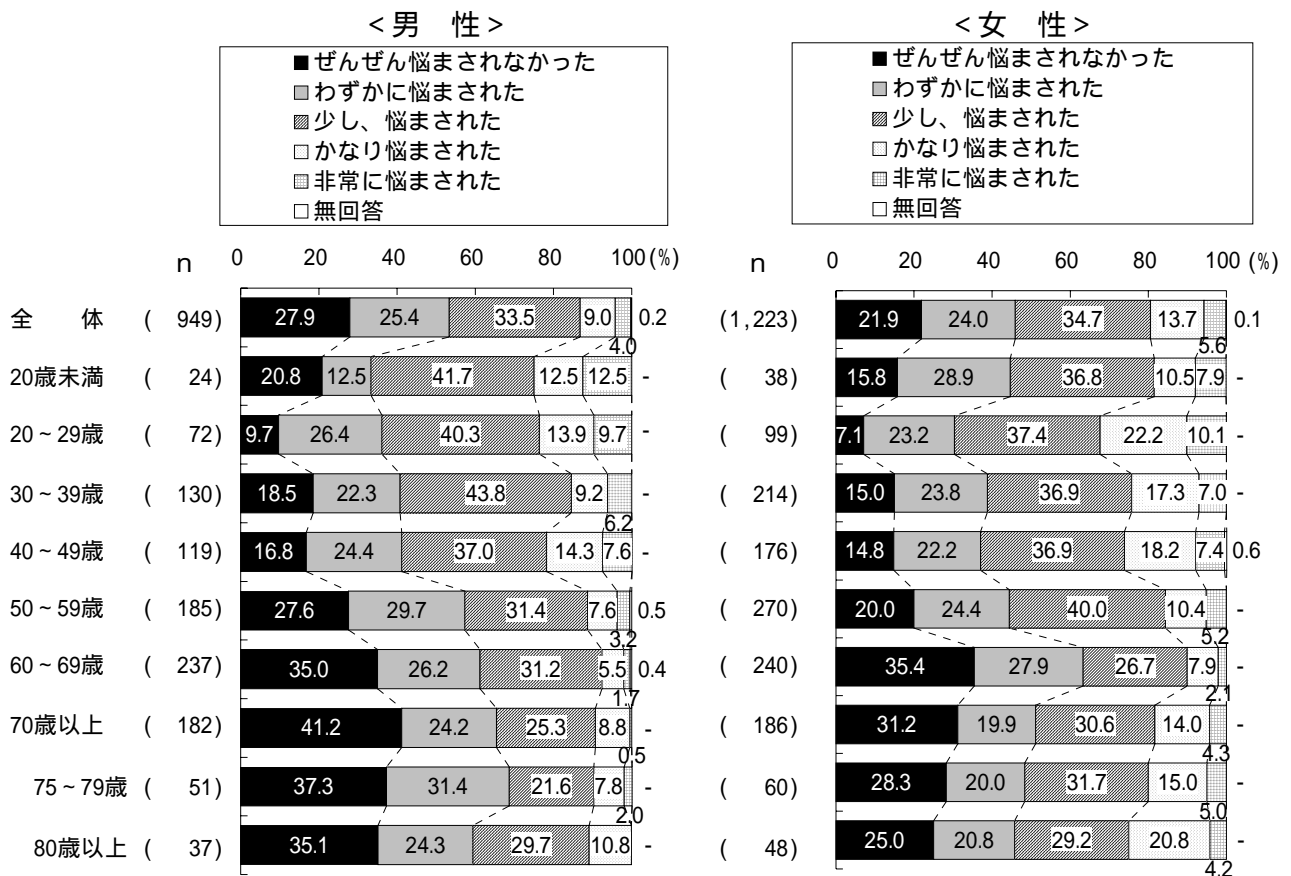
性別でみると、「ぜんぜん悩まされなかった」は、男性が27.9%、女性が21.9%で男性の方が6.0ポイント高くなっている。逆に、「悩まされた」は、男性が71.9%、女性が78.0%で女性の方が6.1ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「ぜんぜん悩まされなかった」は、男性では70歳以上が41.2%で最も高くなっている。一方、女性では60～69歳が35.4%で最も高くなっている。逆に、「悩まされた」としてみた場合、男性では20～29歳で90.3%、女性でも20～29歳で92.9%と高くなっている。

問7 心理的な問題の程度（全体・性別）



問7 心理的な問題の程度（性/年齢別）

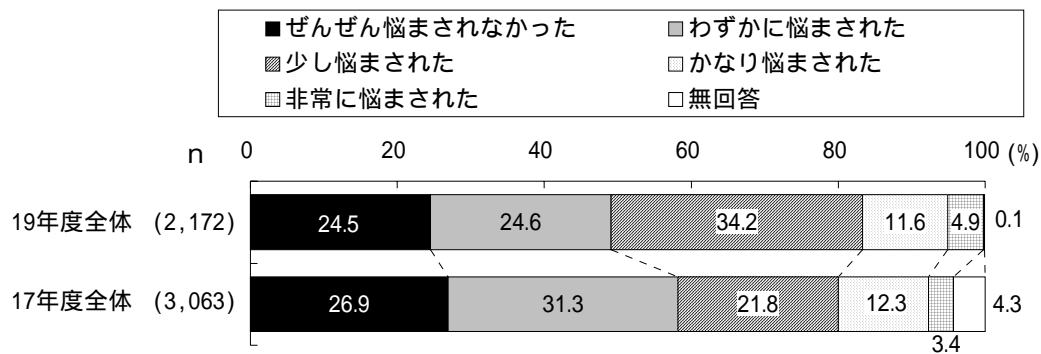


17年度調査結果と比較すると、全体では、《悩まされた》(17年度：68.8% 19年度：75.3%)が6.5ポイント増加している。

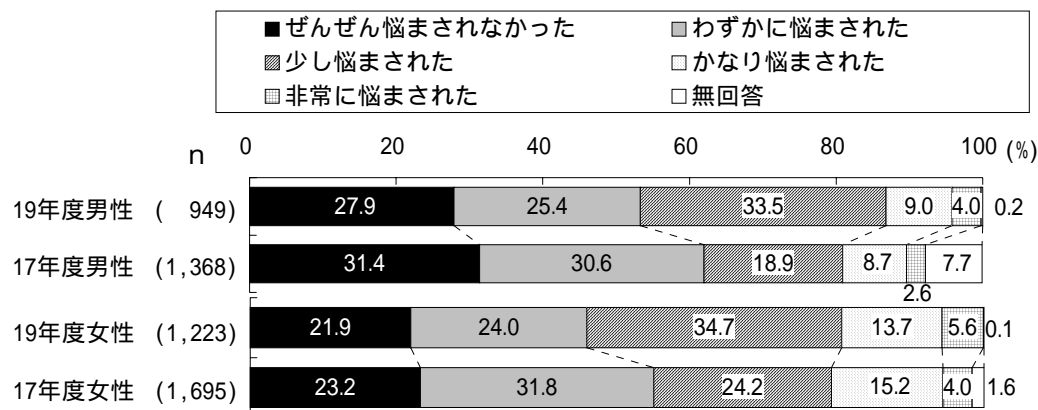
性別では、《悩まされた》が、男性(17年度：60.8% 19年度：71.9%)で11.1ポイント増加している。

【平成17年度調査との比較】

心理的な問題の程度（全体）



心理的な問題の程度（性別）



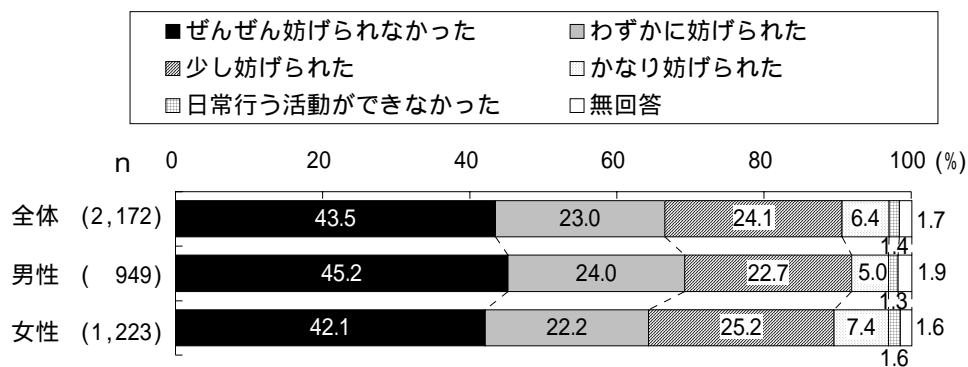
問 8 心理的な理由で日常行う仕事が妨げられた有無

全体では、「ぜんぜん妨げられなかった」が43.5%で最も高くなっている。一方、「わずかに妨げられた」が23.0%、「少し妨げられた」が24.1%、「かなり妨げられた」が6.4%、「日常行う活動ができなかった」が1.4%で、これら4つを合わせると、《妨げられた》は54.9%となっている。

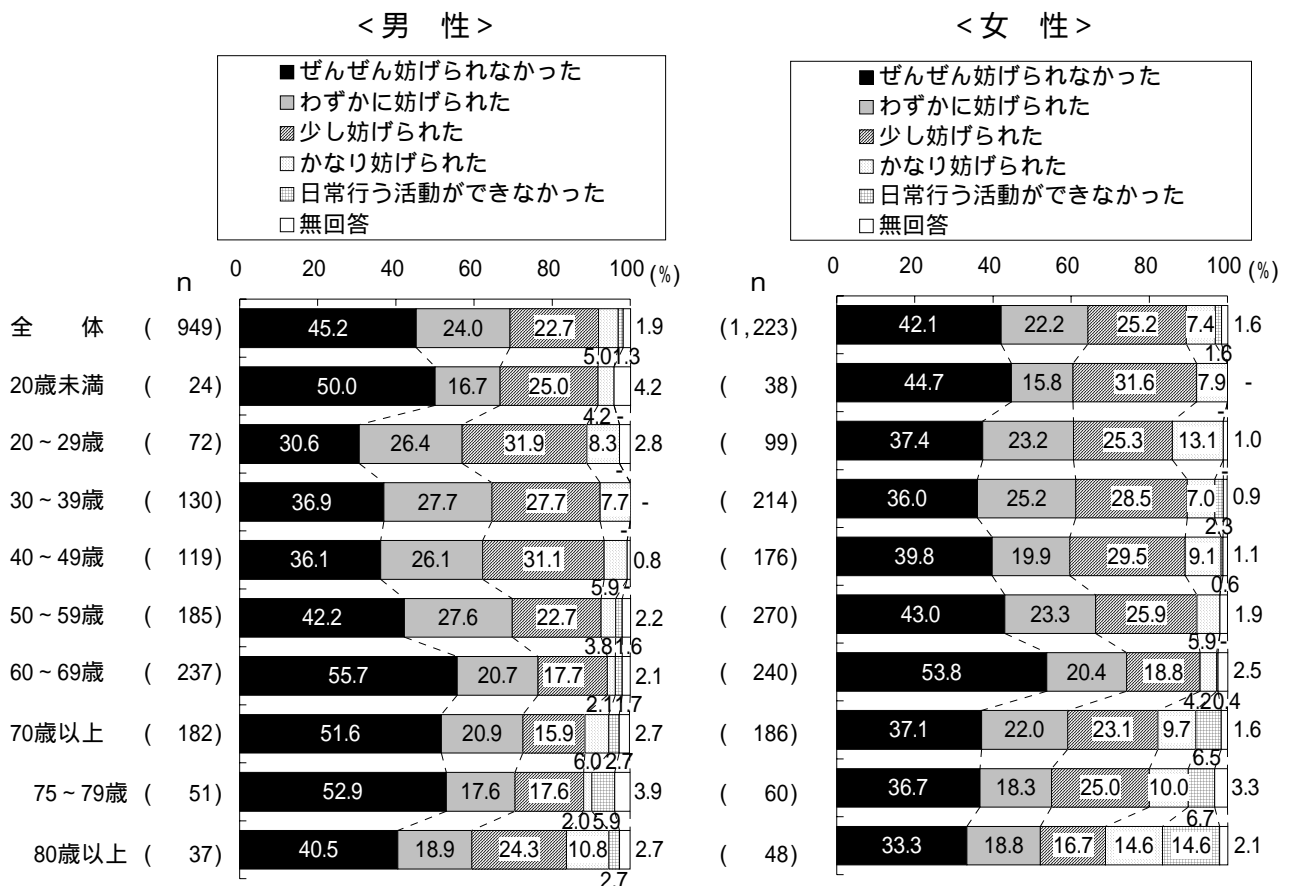
性別でみると、「ぜんぜん妨げられなかった」は、男性が45.2%、女性が42.1%で男性の方が3.1ポイント高くなっている。逆に、《妨げられた》は、男性が53.0%、女性が56.4%と、女性の方が3.4ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「ぜんぜん妨げられなかった」は、男性では60～69歳が55.7%、女性でも60～69歳が53.8%で最も高くなっている。逆に、《妨げられた》としてみた場合、男性では20～29歳で66.6%、女性では30～39歳で63.0%と高くなっている。

問 8 心理的な理由で日常行う仕事が妨げられた有無（全体・性別）



問 8 心理的な理由で日常行う仕事が妨げられた有無（性/年齢別）

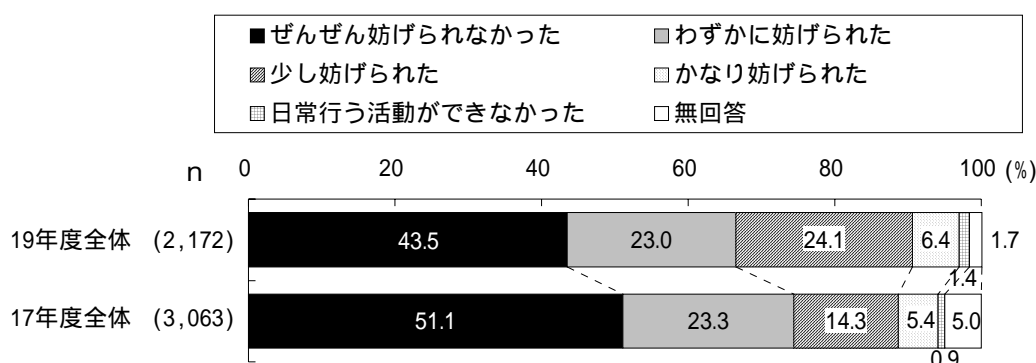


17年度調査結果と比較すると、全体では、「ぜんぜん妨げられなかった」(17年度：51.1% 19年度：43.5%)は7.6ポイント減少し、逆に、「《妨げられた》」(17年度：43.9% 19年度：54.9%)が11.0ポイント増加している。

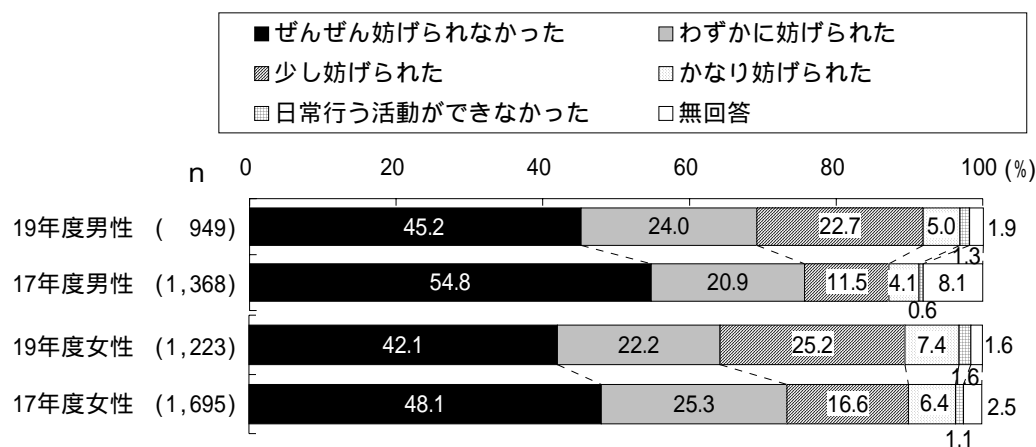
性別では、「ぜんぜん妨げられなかった」が、男性(17年度：54.8% 19年度：45.2%)で9.6ポイント、女性(17年度：48.1% 19年度：42.1%)で6.0ポイント減少している。逆に、「《妨げられた》」としてみた場合、男性(17年度：37.1% 19年度：53.0%)で15.9ポイント、女性(17年度：49.4% 19年度：56.4%)で7.0ポイント増加している。

【平成17年度調査との比較】

心理的な理由で日常行う仕事が妨げられた有無(全体)



心理的な理由で日常行う仕事が妨げられた有無(性別)



健康関連QOL指標のひとつSF8を基に計算した結果

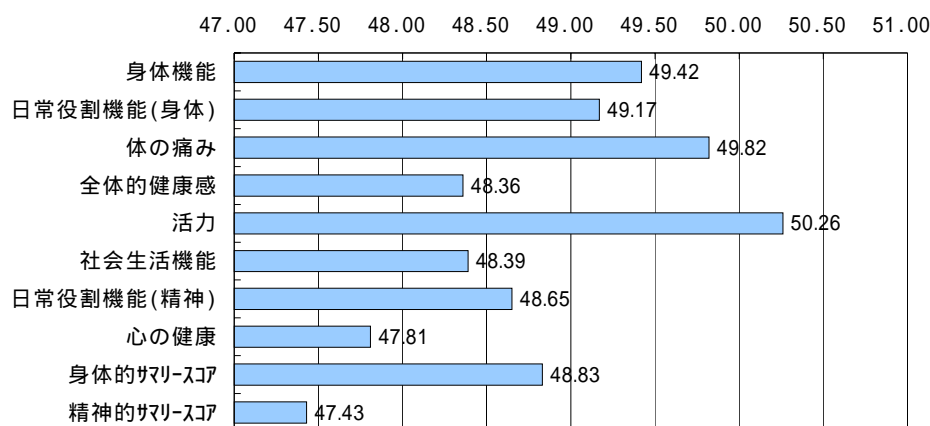
問1から問8の回答を用いて、健康関連QOL指標のひとつであるSF8の得点を算出した。SF8では健康を「身体機能」「日常役割機能(身体)」「体の痛み」「全体的健康感」「活力」「社会生活機能」「日常役割機能(精神)」「心の健康」の8つの領域(尺度)に分けており、その得点は国民標準値を50点としたときの、各自の相対的な点数である。また、8つの領域を身体的側面、精神的側面の2つに統合し、それぞれの総合指標として「身体的サマリースコア」「精神的サマリースコア」の点数で表している。

健康の8領域の各得点の平均値は、「活力」を除いて国民標準値平均である50点を下回っていた。

男女別にみると、50点を上回っている尺度は男性では「体の痛み」「活力」であり、女性では「活力」のみであった。50点を最も下回っている尺度は、男性は「全体的健康感」48.57点、女性では「心の健康」47.20点であった。「身体機能」「全体的健康感」「活力」以外は、男性の得点が女性より有意に高かった。

表 SF8の各尺度の得点

	男			女			合計			男女差 有意確率 p<0.05
	19年度 平均値	標準偏差	人数	19年度 平均値	標準偏差	人数	19年度 平均値	標準偏差	人数	
身体機能	49.62	7.41	943	49.26	7.03	1216	49.42	7.20	2159	
日常役割機能(身体)	49.57	7.24	945	48.85	7.32	1218	49.17	7.29	2163	*
体の痛み	50.84	8.29	939	49.03	8.47	1219	49.82	8.44	2158	*
全体的健康感	48.57	6.71	949	48.20	6.38	1220	48.36	6.53	2169	
活力	50.57	7.44	945	50.02	7.33	1219	50.26	7.38	2164	
社会生活機能	49.20	8.39	944	47.75	8.79	1222	48.39	8.65	2166	*
日常役割機能(精神)	49.11	6.94	931	48.30	7.61	1204	48.65	7.34	2135	*
心の健康	48.59	7.21	947	47.20	7.51	1222	47.81	7.41	2169	*
身体的サマリースコア	49.25	7.16	918	48.50	7.23	1187	48.83	7.21	2105	*
精神的サマリースコア	48.11	7.03	918	46.91	7.62	1187	47.43	7.39	2105	*



SF-8について

SF健康調査票は、健康関連QOL (Health Related Quality of Life) を測定するための、科学的な信頼性・妥当性を持つ尺度です。

健康関連QOLとは、医療評価のためのQOLとして、個人の健康に由来する事項に限定した概念として定義されています。

今回の評価に使ったSF-8は、大きな調査用として用いられています。

SF-8には、国民の性、年齢、地域、都市規模等の分布と同じくするようにサンプリングして行った全国調査から得られた、SF-8の平均値である国民標準値が設定されています。

ある対象から得られたSF-8の結果を評価する際に、国民標準値を基準にして、それよりどの程度高いか低いかを検討することで、その対象の健康状態を評価することができます。

平成17年度と平成19年度の各尺度の得点を比較すると、全ての尺度において平成19年度の得点が平成17年度より低く、「身体機能」を除く7尺度において有意差があった。総合指標である「身体的サマリースコア」と「精神的サマリースコア」をみると、いずれも平成19年度の方が得点は低く、精神的サマリースコアでは差が有意であった。

男女別にみると、男性の方が女性に比べて平成19年度に得点が有意に低下した項目が多かった。

表 平成17年度と19年度のSF8得点比較

	17年度			19年度			有意確率 p<.005	
	平均値	標準偏差	人数	平均値	標準偏差	人数		
男	身体機能	50.25	6.63	1252	49.62	7.41	943	*
	日常役割機能(身体)	50.77	6.19	1244	49.57	7.24	945	*
	体の痛み	51.39	8.33	1260	50.84	8.29	939	
	全体的健康感	49.89	6.86	1270	48.57	6.71	949	*
	活力	51.01	6.82	1267	50.57	7.44	945	
	社会生活機能	50.27	7.54	1258	49.20	8.39	944	*
	日常役割機能(精神)	50.64	6.10	1257	49.11	6.94	931	*
	心の健康	49.92	7.03	1262	48.59	7.21	947	*
	身体的サマリースコア	49.78	6.47	1214	49.25	7.16	918	
	精神的サマリースコア	49.42	6.95	1214	48.11	7.03	918	*
女	身体機能	49.46	7.20	1629	49.26	7.03	1216	
	日常役割機能(身体)	49.25	7.47	1645	48.85	7.32	1218	
	体の痛み	49.47	8.80	1664	49.03	8.47	1219	
	全体的健康感	48.86	6.94	1671	48.20	6.38	1220	*
	活力	50.21	6.76	1666	50.02	7.33	1219	
	社会生活機能	48.37	8.60	1651	47.75	8.79	1222	
	日常役割機能(精神)	49.36	7.08	1653	48.30	7.61	1204	*
	心の健康	47.98	7.35	1668	47.20	7.51	1222	*
	身体的サマリースコア	48.71	7.32	1580	48.50	7.23	1187	
	精神的サマリースコア	47.84	7.33	1580	46.91	7.62	1187	*
合計	身体機能	49.81	6.97	2881	49.42	7.20	2159	
	日常役割機能(身体)	49.90	6.99	2889	49.17	7.29	2163	*
	体の痛み	50.30	8.65	2924	49.82	8.44	2158	*
	全体的健康感	49.30	6.92	2941	48.36	6.53	2169	*
	活力	50.55	6.80	2933	50.26	7.38	2164	
	社会生活機能	49.19	8.21	2909	48.39	8.65	2166	*
	日常役割機能(精神)	49.91	6.70	2910	48.65	7.34	2135	*
	心の健康	48.81	7.28	2930	47.81	7.41	2169	*
	身体的サマリースコア	49.17	6.98	2794	48.83	7.21	2105	
	精神的サマリースコア	48.53	7.21	2794	47.43	7.39	2105	*

問9 ア 身長・体重・BMI

ここでは、現在の身長と体重の平均値を簡単に触れ、身長と体重の回答から算出したBMI〔体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m))〕の分析へと進むこととする。

全体の平均身長は161.1cm、平均体重は58.6kgとなっている。それらを性/年齢別でみると、下表のとおりである。

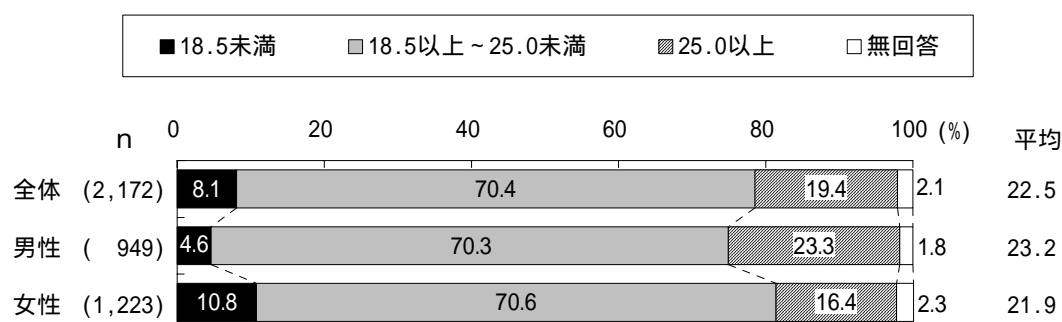
	<男性>		<女性>	
	平均身長 (cm)	平均体重 (kg)	平均身長 (cm)	平均体重 (kg)
全体	168.2	65.8	155.5	52.9
20歳未満	169.8	63.3	157.6	52.0
20～29歳	172.9	66.6	158.0	52.0
30～39歳	171.0	68.7	158.5	52.4
40～49歳	170.8	68.7	157.6	54.5
50～59歳	169.1	68.0	155.6	53.3
60～69歳	166.7	64.4	153.7	54.2
70歳以上	163.5	61.2	150.6	50.6
75～79歳	162.0	60.1	150.8	52.9
80歳以上	163.5	58.9	147.8	45.7

身長と体重の回答から算出したBMIについては、全体では、「18.5以上～25.0未満」が70.4%で最も高く、「25.0以上」が19.4%となっている。

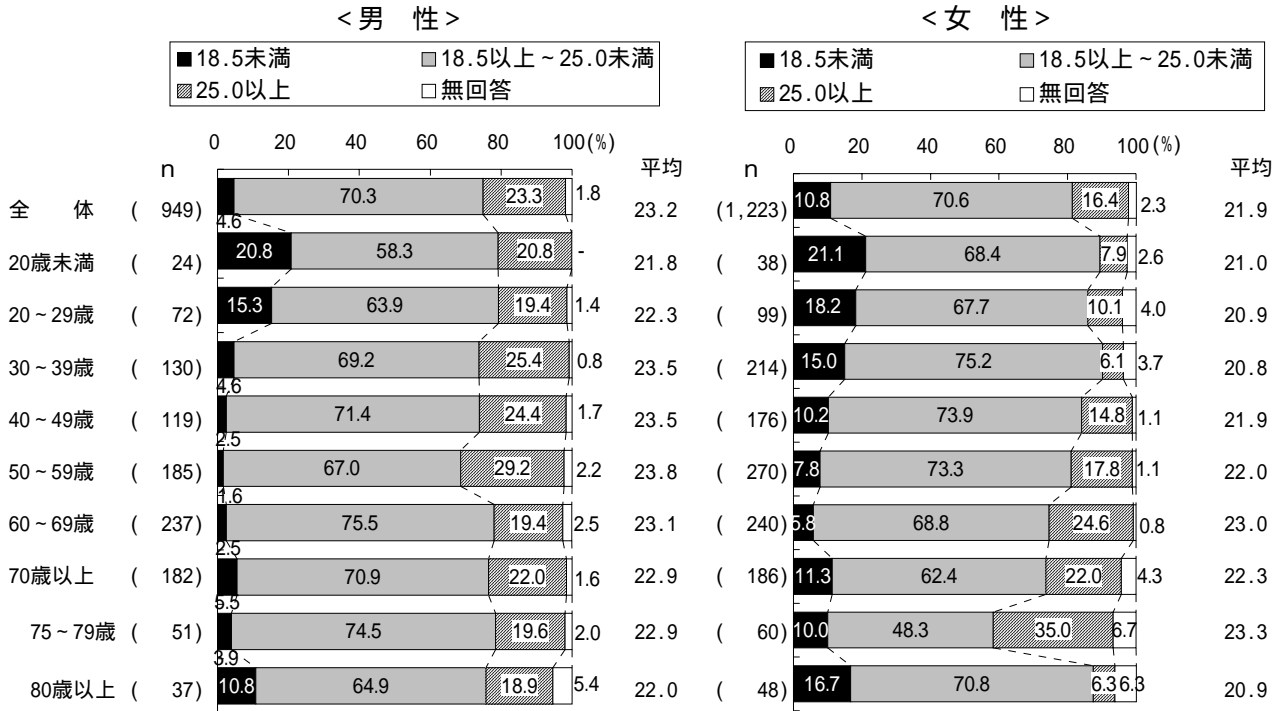
性別でみると、「18.5未満」は男性が4.6%、女性が10.8%で女性の方が6.2ポイント高くなっている。逆に、「25.0以上」は男性が23.3%、女性が16.4%で男性の方が6.9ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「18.5未満」は、男性では20歳未満が20.8%、女性でも20歳未満が21.1%で最も高くなっている。「18.5以上～25.0未満」は、男女ともにいずれの年齢層でも高くなっており、「25.0以上」は、男性では50～59歳が29.2%、女性では60～69歳が24.6%で最も高くなっている。

問9ア 身長・体重・BMI (全体・性別)



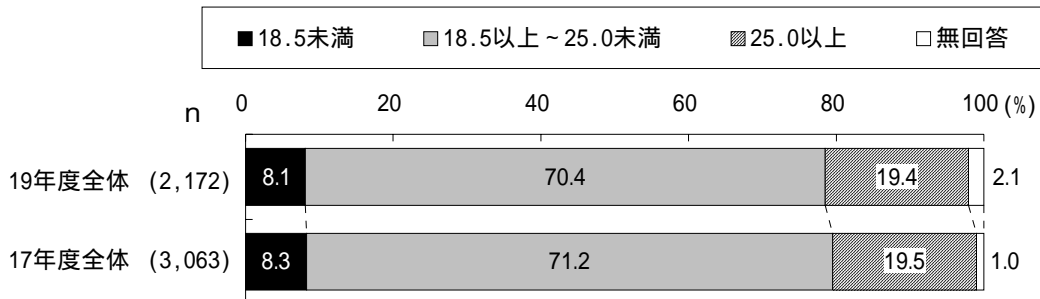
問9ア 身長・体重・BMI（性/年齢別）



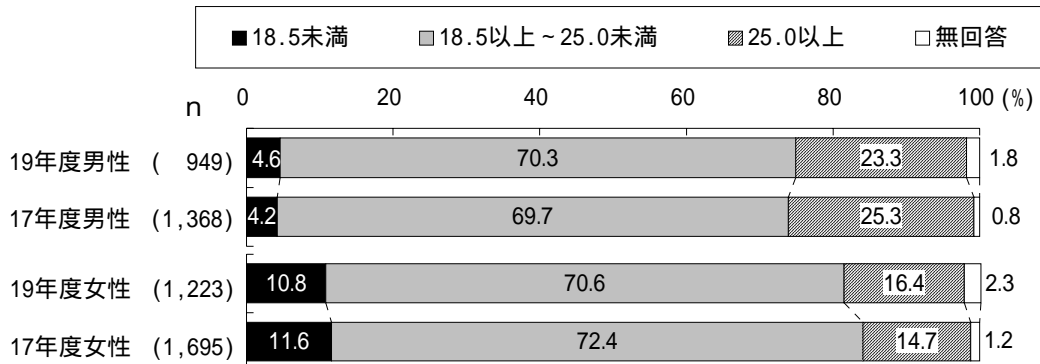
17年度調査結果と比較すると、全体、性別のいずれにおいても、特に大きな違いはみられない。

【17年度調査との比較】

身長・体重・BMI（全体）



身長・体重・BMI（性別）



問9 イ お腹まわり

全体では、「85cm未満」が67.4%で最も高く、「85～90cm未満」が20.6%、「90cm以上」が8.8%となっている。

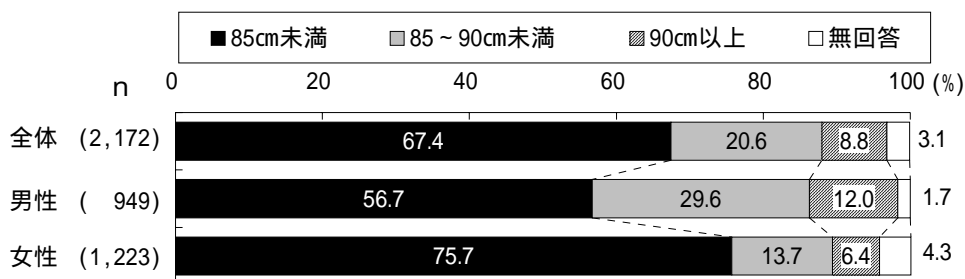
性別で見ると、「85cm未満」は男性が56.7%、女性が75.7%で女性の方が19.0ポイント高くなっている。逆に、「85～90cm未満」は男性が29.6%、女性が13.7%で男性の方が15.9ポイント高く、「90cm以上」でも男性が12.0%、女性が6.4%で男性の方が5.6ポイント高くなっている。

また、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の診断基準（男性85cm以上 女性90cm以上）と照らし合わせてみると、男性の41.6%、女性の6.4%は内臓脂肪の蓄積が疑われており、男性の方が女性よりも35.2ポイント高くなっている。

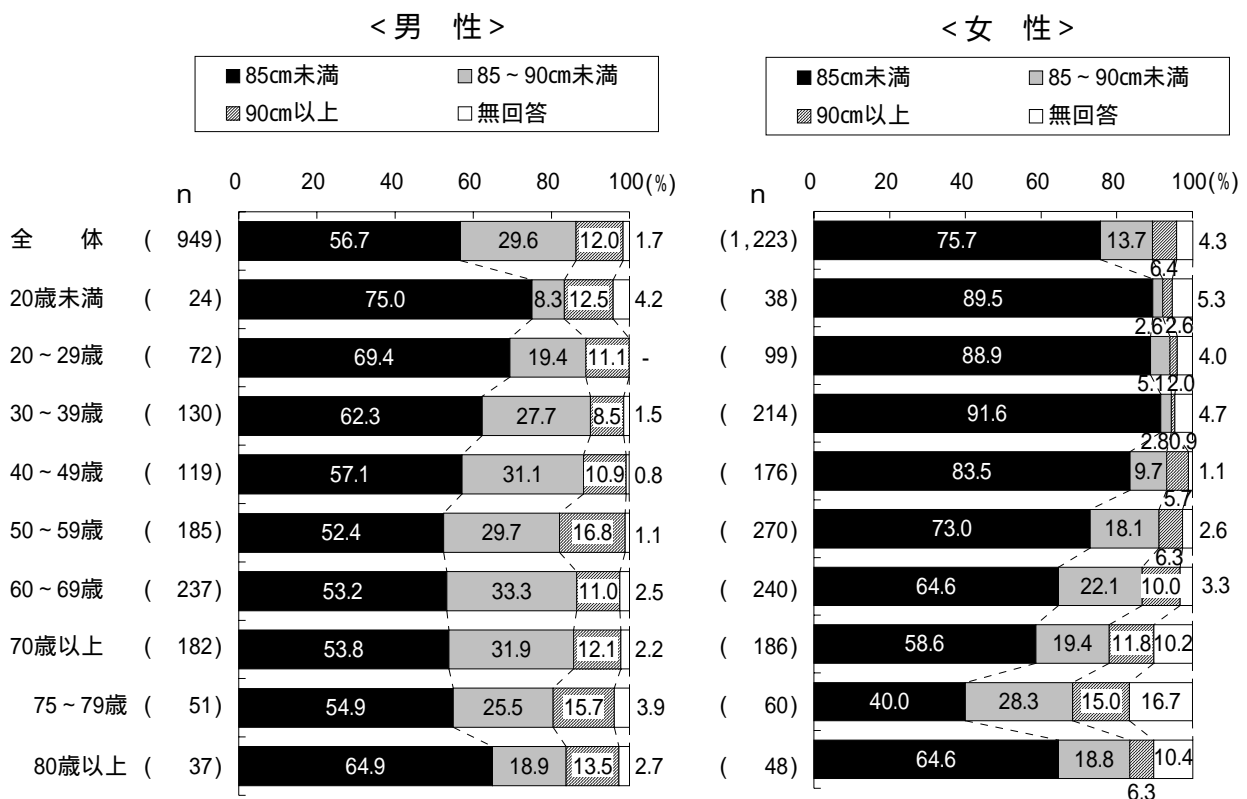
性/年齢別では、男性は《85cm以上》（「85～90cm未満」+「90cm以上」）について、女性は「90cm以上」について触れるものとする。

まず、男性では、《85cm以上》は50～59歳が46.5%で最も高く、60～69歳が44.3%、70歳以上が44.0%となっている。一方、女性では、「90cm以上」は70歳以上が11.8%で最も高く、60～69歳で10.0%となっている。

問9 イ お腹まわり（全体・性別）



問9 イ お腹まわり（性/年齢別）

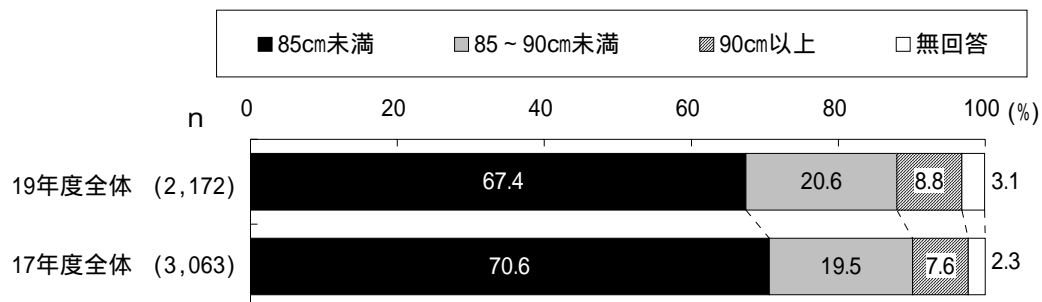


17年度調査結果と比較すると、全体では、「85cm未満」(17年度：70.6% 19年度：67.4%)が3.2ポイント減少している。

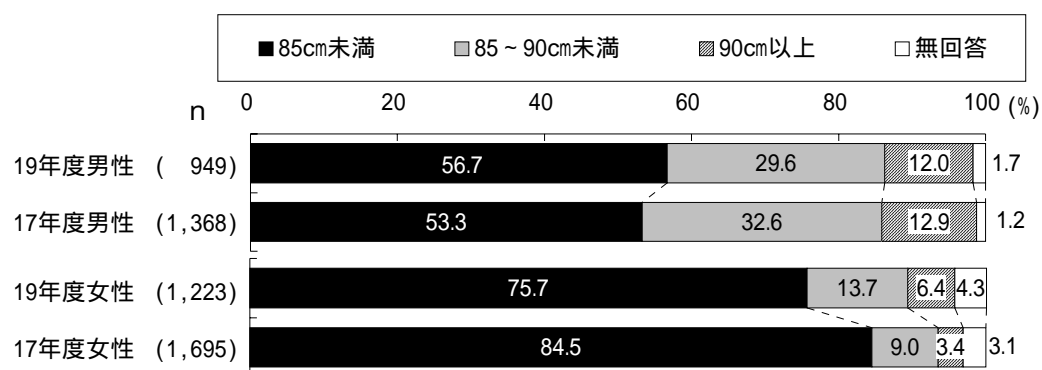
性別では、「85cm未満」が、男性(17年度：53.3% 19年度：56.7%)で3.4ポイント増加し、女性(17年度：84.5% 19年度：75.7%)で8.8ポイント減少している。また、男性の《85cm以上》(17年度：45.5% 19年度：41.6%)は3.9ポイント減少し、女性の「90cm以上」(17年度：3.4% 19年度：6.4%)は3ポイント増加している。

【平成17年度調査との比較】

お腹まわり(全体)



お腹まわり(性別)



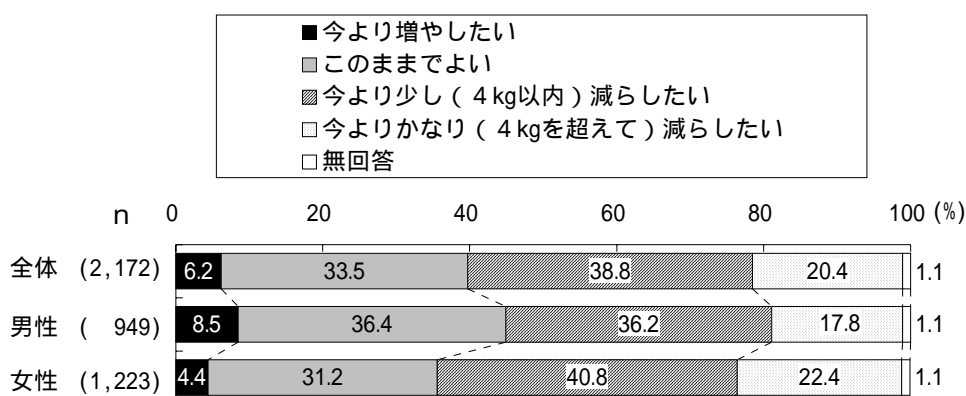
問9 ウ 現在の体重についての考え

全体では、「今より増やしたい」が6.2%、「このままでよい」が33.5%となっている。一方、「今より少し（4kg以内）減らしたい」が38.8%で最も高く、「今よりかなり（4kgを超えて）減らしたい」が20.4%で、これら2つを合わせると、《減らしたい》は59.2%となっている。

性別でみると、「今より増やしたい」は、男性が8.5%、女性が4.4%で男性の方が4.1ポイント高く、「このままでよい」でも、男性が36.4%、女性が31.2%で男性の方が5.2ポイント高くなっている。逆に、《減らしたい》は、男性が54.0%、女性が63.2%で女性の方が9.2ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「今より増やしたい」は、男性の20歳未満で37.5%と最も高く、「このままでよい」は女性の70歳以上で47.3%となっている。《減らしたい》は、男性では30～39歳が66.9%、40～49歳が63.9%と高く、女性では40～49歳が73.9%、20～29歳が72.7%、30～39歳が71.0%などと高くなっている。

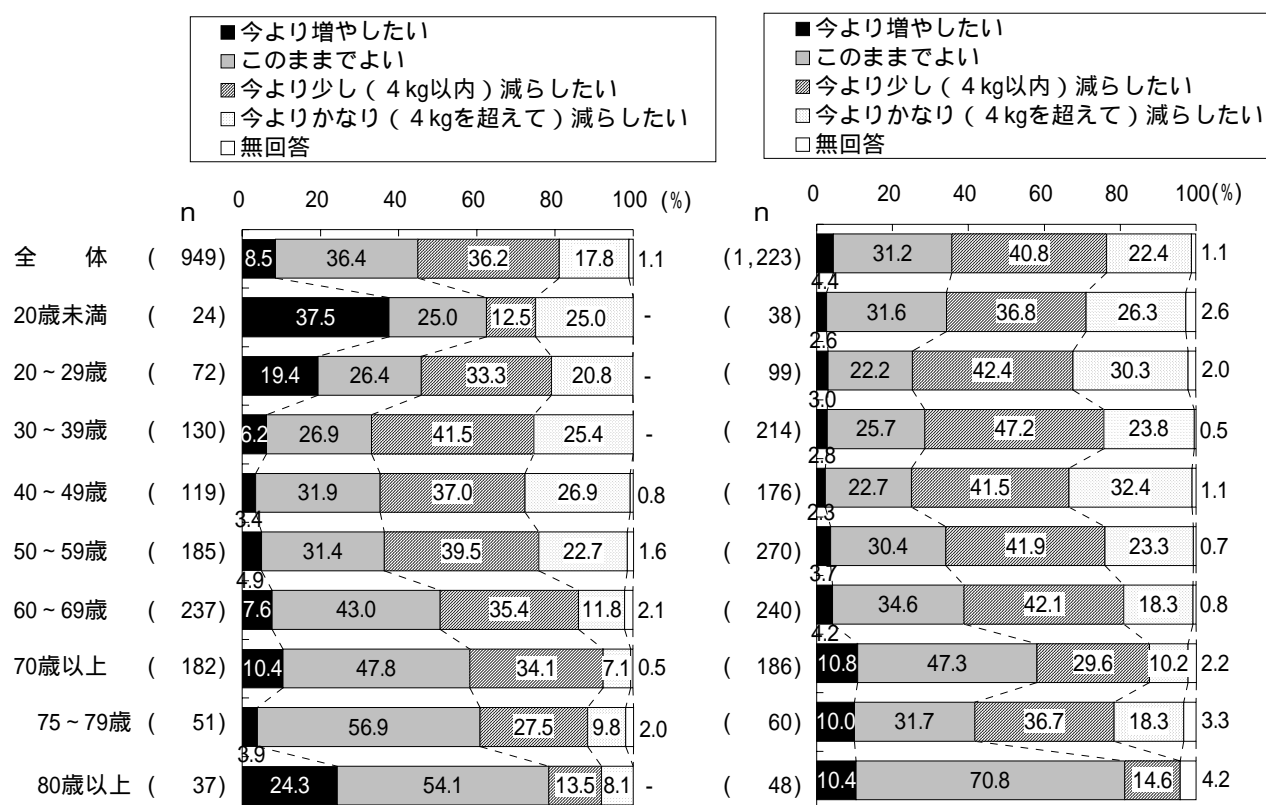
問9ウ 現在の体重についての考え（全体・性別）



問9ウ 現在の体重についての考え（性/年齢別）

< 男性 >

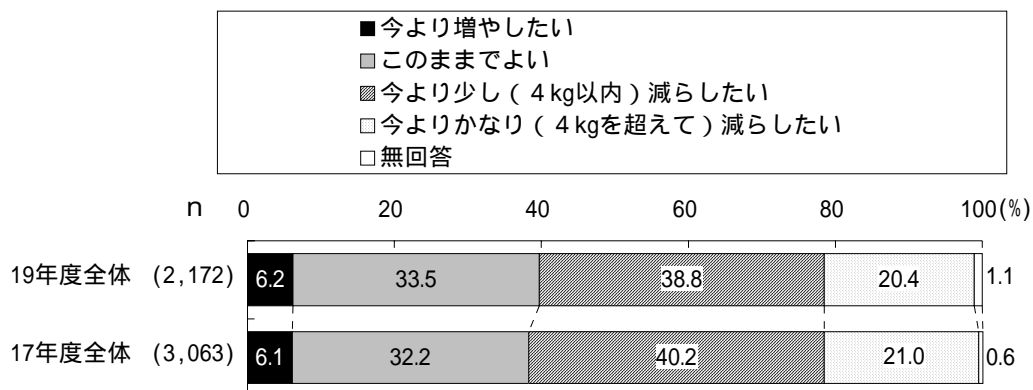
< 女性 >



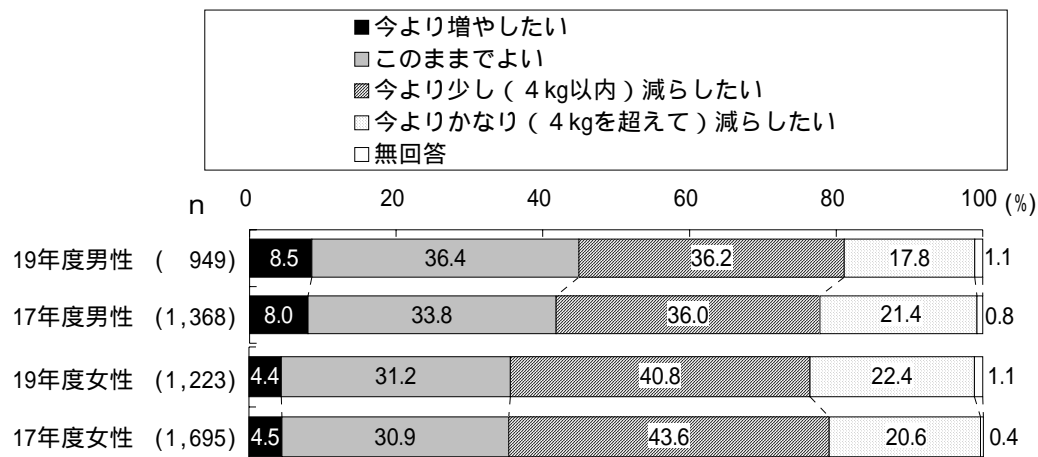
17年度調査結果と比較すると、全体では、特に大きな違いはみられない。
 性別では、「今よりかなり（4kgを超えて）減らしたい」が、男性（17年度：21.4% 19年度：17.8%）
 で3.6ポイント減少している。

【平成17年度調査との比較】

現在の体重についての考え（全体）



現在の体重についての考え（性別）



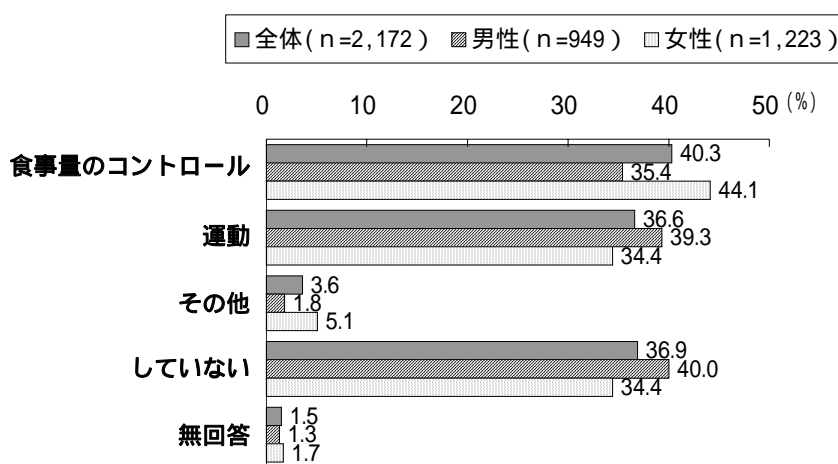
問10 体重管理のためにしていること（複数回答）

全体では、「食事量のコントロール」が40.3%で最も高く、「運動」が36.6%となっている。一方、「していない」が36.9%となっている。

性別でみると、「食事量のコントロール」は、男性が35.4%、女性が44.1%で女性の方が8.7ポイント高くなっている。「していない」は、男性が40.0%、女性が34.4%で男性の方が5.6ポイント高くなっている。また、「運動」でも、男性が39.3%、女性が34.4%で男性の方が4.9ポイント高い。

性/年齢別でみると、「食事量のコントロール」は、男性では70歳以上が40.7%、女性では70歳以上が51.1%で最も高くなっている。「運動」は、男性では20歳未満が54.2%、女性では60～69歳が43.8%で最も高くなっている。一方、「していない」は、男性では50～59歳が48.1%で最も高く、40～49歳が47.9%、30～39歳が47.7%となっている。女性では20歳未満が52.6%で最も高くなっている。

問10 体重管理のためにしていること（全体・性別）

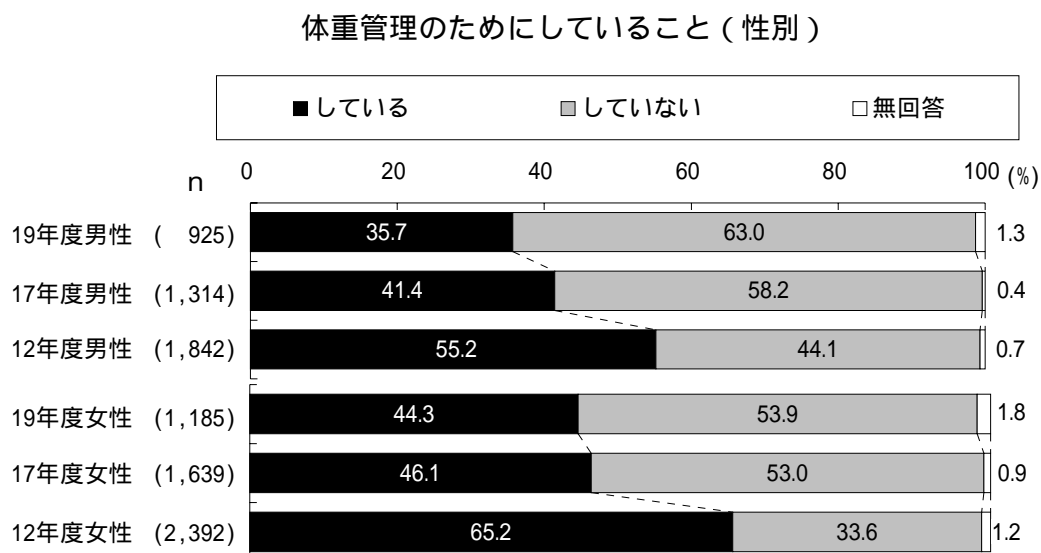
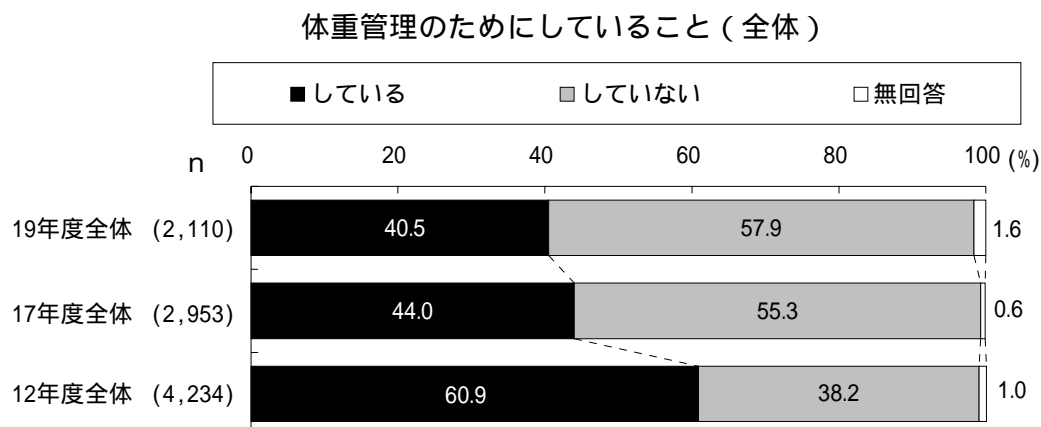


問10 体重管理のためにしていること（性/年齢別）

	<男 性>						<女 性>					
	n	食事量のコントロール	運動	その他	していない	無回答	n	食事量のコントロール	運動	その他	していない	無回答
全 体	949	336	373	17	380	12	1,223	539	421	62	421	21
	100.0	35.4	39.3	1.8	40.0	1.3	100.0	44.1	34.4	5.1	34.4	1.7
20歳未満	24	6	13	1	7	-	38	14	9	1	20	-
	100.0	25.0	54.2	4.2	29.2	-	100.0	36.8	23.7	2.6	52.6	-
20～29歳	72	25	24	2	32	1	99	30	30	6	47	1
	100.0	34.7	33.3	2.8	44.4	1.4	100.0	30.3	30.3	6.1	47.5	1.0
30～39歳	130	45	46	-	62	-	214	99	54	10	87	1
	100.0	34.6	35.4	-	47.7	-	100.0	46.3	25.2	4.7	40.7	0.5
40～49歳	119	35	41	-	57	1	176	77	61	10	62	2
	100.0	29.4	34.5	-	47.9	0.8	100.0	43.8	34.7	5.7	35.2	1.1
50～59歳	185	63	55	2	89	2	270	114	99	16	91	4
	100.0	34.1	29.7	1.1	48.1	1.1	100.0	42.2	36.7	5.9	33.7	1.5
60～69歳	237	88	106	6	79	6	240	110	105	10	67	3
	100.0	37.1	44.7	2.5	33.3	2.5	100.0	45.8	43.8	4.2	27.9	1.3
70歳以上	182	74	88	6	54	2	186	95	63	9	47	10
	100.0	40.7	48.4	3.3	29.7	1.1	100.0	51.1	33.9	4.8	25.3	5.4
75～79歳	51	22	24	1	15	2	60	32	25	2	12	3
	100.0	43.1	47.1	2.0	29.4	3.9	100.0	53.3	41.7	3.3	20.0	5.0
80歳以上	37	13	17	2	14	-	48	20	12	1	22	1
	100.0	35.1	45.9	5.4	37.8	-	100.0	41.7	25.0	2.1	45.8	2.1

12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体、性別のいずれにおいても、「している」は調査ごとに減少しており、逆に、「していない」が増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

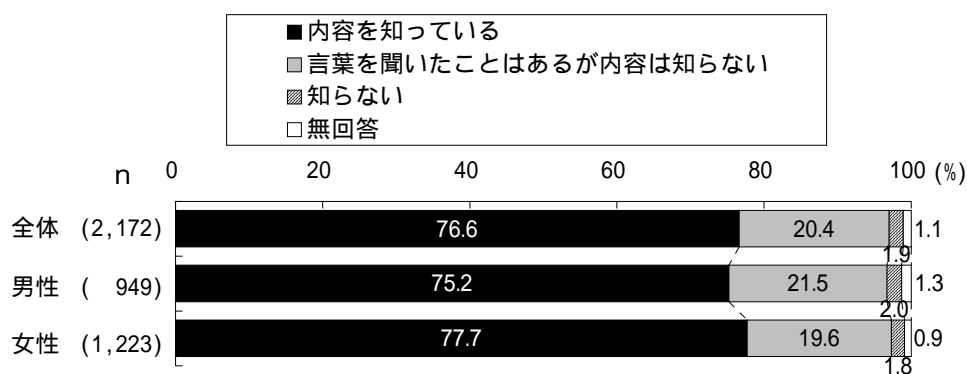
問11 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知

全体では、「内容を知っている」が76.6%で最も高く、「言葉を聞いたことはあるが内容は知らない」が20.4%となっている。

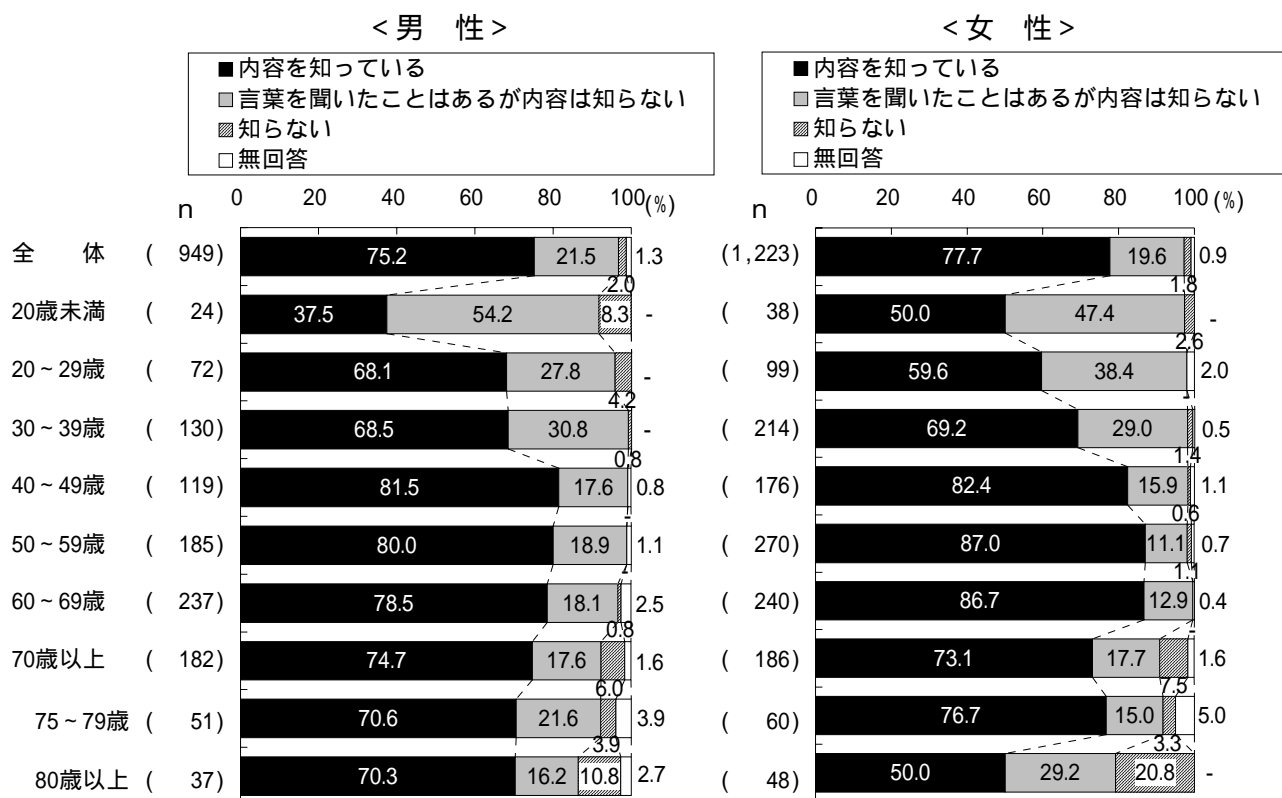
性別では、特に大きな違いはみられない。

性/年齢別で見ると、「内容を知っている」は、男性では20歳未満が37.5%、女性でも20歳未満が50.0%で低くなっている。

問11 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知（全体・性別）



問11 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知（性/年齢別）



《 2 . 栄養・食生活》

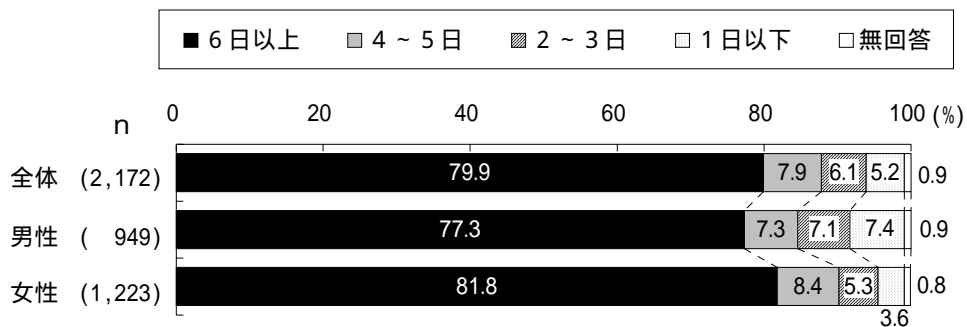
問12 1週間に朝食をとる日数

全体では、「6日以上」が79.9%で最も高くなっている。

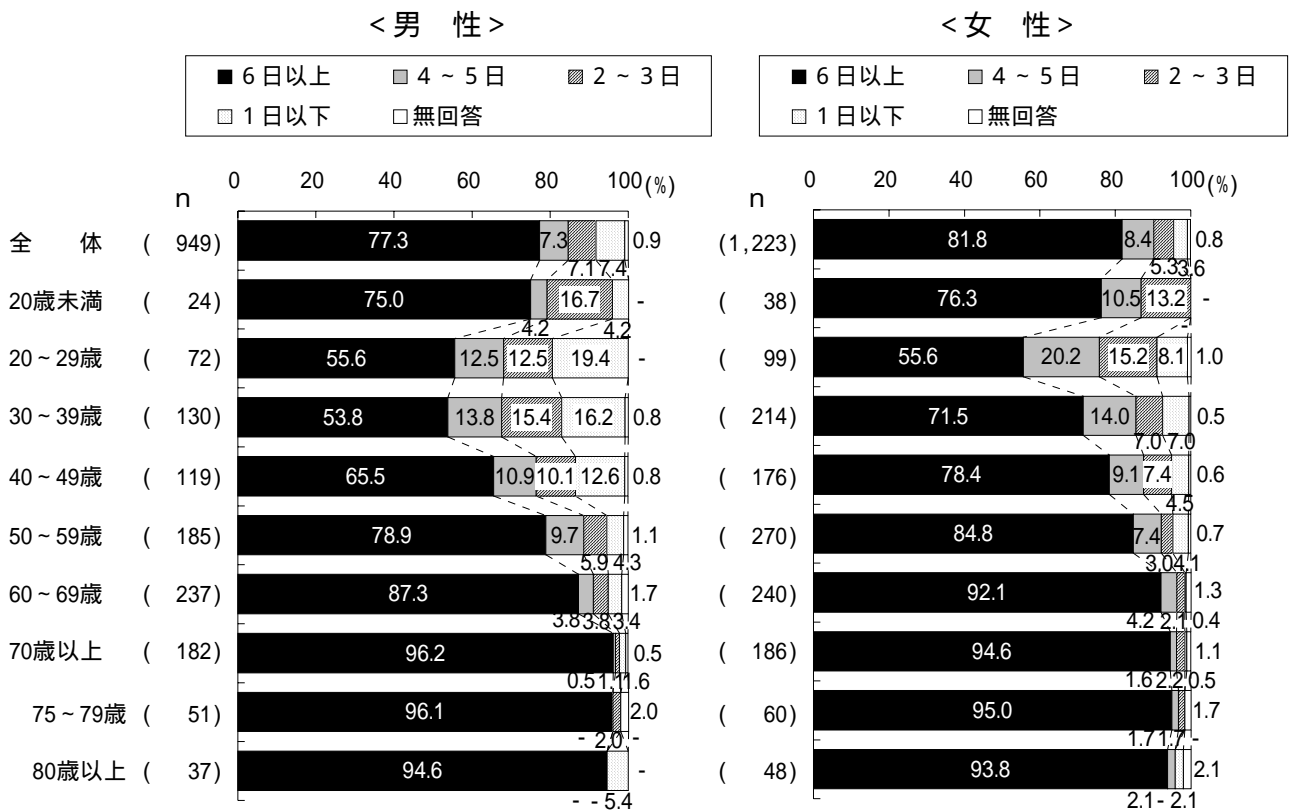
性別でみると、「6日以上」は、男性が77.3%、女性が81.8%で女性の方が4.5ポイント高く、逆に、「1日以下」は男性が7.4%、女性が3.6%で男性の方が3.8ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「6日以上」は、男性では70歳以上が96.2%、女性でも70歳以上が94.6%で最も高くなっている。また、「1日以下」は、男性の20～29歳で19.4%と高い。

問12 1週間に朝食をとる日数（全体・性別）



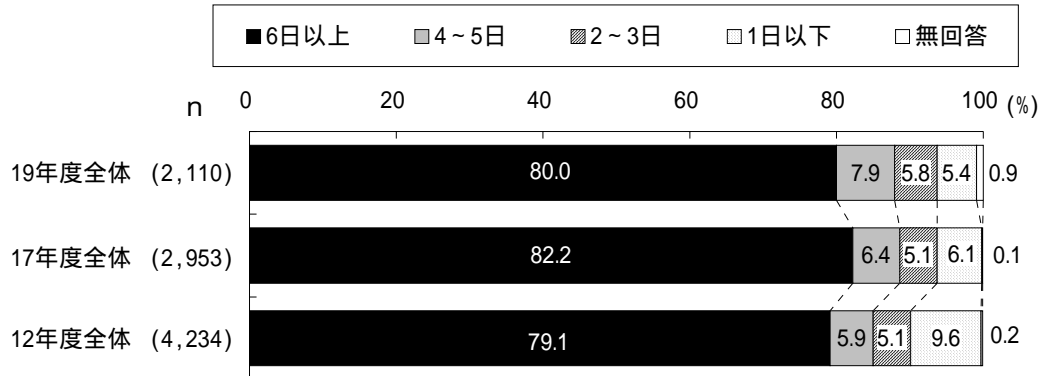
問12 1週間に朝食をとる日数（性/年齢別）



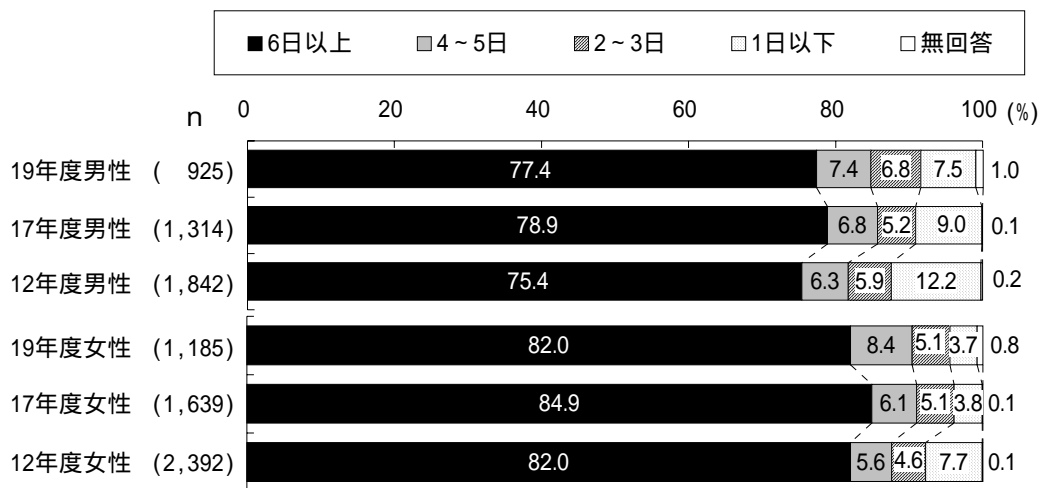
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体、性別のいずれにおいても、「6日以上」が17年度から減少している。

【平成12年度・17年度調査との比較】

1週間に朝食をとる日数（全体）



1週間に朝食をとる日数（性別）



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15~19歳の回答者数を除く。

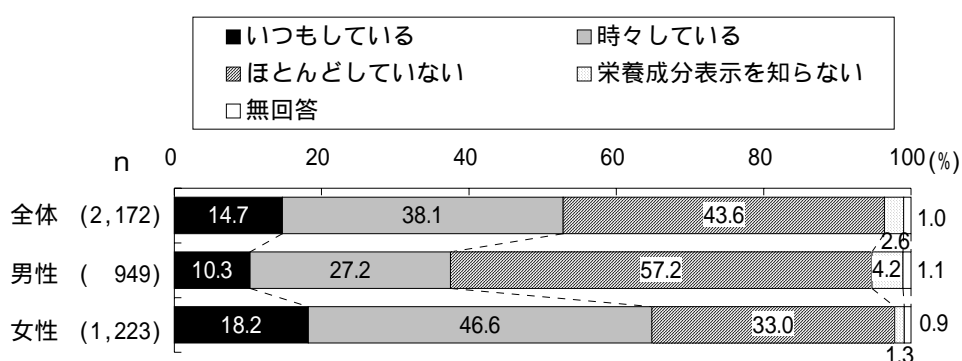
問13 外食や食品を購入する際に栄養成分表示を参考にする程度

全体では、「いつもしている」が14.7%、「時々している」が38.1%で、これら2つを合わせると、「《している》」は52.8%となっている。一方、「ほとんどしていない」が43.6%で最も高く、「栄養成分表示を知らない」が2.6%となっている。

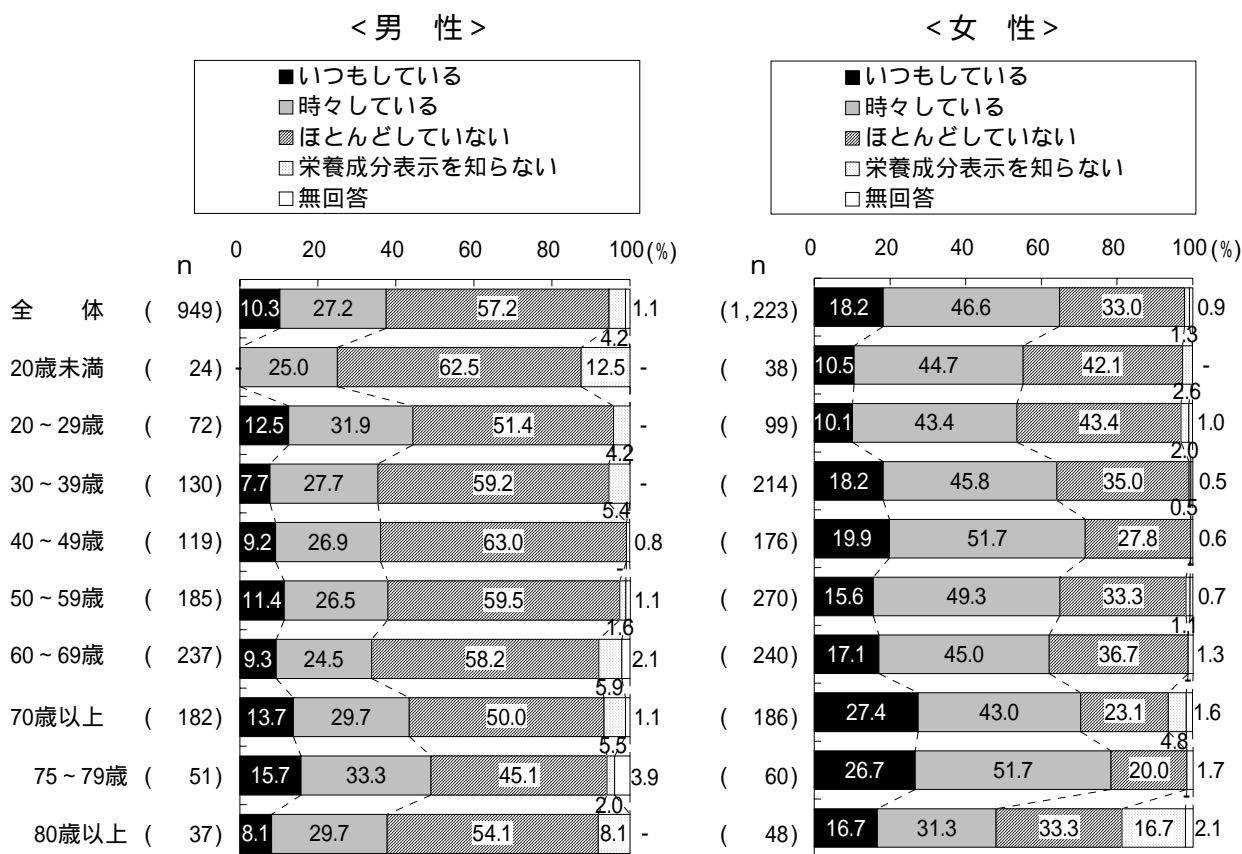
性別でみると、「《している》」は、男性が37.5%、女性が64.8%で女性の方が27.3ポイント高くなっている。逆に、「ほとんどしていない」は、男性が57.2%、女性が33.0%で男性の方が24.2ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「《している》」は、男性では20～29歳が44.4%で最も高く、70歳以上が43.4%となっている。女性では40～49歳が71.6%で最も高く、70歳以上で70.4%となっている。また、「ほとんどしていない」は、男性では40～49歳が63.0%で最も高く、20歳未満で62.5%となっており、男性の20歳未満は「栄養成分表示を知らない」が12.5%となっている。

問13 外食や食品を購入する際に栄養成分表示を参考にする程度（全体・性別）



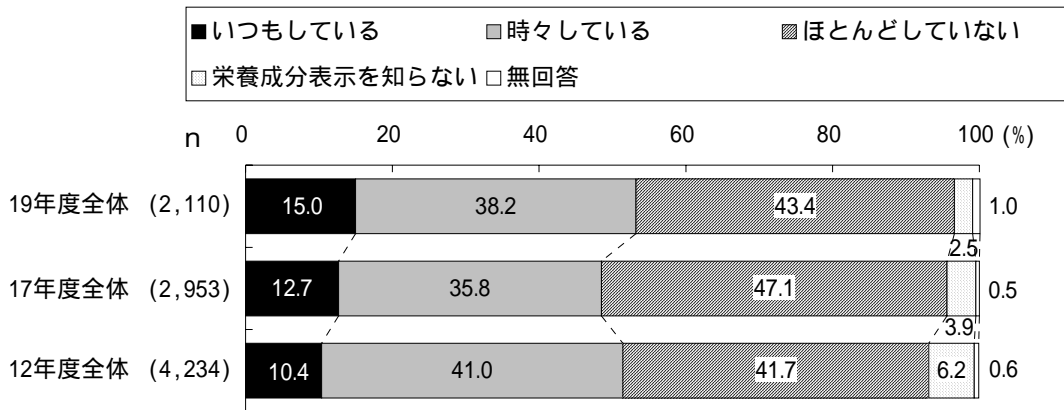
問13 外食や食品を購入する際に栄養成分表示を参考にする程度（性/年齢別）



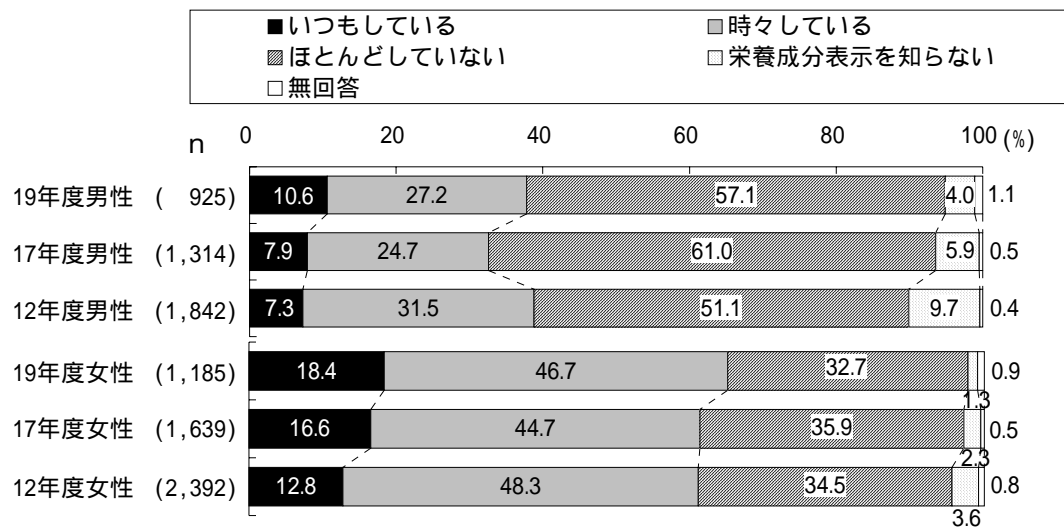
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体、性別のいずれにおいても「いつもしている」が調査ごとに増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】

外食や食品を購入する際に栄養成分表示を参考にする程度（全体）



外食や食品を購入する際に栄養成分表示を参考にする程度（性別）



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

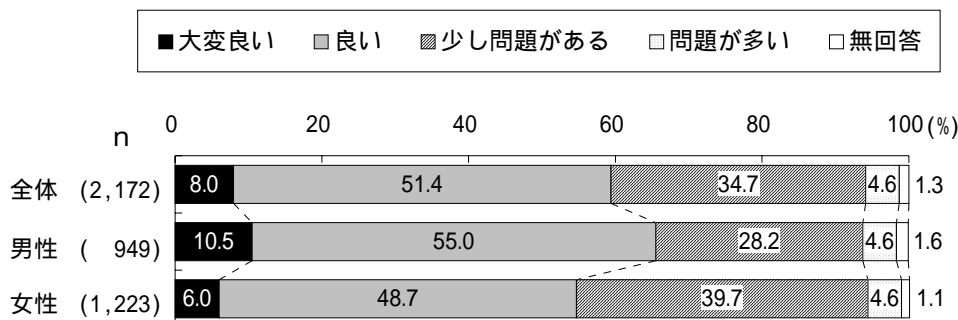
問14 現在とっている食事について思っていること

全体では、「大変良い」が8.0%で少数ながらも、「良い」が51.4%で最も高く、これら2つを合わせると、《良い》は59.4%となっている。一方、「少し問題がある」が34.7%、「問題が多い」が4.6%で、これら2つを合わせると、《問題がある》は39.3%となっている。

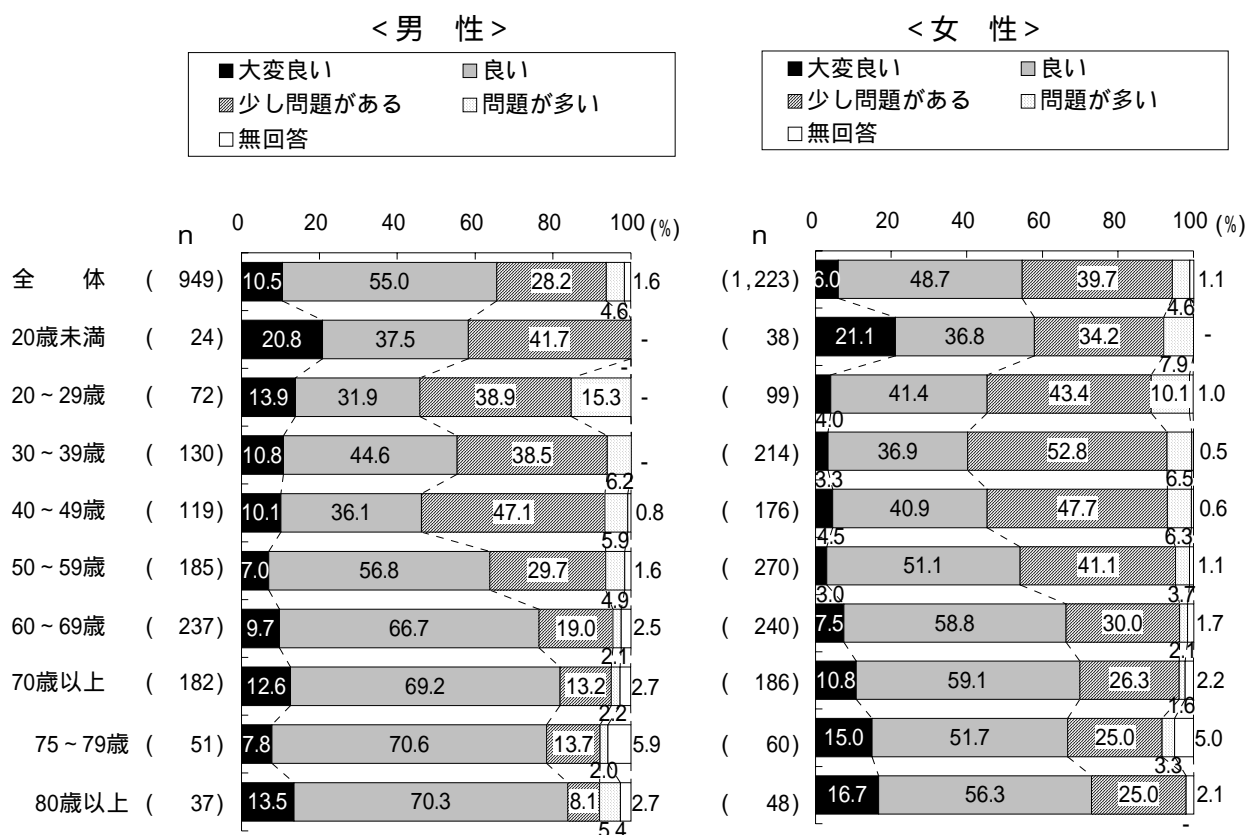
性別でみると、《良い》は、男性が65.5%、女性が54.7%で男性の方が10.8ポイント高く、逆に、「少し問題がある」は、男性が28.2%、女性が39.7%で女性の方が11.5ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「大変良い」は、男性では20歳未満が20.8%、女性でも20歳未満が21.1%で最も高くなっている。《良い》としてみた場合、男性の70歳以上は81.8%と高い。「少し問題がある」は、男性では40～49歳が47.1%、女性では30～39歳が52.8%で最も高くなっている。

問14 現在とっている食事について思っていること（全体・性別）



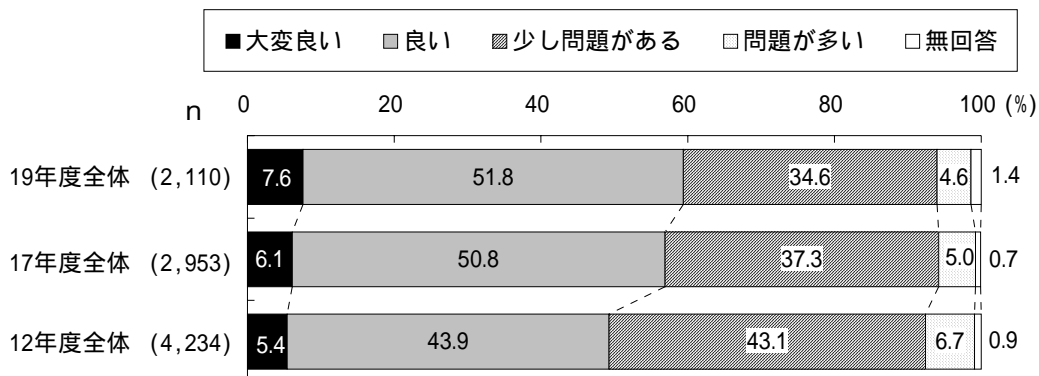
問14 現在とっている食事について思っていること（性/年齢別）



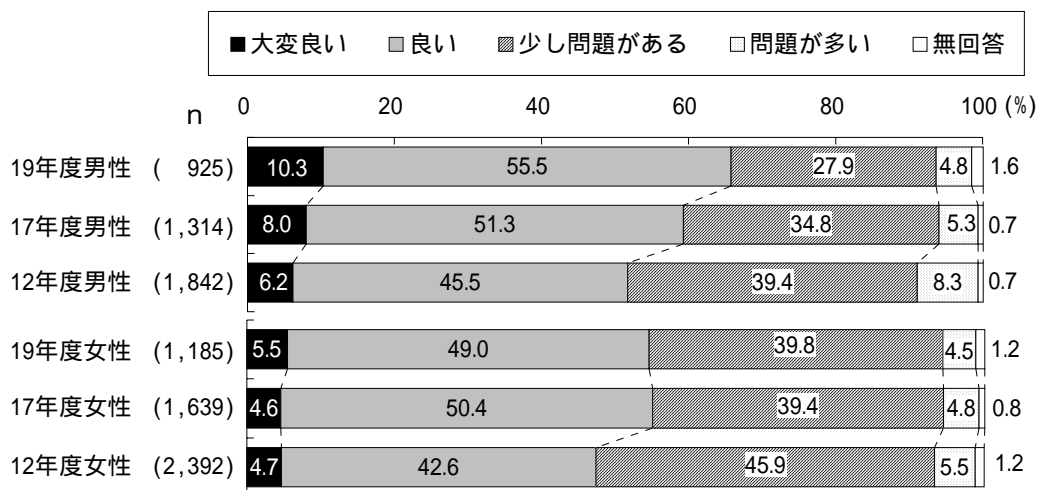
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体と男性で、《良い》が調査ごとに増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】

現在とっている食事について思っていること（全体）



現在とっている食事について思っていること（性別）



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

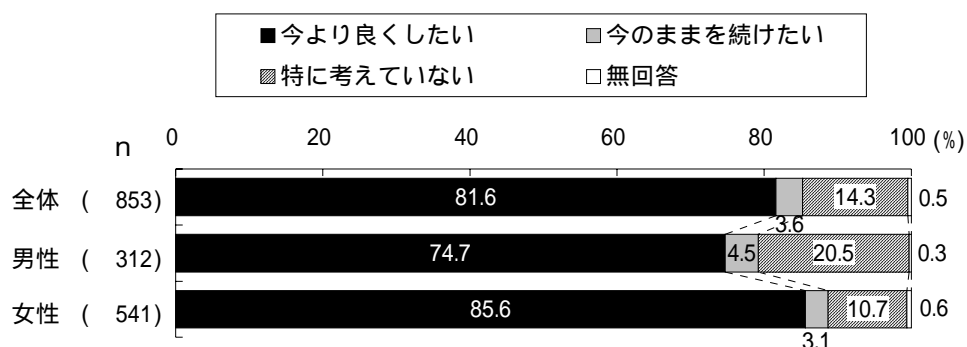
問14 - 1 食事に関する今後の考え

現在とっている食事を「少し問題がある」か「問題が多い」と回答した人（853人）に、今後の考えをたずねた結果、全体では、「今より良くしたい」が81.6%と最も高くなっている。

性別でみると、「今より良くしたい」は、男性が74.7%、女性が85.6%で女性の方が10.9ポイント高くなっている。逆に、「特に考えていない」は、男性が20.5%、女性が10.7%で男性の方が9.8ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「今より良くしたい」は、男性では30～39歳と40～49歳が81.0%、女性では40～49歳が90.5%で高くなっている。

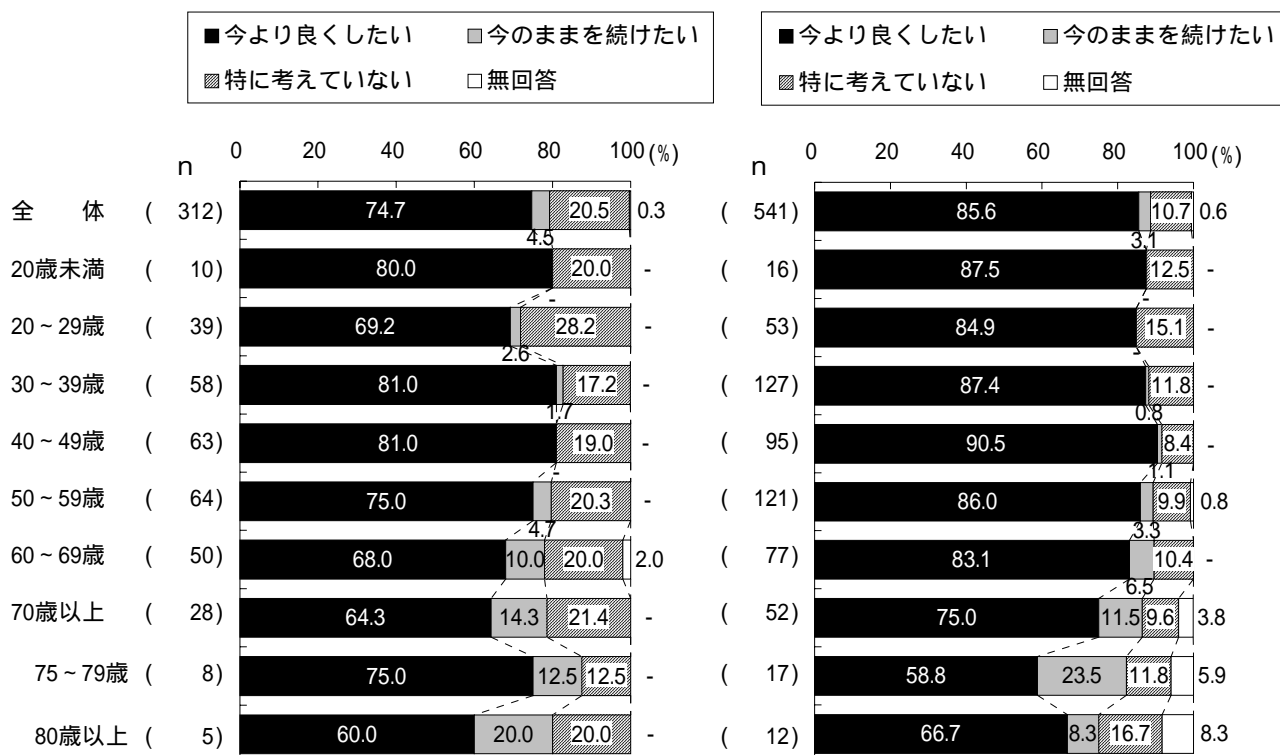
問14-1 食事に関する今後の考え（全体・性別）



問14-1 食事に関する今後の考え（性/年齢別）

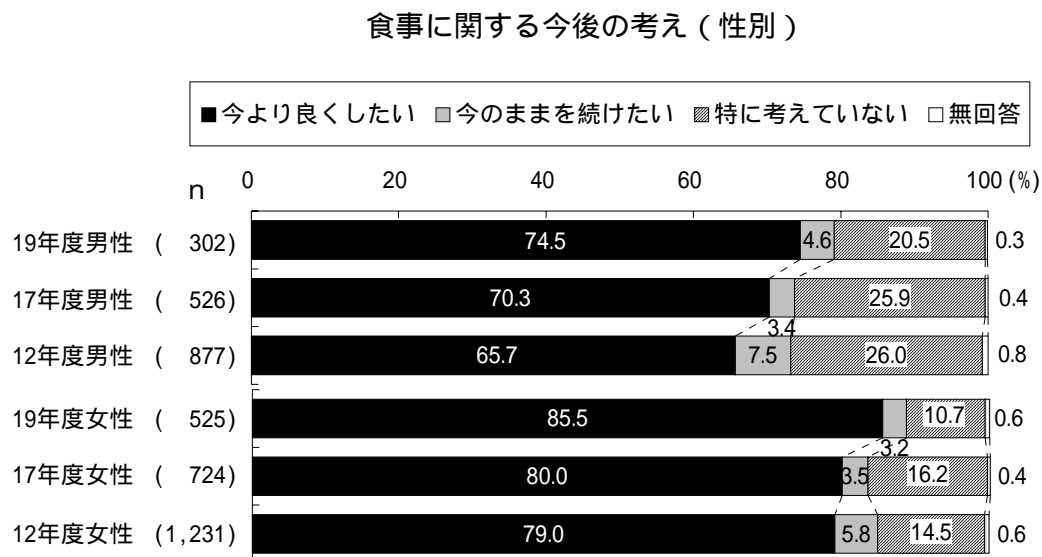
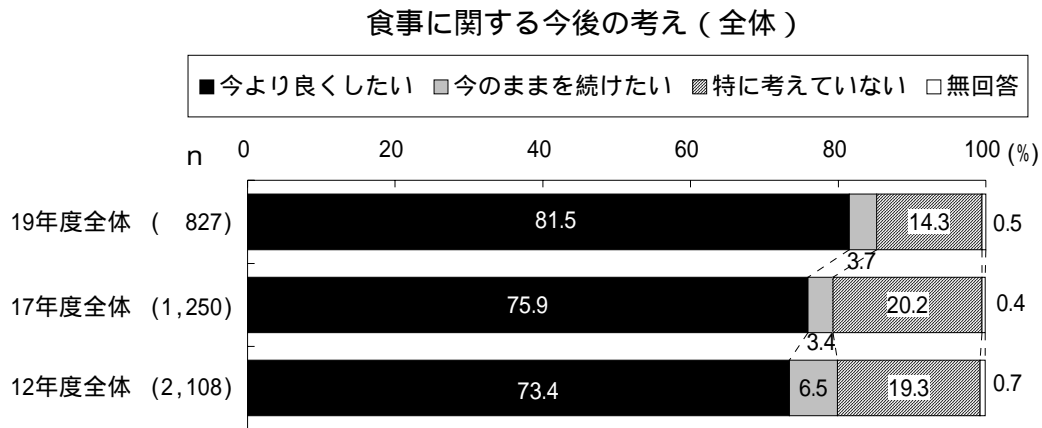
< 男性 >

< 女性 >



12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体、性別のいずれにおいても「今より良くしたい」が調査ごとに増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

《 3 . 運動》

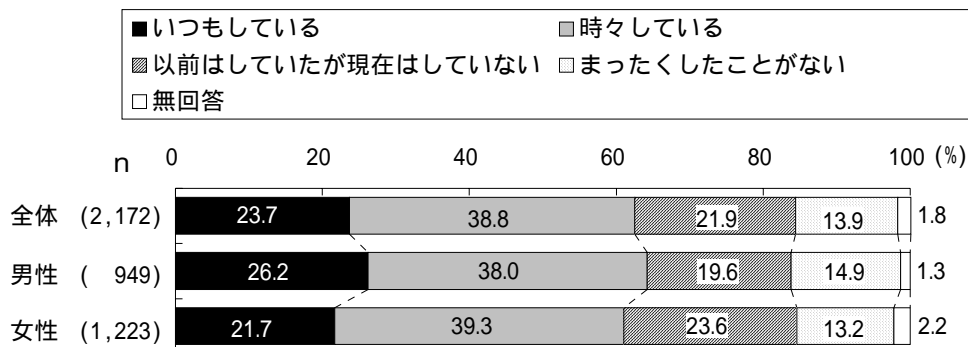
問15 健康の維持・増進のために身体を動かす程度

全体では、「いつもしている」が23.7%、「時々している」が38.8%で最も高く、これら2つを合わせると、《している》は62.5%となっている。このほか、「以前はしていたが現在はしていない」が21.9%、「まったくしたことがない」が13.9%となっている。

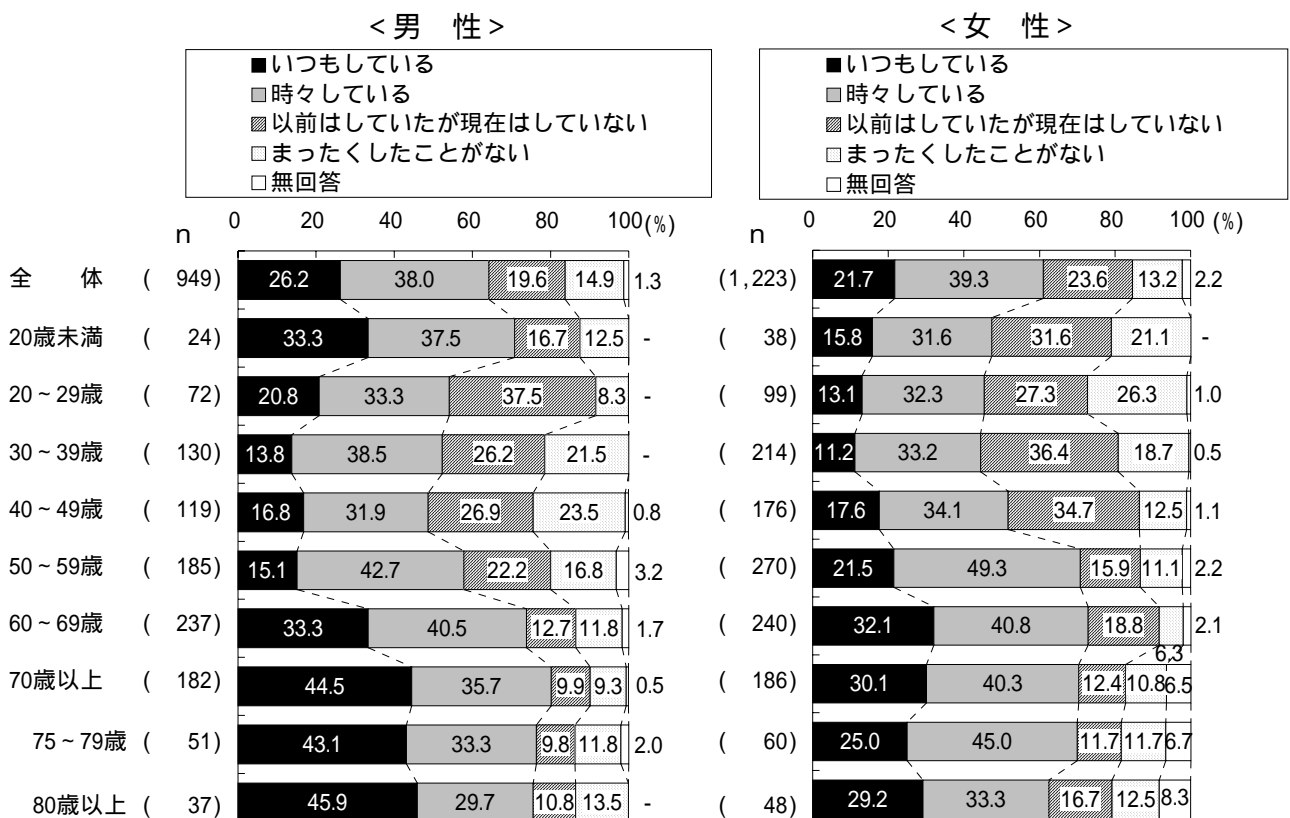
性別でみると、《している》は、男性が64.2%、女性が61.0%で男性の方が3.2ポイント高くなっている。逆に、「以前はしていたが現在はしていない」は、男性が19.6%、女性が23.6%で女性の方が4.0ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、《している》は、男性では70歳以上が80.2%で最も高く、60～69歳が73.8%となっている。女性では60～69歳が72.9%で最も高く、50～59歳が70.8%、70歳以上が70.4%などとなっている。また、「以前はしていたが現在はしていない」は、男性では20～29歳が37.5%、女性では30～39歳が36.4%、40～49歳が34.7%と高くなっている。

問15 健康の維持・増進のために身体を動かす程度（全体・性別）



問15 健康の維持・増進のために身体を動かす程度（性/年齢別）

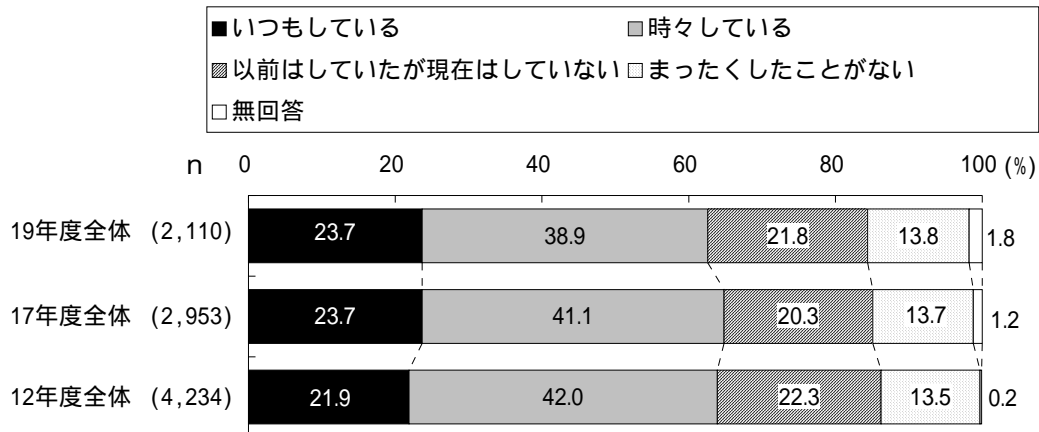


12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体では、《している》が過去2回の調査に比べて最も低くなっている。

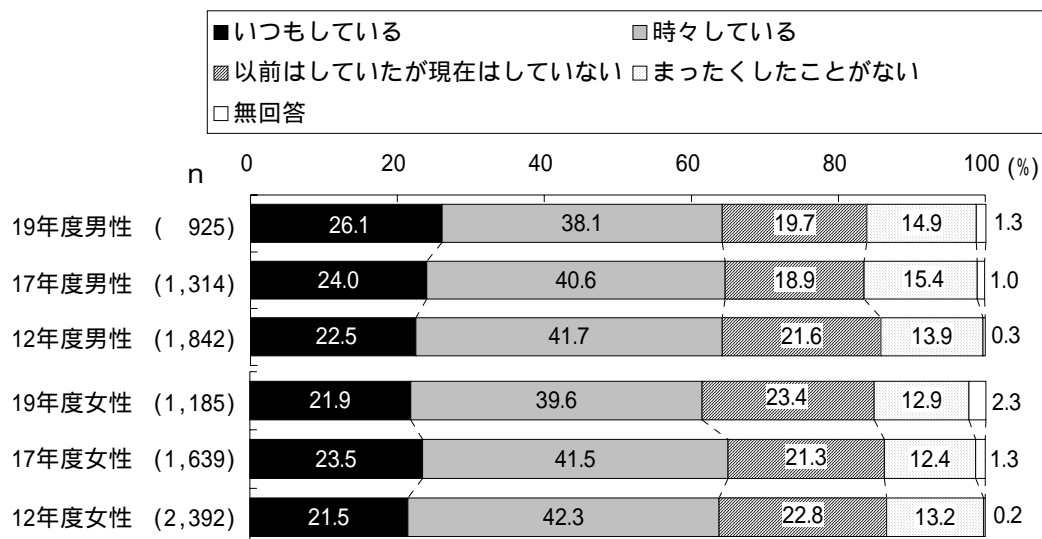
性別では、《している》が、特に女性で過去2回の調査に比べて低くなっている。

【平成12年度・17年度調査との比較】

健康の維持・増進のために身体を動かす程度（全体）



健康の維持・増進のために身体を動かす程度（性別）



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

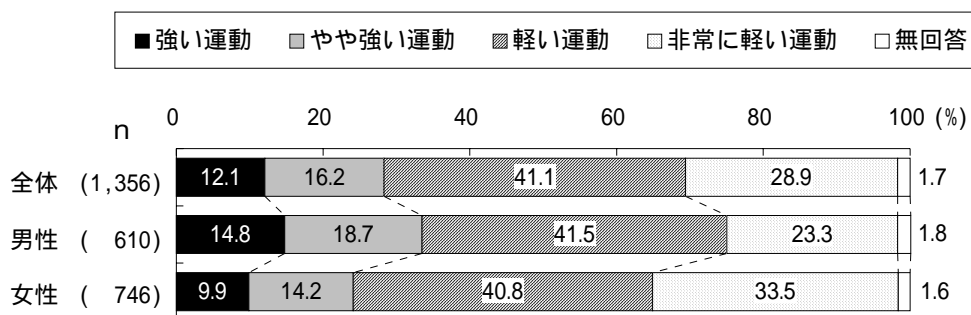
問15 - 1 運動の種類

健康の維持・増進のために身体を動かすことを「いつもしている」か「時々している」と回答した人（1,356人）に、その運動の種類をたずねた結果、全体では、「強い運動」が12.1%、「やや強い運動」が16.2%となっている。一方で、「軽い運動」が41.1%で最も高く、「非常に軽い運動」が28.9%となっている。

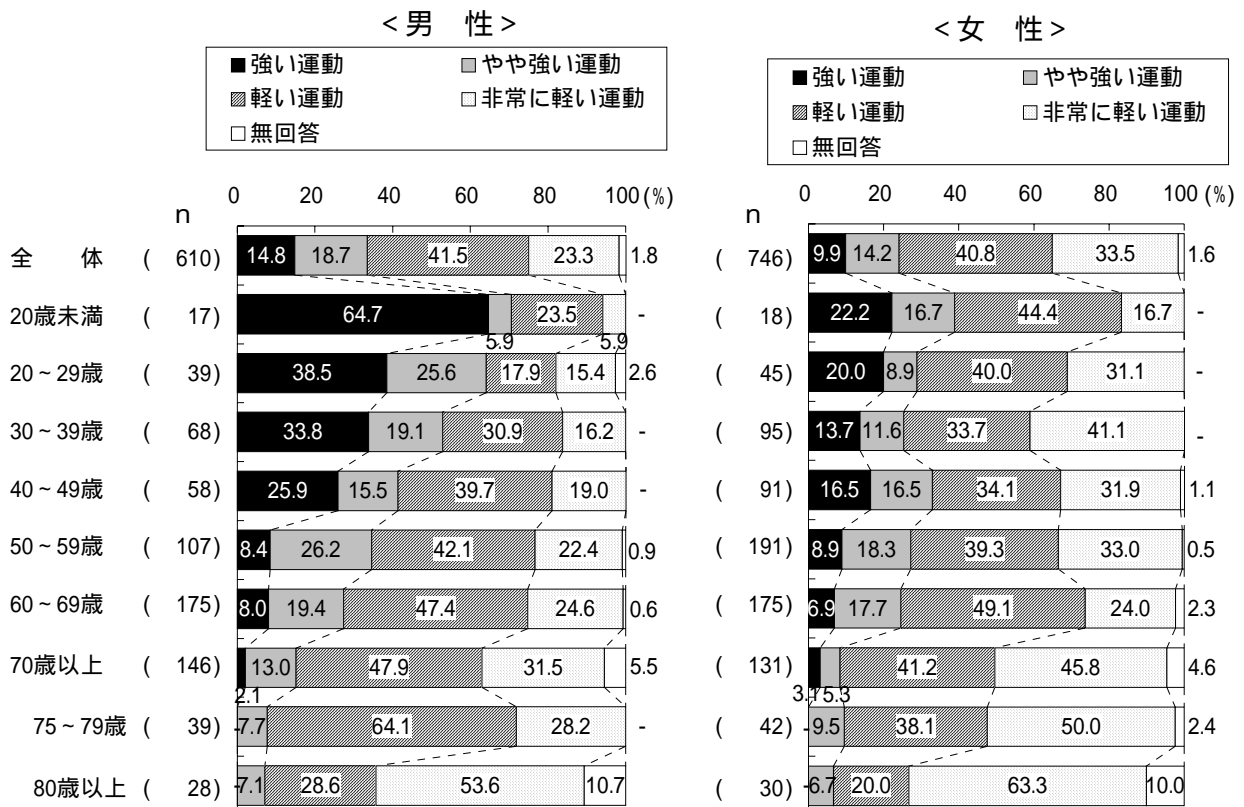
性別でみると、「強い運動」は、男性が14.8%、女性が9.9%で男性の方が4.9ポイント高く、「やや強い運動」でも、男性が18.7%、女性が14.2%で男性の方が4.5ポイント高くなっている。逆に、「非常に軽い運動」は、男性が23.3%、女性が33.5%で女性の方が10.2ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「強い運動」は、男性では20歳未満が64.7%で最も高く、年齢が上がるほど減少している。「軽い運動」は、男性では70歳以上が47.9%で最も高く、60～69歳で47.7%となっており、女性では60～69歳が49.1%と最も高くなっている。

問15-1 運動の種類（全体・性別）



問15-1 運動の種類（性/年齢別）



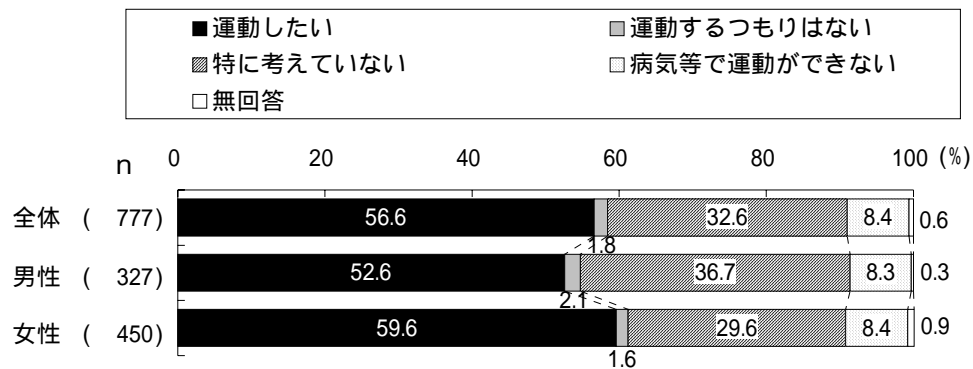
問15 - 2 運動についての今後の考え

健康の維持・増進のために身体を動かすことを「以前はしていたが現在はしていない」か「まったくしたことがない」と回答した人(777人)に、今後の考えをたずねた結果、全体では、「運動したい」が56.6%で最も高くなっている。このほか、「運動するつもりはない」が1.8%、「特に考えていない」が32.6%、「病気等で運動ができない」が8.4%となっている。

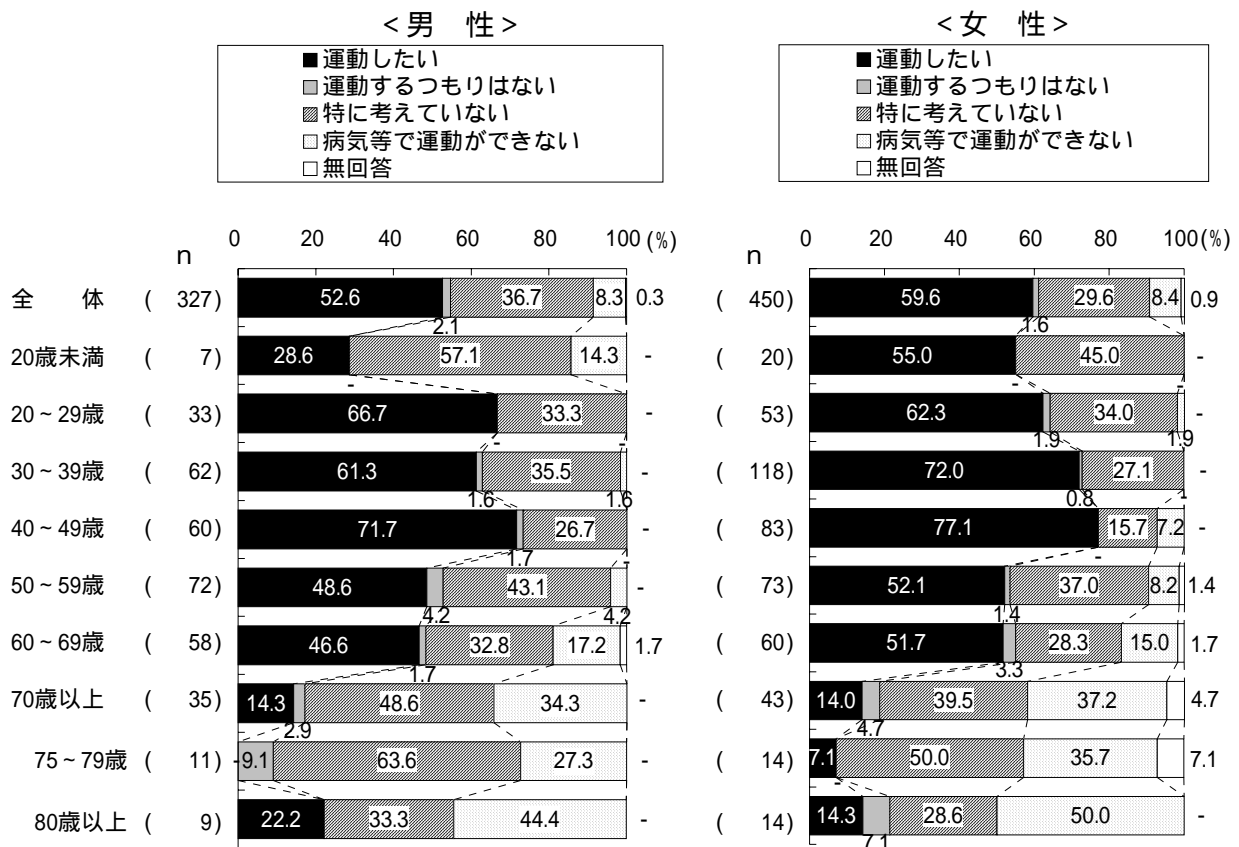
性別でみると、「運動したい」は、男性が52.6%、女性が59.6%で女性の方が7.0ポイント高くなっている。逆に、「特に考えていない」は、男性が36.7%、女性が29.6%で男性の方が7.1ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「運動したい」は、男性では40～49歳が71.7%、女性でも40～49歳が77.1%で最も高くなっている。

問15-2 運動についての今後の考え (全体・性別)



問15-2 運動についての今後の考え (性/年齢別)



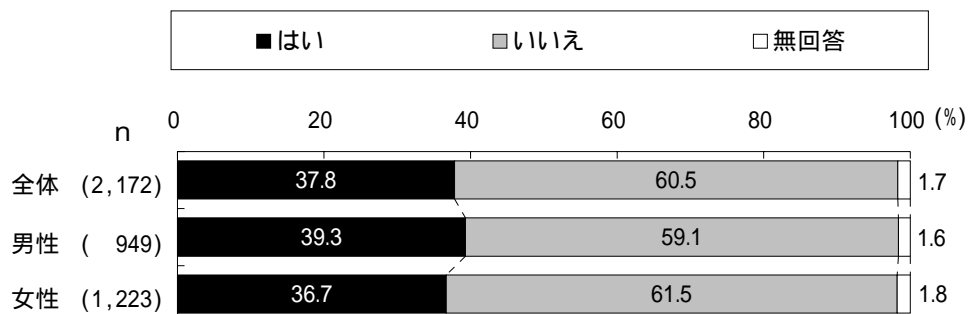
問16 1回30分以上の運動（週2回以上、1年以上）

全体では、「はい」が37.8%で、「いいえ」が60.5%と高くなっている。

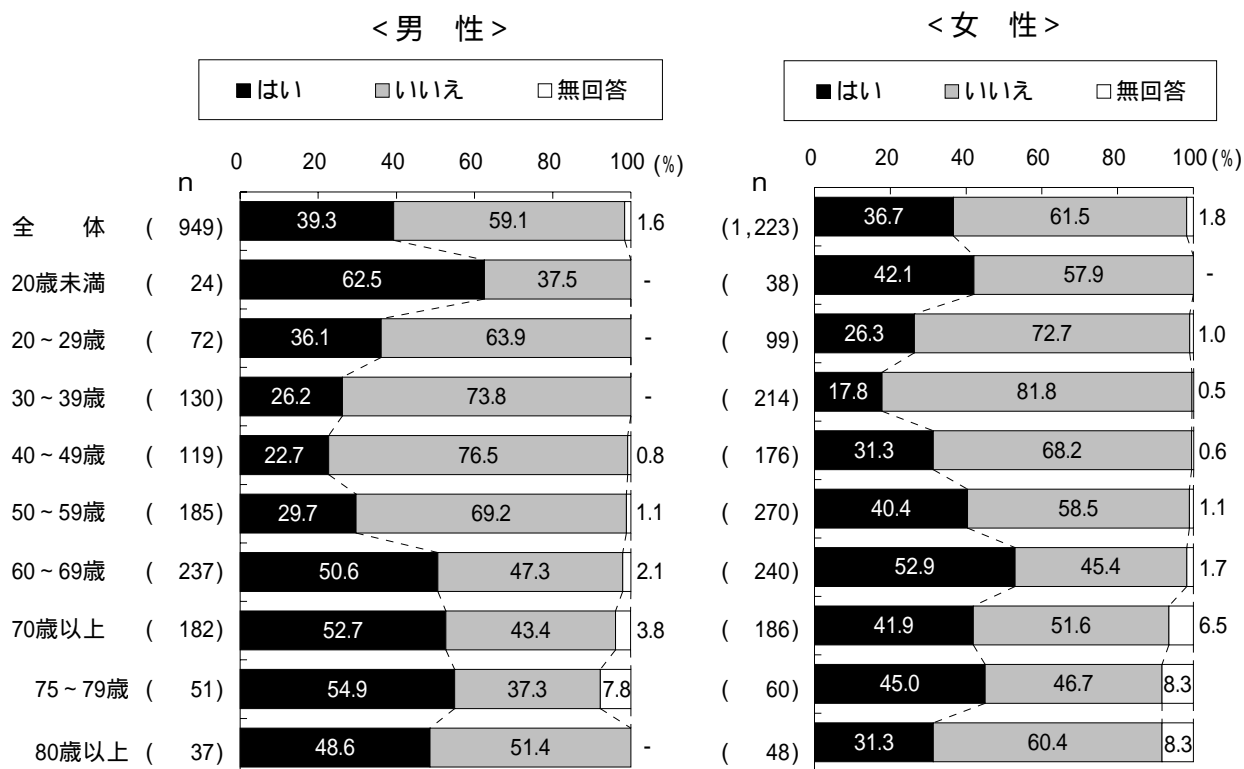
性別では、特に大きな違いはみられない。

性/年齢別でみると、「はい」は、男性では20歳未満が62.5%、女性では60～69歳が52.9%で最も高くなっている。逆に、「いいえ」は、男性では40～49歳が76.5%で最も高く、30～39歳が73.8%となっている。女性では30～39歳が81.8%で最も高く、20～29歳が72.7%となっている。

問16 1回30分以上の運動（週2回以上、1年以上）(全体・性別)



問16 1回30分以上の運動（週2回以上、1年以上）(性/年齢別)



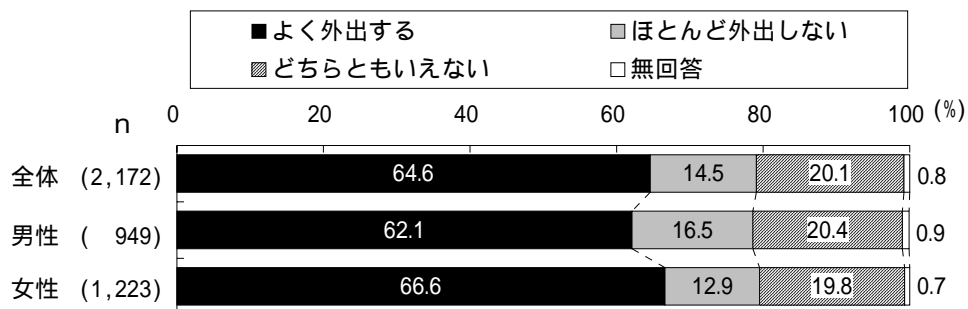
問17 仕事以外の日常生活における外出の状況

全体では、「よく外出する」が64.6%で最も高く、「ほとんど外出しない」が14.5%となっている。また、「どちらともいえない」は20.1%である。

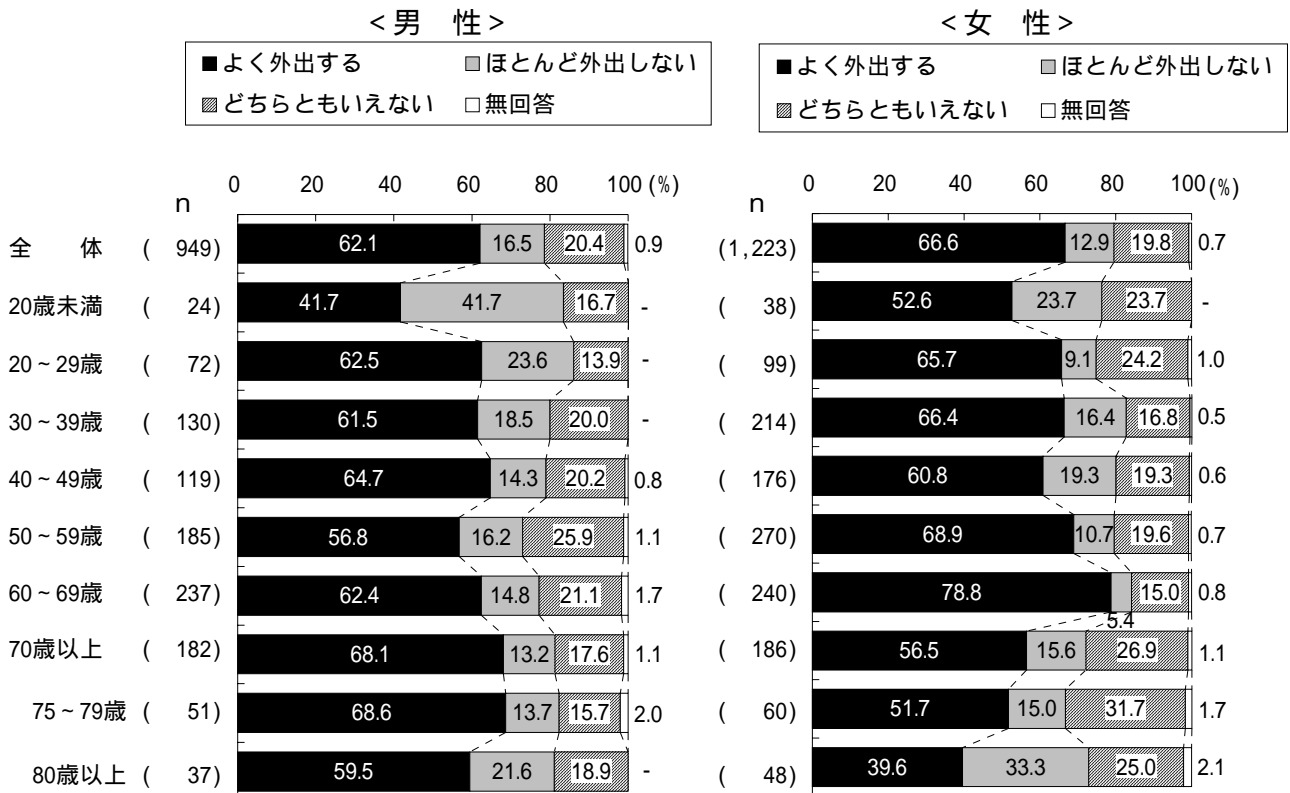
性別でみると、「よく外出する」は、男性が62.1%、女性が66.6%で女性の方が4.5ポイント高く、逆に、「ほとんど外出しない」は、男性が16.5%、女性が12.9%で男性の方が3.6ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「よく外出する」は、男性では70歳以上が68.1%、女性では60～69歳が78.8%で最も高くなっている。「ほとんど外出しない」は、男性では20歳未満が41.7%、女性でも20歳未満が23.7%で最も高くなっている。

問17 仕事以外の日常生活における外出の状況（全体・性別）



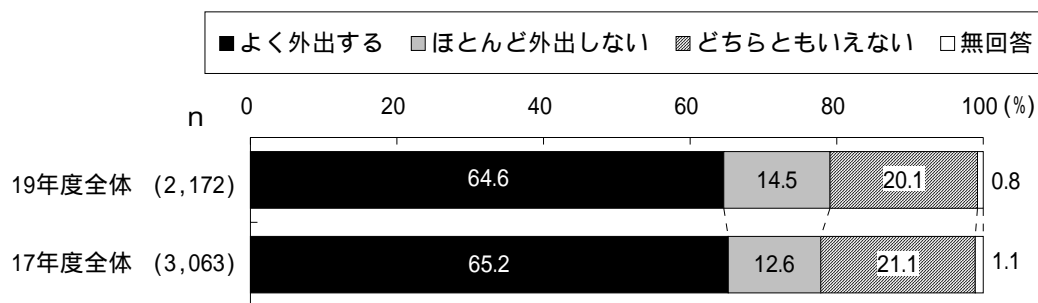
問17 仕事以外の日常生活における外出の状況（性/年齢別）



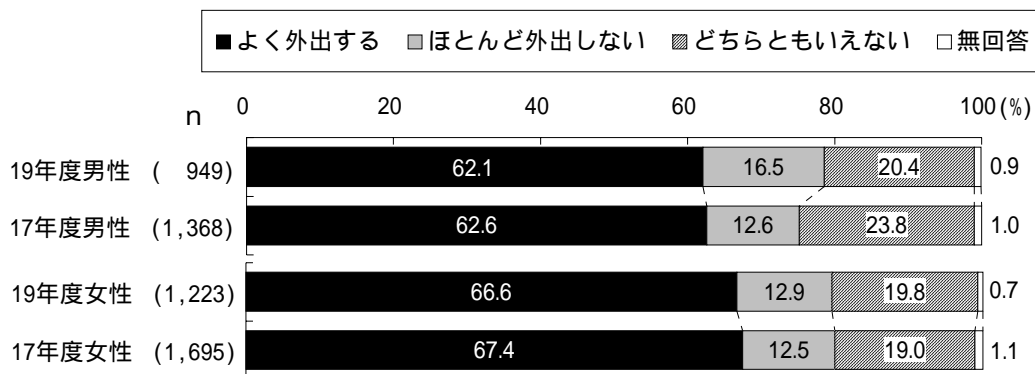
17年度調査結果と比較すると、全体では特に大きな違いはみられない。
 性別では、「ほとんど外出しない」が、男性（17年度：12.6% 19年度：16.5%）で3.9ポイント増加している。

【平成17年度調査との比較】

仕事以外の日常生活における外出の状況（全体）



仕事以外の日常生活における外出の状況（性別）



《 4 . 休養・心の健康》

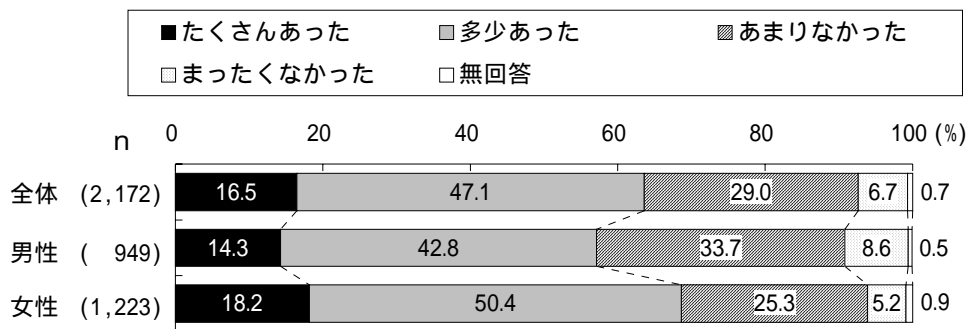
問18 不満・悩み・苦勞・ストレスの有無

全体では、「たくさんあった」が16.5%、「多少あった」が47.1%で最も高く、これら2つを合わせると、《あった》は63.6%となっている。一方、「あまりなかった」が29.0%、「まったくなかった」が6.7%で、これら2つを合わせると、《なかった》は35.7%となっている。

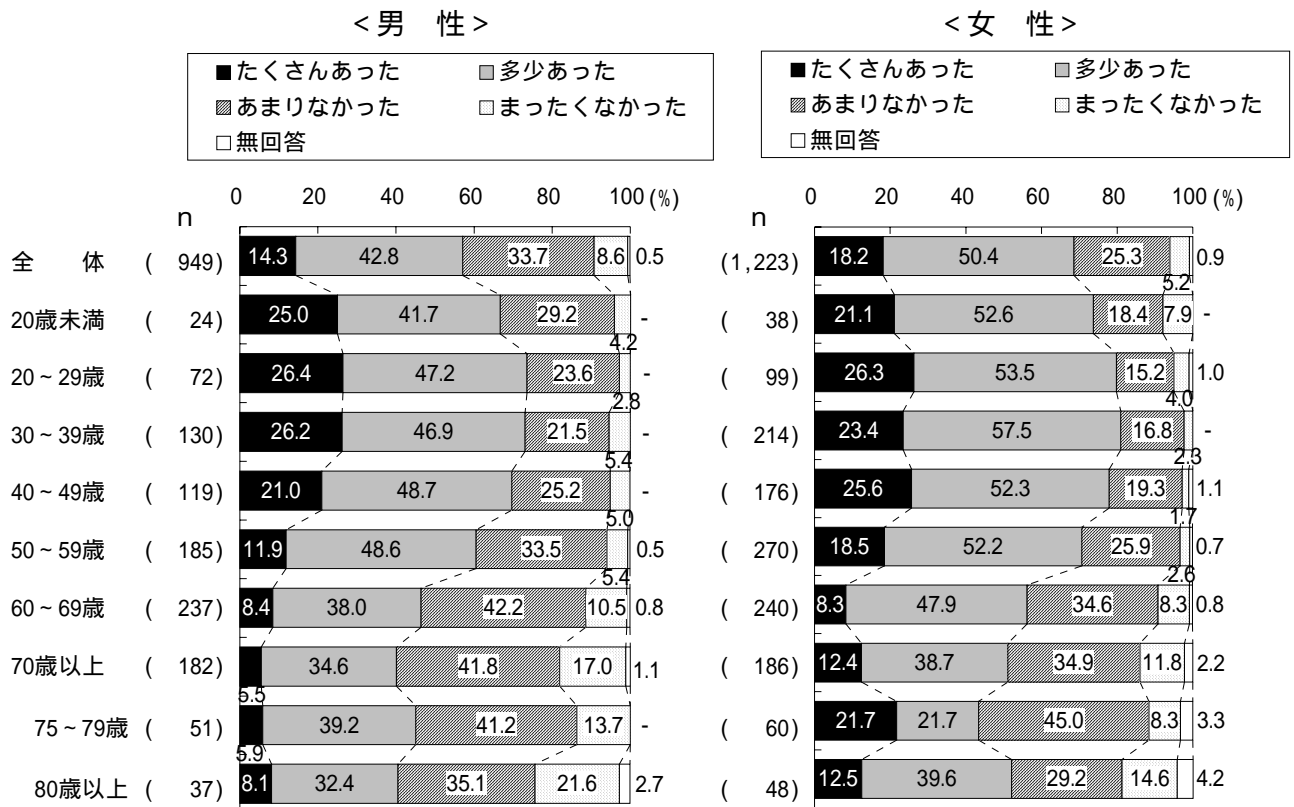
性別でみると、《あった》は、男性が57.1%、女性が68.6%で女性の方が11.5ポイント高くなっている。逆に、《なかった》は、男性が42.3%、女性が30.5%で男性の方が11.8ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、《あった》は、男性では20～29歳が73.6%で最も高く、30～39歳が73.1%となっている。女性では30～39歳が80.9%で最も高く、20～29歳が79.8%、40～49歳が77.9%となっている。逆に、《なかった》は、男性の70歳以上が58.8%で最も高い。

問18 不満・悩み・苦勞・ストレスの有無（全体・性別）



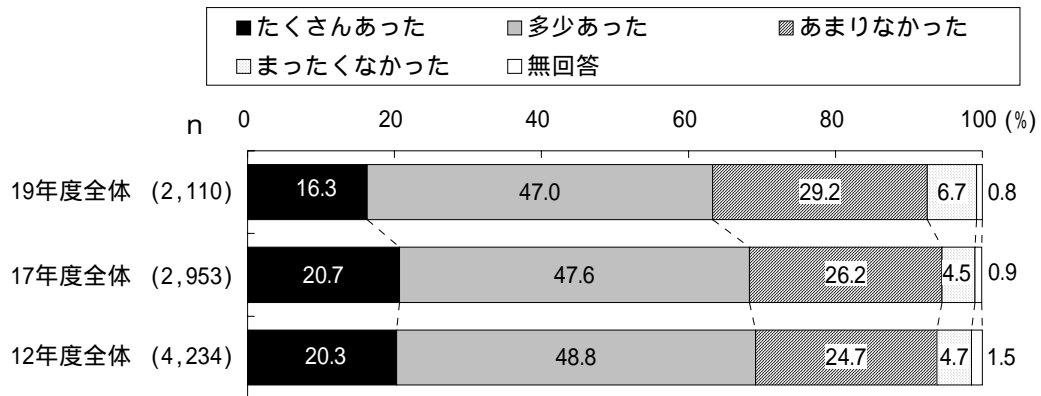
問18 不満・悩み・苦勞・ストレスの有無（性/年齢別）



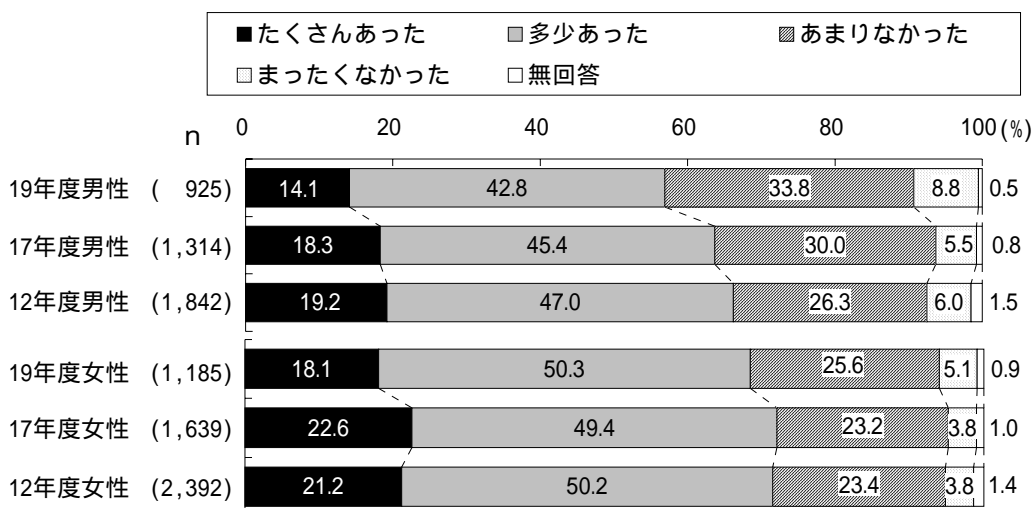
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体と男性で、《あった》が調査ごとに減少し、逆に、《なかった》が調査ごとに増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】

不満・悩み・苦勞・ストレスの有無（全体）



不満・悩み・苦勞・ストレスの有無（性別）



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

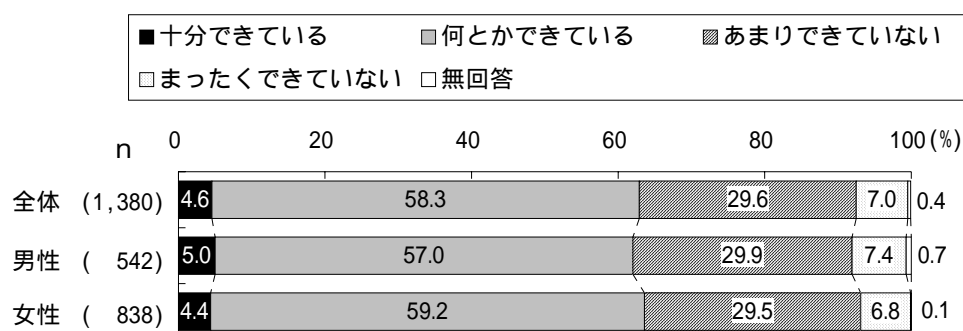
問18 - 1 不満・悩み・苦労・ストレスなどの解消状況

不満・悩み・苦労・ストレスなどが、「たくさんあった」か「多少あった」と回答した人(1,380人)に、それらが解消されているかをたずねた結果、全体では、「十分できている」が4.6%と少数ながら、「何とかできている」が58.3%で最も高く、これら2つを合わせると、《できている》は62.9%となっている。一方、「あまりできていない」が29.6%、「まったくできていない」が7.0%で、これら2つを合わせると、《できていない》は36.6%となっている。

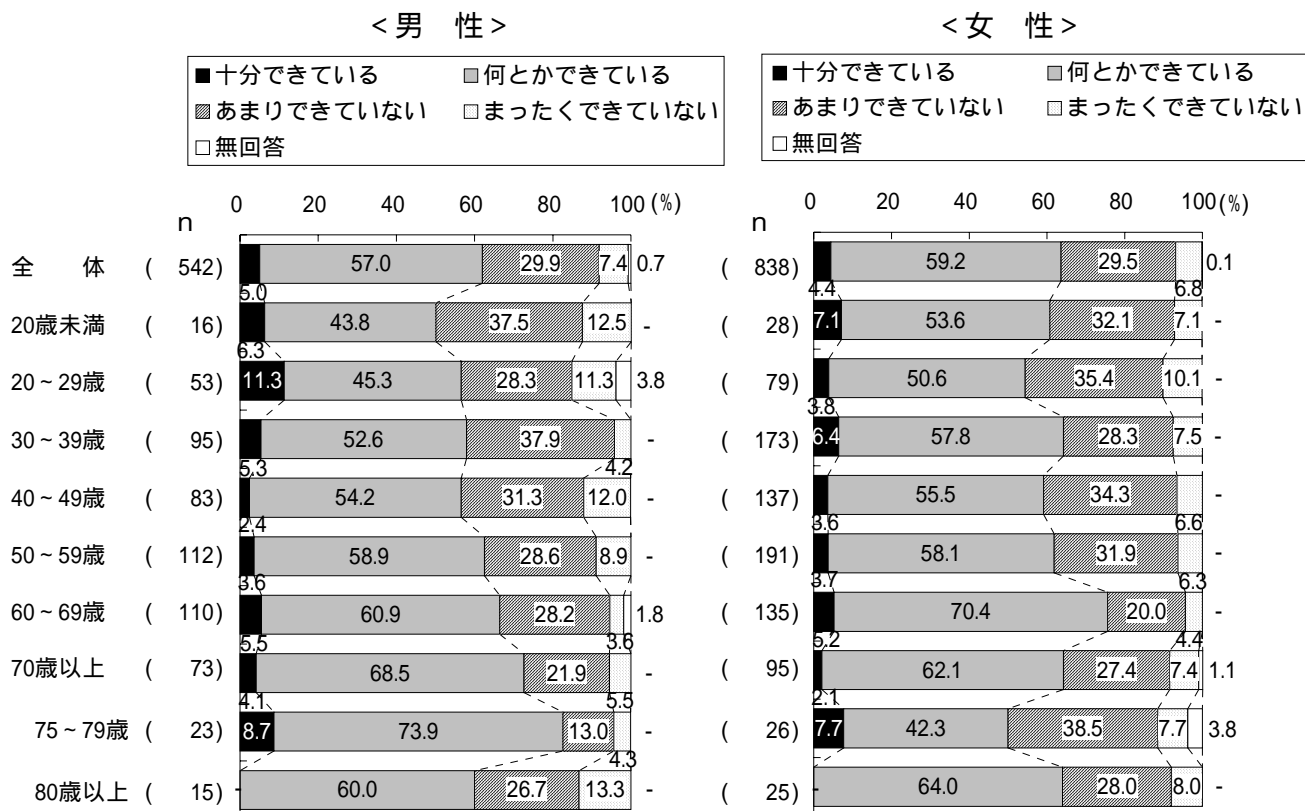
性別では、特に大きな違いはみられない。

性/年齢別でみると、《できている》は、男性では70歳以上が72.6%、女性では60～69歳が75.6%で最も高くなっている。逆に、《できていない》は、男性では20歳未満が50.0%、女性では20～29歳が45.5%で最も高くなっている。

問18-1 不満・悩み・苦労・ストレスなどの解消状況(全体・性別)



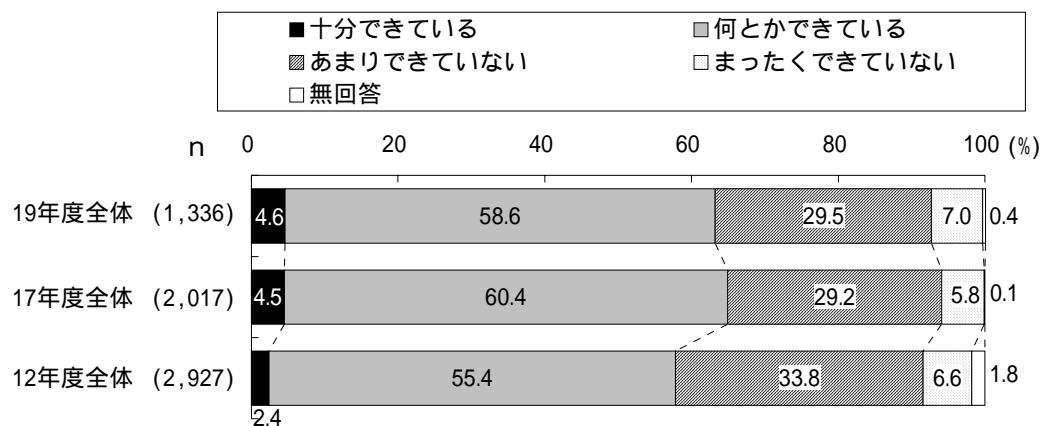
問18-1 不満・悩み・苦労・ストレスなどの解消状況(性/年齢別)



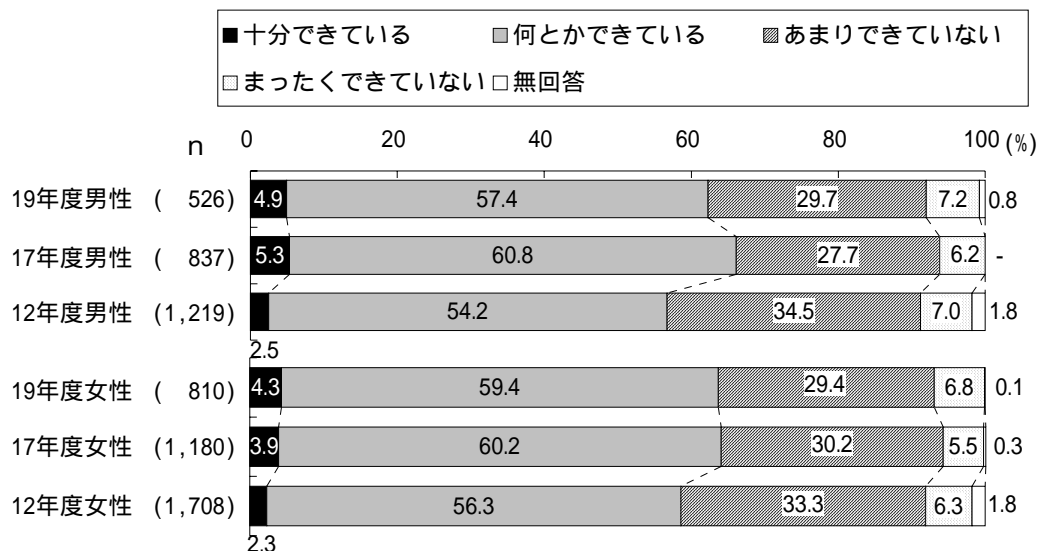
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体、性別のいずれにおいても、《できている》が17年度調査からは減少している。

【平成12年度・17年度調査との比較】

不満・悩み・苦勞・ストレスなどの解消状況（全体）



不満・悩み・苦勞・ストレスなどの解消状況（性別）



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

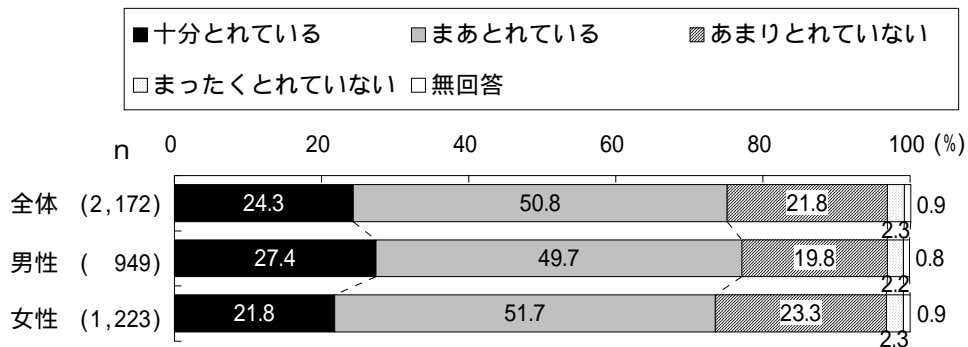
問19 毎日の睡眠による休養の充足状況

全体では、「十分とれている」が24.3%、「まあとれている」が50.8%で最も高く、これら2つを合わせると、《とれている》は75.1%となっている。一方、「あまりとれていない」が21.8%、「まったくとれていない」が2.3%で、これら2つを合わせると、《とれていない》は24.1%となっている。

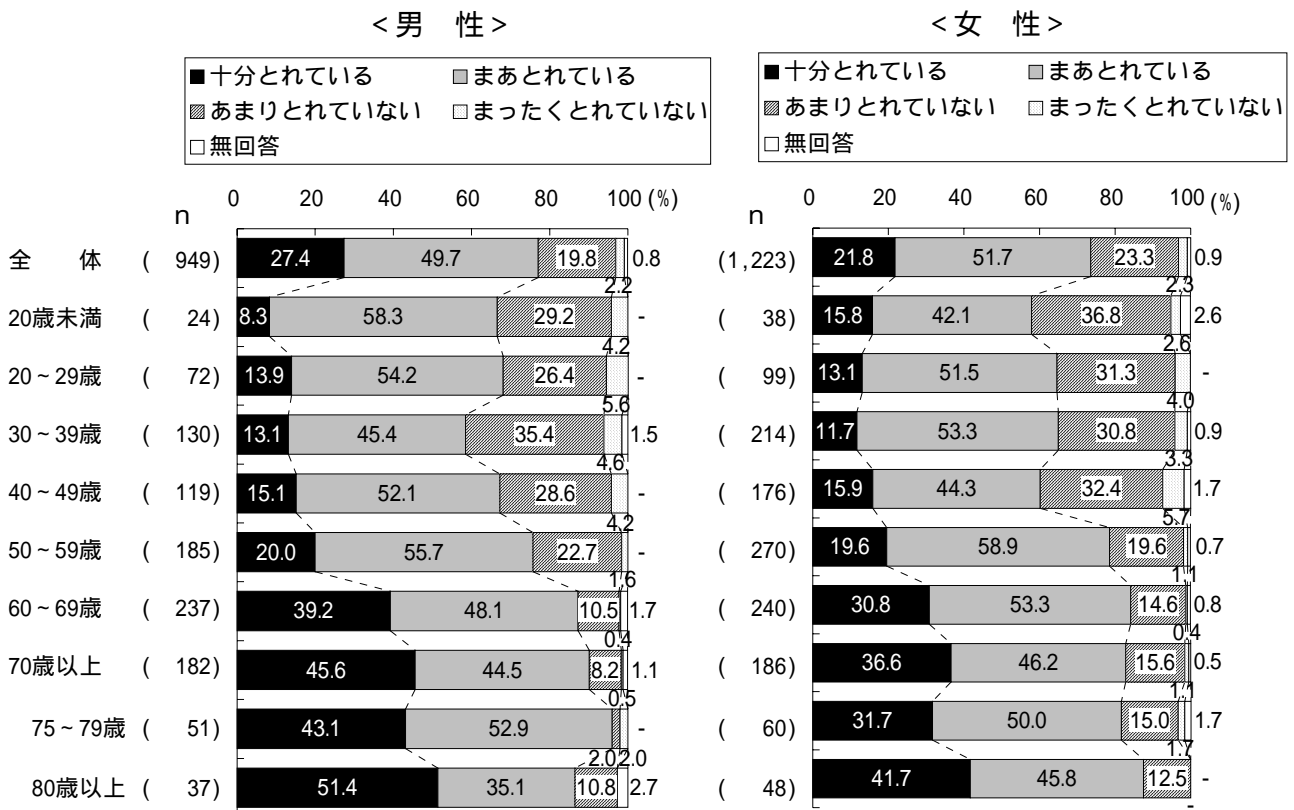
性別でみると、「十分とれている」は、男性が27.4%、女性が21.8%で男性の方が5.6ポイント高くなっている。《とれている》としてみた場合でも、男性が77.1%、女性が73.5%で男性の方が3.6ポイント高くなっている。逆に、《とれていない》としてみた場合、男性が22.0%、女性が25.6%で女性の方が3.6ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、《とれている》は、男性では70歳以上が90.1%で最も高く、60～69歳が87.3%となっている。女性でも同年層が高く、60～69歳が84.1%で最も高く、70歳以上が82.8%となっている。逆に、《とれていない》は、男性では30～39歳が40.0%、女性では20歳未満が39.4%で最も高くなっている。

問19 毎日の睡眠による休養の充足状況（全体・性別）



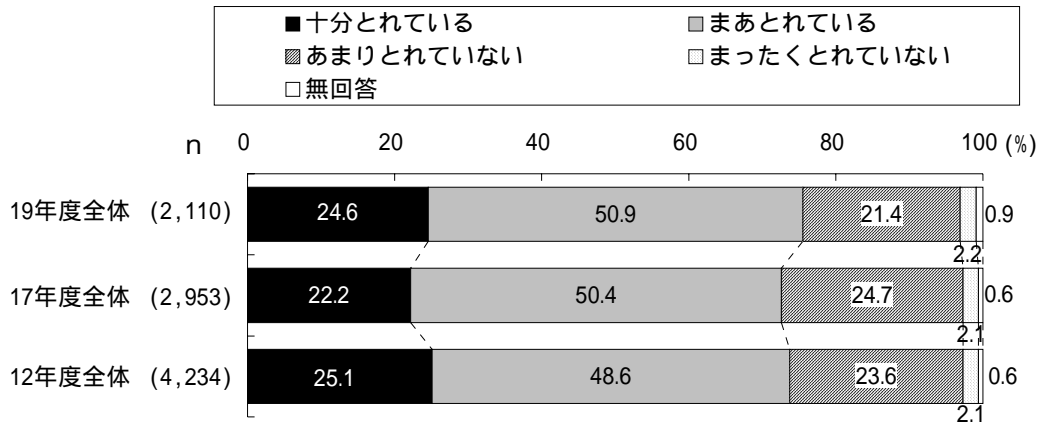
問19 毎日の睡眠による休養の充足状況（性/年齢別）



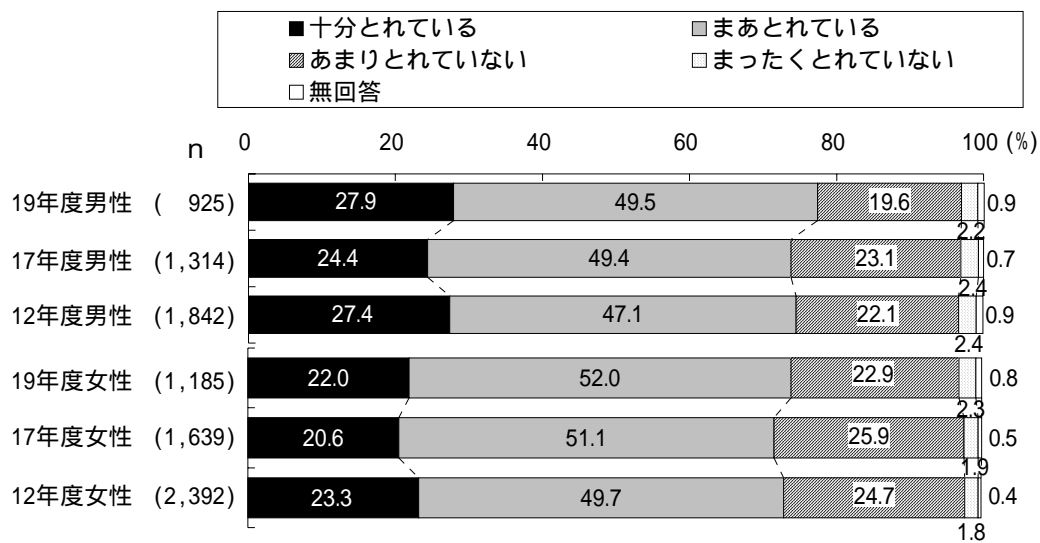
12年度及び17年度調査結果と比較すると、《とれている》は、全体、性別のいずれにおいても、過去2回の調査に比べて最も高くなっている。

【平成12年度・17年度調査との比較】

毎日の睡眠による休養の充足状況（全体）



毎日の睡眠による休養の充足状況（性別）



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

《 5 . たばこ 》

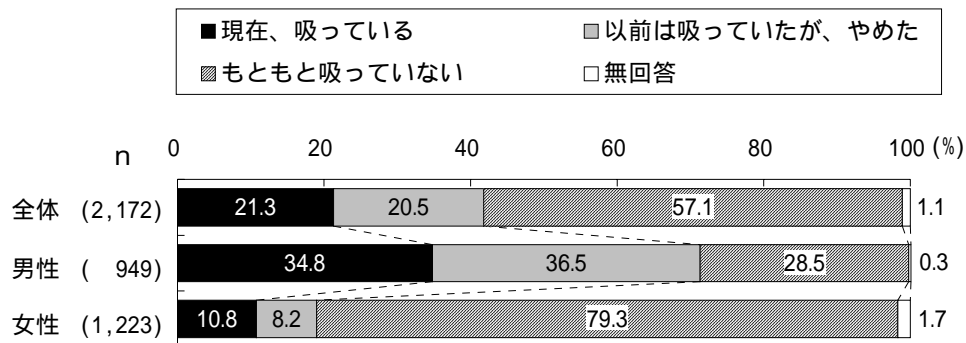
問20 喫煙状況

全体では、「もともと吸っていない」が57.1%で最も高く、「現在、吸っている」が21.3%、「以前は吸っていたが、やめた」が20.5%となっている。

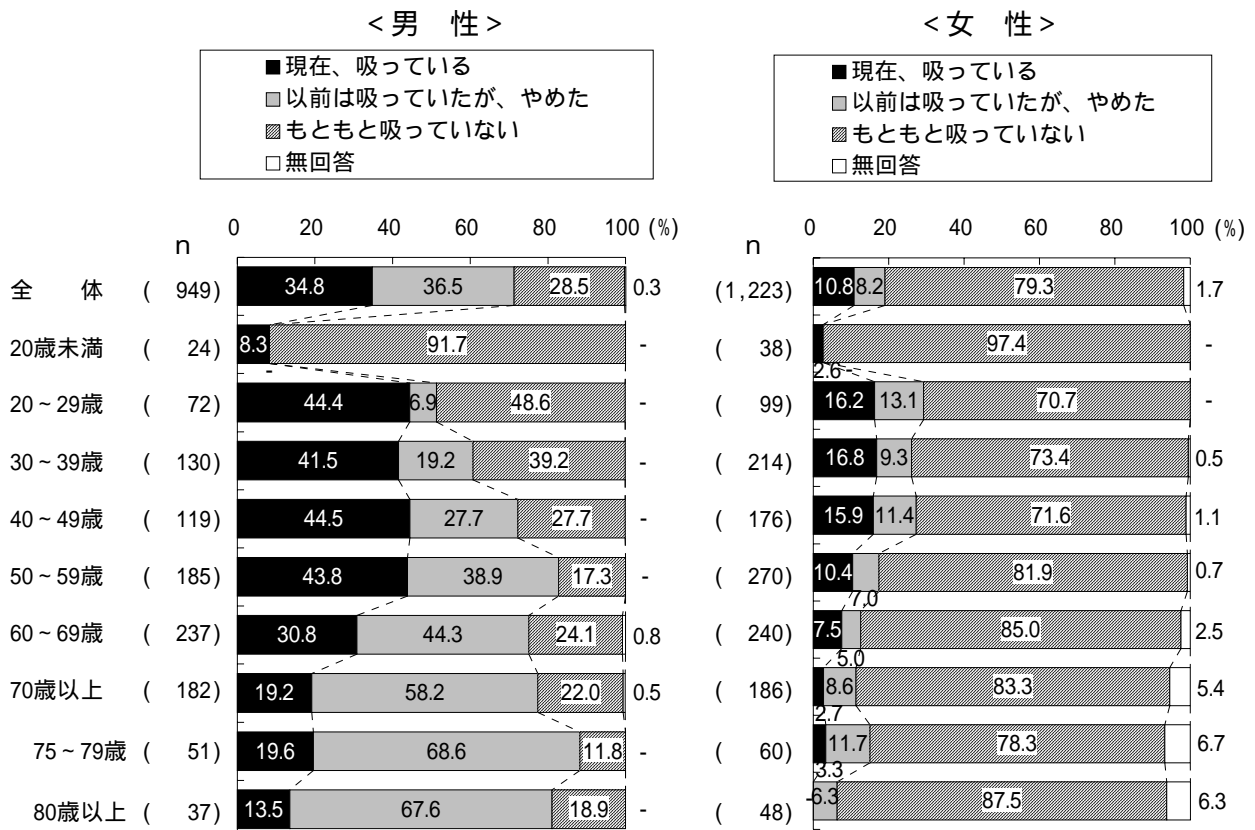
性別で見ると、「現在、吸っている」は、男性が34.8%、女性が10.8%で男性の方が24.0ポイント高く、「以前は吸っていたが、やめた」でも、男性が36.5%、女性が8.2%で男性の方が28.3ポイント高くなっている。逆に、「もともと吸っていない」は、男性が28.5%、女性が79.3%で女性の方が50.8ポイント高くなっている。

性/年齢別で見ると、「現在、吸っている」は、男性で20～29歳が44.4%、30～39歳が41.5%、40～49歳が44.5%、50～59歳が43.8%と高くなっている。女性では20～29歳が16.2%、30～39歳が16.8%、40～49歳が15.9%となっている。「以前は吸っていたが、やめた」は、男性で年齢が上がるほど増加し、70歳以上で58.2%となっている。

問20 喫煙状況（全体・性別）

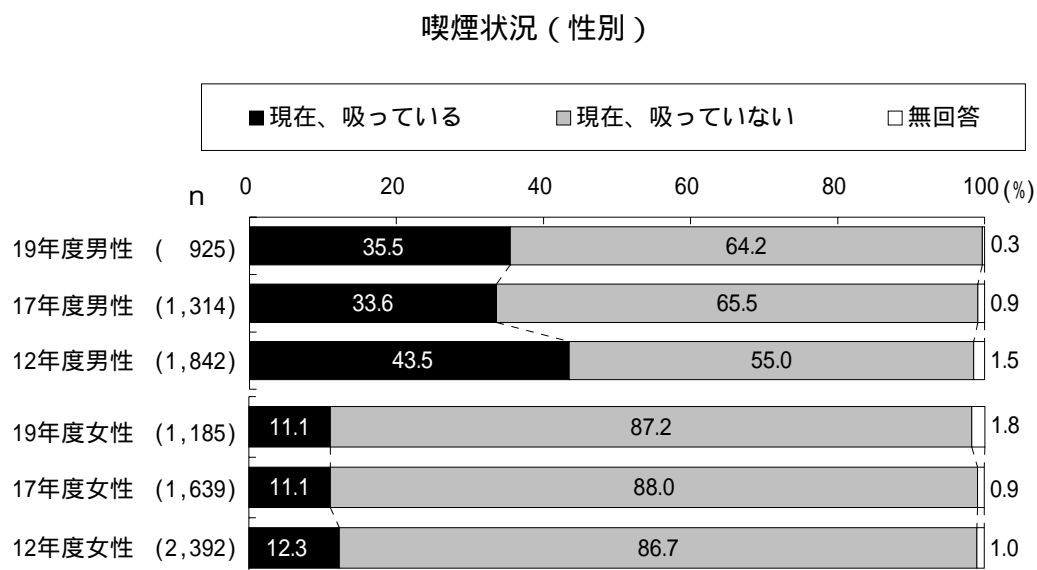
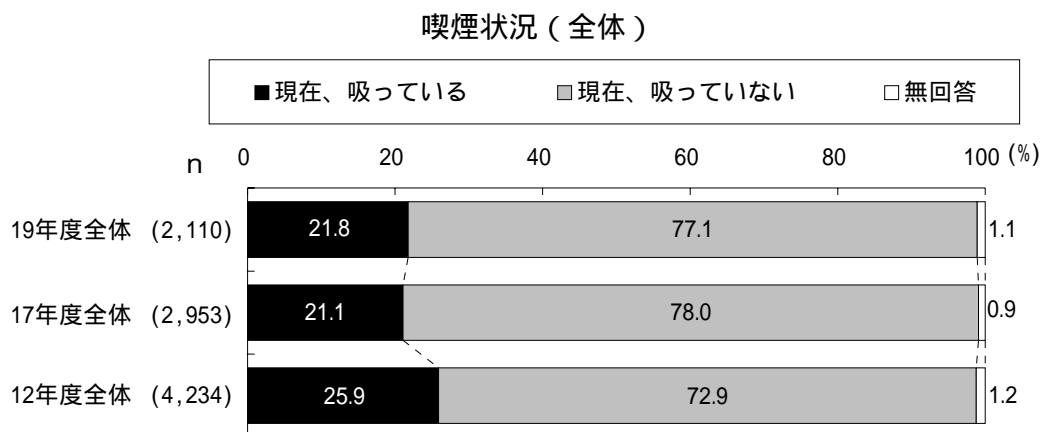


問20 喫煙状況（性/年齢別）



12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体と男性で、「現在、吸っている」が17年度調査よりも増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

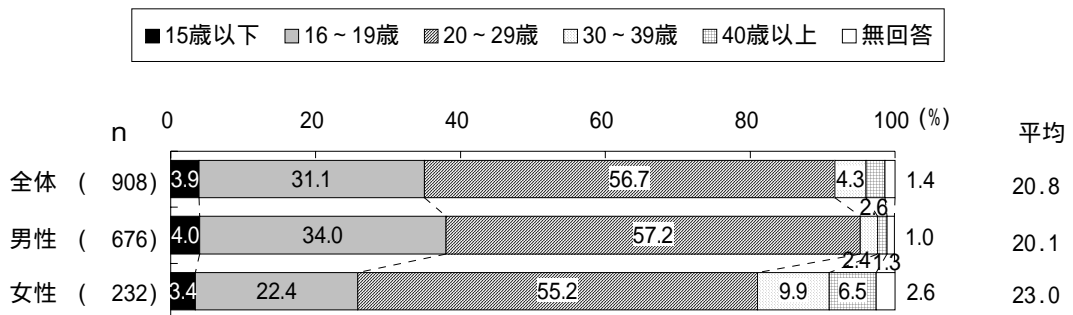
問20 - 1 吸い始めた年齢

たばこを「現在、吸っている」か「以前は吸っていたが、やめた」と回答した人（908人）に、吸い始めた年齢をたずねた結果、全体では、「20～29歳」が56.7%で最も高く、「16～19歳」が31.1%となっている。

性別で見ると、「16～19歳」は男性が34.0%、女性が22.4%で男性の方が11.6ポイント高くなっている。逆に、「30～39歳」は男性が2.4%、女性が9.9%で女性の方が7.5ポイント高く、「40歳以上」でも、男性が1.3%、女性が6.5%で女性の方が5.2ポイント高くなっている。

性/年齢別で見ると、「16～19歳」は、男性では20～29歳が54.1%、女性でも20～29歳が51.7%で最も高くなっている。

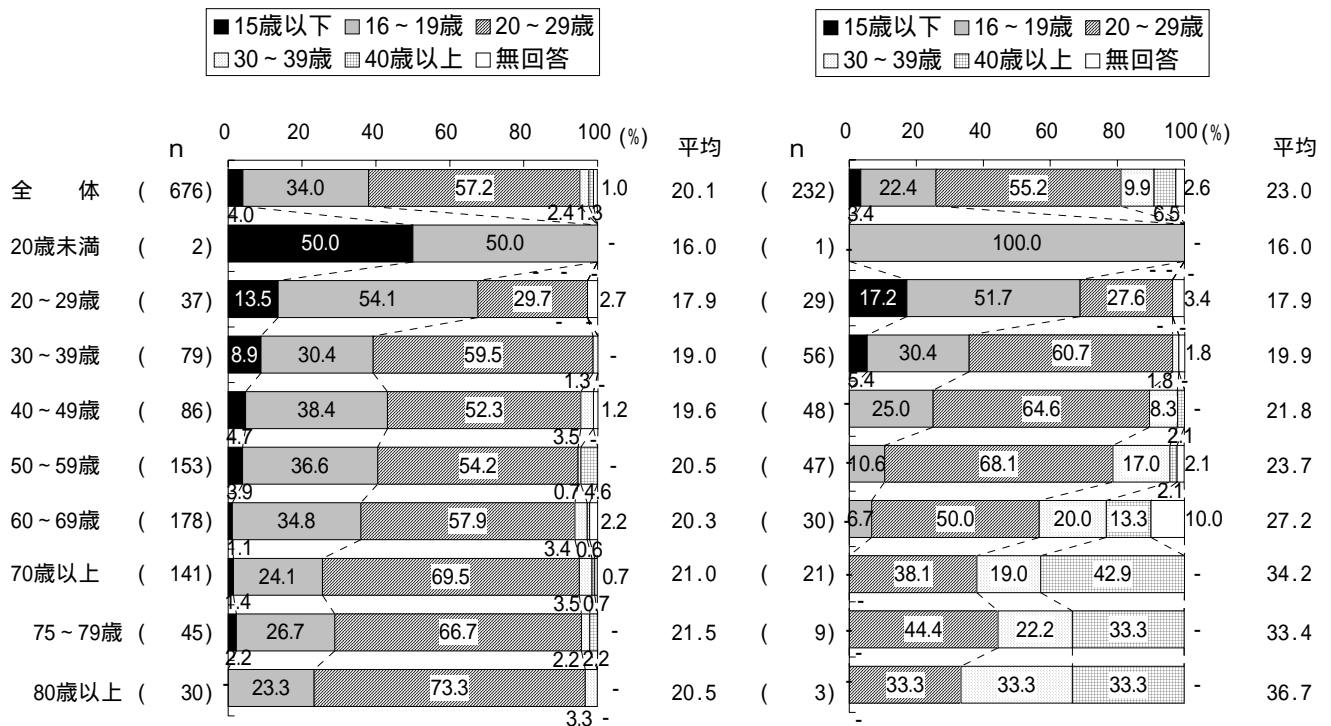
問20-1 吸い始めた年齢（全体・性別）



問20-1 吸い始めた年齢（性/年齢別）

< 男性 >

< 女性 >



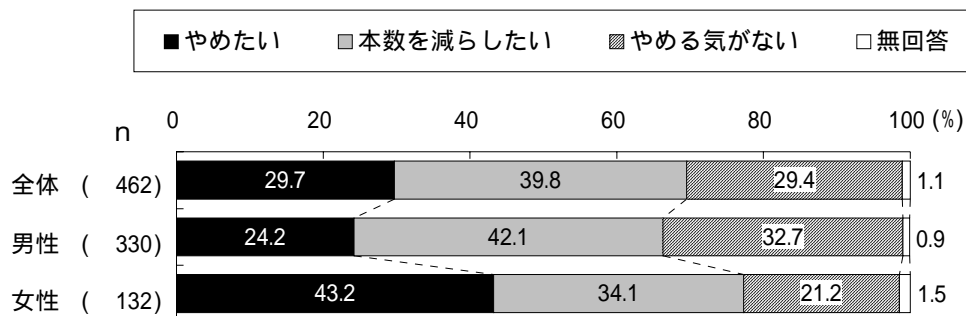
問20 - 2 喫煙に対する考え

たばこを「現在、吸っている」と回答した人（462人）に、喫煙に対する考えをたずねた結果、全体では、「本数を減らしたい」が39.8%で最も高く、「やめたい」が29.7%、「やめる気がない」が29.4%となっている。

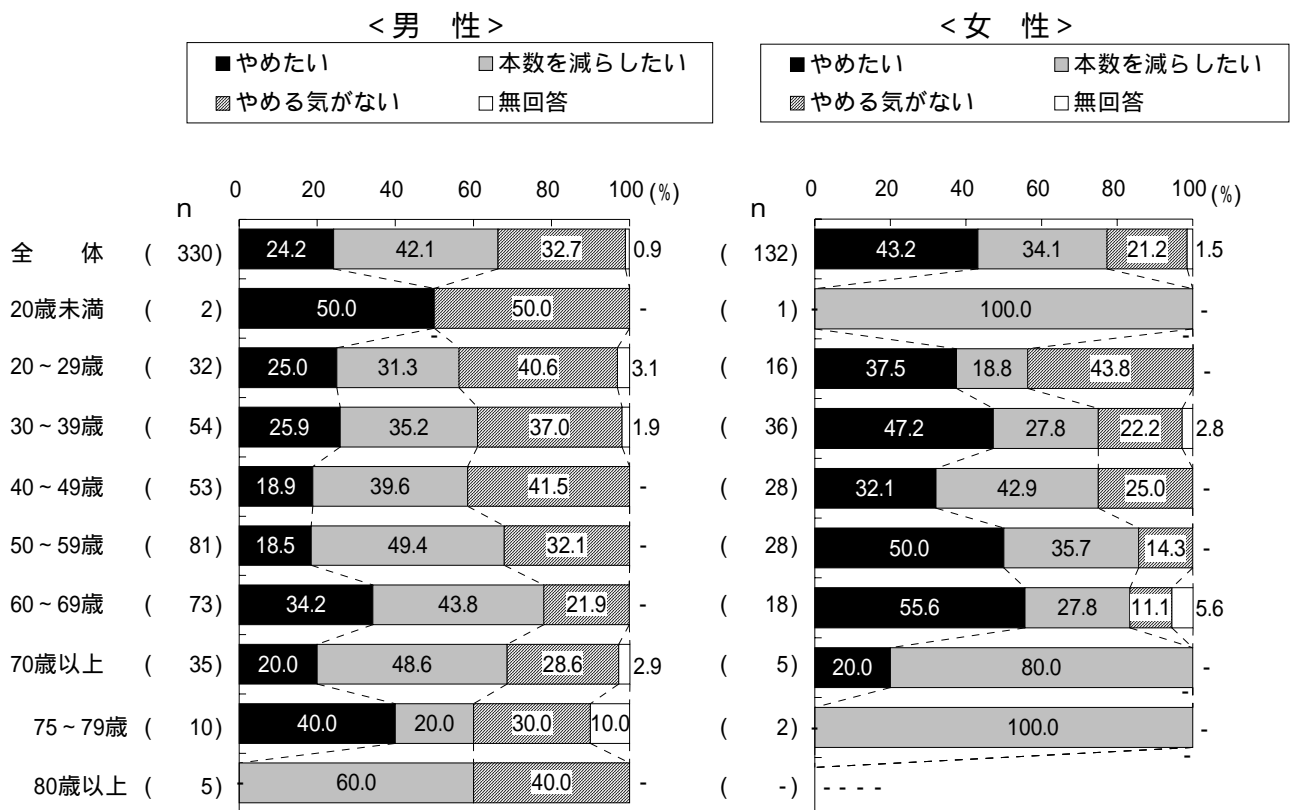
性別で見ると、「やめたい」は、男性が24.2%、女性が43.2%で女性の方が19.0ポイント高くなっている。逆に、「本数を減らしたい」は、男性が42.1%、女性が34.1%で男性の方が8.0ポイント高く、「やめる気がない」でも、男性が32.7%、女性が21.2%で男性の方が11.5ポイント高くなっている。

性/年齢別で見ると、「やめたい」は、男性では60～69歳が34.2%、女性では30～39歳が47.2%で高くなっている。「本数を減らしたい」は、男性では50～59歳が49.4%で最も高く、70歳以上が48.6%となっている。

問20-2 喫煙に対する考え（全体・性別）



問20-2 喫煙に対する考え（性/年齢別）



《 6 . お酒》

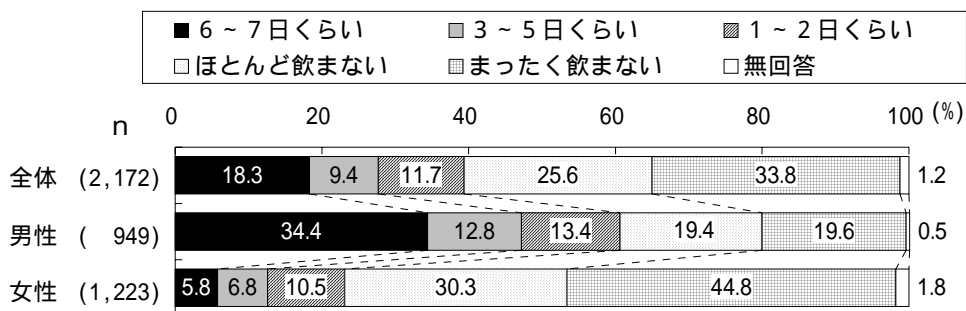
問21 飲酒状況

全体では、「まったく飲まない」が33.8%で最も高く、「ほとんど飲まない」が25.6%、「6～7日くらい」が18.3%となっている。

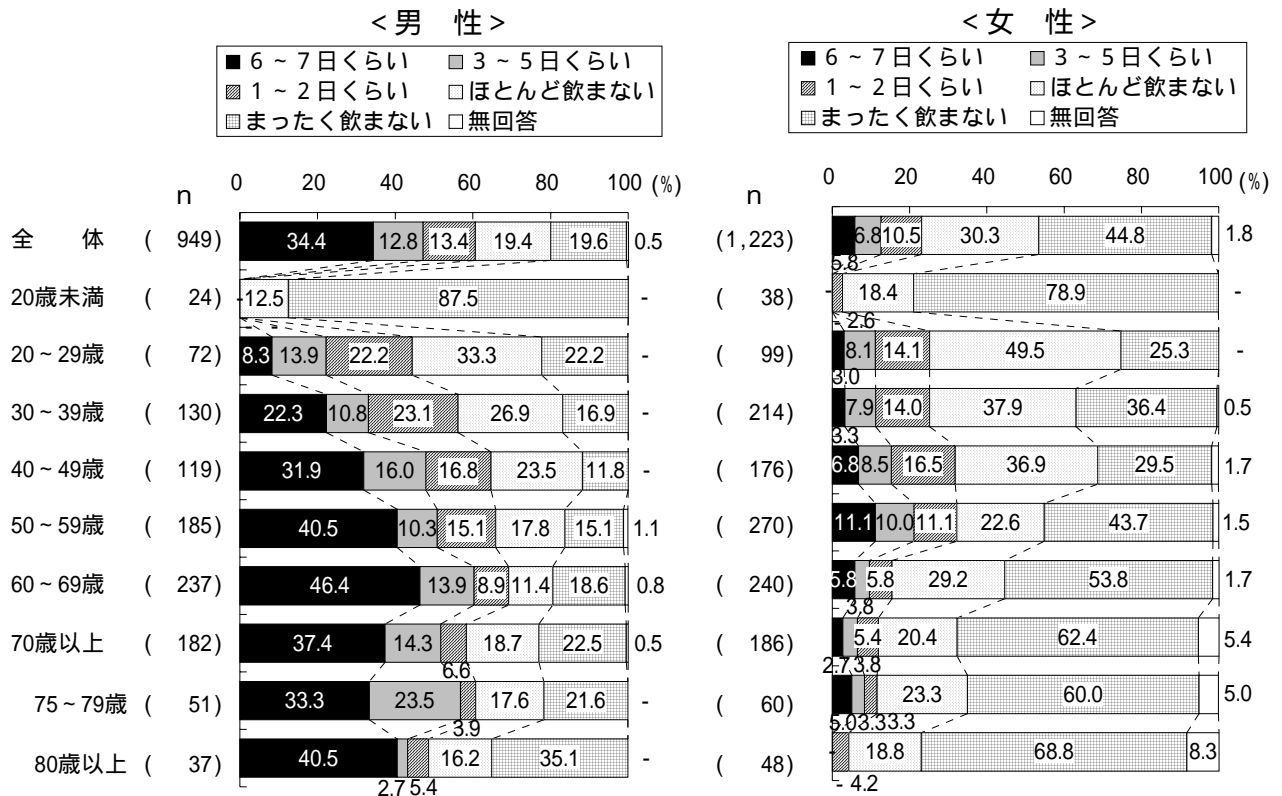
性別でみると、「6～7日くらい」は、男性が34.4%、女性が5.8%で男性の方が28.6ポイント高くなっている。一方、《飲まない》（「ほとんど飲まない」+「まったく飲まない」）は、男性が39.0%、女性が75.1%で女性の方が36.1ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「6～7日くらい」は、男性では60～69歳が46.4%で最も高くなっている。《飲まない》は、女性の60～69歳が83.0%、70歳以上が82.8%で高くなっている。

問21 飲酒状況（全体・性別）



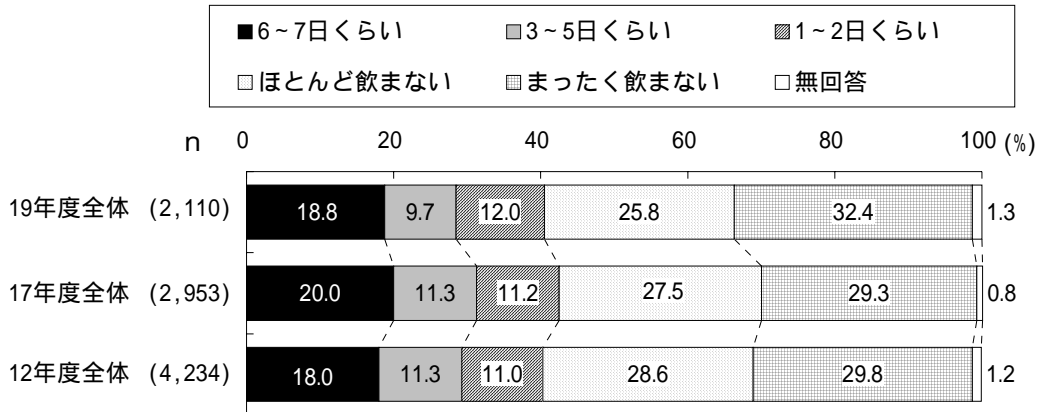
問21 飲酒状況（性/年齢別）



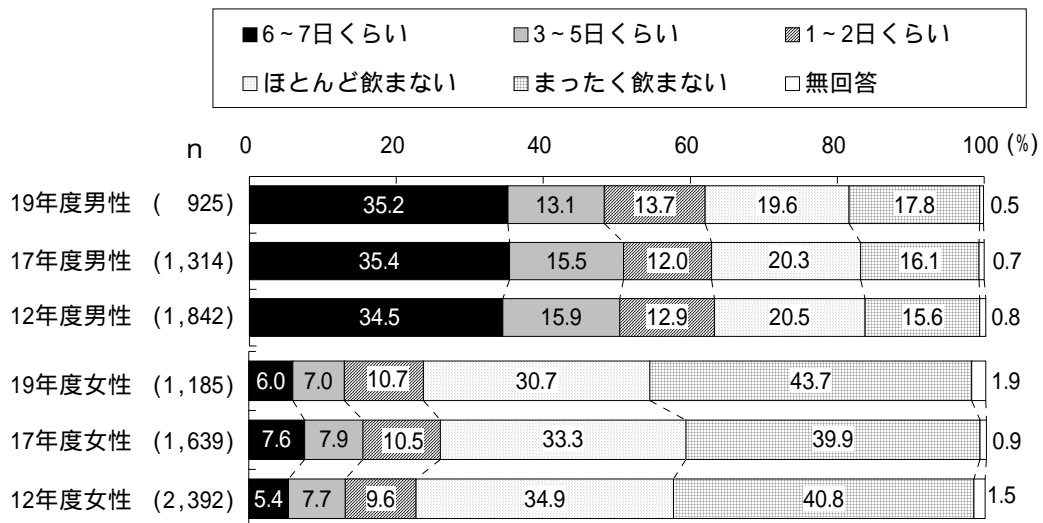
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体、性別のいずれにおいても、《飲まない》が17年度調査よりも増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】

飲酒状況（全体）



飲酒状況（性別）



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

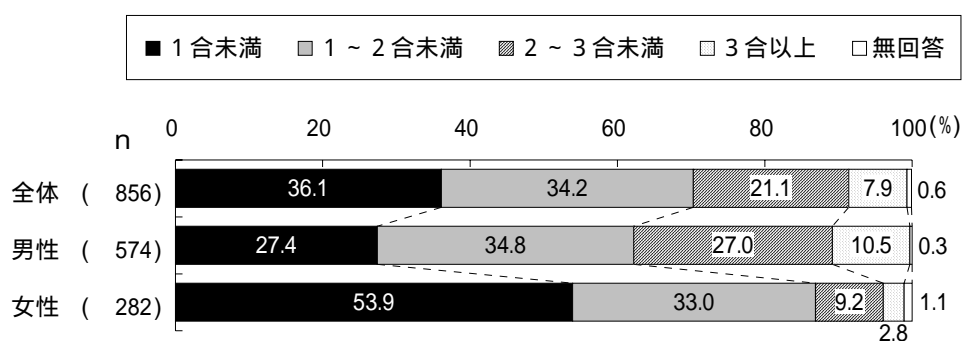
問21 - 1 飲酒の量

1週間にお酒を「6～7日くらい」、「3～5日くらい」、「1～2日くらい」飲むと回答した人(856人)に、飲酒の量をたずねた結果、全体では、「1合未満」が36.1%で最も高く、「1～2合未満」が34.2%、「2～3合未満」が21.1%となっている。

性別でみると、「1合未満」は、男性が27.4%、女性が53.9%で女性の方が26.5ポイント高くなっている。逆に、「2～3合未満」は、男性が27.0%、女性が9.2%で男性の方が17.8ポイント高く、「3合以上」でも、男性が10.5%、女性が2.8%で男性の方が7.7ポイント高くなっている。

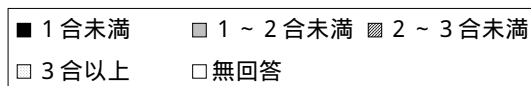
性/年齢別でみると、「1合未満」は、男性では70歳以上が47.2%、女性では60～69歳が59.5%高くなっている。「1～2合未満」は、男性では60～69歳が39.6%、女性では40～49歳が37.5%で最も高く、「2～3合未満」は、男性の30～39歳が37.0%となっている。

問21-1 飲酒の量 (全体・性別)

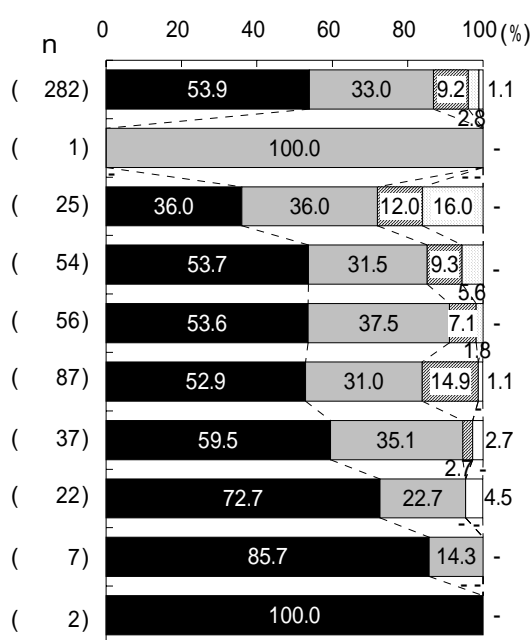
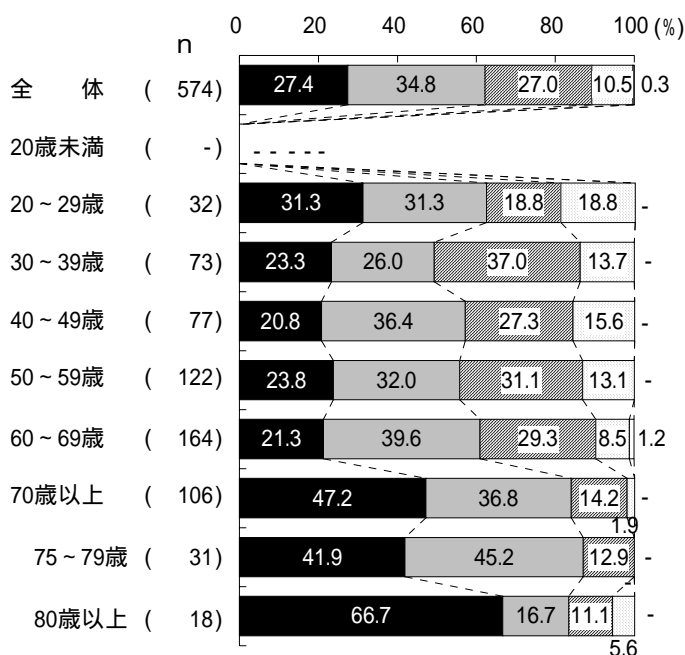
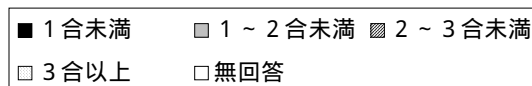


問21-1 飲酒の量 (性/年齢別)

<男性>



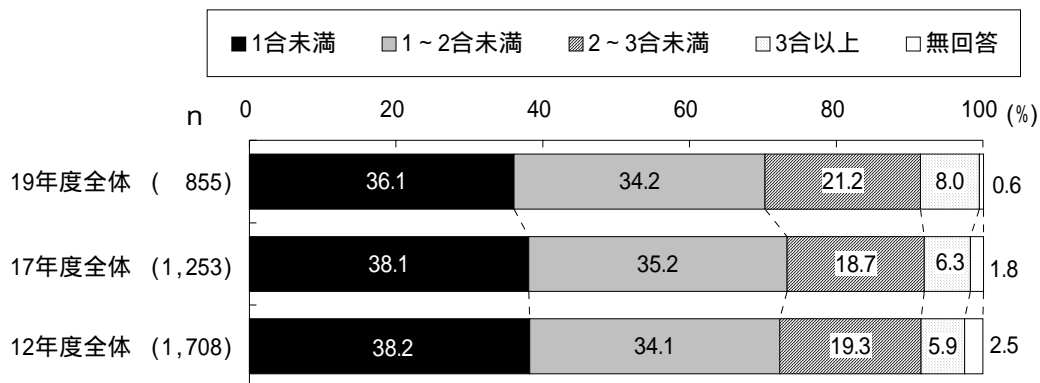
<女性>



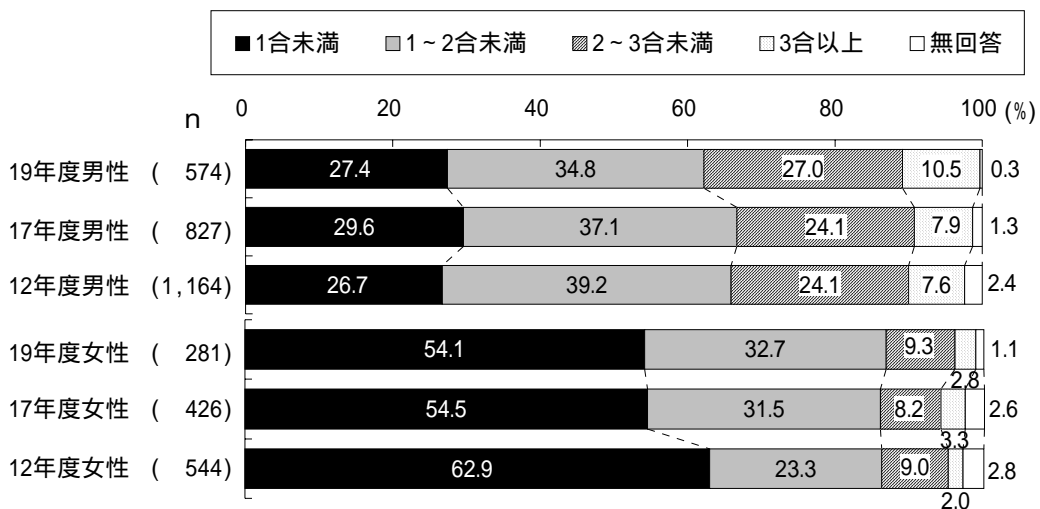
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体、性別のいずれにおいても、「2～3合未満」はこれまでの調査に比べて最も高くなっている。また、全体と男性では、「3合以上」もこれまでの調査に比べて最も高くなっている。

【平成12年度・17年度調査との比較】

飲酒の量（全体）



飲酒の量（性別）



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

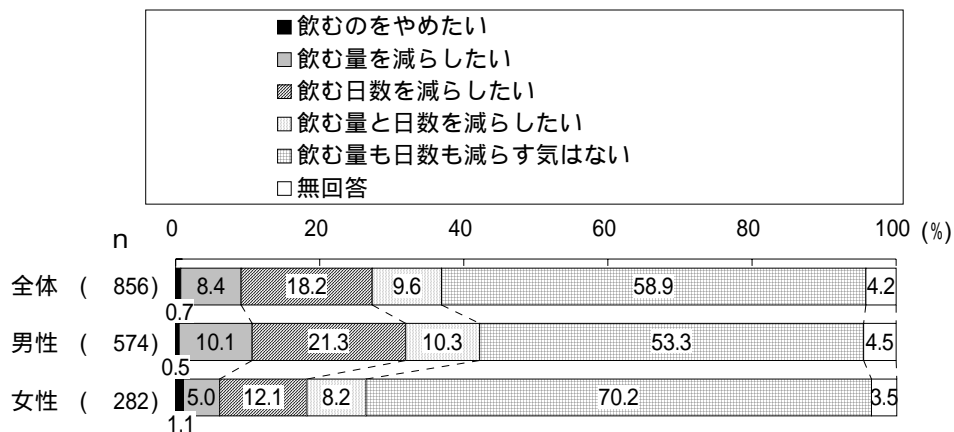
問21 - 2 飲酒に対する考え

1週間にお酒を「6～7日くらい」、「3～5日くらい」、「1～2日くらい」飲むと回答した人（856人）に、飲酒に対する考えをたずねた結果、全体では、「飲む量も日数も減らす気はない」が58.9%で最も高く、「飲む日数を減らしたい」が18.2%となっている。

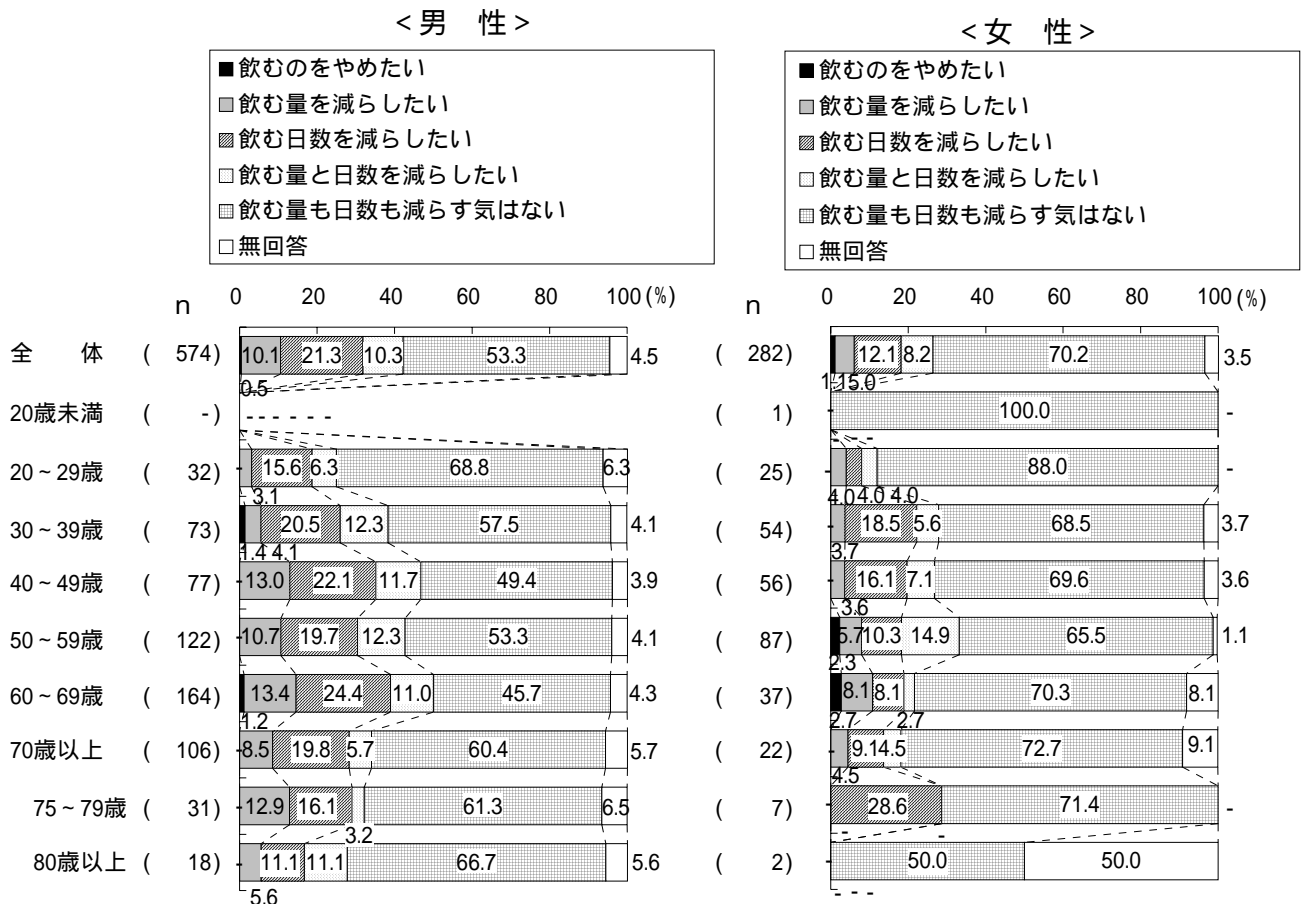
性別でみると、「飲む量を減らしたい」は、男性が10.1%、女性が5.0%で男性の方が5.1ポイント高く、「飲む日数を減らしたい」でも、男性が21.3%、女性が12.1%で男性の方が9.2ポイント高くなっている。逆に、「飲む量も日数も減らす気はない」は、男性が53.3%、女性が70.2%で女性の方が16.9ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「飲む量も日数も減らす気はない」は、男性では20～29歳が68.8%、女性では70歳以上が72.7%、60～69歳が70.3%と高くなっている。

問21-2 酒に対する考え（全体・性別）



問21-2 酒に対する考え（性/年齢別）



《 7 . 歯 》

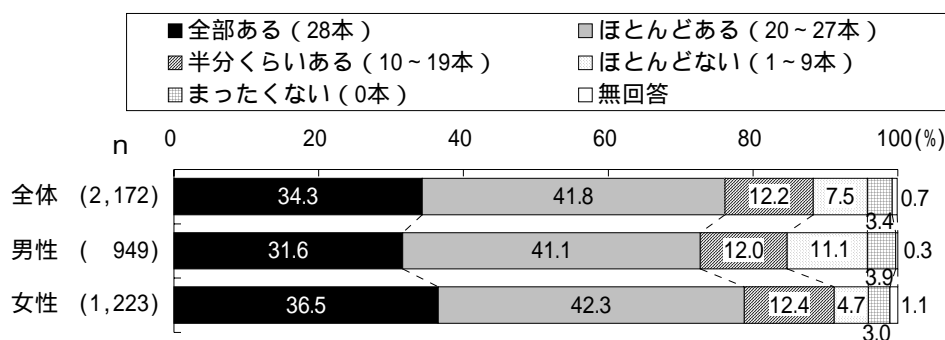
問22 歯の本数

全体では、「ほとんどある（20～27本）」が41.8%で最も高く、「全部ある（28本）」が34.3%となっている。

性別でみると、「全部ある（28本）」は、男性が31.6%、女性が36.5%で女性の方が4.9ポイント高く、逆に、「ほとんどない（1～9本）」は、男性が11.1%、女性が4.7%で男性の方が6.4ポイント高くなっている。

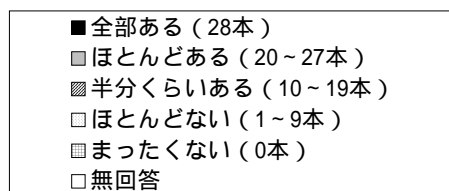
性/年齢別でみると、「全部ある（28本）」は、男性では20歳未満が87.5%で、年齢が上がるほど減少している。女性では20～29歳が82.8%で最も高く、それ以降年齢が上がるほど減少している。また、「ほとんどある（20～27本）」は、男性では50～59歳が58.9%、女性でも50～59歳が55.9%で最も高くなっている。

問22 歯の本数（全体・性別）

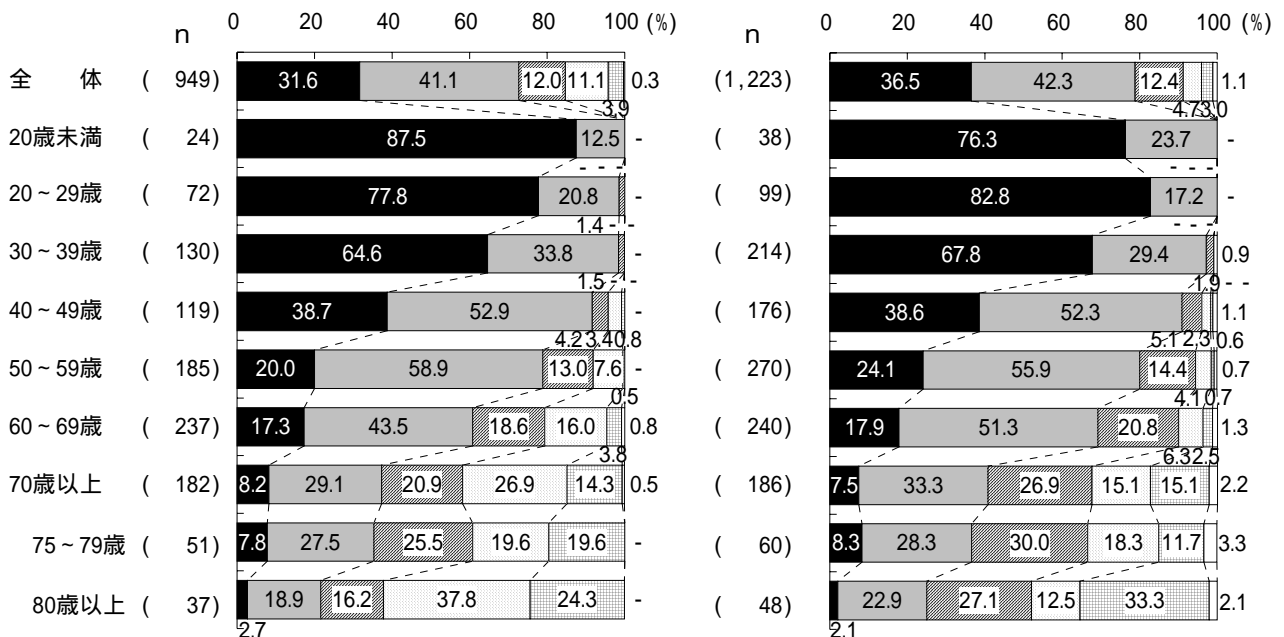
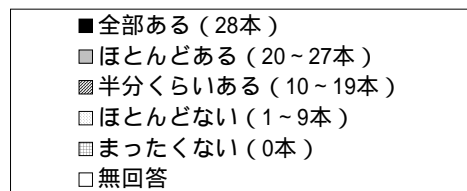


問22 歯の本数（性/年齢別）

< 男 性 >



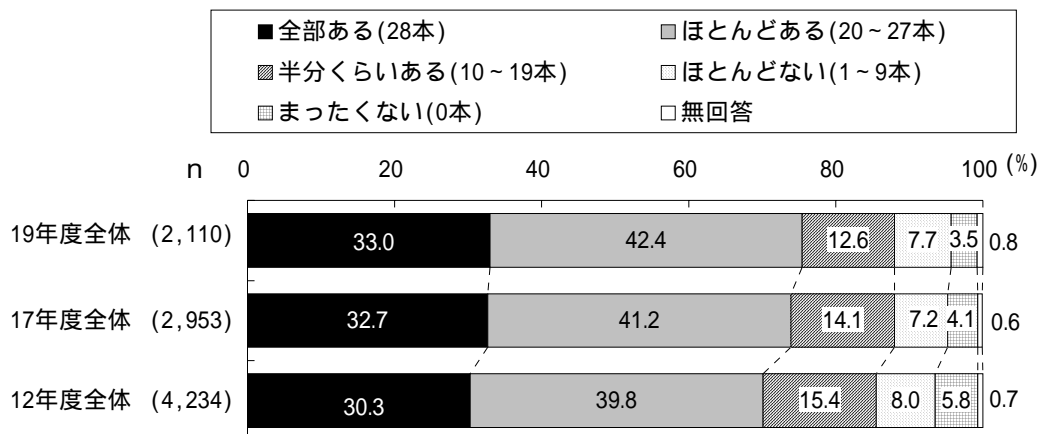
< 女 性 >



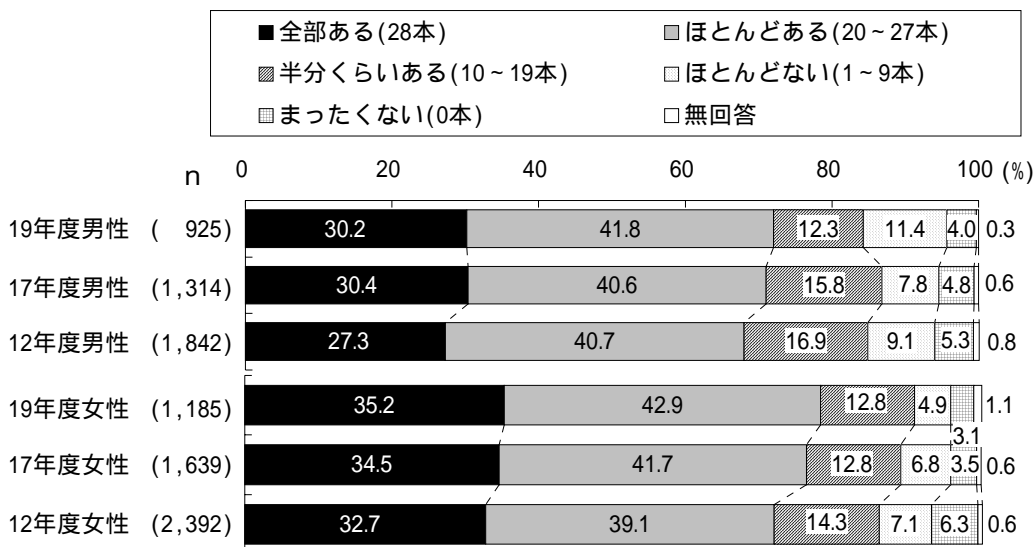
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体で「全部ある(28本)」が調査ごとに増加している。また、「ほとんどある(20~27本)」でも全体で増加している。一方で、男性は「ほとんどない(1~9本)」が17年度調査から増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】

歯の本数(全体)



歯の本数(性別)



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15~19歳の回答者数を除く。

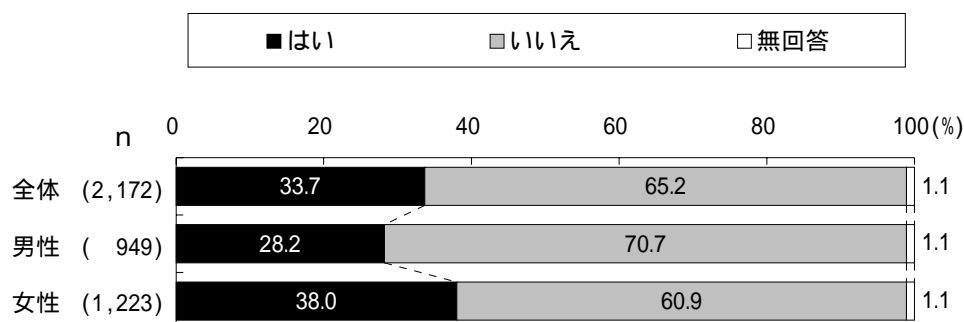
問23 定期的な歯の健康診査の受診

全体では、「はい」が33.7%、「いいえ」が65.2%となっている。

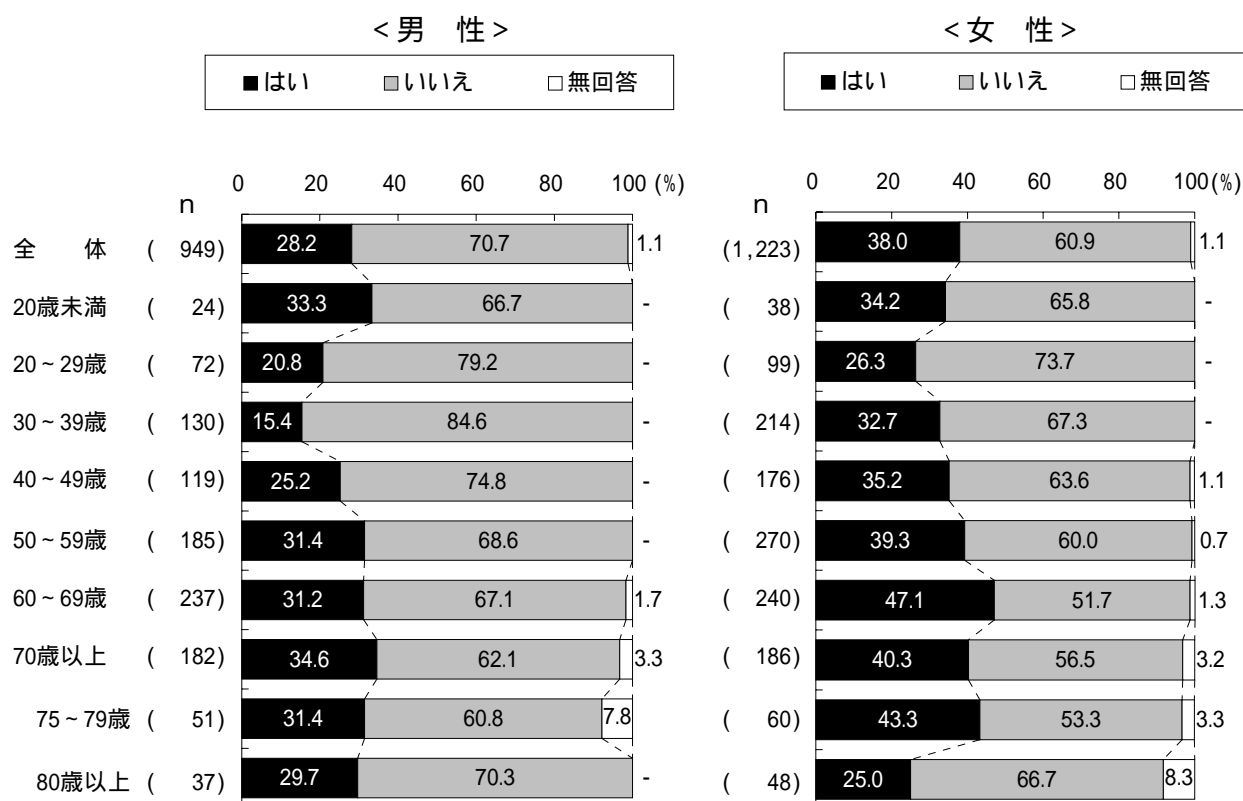
性別でみると、「はい」は男性が28.2%、女性が38.0%で女性の方が9.8ポイント高く、逆に、「いいえ」は、男性が70.7%、女性が60.9%で男性の方が9.8ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「はい」は、男性の30～39歳が15.4%、20～29歳が20.8%と低く、男性の30～39歳は「いいえ」が84.6%と高くなっている。

問23 定期的な歯の健康診査の受診（全体・性別）

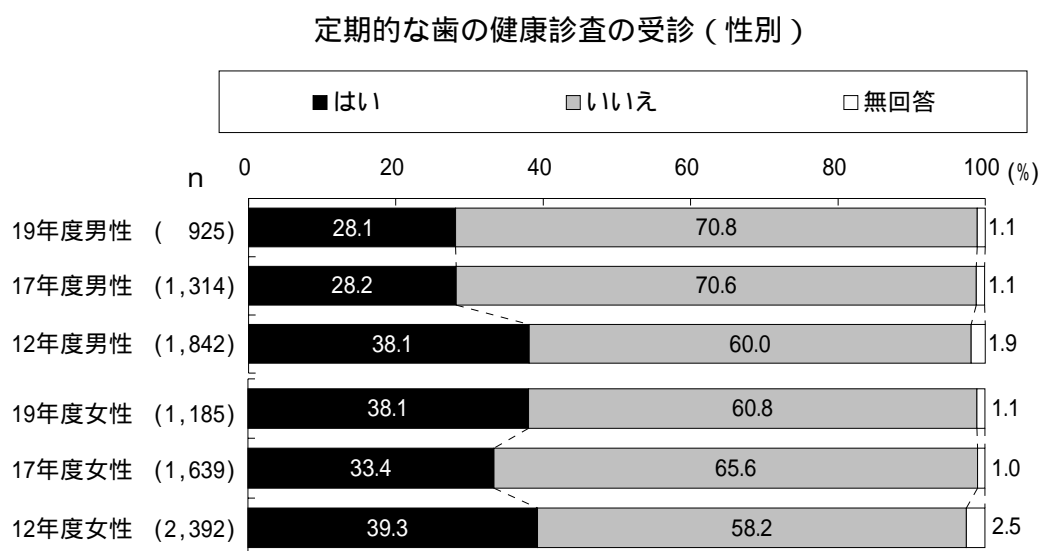
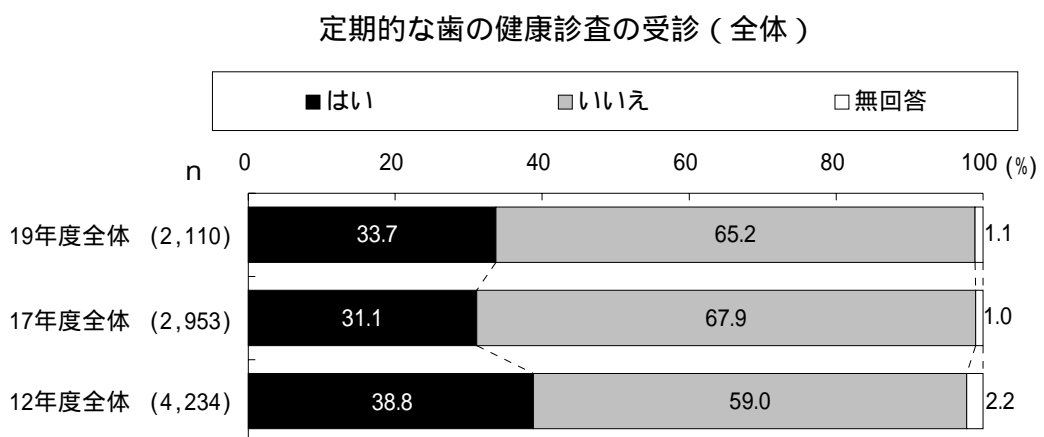


問23 定期的な歯の健康診査の受診（性/年齢別）



12年度及び17年度調査結果と比較すると、男性は、「はい」が調査ごとに減少している。

【平成12年度・17年度調査との比較】



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

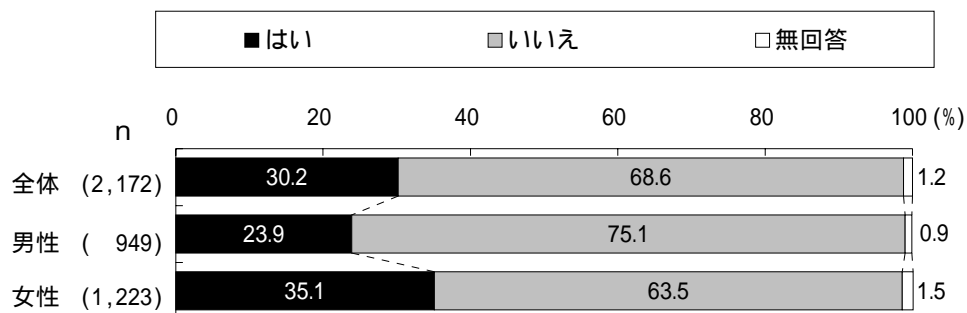
問24 定期的な歯石除去や歯面清掃

全体では、「はい」が30.2%、「いいえ」が68.6%となっている。

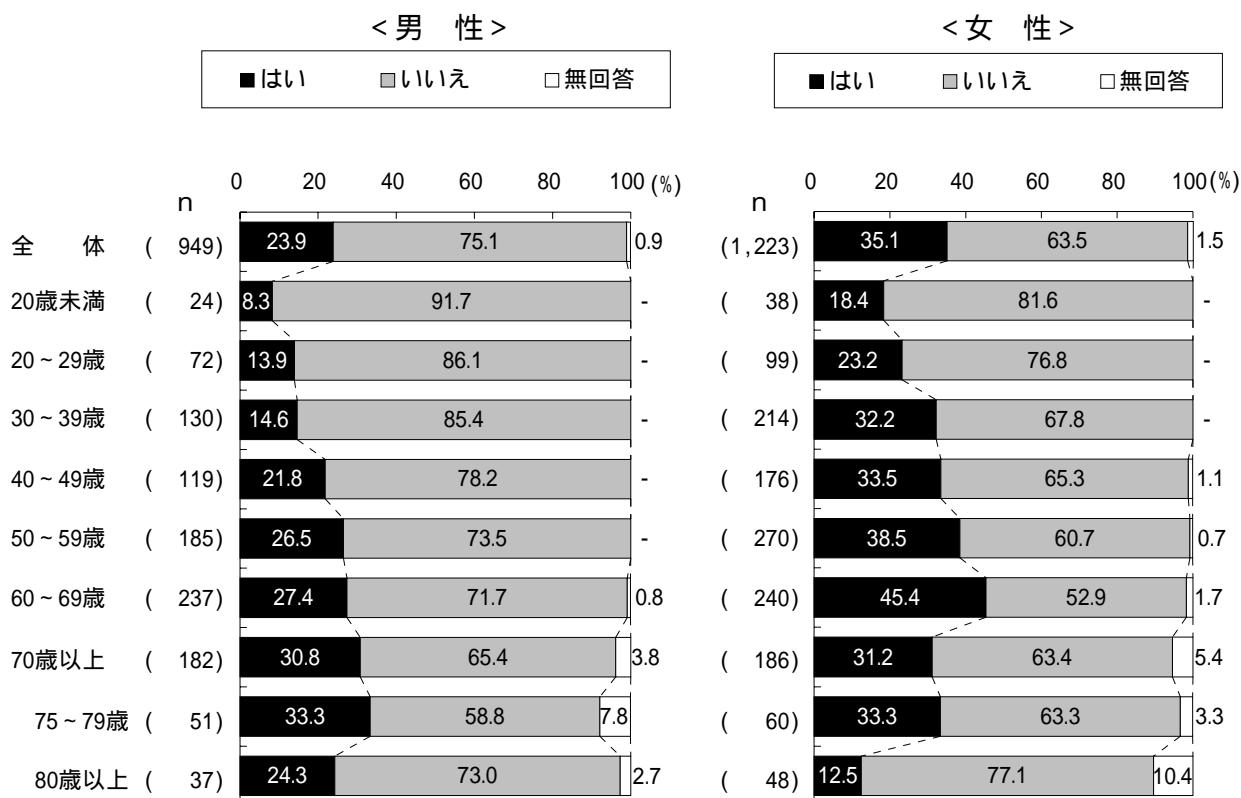
性別で見ると、「はい」は、男性が23.9%、女性が35.1%で女性の方が11.2ポイント高く、逆に、「いいえ」は、男性が75.1%、女性が63.5%で男性の方が11.6ポイント高くなっている。

性/年齢別で見ると、「はい」は、男性では年齢が上がるほど増加し、70歳以上で30.8%となっている。女性でもおおむね年齢が上がるほど増加し、60～69歳で45.4%となっている。逆に、「いいえ」は、男女ともに20歳未満で高く、男性で91.7%、女性で81.6%となっている。

問24 定期的な歯石除去や歯面清掃（全体・性別）

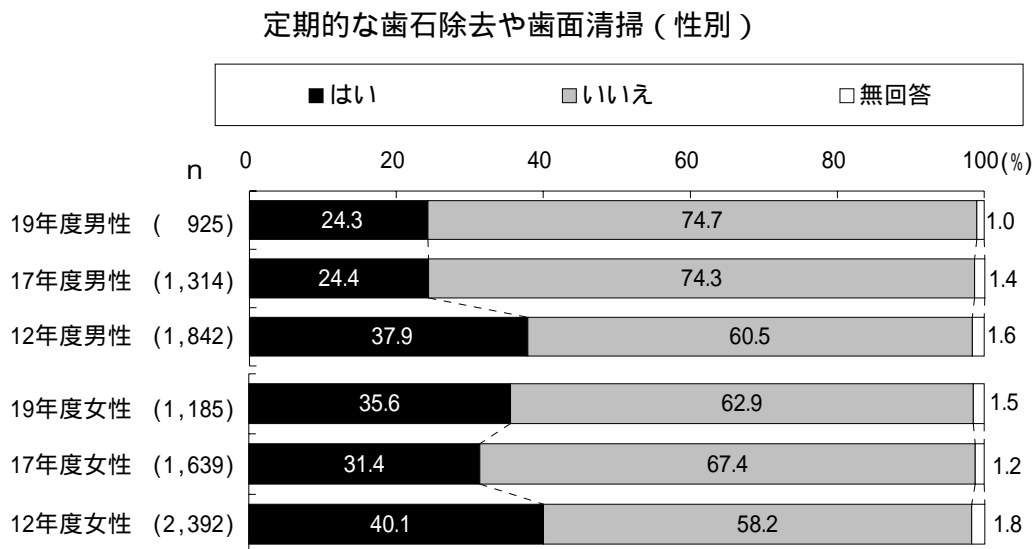
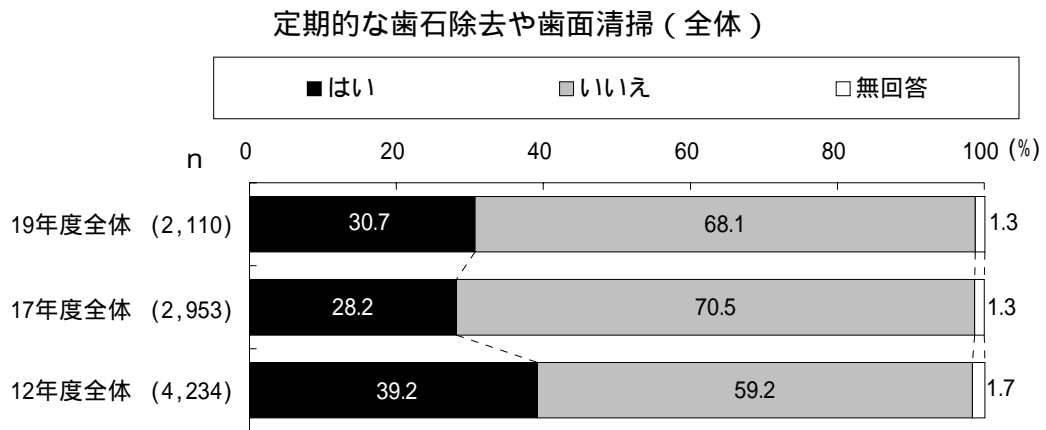


問24 定期的な歯石除去や歯面清掃（性/年齢別）



12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体では、平成17年度との特に大きな違いはみられない。
性別では、女性で、「はい」(17年度：31.4% 19年度：35.6%)が4.2ポイント増加し、逆に、「いいえ」(17年度：67.4% 19年度：62.9%)が4.5ポイント減少している。

【平成12年度・17年度調査との比較】



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

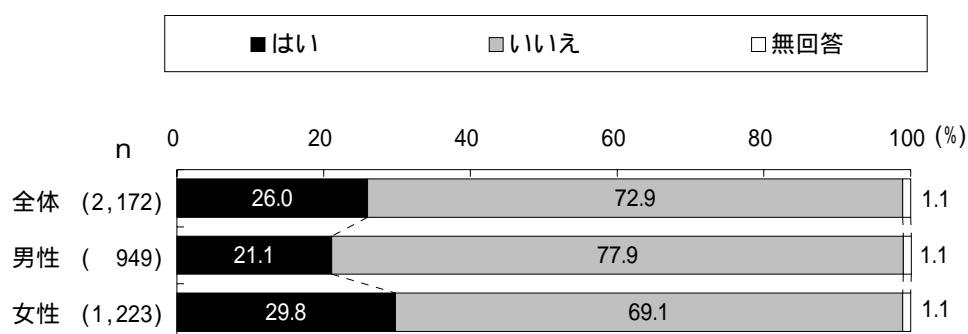
問25 定期的な歯科医師等による歯ブラシの使い方の指導について

全体では、「はい」が26.0%、「いいえ」が72.9%となっている。

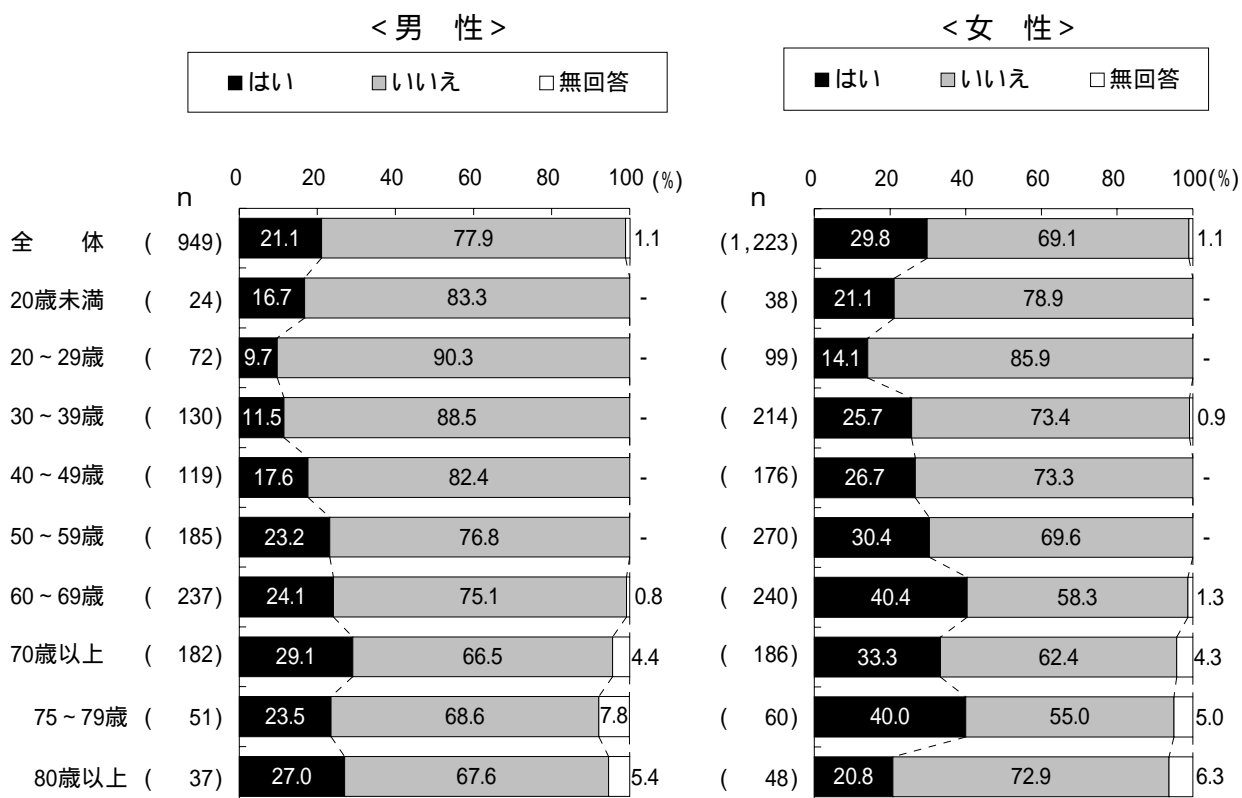
性別で見ると、「はい」は、男性が21.1%、女性が29.8%で女性の方が8.7ポイント高く、逆に、「いいえ」は、男性が77.9%、女性が69.1%で男性の方が8.8ポイント高くなっている。

性/年齢別で見ると、「はい」は、男性では70歳以上が29.1%、女性では60～69歳が40.4%で最も高くなっている。逆に、「いいえ」は、男女ともに20～29歳で高く、男性で90.3%、女性で85.9%となっている。

問25 定期的な歯科医師等による歯ブラシの使い方の指導について（全体・性別）



問25 定期的な歯科医師等による歯ブラシの使い方の指導について（性/年齢別）



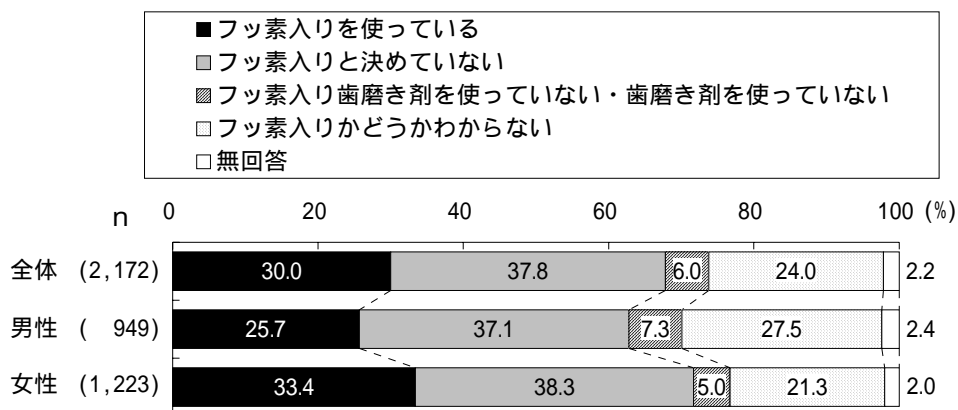
問26 フッ素入りの歯磨き剤の使用状況

全体では、「フッ素入りと決めていない」が37.8%で最も高く、「フッ素入りを使っている」が30.0%となっている。このほか、「フッ素入りかどうか分からない」が24.0%となっている。

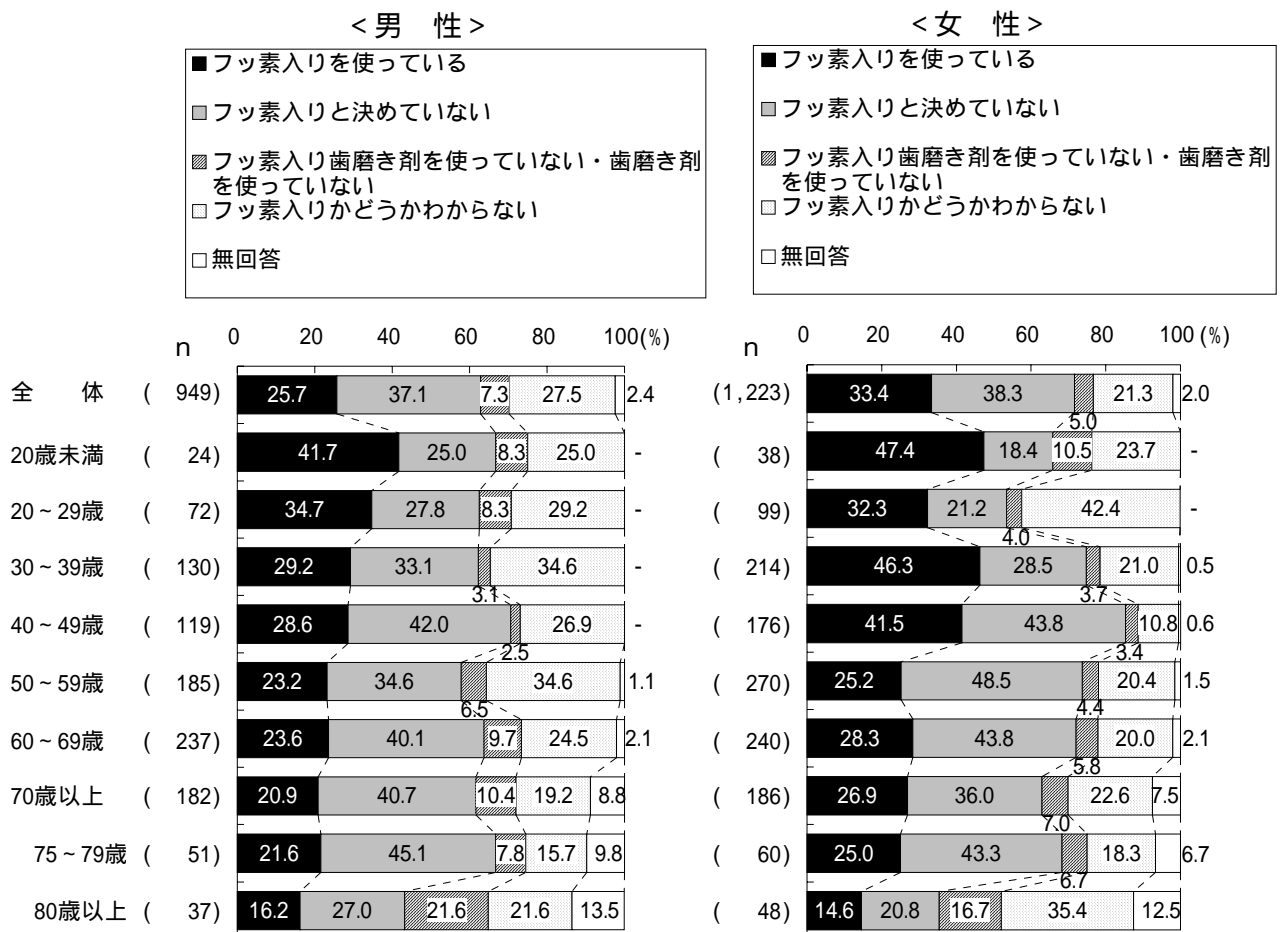
性別で見ると、「フッ素入りを使っている」は、男性が25.7%、女性が33.4%で女性の方が7.7ポイント高くなっている。逆に、「フッ素入りかどうか分からない」男性が27.5%、女性が21.3%で男性の方が6.2ポイント高くなっている。

性/年齢別で見ると、「フッ素入りを使っている」は、男女ともに20歳未満で高く、男性で41.7%、女性で47.4%となっている。「フッ素入りと決めていない」は、男性では40～49歳が42.0%、女性では50～59歳が48.5%で高くなっている。また、「フッ素入りかどうか分からない」は、男性では30～39歳と50～59歳が34.6%、女性では20～29歳が42.4%で高くなっている。

問26 フッ素入りの歯磨き剤の使用状況（全体・性別）



問26 フッ素入りの歯磨き剤の使用状況（性/年齢別）

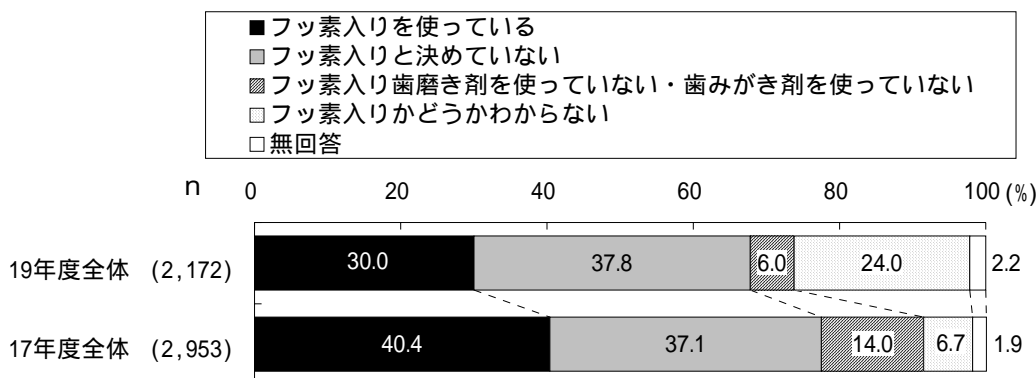


17年度調査結果と比較すると、全体では、「フッ素入りを使っている」(17年度：40.4% 19年度：30.0%)が10.4ポイント減少している。逆に、「フッ素入りかどうか分からない」(17年度：6.7% 19年度：24.0%)が17.3ポイント増加している。

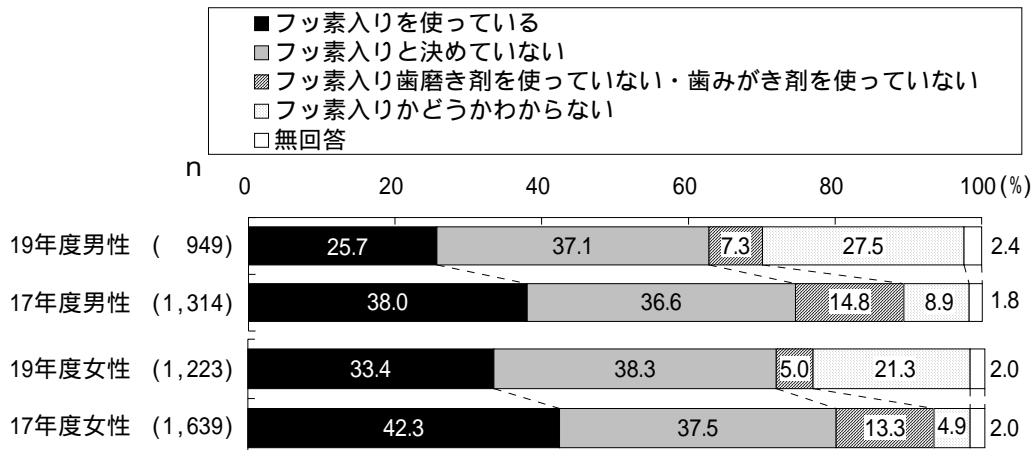
性別では、「フッ素入りを使っている」が、男性(17年度：38.0% 19年度：25.7%)で12.3ポイント、女性(17年度：42.3% 19年度：33.4%)で8.9ポイント減少している。逆に、「フッ素入りかどうか分からない」は、男性(17年度：8.9% 19年度：27.5%)で18.6ポイント、女性(17年度：4.9% 19年度：21.3%)で16.4ポイント増加している。

【平成17年度調査との比較】

フッ素入りの歯磨き剤の使用状況(全体)



フッ素入りの歯磨き剤の使用状況(性別)



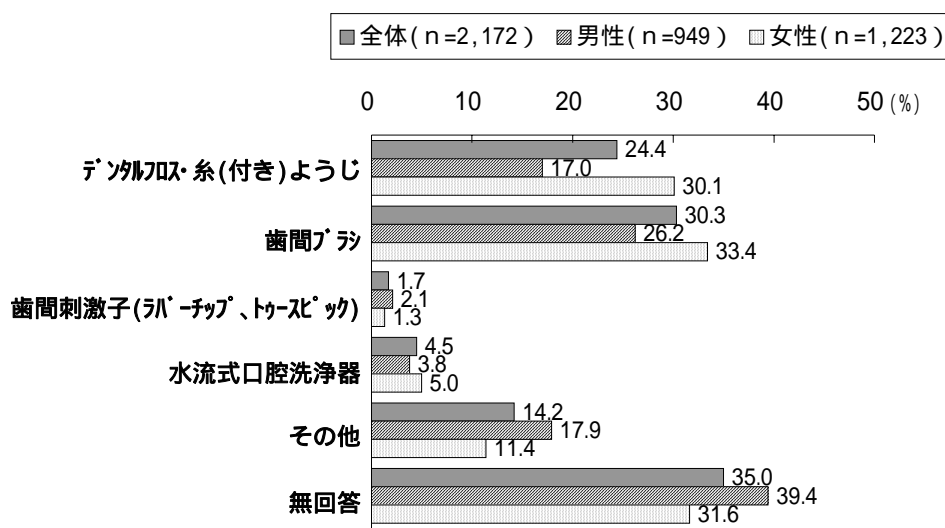
問27 歯間部清掃用器具の使用状況（複数回答）

全体では、「歯間ブラシ」が30.3%で最も高く、「デンタルフロス・系（付き）ようじ」が24.4%などとなっている。

性別でみると、「デンタルフロス・系（付き）ようじ」は、男性が17.0%、女性が30.1%で女性の方が13.1ポイント高く、「歯間ブラシ」でも、男性が26.2%、女性が33.4%で女性の方が7.2ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「デンタルフロス・系（付き）ようじ」は、男女ともに30～39歳で高く、男性で29.2%、女性で43.0%となっている。「歯間ブラシ」は、男性では70歳以上が37.4%、女性では60～69歳が48.8%で最も高くなっている。

問27 歯間部清掃用器具の使用状況（全体・性別）



問27 歯間部清掃用器具の使用状況（性/年齢別）

	<男 性>							<女 性>						
	n	デンタルフロス(付き)ようじ	歯間ブラシ	歯間刺激子(パチップ、トウズック)	水流式口腔洗浄器	その他	無回答	n	デンタルフロス(付き)ようじ	歯間ブラシ	歯間刺激子(パチップ、トウズック)	水流式口腔洗浄器	その他	無回答
全 体	949	161	249	20	36	170	374	1,223	368	409	16	61	139	387
	100.0	17.0	26.2	2.1	3.8	17.9	39.4	100.0	30.1	33.4	1.3	5.0	11.4	31.6
20歳未満	24	4	5	-	1	3	11	38	14	-	-	-	9	15
	100.0	16.7	20.8	-	4.2	12.5	45.8	100.0	36.8	-	-	-	23.7	39.5
20～29歳	72	14	7	2	3	11	38	99	34	9	1	8	13	45
	100.0	19.4	9.7	2.8	4.2	15.3	52.8	100.0	34.3	9.1	1.0	8.1	13.1	45.5
30～39歳	130	38	14	1	5	16	66	214	92	41	2	9	16	78
	100.0	29.2	10.8	0.8	3.8	12.3	50.8	100.0	43.0	19.2	0.9	4.2	7.5	36.4
40～49歳	119	29	27	2	3	18	52	176	68	60	3	11	20	46
	100.0	24.4	22.7	1.7	2.5	15.1	43.7	100.0	38.6	34.1	1.7	6.3	11.4	26.1
50～59歳	185	26	46	3	11	41	69	270	91	111	8	14	33	62
	100.0	14.1	24.9	1.6	5.9	22.2	37.3	100.0	33.7	41.1	3.0	5.2	12.2	23.0
60～69歳	237	35	82	9	6	45	75	240	47	117	2	14	21	69
	100.0	14.8	34.6	3.8	2.5	19.0	31.6	100.0	19.6	48.8	0.8	5.8	8.8	28.8
70歳以上	182	15	68	3	7	36	63	186	22	71	-	5	27	72
	100.0	8.2	37.4	1.6	3.8	19.8	34.6	100.0	11.8	38.2	-	2.7	14.5	38.7
75～79歳	51	5	23	1	1	7	15	60	5	23	-	-	11	22
	100.0	9.8	45.1	2.0	2.0	13.7	29.4	100.0	8.3	38.3	-	-	18.3	36.7
80歳以上	37	2	9	1	2	6	18	48	3	13	-	1	10	25
	100.0	5.4	24.3	2.7	5.4	16.2	48.6	100.0	6.3	27.1	-	2.1	20.8	52.1

《 8 . 健康診断・生活習慣病》

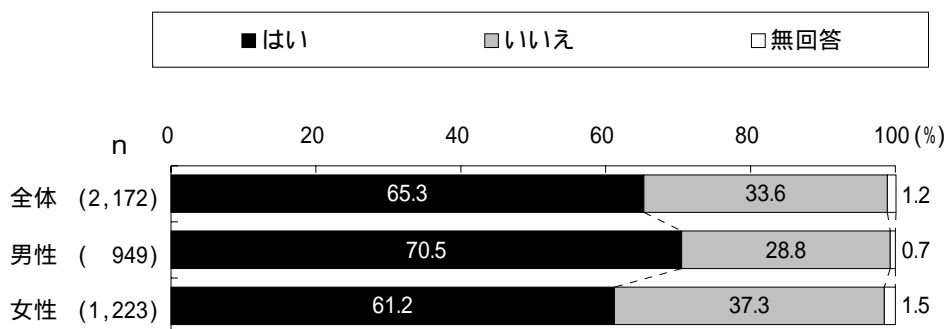
問28 健診（健康診断や健康診査）や人間ドッグ受診の有無

全体では、「はい」が65.3%、「いいえ」が33.6%となっている。

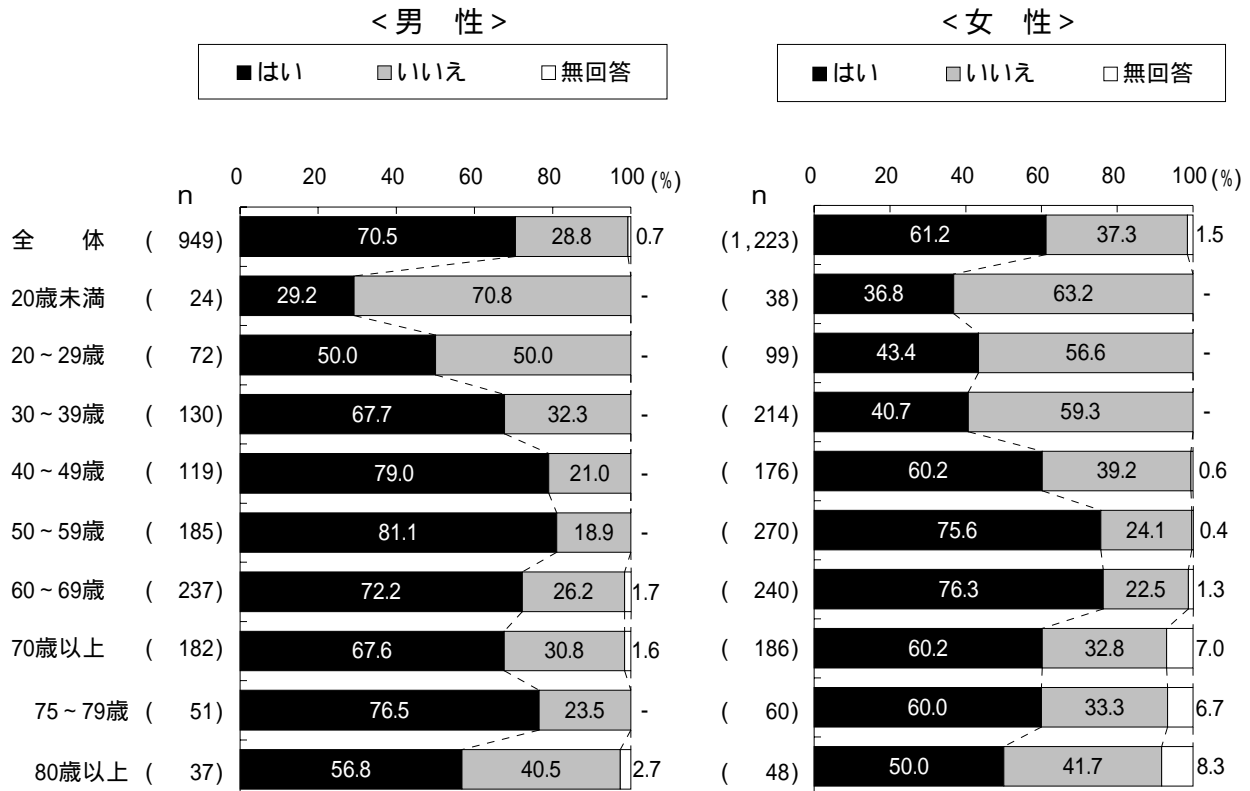
性別で見ると、「はい」は、男性が70.5%、女性が61.2%で男性の方が9.3ポイント高く、逆に、「いいえ」は、男性が28.8%、女性が37.3%で女性の方が8.5ポイント高くなっている。

性/年齢別で見ると、「はい」は、男性では50～59歳が81.1%、40～49歳が79.0%で、女性では60～69歳が76.3%、50～59歳が75.6%と高くなっている。逆に、「いいえ」は、男女ともに20歳未満で高く、男性で70.8%、女性で63.2%となっている。

問28 健診（健康診断や健康診査）や人間ドッグ受診の有無（全体・性別）



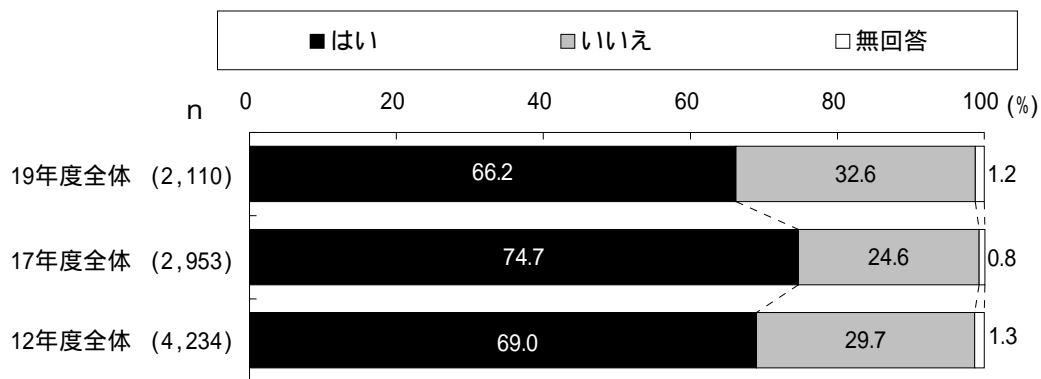
問28 健診（健康診断や健康診査）や人間ドッグ受診の有無（性/年齢別）



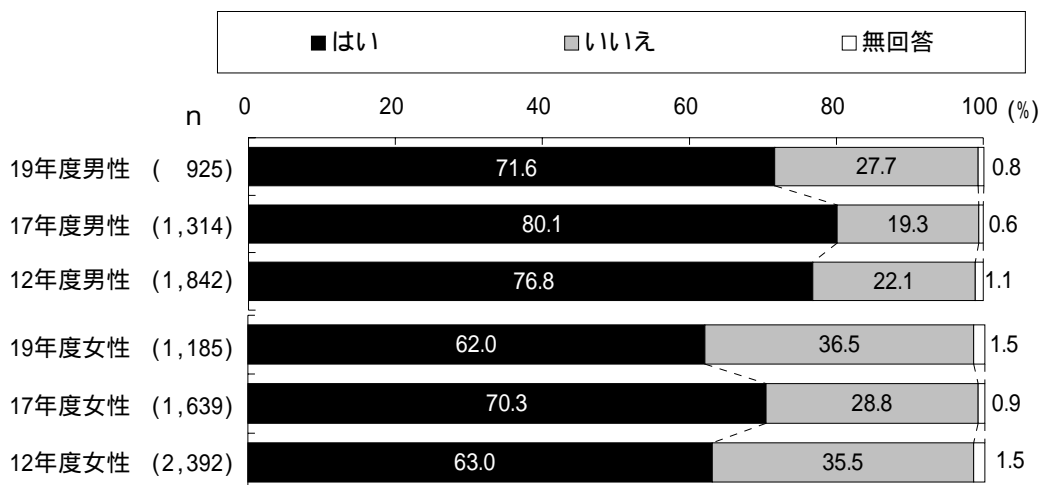
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体と性別ともに「はい」が17年度から減少しており、全体（17年度：74.7% 19年度：66.2%）で8.5ポイント、男性（17年度：80.1% 19年度：71.6%）で8.5ポイント、女性（17年度：70.3% 19年度：62.0%）で8.3ポイント減少している。

【平成12年度・17年度調査との比較】

健診（健康診断や健康診査）や人間ドッグ受診の有無（全体）



健診（健康診断や健康診査）や人間ドッグ受診の有無（性別）



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

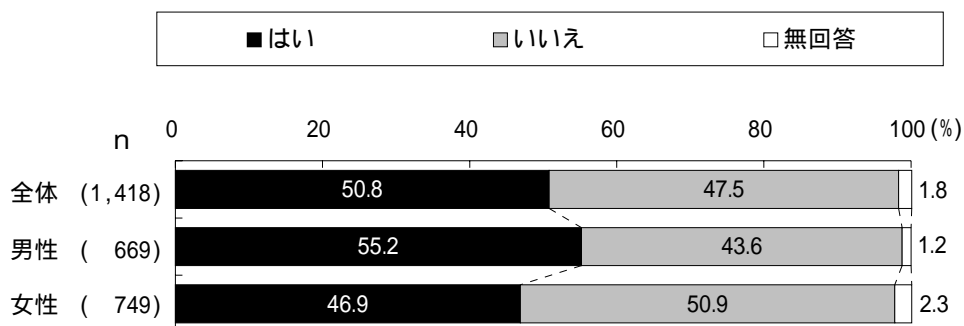
問28 - 1 健診の結果に関する指摘の有無

健診（健康診断や健康診査）や人間ドッグ受診の有無で、「はい」と回答した人（1,418人）に、健診の結果に関する指摘があったかをたずねた結果、全体では、「はい」が50.8%、「いいえ」が47.5%となっている。

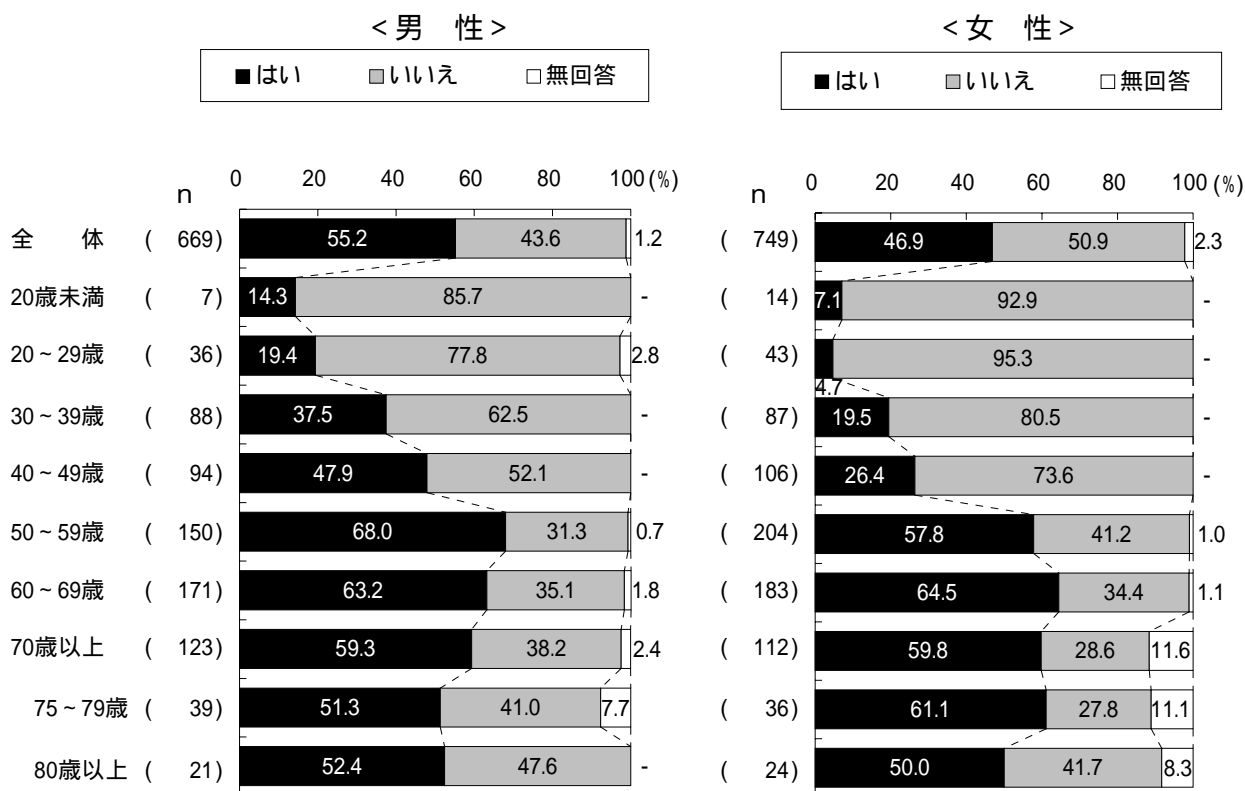
性別でみると、「はい」は、男性が55.2%、女性が46.9%で男性の方が8.3ポイント高く、逆に、「いいえ」は、男性が43.6%、女性が50.9%で女性の方が7.3ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「はい」は、男性では50～59歳が68.0%、女性では60～69歳が64.5%で最も高くなっている。逆に、「いいえ」は、男女ともに20～29歳で高く、男性で77.8%、女性で95.3%となっている。

問28-1 健診の結果に関する指摘の有無（全体・性別）



問28-1 健診の結果に関する指摘の有無（性/年齢別）



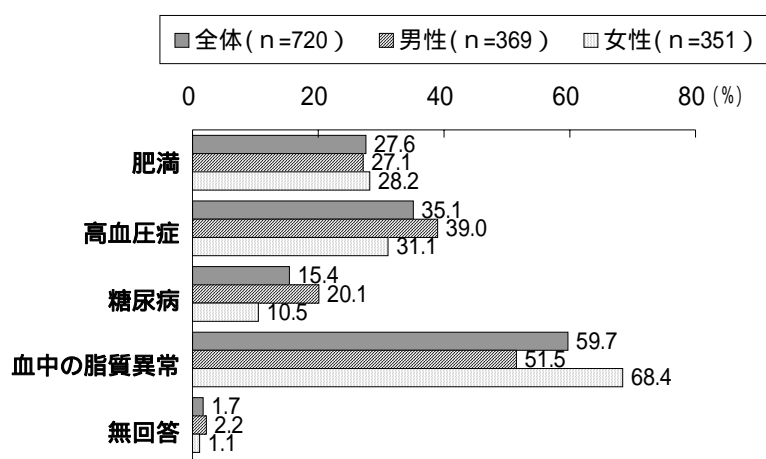
問28 - 2 健診の結果の指摘内容

健診の結果に関する指摘があったかについて「はい」と回答した人（720人）に、その内容をたずねた結果、全体では、「血中の脂質異常」が59.7%で最も高く、「肥満」が27.6%、「高血圧症」が35.1%、「糖尿病」が15.4%となっている。

性別でみると、「高血圧症」男性が39.0%、女性が31.1%で男性の方が7.9ポイント高く、「糖尿病」でも、男性が20.1%、女性が10.5%で男性の方が9.6ポイント高くなっている。逆に、「血中の脂質異常」は、男性が51.5%、女性が68.4%で女性の方が16.9ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「肥満」は、男性では30～39歳が36.4%、女性では60～69歳が31.4%で高くなっている。「高血圧」は、男女ともに70歳以上で高く、男性で60.3%、女性で55.2%となっている。「糖尿病」は、男性では70歳以上が23.3%、60～69歳が23.1%、女性では60～69歳が14.4%、70歳以上が13.4%と高くなっている。また、「血中の脂質異常」は、男性では30～39歳が69.7%、女性では50～59歳が79.7%で最も高くなっている。

問28-2 健診の結果の指摘内容（全体・性別）



問28-2 健診の結果の指摘内容（性/年齢別）

< 男性 >							< 女性 >					
	n	肥満	高血圧症	糖尿病	血中の脂質異常	無回答		肥満	高血圧症	糖尿病	血中の脂質異常	無回答
全体	369	100	144	74	190	8	351	99	109	37	240	4
	100.0	27.1	39.0	20.1	51.5	2.2	100.0	28.2	31.1	10.5	68.4	1.1
20歳未満	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-
20～29歳	7	5	1	1	3	-	2	1	-	-	1	-
	100.0	71.4	14.3	14.3	42.9	-	100.0	50.0	-	-	50.0	-
30～39歳	33	12	5	1	23	1	17	6	-	-	12	-
	100.0	36.4	15.2	3.0	69.7	3.0	100.0	35.3	-	-	70.6	-
40～49歳	45	12	15	10	25	2	28	15	3	2	17	1
	100.0	26.7	33.3	22.2	55.6	4.4	100.0	53.6	10.7	7.1	60.7	3.6
50～59歳	102	28	33	20	59	2	118	22	27	9	94	1
	100.0	27.5	32.4	19.6	57.8	2.0	100.0	18.6	22.9	7.6	79.7	0.8
60～69歳	108	23	46	25	57	1	118	37	42	17	76	2
	100.0	21.3	42.6	23.1	52.8	0.9	100.0	31.4	35.6	14.4	64.4	1.7
70歳以上	73	19	44	17	23	2	67	17	37	9	40	-
	100.0	26.0	60.3	23.3	31.5	2.7	100.0	25.4	55.2	13.4	59.7	-
75～79歳	20	6	15	4	6	1	22	8	15	2	12	-
	100.0	30.0	75.0	20.0	30.0	5.0	100.0	36.4	68.2	9.1	54.5	-
80歳以上	11	3	9	3	-	-	12	1	7	3	7	-
	100.0	27.3	81.8	27.3	-	-	100.0	8.3	58.3	25.0	58.3	-

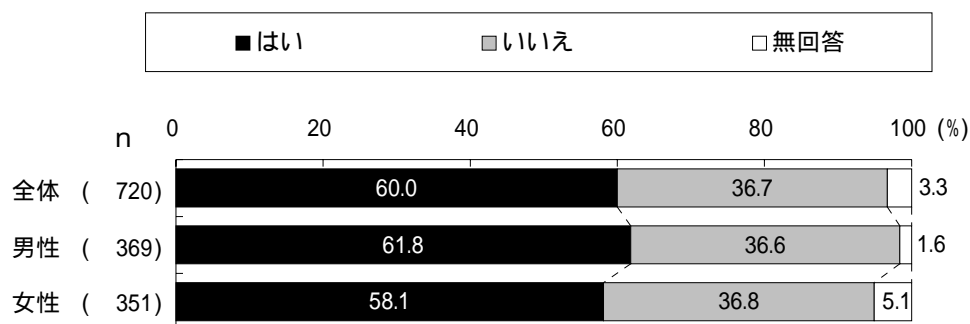
問28 - 3 指摘を受けたことについて保健指導受診の有無

健診の結果に関する指摘があったかについて「はい」と回答した人（720人）に、その後保健指導を受けたかをたずねた結果、全体では、「はい」が60.0%、「いいえ」が36.7%となっている。

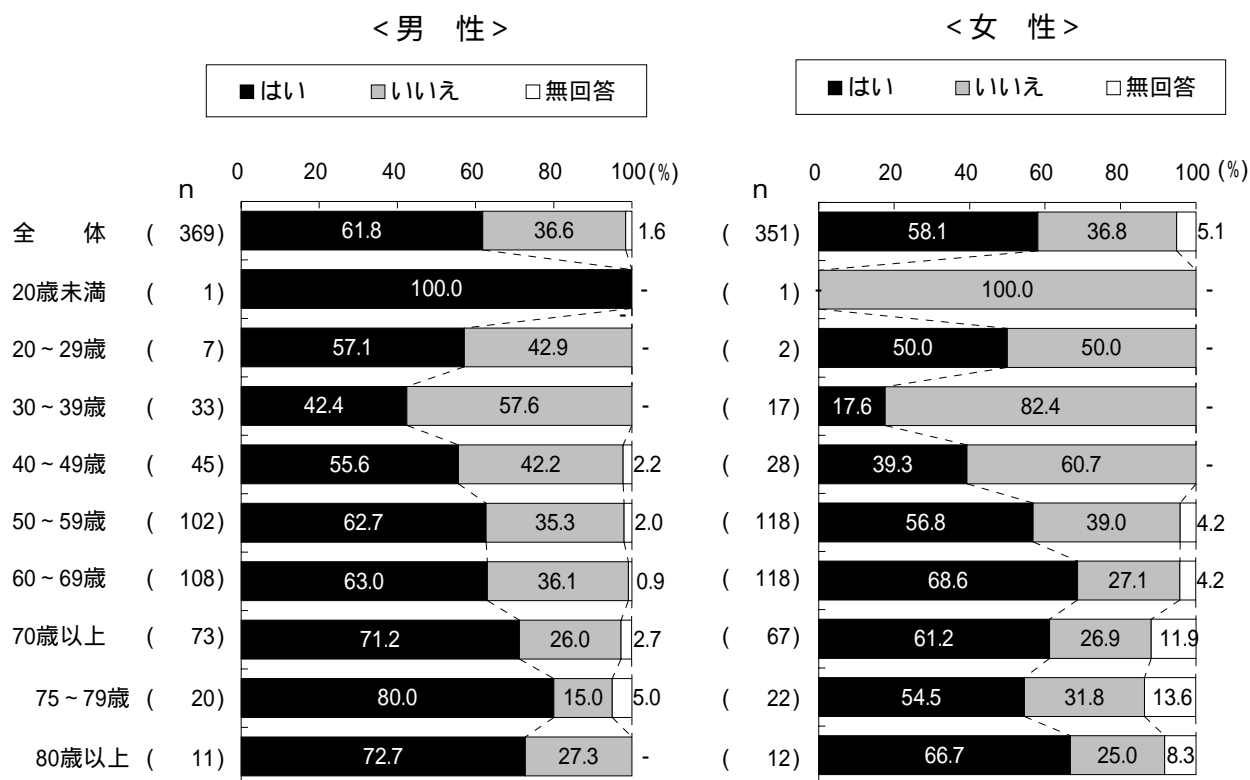
性別でみると、「はい」男性が61.8%、女性が58.1%で男性の方が3.7ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「はい」は、男性では70歳以上が71.2%、女性では60～69歳が68.6%と高くなっている。逆に、「いいえ」は、男性では30～39歳が57.6%で最も高くなっている。

問28-3 指摘を受けたことについて保健指導受診の有無（全体・性別）



問28-3 指摘を受けたことについて保健指導受診の有無（性/年齢別）



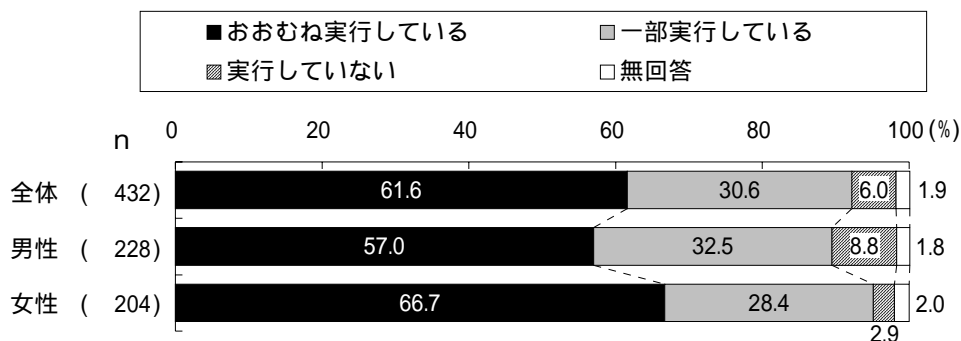
問28 - 4 保健指導された内容に対する実行の程度

保健指導を受けたかについて「はい」と回答した人（432人）に、保健指導された内容の実行の程度をたずねた結果、全体では、「おおむね実行している」が61.6%で最も高くなっている。一方、「一部実行している」が30.6%、「実行していない」は6.0%となっている。これらを合わせると、《（一部）実行していない》は36.6%となっている。

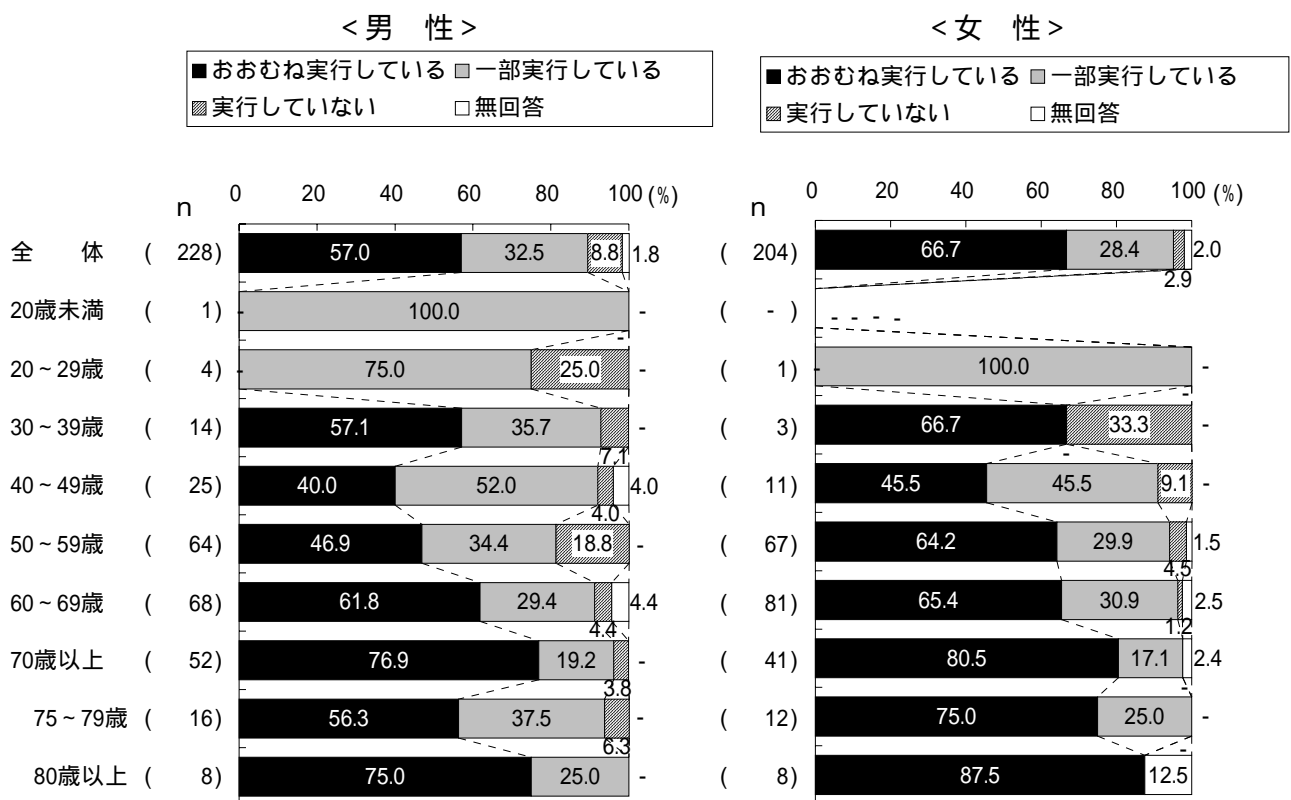
性別でみると、「おおむね実行している」は、男性が57.0%、女性が66.7%で女性の方が9.7ポイント高くなっている。逆に、「一部実行している」は、男性が32.5%、女性が28.4%で男性の方が4.1ポイント、「実行していない」でも、男性が8.8%、女性が2.9%で男性の方が5.9ポイント高くなっている。また、《（一部）実行していない》としてみた場合、男性が41.3%、女性が31.3%で男性の方が10.0ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「おおむね実行している」は、男女ともに70歳以上が高く、男性で76.9%、女性で80.5%となっている。「一部実行している」は、男性では50～59歳が34.4%、女性では60～69歳が30.9%、50～59歳が29.9%と高くなっている。また、《（一部）実行していない》としてみた場合、男女ともに50～59歳が高く、男性で53.2%、女性で34.4%となっている。

問28-4 保健指導された内容に対する実行の程度（全体・性別）



問28-4 保健指導された内容に対する実行の程度（性/年齢別）



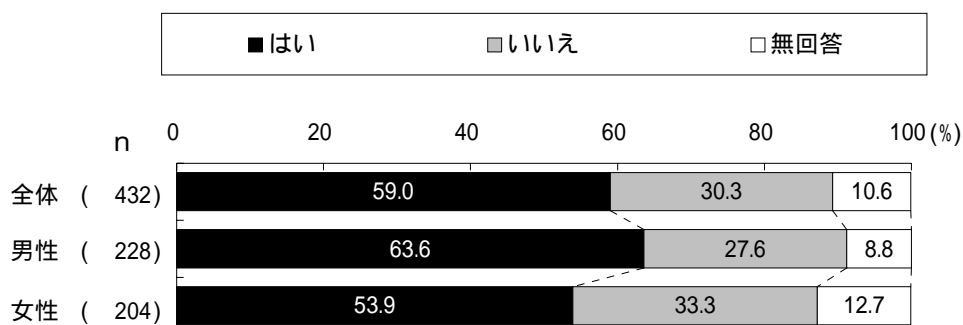
問28 - 5 医療機関の受診を勧められた経験の有無

保健指導を受けたかについて「はい」と回答した人（432人）に、医療機関の受診を勧められたかをたずねた結果、全体では、「はい」が59.0%、「いいえ」が30.3%となっている。

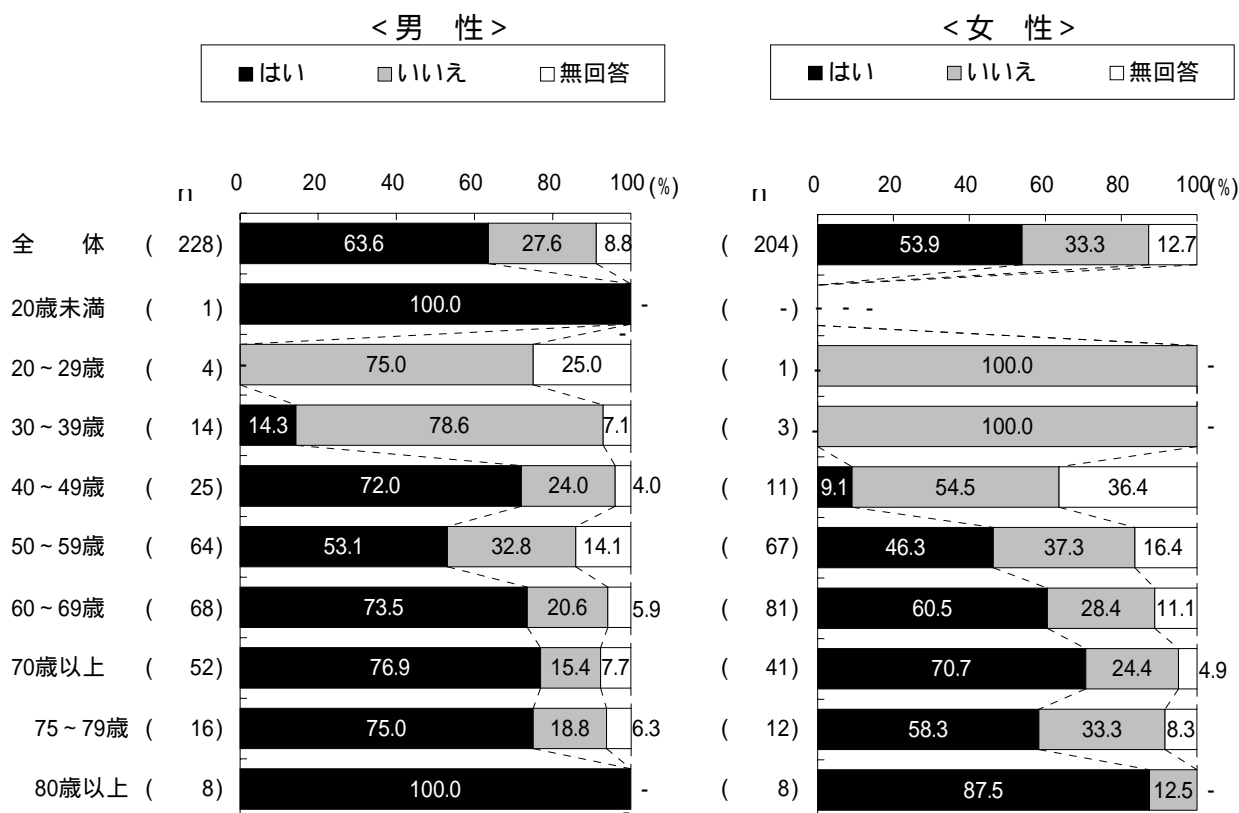
性別でみると、「はい」は、男性が63.6%、女性が53.9%で男性の方が9.7ポイント高く、逆に、「いいえ」は、男性が27.6%、女性が33.3%で女性の方が5.7ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「はい」は、男性では70歳以上が76.9%、60～69歳が73.5%、女性では、70歳以上が70.7%で高くなっている。逆に、「いいえ」は、男女ともに50～59歳で高く、男性で32.8%、女性で37.3%となっている。

問28-5 医療機関の受診を勧められた経験の有無（全体・性別）



問28-5 医療機関の受診を勧められた経験の有無（性/年齢別）



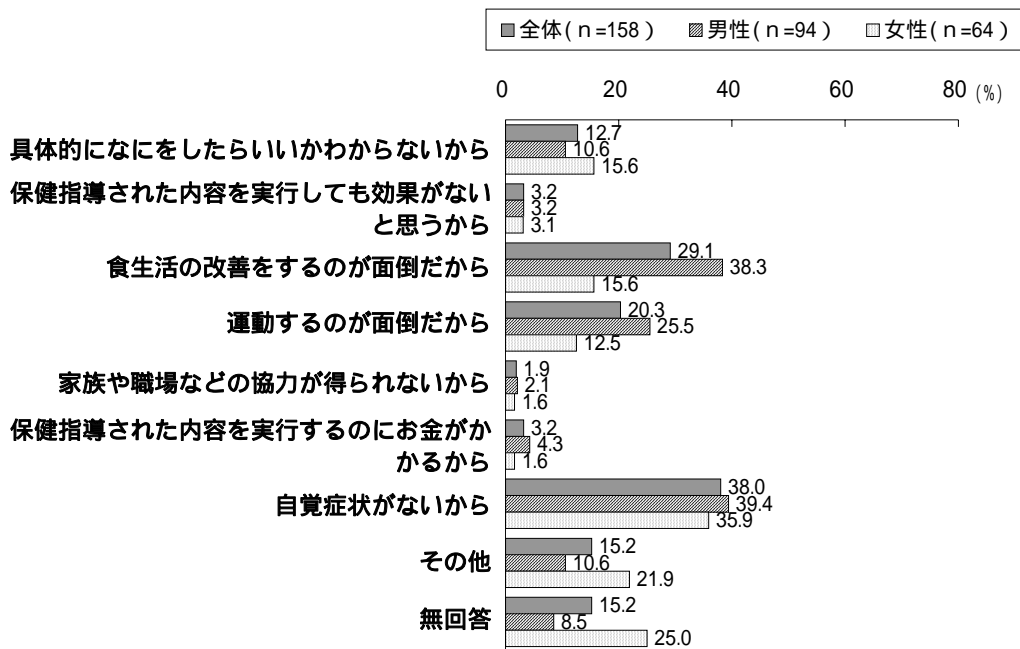
問28 - 6 保健指導された内容を実行していない理由（複数回答）

保健指導された内容を「一部実行している」か「実行していない」と回答した人（158人）に、実行していない理由をたずねた結果、全体では、「自覚症状がないから」が38.0%で最も高く、「食生活の改善をするのが面倒だから」が29.1%、「運動するのが面倒だから」が20.3%、「具体的になにをしづらいかわからないから」が12.7%などとなっている。

性別でみると、「具体的になにをしづらいかわからないから」は、男性が10.6%、女性が15.6%で女性の方が5.0ポイント高くなっている。そのほか、男性の方が高いものも多く、順に列挙すると、「食生活の改善をするのが面倒だから」は、男性が38.3%、女性が15.6%で22.7ポイント、「運動するのが面倒だから」は、男性が25.5%、女性が12.5%で13.0ポイント、「保健指導された内容を実行するのにお金がかかるから」は、男性が4.3%、女性が1.6%で2.7ポイント、「自覚症状がないから」は、男性が39.4%、女性が35.9%で3.5ポイント差となっている。

性/年齢別については、回答者数が少ない層が多いため、図表を参考として掲載している。

問28-6 保健指導された内容を実行していない理由（全体・性別）



問28-6 保健指導された内容を実行していない理由（性/年齢別）

（上段：実数）
（下段：%）

	<男性>										<女性>										
	n	具体的になにをしづらいかわからないから	保健指導された内容を実行しても効果がないと思うから	食生活の改善をするのが面倒だから	運動するのが面倒だから	家族や職場などの協力が得られないから	のにお金がかかるから	保健指導された内容を実行する	自覚症状がないから	その他	無回答	n	具体的になにをしづらいかわからないから	保健指導された内容を実行しても効果がないと思うから	食生活の改善をするのが面倒だから	運動するのが面倒だから	家族や職場などの協力が得られないから	のにお金がかかるから	保健指導された内容を実行する	自覚症状がないから	その他
全体	94	10	3	36	24	2	4	37	10	8	64	10	2	10	8	1	1	23	14	16	
	100.0	10.6	3.2	38.3	25.5	2.1	4.3	39.4	10.6	8.5	100.0	15.6	3.1	15.6	12.5	1.6	1.6	35.9	21.9	25.0	
20歳未満	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	4	-	-	3	1	1	2	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	-	-	75.0	25.0	25.0	50.0	25.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-
30～39歳	6	1	-	1	2	-	1	3	-	1	6	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
	100.0	16.7	-	16.7	33.3	-	16.7	50.0	-	16.7	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	16.7
40～49歳	14	-	-	9	5	-	-	4	2	-	6	1	-	1	1	-	-	-	1	2	1
	100.0	-	-	64.3	35.7	-	-	28.6	14.3	-	100.0	16.7	-	16.7	16.7	-	-	-	16.7	33.3	16.7
50～59歳	34	5	1	9	9	-	1	15	4	3	23	3	1	5	4	1	-	-	12	5	2
	100.0	14.7	2.9	26.5	26.5	-	2.9	44.1	11.8	8.8	100.0	13.0	4.3	21.7	17.4	4.3	-	-	52.2	21.7	8.7
60～69歳	23	2	1	8	6	1	-	10	3	2	26	6	1	1	1	-	1	7	7	7	8
	100.0	8.7	4.3	34.8	26.1	4.3	-	43.5	13.0	8.7	100.0	23.1	3.8	3.8	3.8	-	3.8	26.9	26.9	30.8	
70歳以上	12	2	1	6	1	-	-	4	1	1	7	-	-	2	1	-	-	2	5	1	5
	100.0	16.7	8.3	50.0	8.3	-	-	33.3	8.3	8.3	100.0	-	-	28.6	14.3	-	-	28.6	41.7	12.5	50.0
75～79歳	7	1	1	5	1	-	-	1	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	100.0	14.3	14.3	71.4	14.3	-	-	14.3	-	14.3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
80歳以上	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

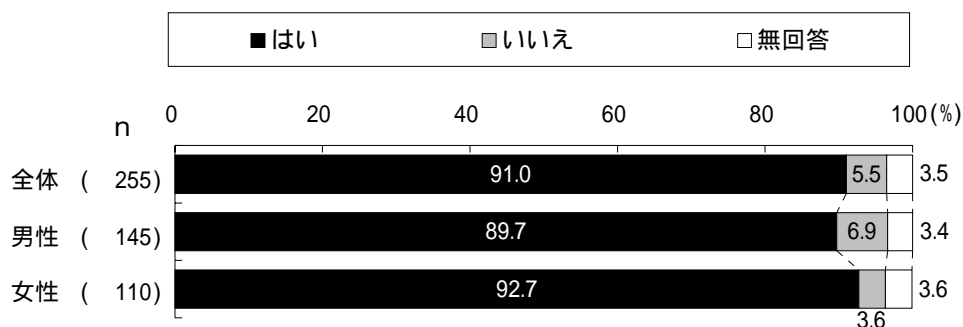
問28 - 7 医療機関の受診の有無

保健指導を受け、医療機関の受診を勧められたかについて「はい」と回答した人（255人）に、受診の有無をたずねた結果、全体では、「はい」が91.0%、「いいえ」が5.5%となっている。

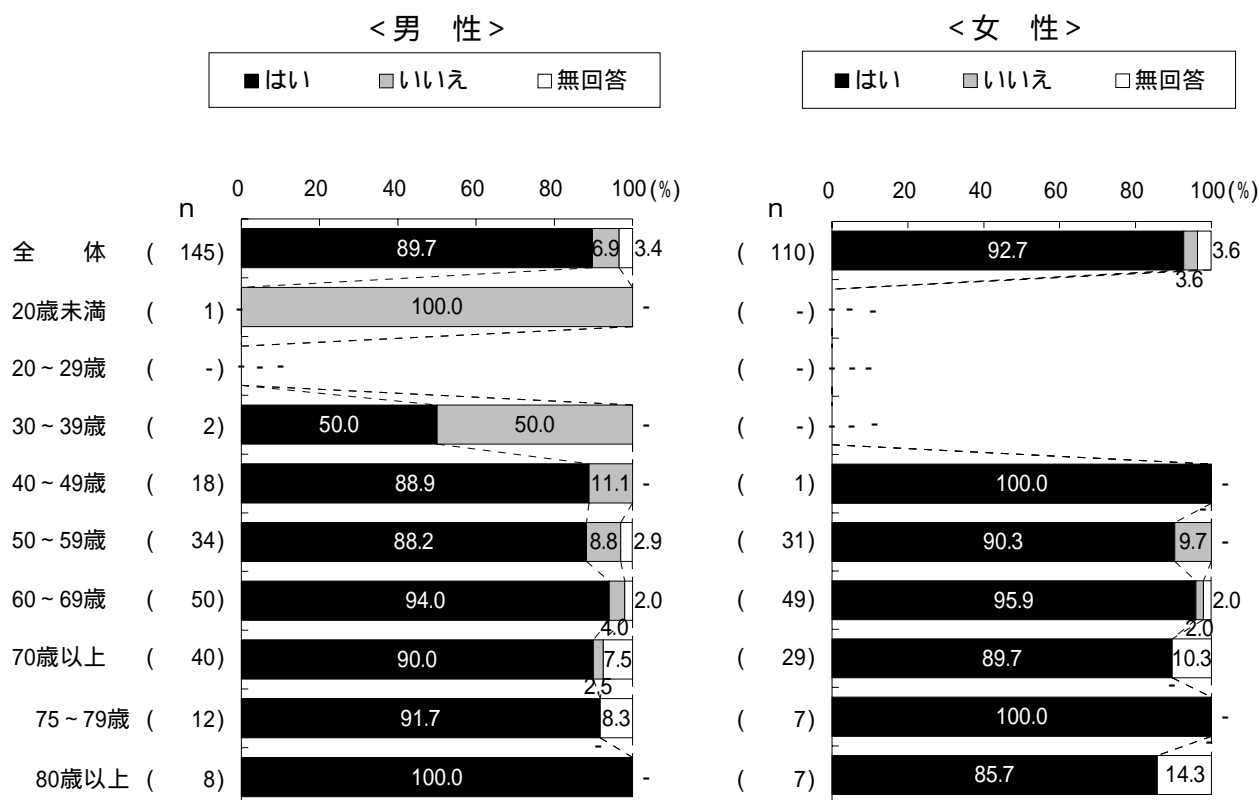
性別でみると、「はい」は、男性が89.7%、女性が92.7%で女性の方が3.0ポイント高く、逆に、「いいえ」は、男性が6.9%、女性が3.6%で男性の方が3.3ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「はい」は、男女ともに60～69歳で高く、男性で94.0%、女性で95.9%となっている。

問28-7 医療機関の受診の有無（全体・性別）



問28-7 医療機関の受診の有無（性/年齢別）



《 9 . がん 》

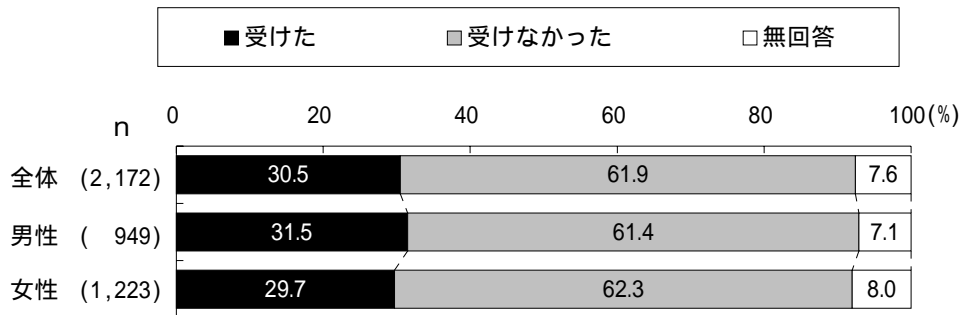
問29 がん検診（胃がん）

全体では、「受けた」が30.5%、「受けなかった」が61.9%となっている。

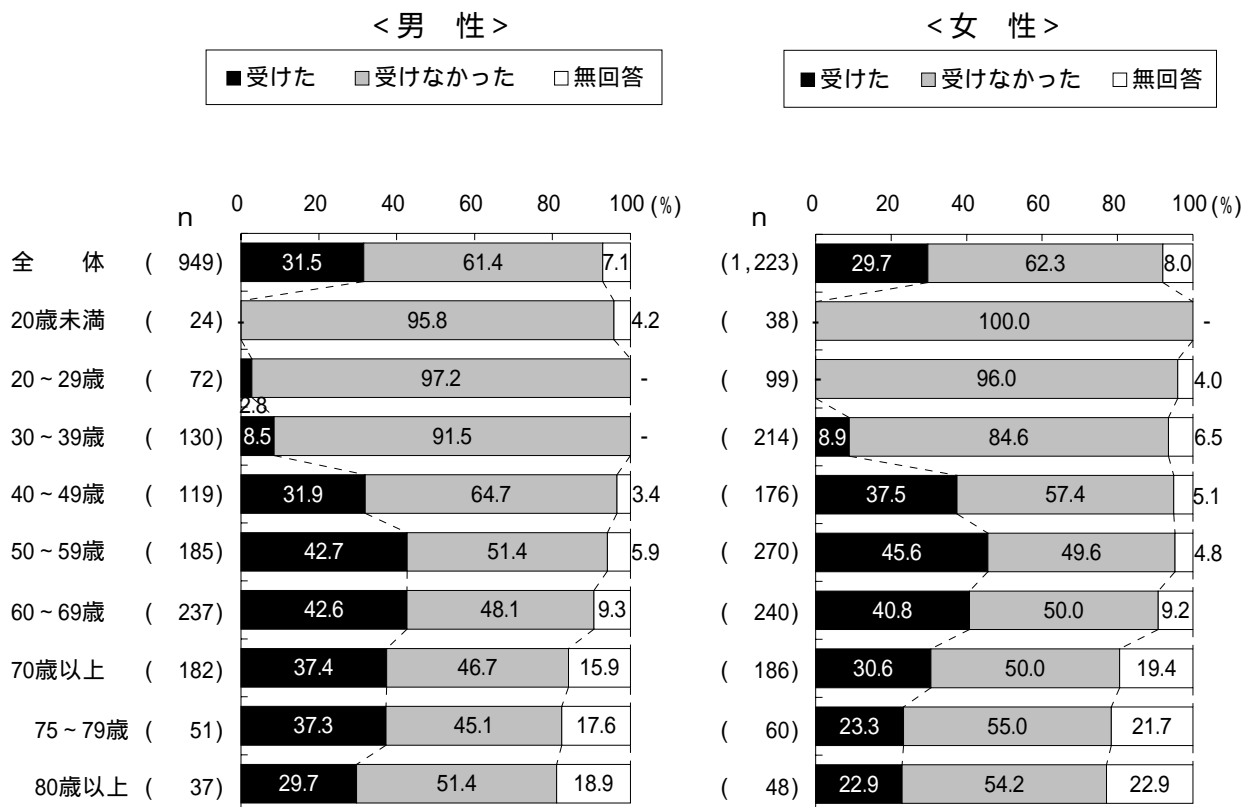
性別では、特に大きな違いはみられない。

性 / 年齢別でみると、「受けた」は、男性では50～59歳が42.7%、60～69歳が42.6%、女性では50～59歳が45.6%で高くなっている。

問29 がん検診（胃がん）(全体・性別)



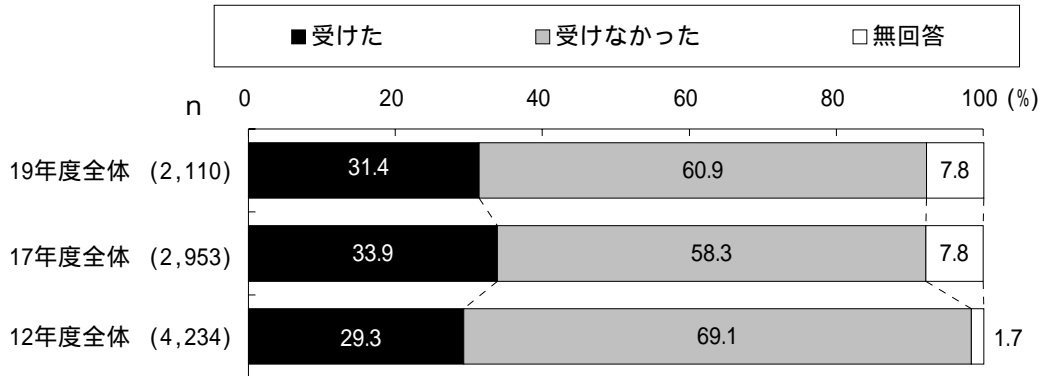
問29 がん検診（胃がん）(性 / 年齢別)



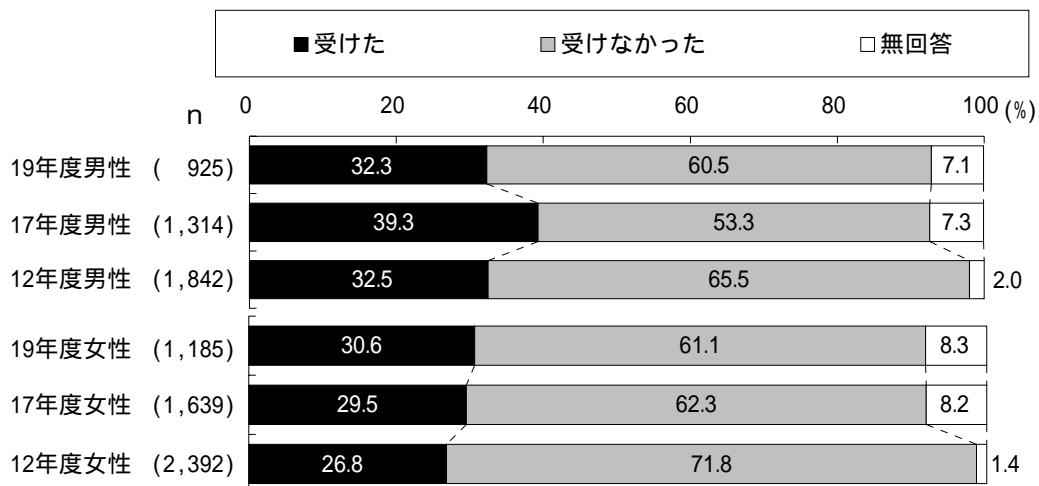
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体では、特に大きな違いはみられない。
性別では、男性で「受けた」(17年度：39.3% 19年度：32.3%)が7.0ポイント減少し、女性では「受けた」が調査ごとに増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】

がん検診（胃がん）（全体）



がん検診（胃がん）（性別）



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

問29 がん検診（肺がん（胸部エックス線検査や喀痰細胞検査のこと））

全体では、「受けた」が36.5%、「受けなかった」が53.0%となっている。

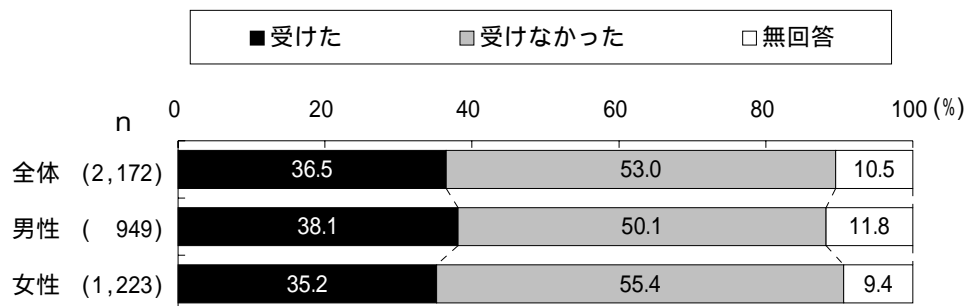
性別でみると、「受けなかった」は、男性が50.1%、女性が55.4%で女性の方が5.3ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「受けた」は、男性では、50～59歳が48.6%、60～69歳が48.5%、40～49歳が47.9%と高くなっている。一方、女性では、50～59歳が55.2%で最も高くなっている。

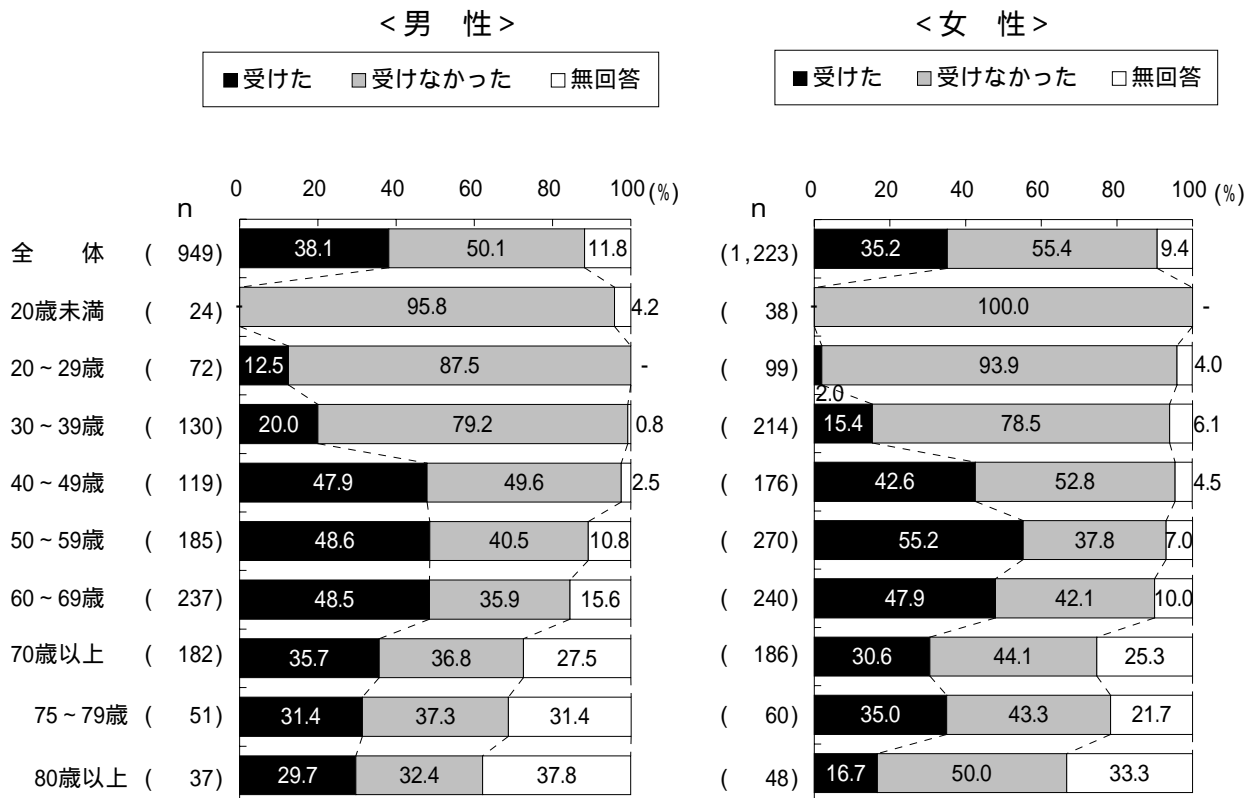
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体では、「受けた」（17年度：42.0% 19年度：37.6%）が4.4ポイント減少し、「受けなかった」（17年度：47.6% 19年度：51.7%）が4.1ポイント増加している。

性別では、「受けた」が男性（17年度：47.3% 19年度：39.1%）で8.2ポイント減少し、「受けなかった」が男性（17年度：42.0% 19年度：48.9%）で6.9ポイント増加している。

問29 がん検診（肺がん（胸部エックス線検査や喀痰細胞検査のこと））(全体・性別)

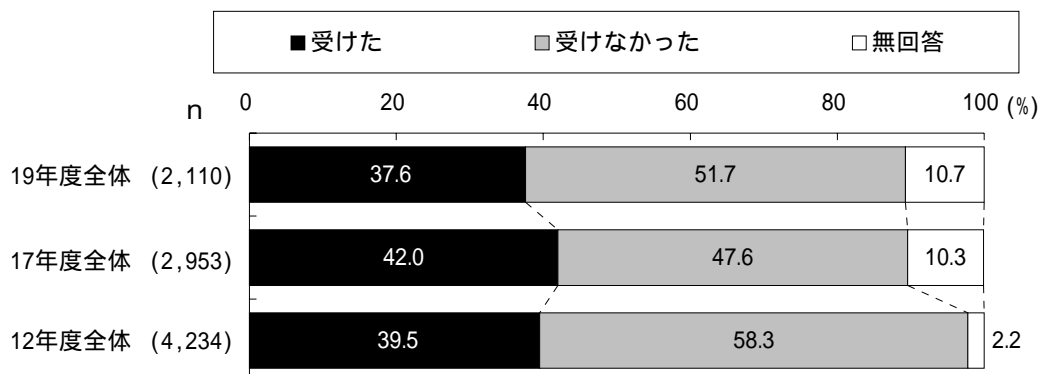


問29 がん検診（肺がん（胸部エックス線検査や喀痰細胞検査のこと））(性/年齢別)

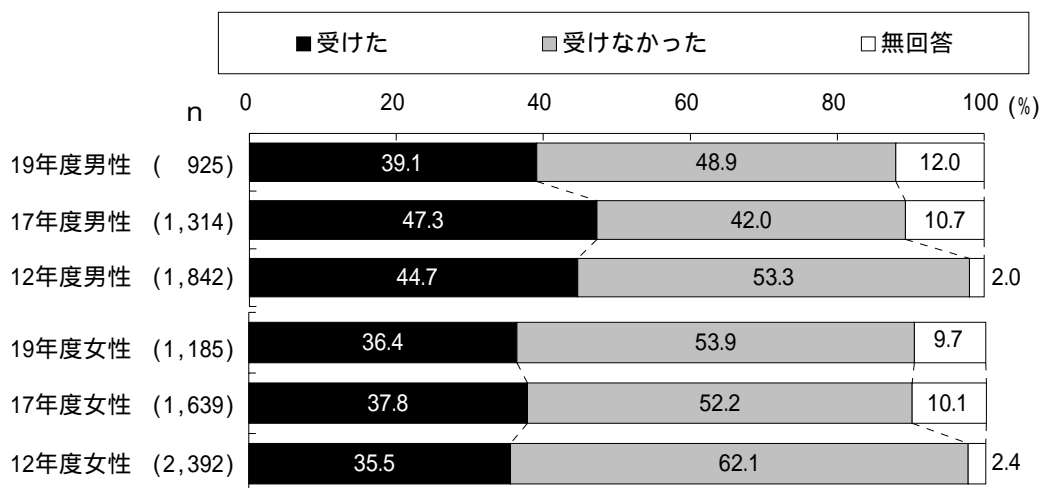


【平成12年度・17年度調査との比較】

がん検診（肺がん（胸部エックス線検査や喀痰細胞検査のこと））（全体）



がん検診（肺がん（胸部エックス線検査や喀痰細胞検査のこと））（性別）



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

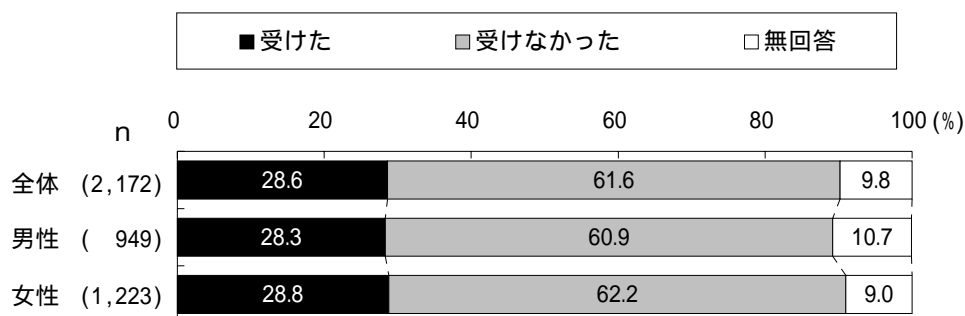
問29 がん検診（大腸がん）

「受けた」が28.6%、「受けなかった」が61.6%となっている。

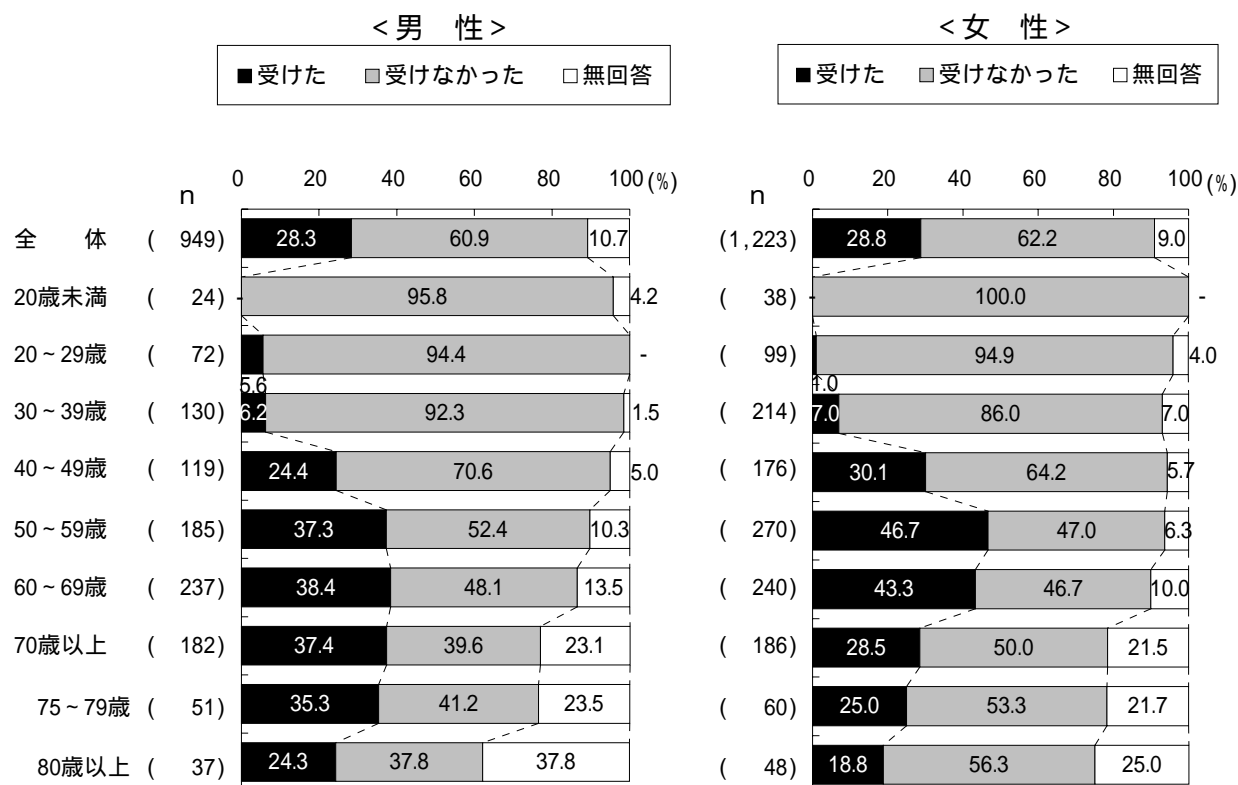
性別では、特に大きな違いはみられない。

性/年齢別で見ると、「受けた」は、男性では、60～69歳が38.4%、70歳以上が37.4%、50～59歳が37.3%と高くなっている。一方、女性では、50～59歳が46.7%で最も高くなっている。

問29 がん検診（大腸がん）（全体・性別）



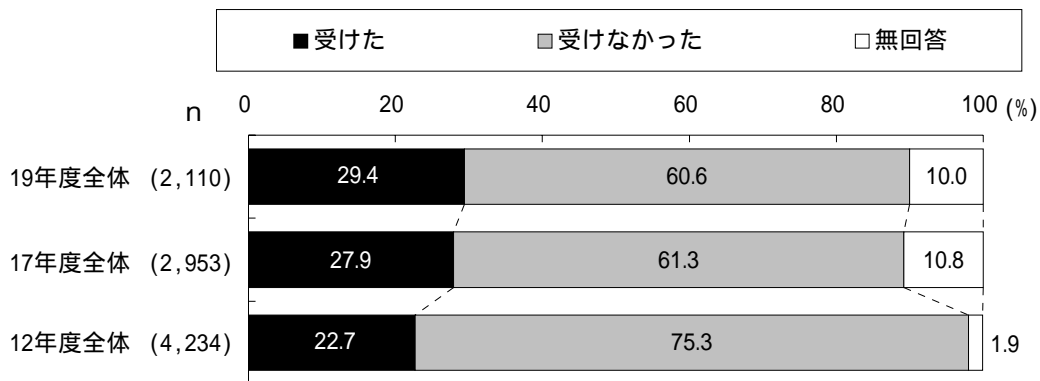
問29 がん検診（大腸がん）（性/年齢別）



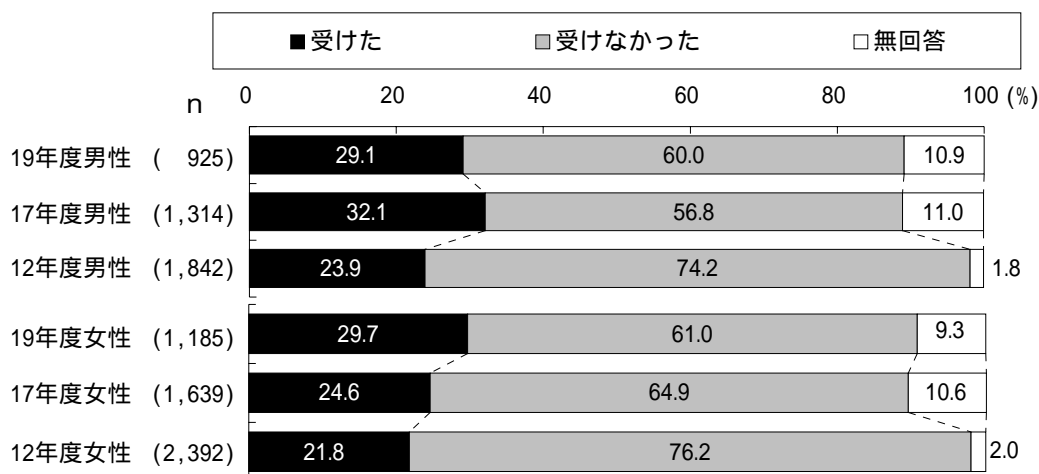
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体では、「受けた」が調査ごとに増加している。
性別では、「受けた」が、男性（17年度：32.1% 19年度：29.1%）で3.0ポイント減少し、逆に、女性（17年度：24.6% 19年度：29.7%）で5.1ポイント増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】

がん検診（大腸がん）（全体）



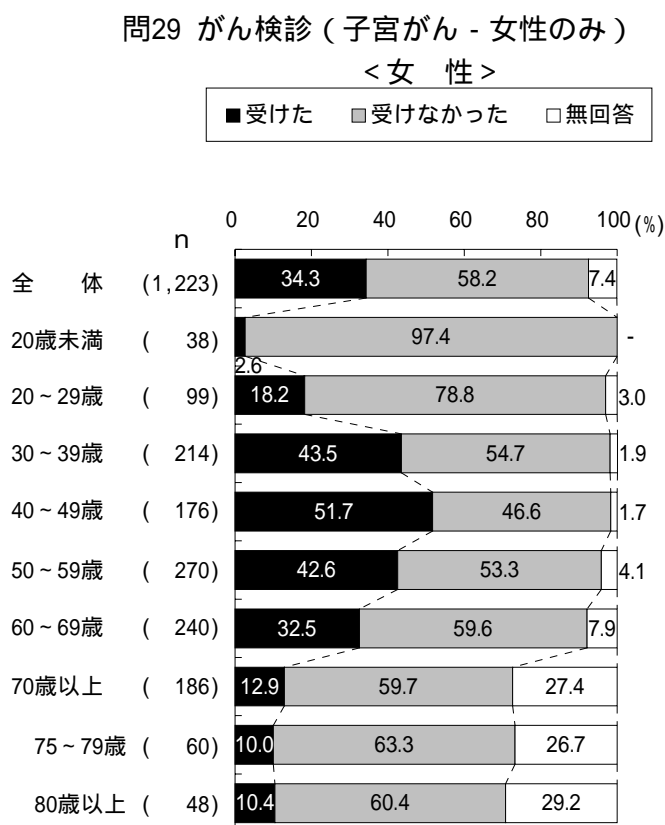
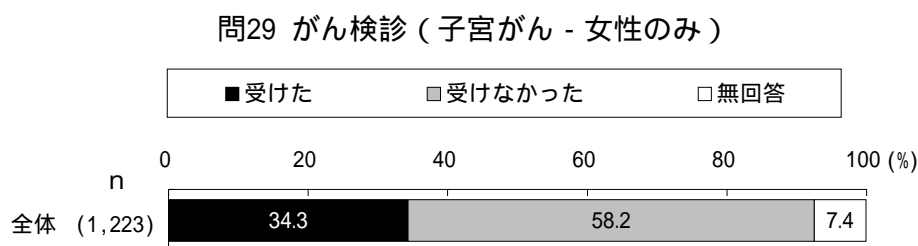
がん検診（大腸がん）（性別）



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

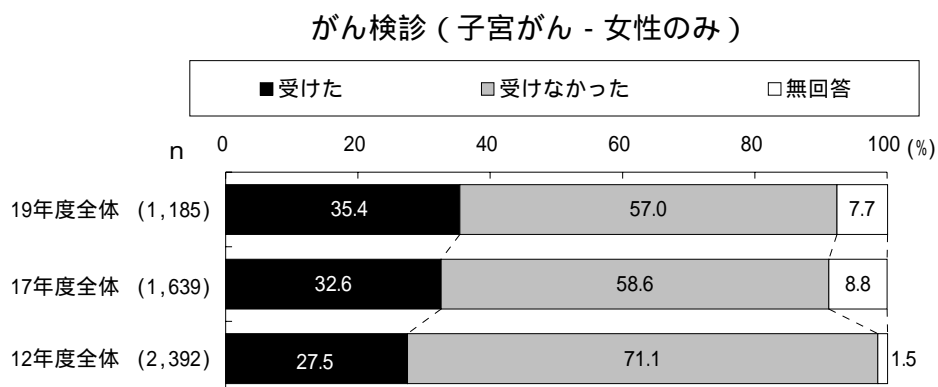
問29 がん検診（子宮がん - 女性のみ）

全体では、「受けた」が34.3%、「受けなかった」が58.2%となっている。
女性/年齢別でみると、「受けた」は、40～49歳が51.7%で最も高くなっている。



12年度及び17年度調査結果と比較すると、「受けた」が調査ごとに増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】

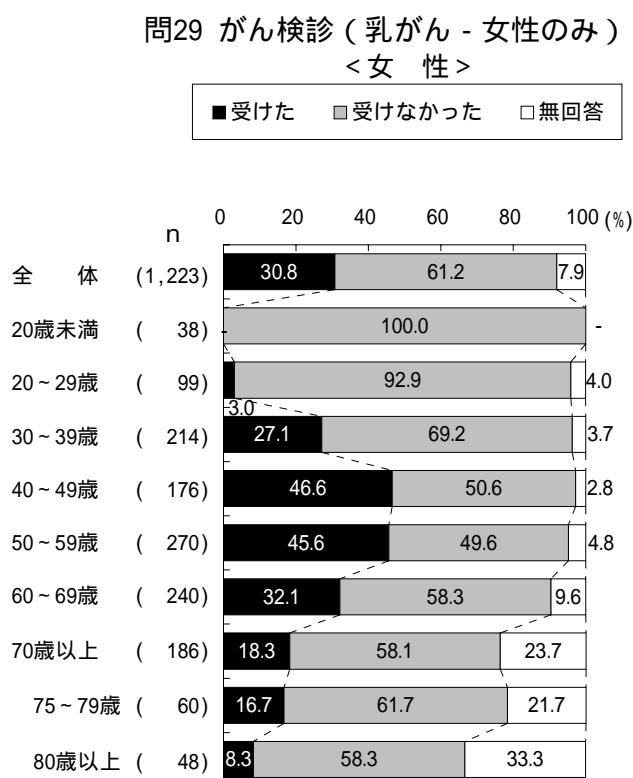
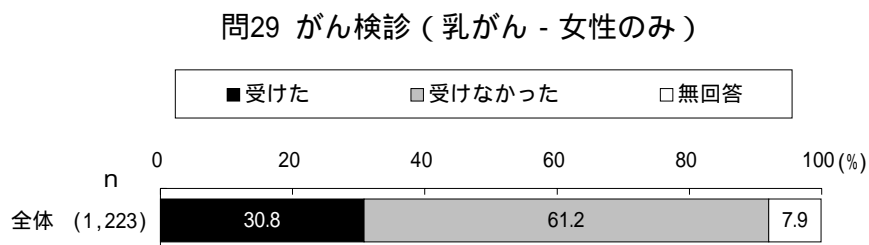


12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

問29 がん検診（乳がん - 女性のみ）

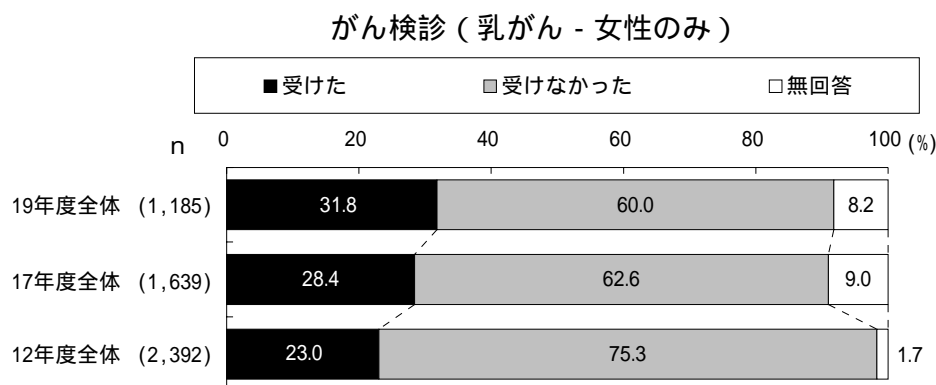
全体では、「受けた」が30.8%、「受けなかった」が61.2%となっている。

女性/年齢別で見ると、「受けた」は、40～49歳が46.6%、50～59歳が45.6%で高くなっている。



12年度及び17年度調査結果と比較すると、「受けた」が調査ごとに増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

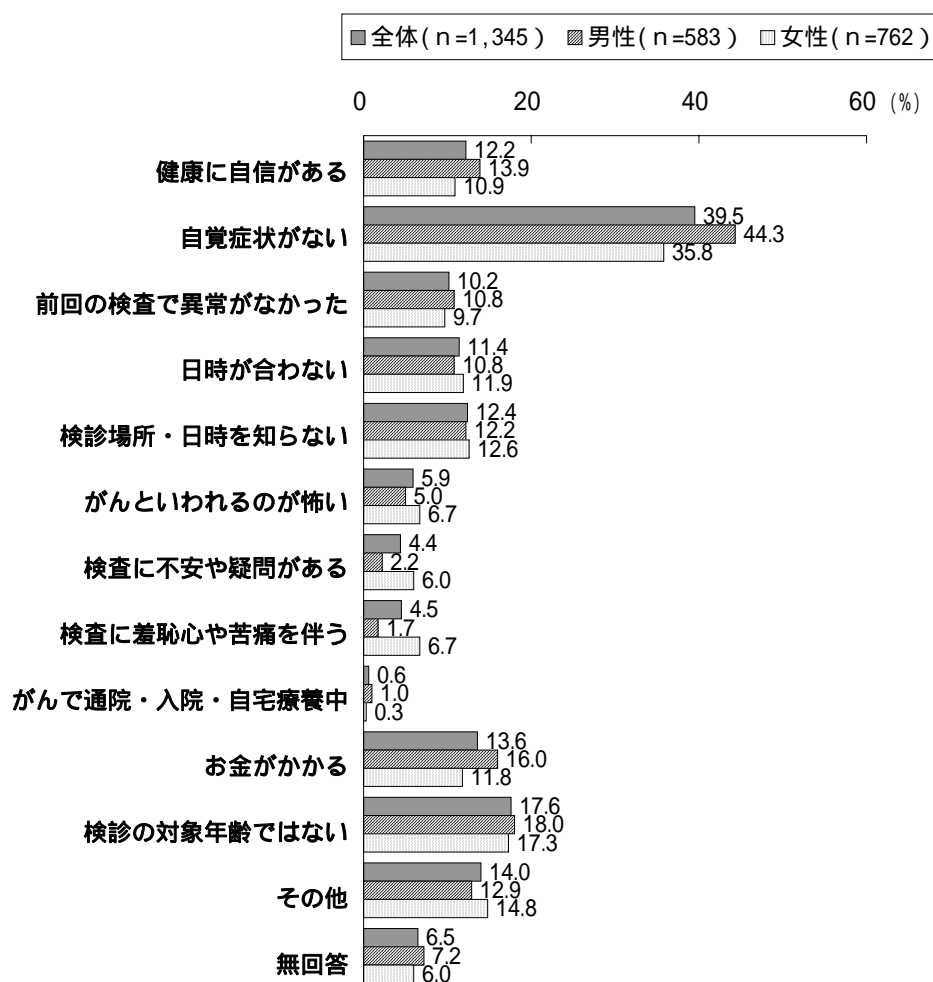
問29 - 1 胃がん検診を受けなかった理由（複数回答）

胃がん検診を「受けなかった」と回答した人（1,345人）に、受けなかった理由をたずねた結果、全体では、「自覚症状がない」が39.5%で最も高く、「検診の対象年齢ではない」が17.6%、「お金がかかる」が13.6%、「検診場所・日時を知らない」が12.4%、「健康に自信がある」が12.2%、「日時が合わない」が11.4%、「前回の検査で異常がなかった」が10.2%などとなっている。

性別でみると、「健康に自信がある」は、男性が13.9%、女性が10.9%で男性の方が3.0ポイント高く、「自覚症状がない」でも、男性が44.3%、女性が35.8%で男性の方が8.5ポイント高くなっている。逆に、「検査に不安や疑問がある」は、男性が2.2%、女性が6.0%で女性の方が3.8ポイント高く、「検査に羞恥心や苦痛を伴う」でも、男性が1.7%、女性が6.7%で女性の方が5.0ポイント高くなっている。また、「お金がかかる」は、男性が16.0%、女性が11.8%で4.2ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、男性では、「自覚症状がない」は、男女ともに60～69歳で最も高く、男性で59.6%、女性で46.7%となっている。

問29-1 胃がん検診を受けなかった理由（全体・性別）



問29-1 胃がん検診を受けなかった理由（性別／男性）

（上段：実数
下段：％）

<男 性>

	n	健康に自信がある	自覚症状がない	前回の検査で異常がなかった	日時が合わない	検診場所・日時を知らない	がんといわれるのが怖い	検査に不安や疑問がある	検査に羞恥心や苦痛を伴う	がんで通院・入院・自宅療養中	お金がかかる	検診の対象年齢ではない	その他	無回答
全 体	583 100.0	81 13.9	258 44.3	63 10.8	63 10.8	71 12.2	29 5.0	13 2.2	10 1.7	6 1.0	93 16.0	105 18.0	75 12.9	42 7.2
20歳未満	23 100.0	8 34.8	5 21.7	2 8.7	1 4.3	2 8.7	1 4.3	1 4.3	1 4.3	1 4.3	4 17.4	15 65.2	3 13.0	2 8.7
20～29歳	70 100.0	15 21.4	24 34.3	4 5.7	8 11.4	14 20.0	2 2.9	2 2.9	-	-	18 25.7	34 48.6	6 8.6	4 5.7
30～39歳	119 100.0	15 12.6	35 29.4	5 4.2	13 10.9	17 14.3	5 4.2	1 0.8	1 0.8	-	23 19.3	50 42.0	11 9.2	6 5.0
40～49歳	77 100.0	7 9.1	37 48.1	4 5.2	15 19.5	15 19.5	3 3.9	3 3.9	2 2.6	-	21 27.3	1 1.3	14 18.2	2 2.6
50～59歳	95 100.0	10 10.5	52 54.7	6 6.3	15 15.8	12 12.6	5 5.3	4 4.2	3 3.2	3 3.2	10 10.5	1 1.1	16 16.8	6 6.3
60～69歳	114 100.0	16 14.0	68 59.6	24 21.1	11 9.6	10 8.8	11 9.6	2 1.8	3 2.6	2 1.8	11 9.6	-	16 14.0	9 7.9
70歳以上	85 100.0	10 11.8	37 43.5	18 21.2	-	1 1.2	2 2.4	-	-	-	6 7.1	4 4.7	9 10.6	13 15.3
75～79歳	23 100.0	2 8.7	12 52.2	6 26.1	-	-	1 4.3	-	-	-	1 4.3	-	2 8.7	6 26.1
80歳以上	19 100.0	4 21.1	7 36.8	2 10.5	-	-	-	-	-	-	1 5.3	3 15.8	4 21.1	-

問29-1 胃がん検診を受けなかった理由（女性／別性）

<女 性>

	n	健康に自信がある	自覚症状がない	前回の検査で異常がなかった	日時が合わない	検診場所・日時を知らない	がんといわれるのが怖い	検査に不安や疑問がある	検査に羞恥心や苦痛を伴う	がんで通院・入院・自宅療養中	お金がかかる	検診の対象年齢ではない	その他	無回答
全 体	762 100.0	83 10.9	273 35.8	74 9.7	91 11.9	96 12.6	51 6.7	46 6.0	51 6.7	2 0.3	90 11.8	132 17.3	113 14.8	46 6.0
20歳未満	38 100.0	7 18.4	3 7.9	1 2.6	2 5.3	4 10.5	1 2.6	2 5.3	2 5.3	1 2.6	4 10.5	28 73.7	2 5.3	1 2.6
20～29歳	95 100.0	9 9.5	31 32.6	2 2.1	8 8.4	28 29.5	6 6.3	2 2.1	5 5.3	-	23 24.2	37 38.9	9 9.5	4 4.2
30～39歳	181 100.0	24 13.3	51 28.2	5 2.8	13 7.2	39 21.5	8 4.4	7 3.9	13 7.2	-	28 15.5	64 35.4	33 18.2	1 0.6
40～49歳	101 100.0	9 8.9	37 36.6	10 9.9	21 20.8	15 14.9	7 6.9	13 12.9	11 10.9	-	16 15.8	1 1.0	17 16.8	2 2.0
50～59歳	134 100.0	6 4.5	56 41.8	25 18.7	26 19.4	4 3.0	10 7.5	12 9.0	6 4.5	-	7 5.2	-	20 14.9	12 9.0
60～69歳	120 100.0	18 15.0	56 46.7	20 16.7	18 15.0	2 1.7	13 10.8	8 6.7	12 10.0	1 0.8	9 7.5	-	17 14.2	7 5.8
70歳以上	93 100.0	10 10.8	39 41.9	11 11.8	3 3.2	4 4.3	6 6.5	2 2.2	2 2.2	-	3 3.2	2 2.2	15 16.1	19 20.4
75～79歳	33 100.0	7 21.2	13 39.4	3 9.1	3 9.1	2 6.1	2 6.1	1 3.0	-	-	-	-	6 18.2	5 15.2
80歳以上	26 100.0	1 3.8	10 38.5	3 11.5	-	1 3.8	1 3.8	-	1 3.8	-	2 7.7	2 7.7	6 23.1	6 23.1

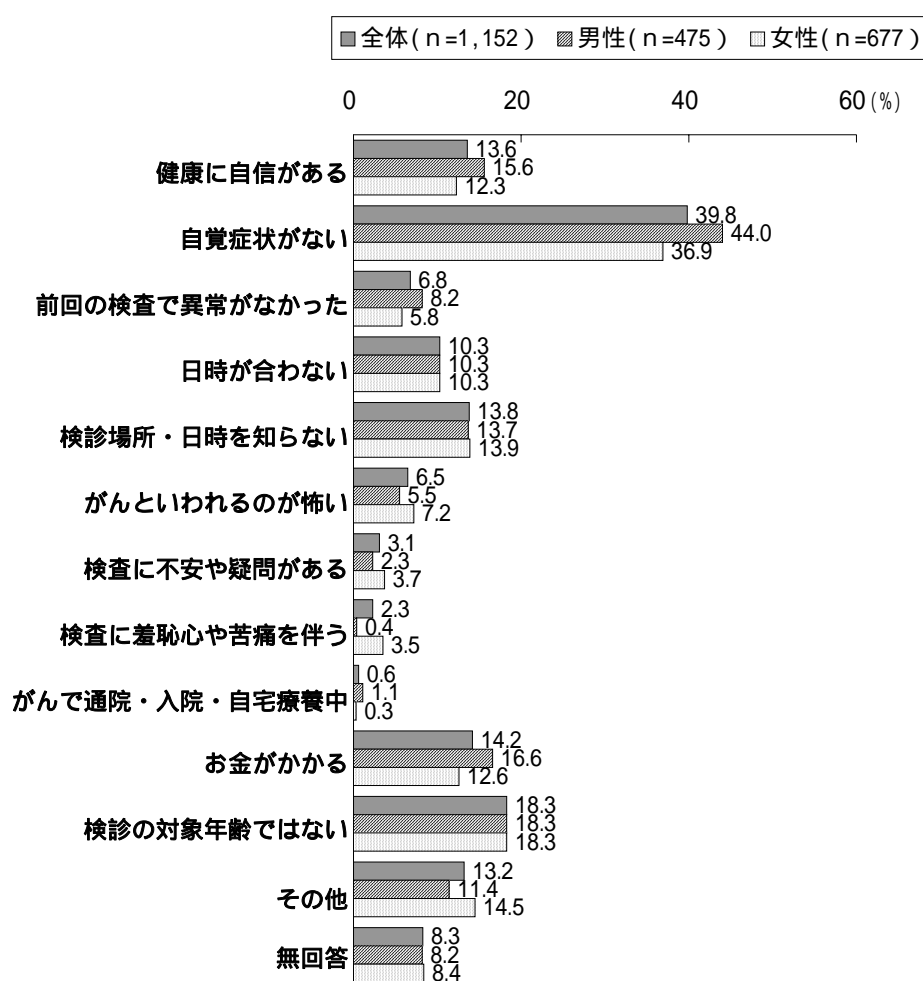
問29 - 1 肺がん検診を受けなかった理由（複数回答）

肺がん検診を「受けなかった」と回答した人（1,152人）に、受けなかった理由をたずねた結果、全体では、「自覚症状がない」が39.8%で最も高く、「検診の対象年齢ではない」が18.3%、「お金がかかる」が14.2%、「検診場所・日時を知らない」が13.8%、「健康に自信がある」が13.6%、「日時が合わない」が10.3%などとなっている。

性別でみると、「健康に自信がある」は、男性が15.6%、女性が12.3%で男性の方が3.3ポイント高く、「自覚症状がない」でも、男性が44.0%、女性が36.9%で男性の方が7.1ポイント高くなっている。逆に、「検査に羞恥心や苦痛を伴う」は、男性が0.4%、女性が3.5%で女性のほうが3.1ポイント高くなっている。また、「お金がかかる」男性が16.6%、女性が12.6%で男性の方が4.0ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「自覚症状がない」は、男性では60～69歳で57.6%、50～59歳で57.3%、女性では60～69歳で49.5%、50～59歳で48.0%と高くなっている。

問29-1 肺がん検診を受けなかった理由（全体・性別）



問29-1 肺がん検診を受けなかった理由（性別／男性）

（上段：実数）
（下段：％）

		＜男 性＞													
	n	健康に自信がある	自覚症状がない	前回の検査で異常がなかった	日時が合わない	検診場所・日時を知らない	がんといわれるのが怖い	検査に不安や疑問がある	検査に羞恥心や苦痛を伴う	がんで通院・入院・自宅療養中	お金がかかる	検診の対象年齢ではない	その他	無回答	
全 体	475	74	209	39	49	65	26	11	2	5	79	87	54	39	
	100.0	15.6	44.0	8.2	10.3	13.7	5.5	2.3	0.4	1.1	16.6	18.3	11.4	8.2	
20歳未満	23	8	5	2	1	2	1	1	1	1	4	15	3	2	
	100.0	34.8	21.7	8.7	4.3	8.7	4.3	4.3	4.3	4.3	17.4	65.2	13.0	8.7	
20～29歳	63	15	22	4	8	14	3	2	-	-	17	30	6	3	
	100.0	23.8	34.9	6.3	12.7	22.2	4.8	3.2	-	-	27.0	47.6	9.5	4.8	
30～39歳	103	15	31	5	14	16	3	1	-	-	20	39	11	4	
	100.0	14.6	30.1	4.9	13.6	15.5	2.9	1.0	-	-	19.4	37.9	10.7	3.9	
40～49歳	59	6	27	2	11	12	3	1	-	-	17	1	8	2	
	100.0	10.2	45.8	3.4	18.6	20.3	5.1	1.7	-	-	28.8	1.7	13.6	3.4	
50～59歳	75	8	43	5	10	13	3	4	-	1	9	1	9	6	
	100.0	10.7	57.3	6.7	13.3	17.3	4.0	5.3	-	1.3	12.0	1.3	12.0	8.0	
60～69歳	85	14	49	12	5	7	10	2	1	2	8	-	10	12	
	100.0	16.5	57.6	14.1	5.9	8.2	11.8	2.4	1.2	2.4	9.4	-	11.8	14.1	
70歳以上	67	8	32	9	-	1	3	-	-	1	4	1	7	10	
	100.0	11.9	47.8	13.4	-	1.5	4.5	-	-	1.5	6.0	1.5	10.4	14.9	
75～79歳	19	3	10	2	-	-	1	-	-	-	1	-	2	4	
	100.0	15.8	52.6	10.5	-	-	5.3	-	-	-	5.3	-	10.5	21.1	
80歳以上	12	1	6	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	
	100.0	8.3	50.0	8.3	-	-	-	-	-	-	-	8.3	25.0	-	

問29-1 肺がん検診を受けなかった理由（性別／女性）

		＜女 性＞													
	n	健康に自信がある	自覚症状がない	前回の検査で異常がなかった	日時が合わない	検診場所・日時を知らない	がんといわれるのが怖い	検査に不安や疑問がある	検査に羞恥心や苦痛を伴う	がんで通院・入院・自宅療養中	お金がかかる	検診の対象年齢ではない	その他	無回答	
全 体	677	83	250	39	70	94	49	25	24	2	85	124	98	57	
	100.0	12.3	36.9	5.8	10.3	13.9	7.2	3.7	3.5	0.3	12.6	18.3	14.5	8.4	
20歳未満	38	6	3	1	2	4	1	2	2	1	4	28	2	2	
	100.0	15.8	7.9	2.6	5.3	10.5	2.6	5.3	5.3	2.6	10.5	73.7	5.3	5.3	
20～29歳	93	14	29	1	8	27	6	1	4	-	22	35	8	4	
	100.0	15.1	31.2	1.1	8.6	29.0	6.5	1.1	4.3	-	23.7	37.6	8.6	4.3	
30～39歳	168	22	49	2	13	39	9	4	4	-	28	56	32	1	
	100.0	13.1	29.2	1.2	7.7	23.2	5.4	2.4	2.4	-	16.7	33.3	19.0	0.6	
40～49歳	93	8	36	7	21	14	8	9	4	-	17	1	14	3	
	100.0	8.6	38.7	7.5	22.6	15.1	8.6	9.7	4.3	-	18.3	1.1	15.1	3.2	
50～59歳	102	10	49	10	14	4	8	4	3	-	7	1	15	12	
	100.0	9.8	48.0	9.8	13.7	3.9	7.8	3.9	2.9	-	6.9	1.0	14.7	11.8	
60～69歳	101	12	50	14	11	3	10	4	5	1	4	1	11	16	
	100.0	11.9	49.5	13.9	10.9	3.0	9.9	4.0	5.0	1.0	4.0	1.0	10.9	15.8	
70歳以上	82	11	34	4	1	3	7	1	2	-	3	2	16	19	
	100.0	13.4	41.5	4.9	1.2	3.7	8.5	1.2	2.4	-	3.7	2.4	19.5	23.2	
75～79歳	26	6	10	1	1	2	2	1	-	-	-	-	5	5	
	100.0	23.1	38.5	3.8	3.8	7.7	7.7	3.8	-	-	-	-	19.2	19.2	
80歳以上	24	1	9	-	-	-	1	-	1	-	2	2	8	6	
	100.0	4.2	37.5	-	-	-	4.2	-	4.2	-	8.3	8.3	33.3	25.0	

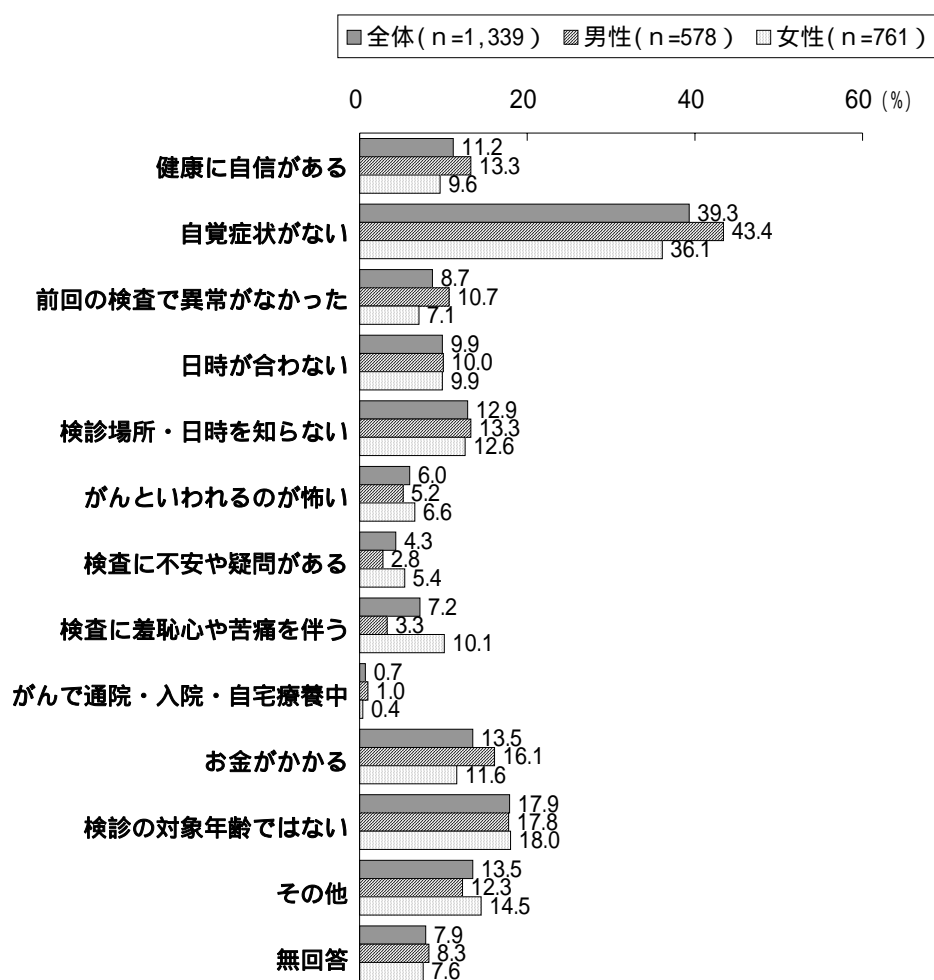
問29 - 1 大腸がん検診を受けなかった理由（複数回答）

大腸がん検診を「受けなかった」と回答した人（1,339人）に、受けなかった理由をたずねた結果、全体では、「自覚症状がない」が39.3%で最も高く、「検診の対象年齢ではない」が17.9%、「お金がかかる」が13.5%、「検診場所・日時を知らない」が12.9%、「健康に自信がある」が11.2%などとなっている。

性別でみると、「健康に自信がある」は、男性が13.3%、女性が9.6%で男性の方が3.7ポイント高く、「自覚症状がない」でも、男性が43.4%、女性が36.1%で男性の方が7.3ポイント、「前回の検査で異常がなかった」でも、男性が10.7%、女性が7.1%で男性の方が3.6ポイント高くなっている。「検査に羞恥心や苦痛を伴う」は、男性が3.3%、女性が10.1%で女性の方が6.8ポイント高くなっている。また、「お金がかかる」は、男性が16.1%、女性が11.6%で男性の方が4.5ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「自覚症状がない」は、男性では60～69歳が56.1%、女性では60～69歳が47.3%、50～59歳が46.5%で高くなっている。

問29-1 大腸がん検診を受けなかった理由（全体・性別）



問29-1 大腸がん検診を受けなかった理由（性別 / 男性）

〔上段：実数〕
〔下段：％〕

<男 性>

	n	健康に自信がある	自覚症状がない	前回の検査で異常がなかった	日時が合わない	検診場所・日時を知らない	がんといわれるのが怖い	検査に不安や疑問がある	検査に羞恥心や苦痛を伴う	がんで通院・入院・自宅療養中	お金がかかる	検診の対象年齢ではない	その他	無回答
全 体	578	77	251	62	58	77	30	16	19	6	93	103	71	48
	100.0	13.3	43.4	10.7	10.0	13.3	5.2	2.8	3.3	1.0	16.1	17.8	12.3	8.3
20歳未満	23	8	5	2	1	2	1	1	1	1	4	15	3	2
	100.0	34.8	21.7	8.7	4.3	8.7	4.3	4.3	4.3	4.3	17.4	65.2	13.0	8.7
20～29歳	68	14	22	4	8	14	2	2	-	-	18	32	6	4
	100.0	20.6	32.4	5.9	11.8	20.6	2.9	2.9	-	-	26.5	47.1	8.8	5.9
30～39歳	120	13	34	5	14	17	5	1	2	-	22	49	12	6
	100.0	10.8	28.3	4.2	11.7	14.2	4.2	0.8	1.7	-	18.3	40.8	10.0	5.0
40～49歳	84	7	38	5	15	17	4	3	5	-	21	3	15	4
	100.0	8.3	45.2	6.0	17.9	20.2	4.8	3.6	6.0	-	25.0	3.6	17.9	4.8
50～59歳	97	14	51	9	10	15	5	5	5	2	10	2	12	9
	100.0	14.4	52.6	9.3	10.3	15.5	5.2	5.2	5.2	2.1	10.3	2.1	12.4	9.3
60～69歳	114	14	64	27	10	11	10	4	5	2	12	-	15	10
	100.0	12.3	56.1	23.7	8.8	9.6	8.8	3.5	4.4	1.8	10.5	-	13.2	8.8
70歳以上	72	7	37	10	-	1	3	-	1	1	6	2	8	13
	100.0	9.7	51.4	13.9	-	1.4	4.2	-	1.4	1.4	8.3	2.8	11.1	18.1
75～79歳	21	2	12	4	-	-	2	-	1	1	2	-	2	5
	100.0	9.5	57.1	19.0	-	-	9.5	-	4.8	4.8	9.5	-	9.5	23.8
80歳以上	14	1	7	1	-	-	-	-	-	-	1	2	3	1
	100.0	7.1	50.0	7.1	-	-	-	-	-	-	7.1	14.3	21.4	7.1

問29-1 大腸がん検診を受けなかった理由（性別 / 女性）

<女 性>

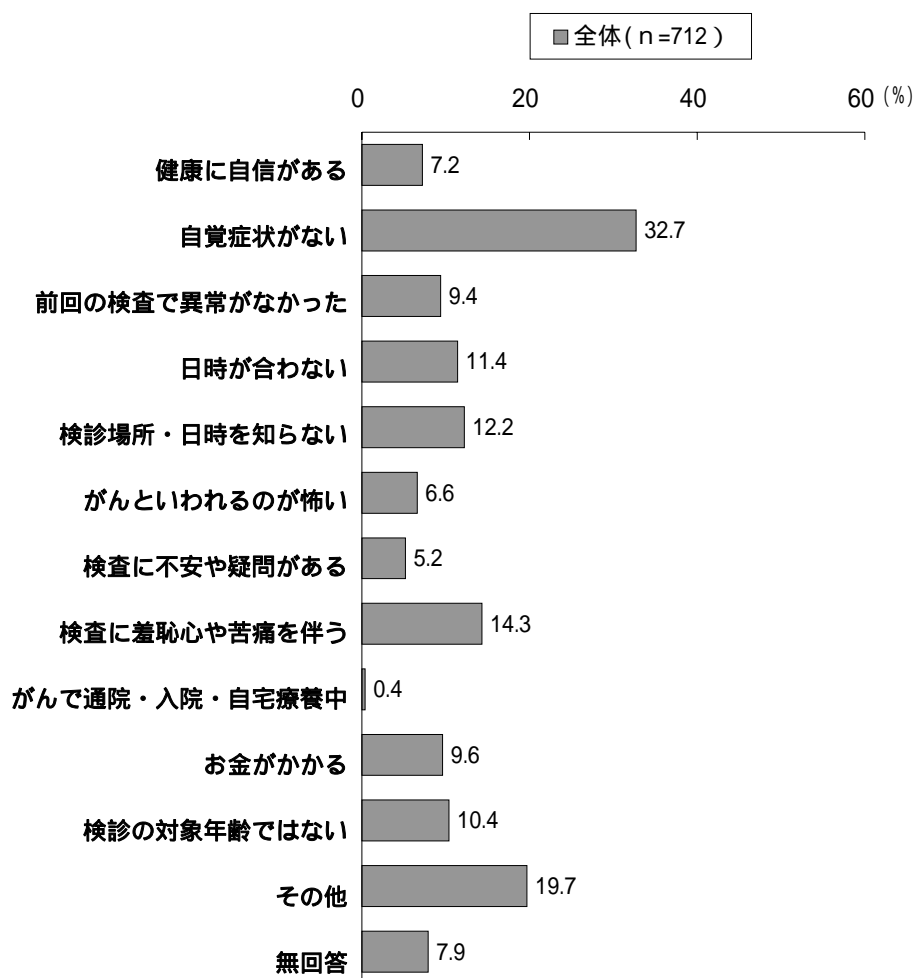
	n	健康に自信がある	自覚症状がない	前回の検査で異常がなかった	日時が合わない	検診場所・日時を知らない	がんといわれるのが怖い	検査に不安や疑問がある	検査に羞恥心や苦痛を伴う	がんで通院・入院・自宅療養中	お金がかかる	検診の対象年齢ではない	その他	無回答
全 体	761	73	275	54	75	96	50	41	77	3	88	137	110	58
	100.0	9.6	36.1	7.1	9.9	12.6	6.6	5.4	10.1	0.4	11.6	18.0	14.5	7.6
20歳未満	38	6	3	1	2	4	1	2	2	1	4	28	2	2
	100.0	15.8	7.9	2.6	5.3	10.5	2.6	5.3	5.3	2.6	10.5	73.7	5.3	5.3
20～29歳	94	10	32	1	8	27	6	1	5	-	23	36	8	4
	100.0	10.6	34.0	1.1	8.5	28.7	6.4	1.1	5.3	-	24.5	38.3	8.5	4.3
30～39歳	184	19	54	3	13	38	8	9	20	-	28	70	31	1
	100.0	10.3	29.3	1.6	7.1	20.7	4.3	4.9	10.9	-	15.2	38.0	16.8	0.5
40～49歳	113	9	41	12	23	16	8	10	17	-	16	1	15	3
	100.0	8.0	36.3	10.6	20.4	14.2	7.1	8.8	15.0	-	14.2	0.9	13.3	2.7
50～59歳	127	7	59	14	12	6	11	9	18	-	8	-	21	10
	100.0	5.5	46.5	11.0	9.4	4.7	8.7	7.1	14.2	-	6.3	-	16.5	7.9
60～69歳	112	13	53	15	14	3	10	7	14	1	6	-	14	14
	100.0	11.6	47.3	13.4	12.5	2.7	8.9	6.3	12.5	0.9	5.4	-	12.5	12.5
70歳以上	93	9	33	8	3	2	6	3	1	1	3	2	19	24
	100.0	9.7	35.5	8.6	3.2	2.2	6.5	3.2	1.1	1.1	3.2	2.2	20.4	25.8
75～79歳	32	6	11	2	2	2	2	1	-	-	-	-	8	6
	100.0	18.8	34.4	6.3	6.3	6.3	6.3	3.1	-	-	-	-	25.0	18.8
80歳以上	27	1	9	-	-	-	1	-	1	1	2	2	8	8
	100.0	3.7	33.3	-	-	-	3.7	-	3.7	3.7	7.4	7.4	29.6	29.6

問29 - 1 子宮がん検診を受けなかった理由（女性のみ 複数回答）

子宮がん検診を「受けなかった」と回答した人（712人）に、受けなかった理由をたずねた結果、全体では、「自覚症状がない」が32.7%で最も高く、「検査に羞恥心や苦痛を伴う」が14.3%、「検診場所・日時を知らない」が12.2%、「日時が合わない」が11.4%、「検診の対象年齢ではない」が10.4%などとなっている。

女性/年齢別でみると、「自覚症状がない」は60～69歳が42.7%で最も高くなっている。

問29-1 子宮がん検診を受けなかった理由（女性のみ）



問29-1 子宮がん検診を受けなかった理由（女性のみ）

（上段：実数）
（下段：％）

<女 性>

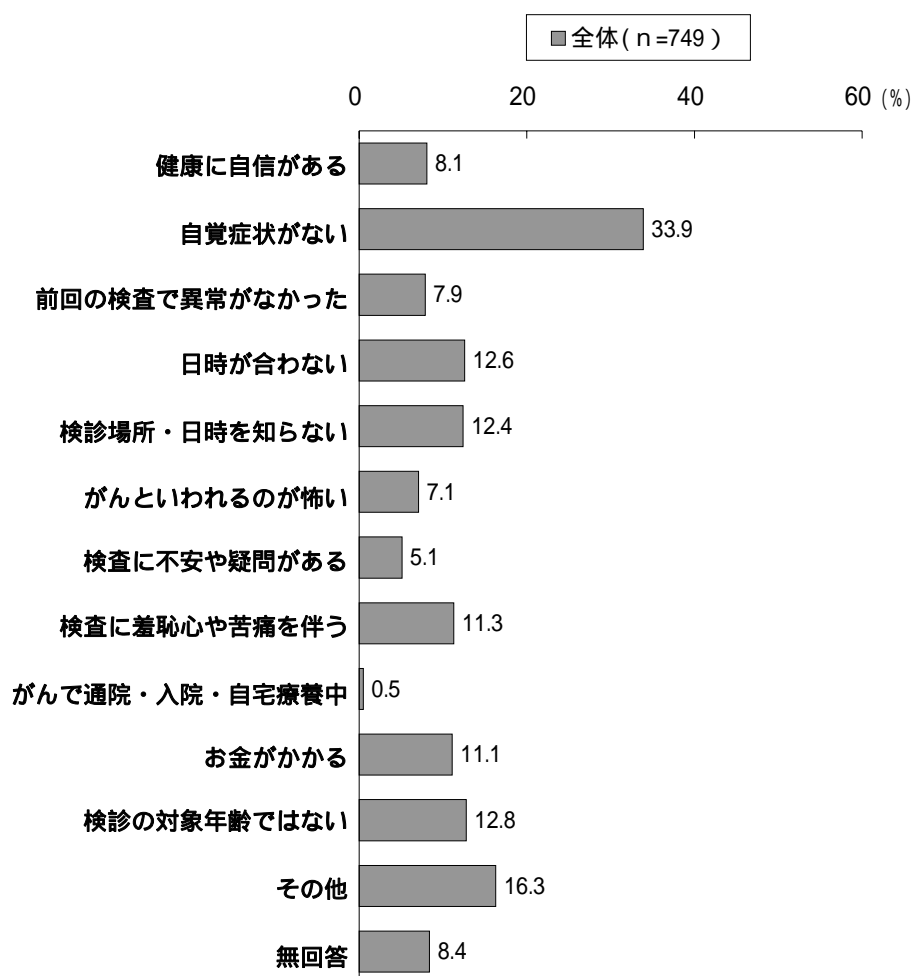
	n	健康に自信がある	自覚症状がない	前回の検査で異常がなかった	日時が合わない	検診場所・日時を知らない	がんといわれるのが怖い	検査に不安や疑問がある	検査に羞恥心や苦痛を伴う	がんで通院・入院・自宅療養中	お金がかかる	検診の対象年齢ではない	その他	無回答
全 体	712 100.0	51 7.2	233 32.7	67 9.4	81 11.4	87 12.2	47 6.6	37 5.2	102 14.3	3 0.4	68 9.6	74 10.4	140 19.7	56 7.9
20歳未満	37 100.0	6 16.2	2 5.4	2 5.4	2 5.4	4 10.8	1 2.7	2 5.4	2 5.4	1 2.7	4 10.8	28 75.7	1 2.7	2 5.4
20～29歳	78 100.0	7 9.0	27 34.6	5 6.4	9 11.5	24 30.8	6 7.7	2 2.6	8 10.3	-	19 24.4	25 32.1	8 10.3	4 5.1
30～39歳	117 100.0	9 7.7	28 23.9	6 5.1	16 13.7	29 24.8	10 8.5	9 7.7	18 15.4	-	16 13.7	8 6.8	30 25.6	-
40～49歳	82 100.0	4 4.9	21 25.6	9 11.0	21 25.6	12 14.6	7 8.5	6 7.3	17 20.7	-	16 19.5	2 2.4	15 18.3	2 2.4
50～59歳	144 100.0	4 2.8	55 38.2	20 13.9	16 11.1	6 4.2	8 5.6	9 6.3	23 16.0	1 0.7	5 3.5	4 2.8	36 25.0	9 6.3
60～69歳	143 100.0	12 8.4	61 42.7	17 11.9	14 9.8	7 4.9	9 6.3	7 4.9	24 16.8	1 0.7	5 3.5	2 1.4	27 18.9	12 8.4
70歳以上	111 100.0	9 8.1	39 35.1	8 7.2	3 2.7	5 4.5	6 5.4	2 1.8	10 9.0	-	3 2.7	5 4.5	23 20.7	27 24.3
75～79歳	38 100.0	5 13.2	14 36.8	2 5.3	2 5.3	2 5.3	2 5.3	2 5.3	1 2.6	-	-	1 2.6	9 23.7	8 21.1
80歳以上	29 100.0	1 3.4	11 37.9	1 3.4	-	-	1 3.4	-	2 6.9	-	2 6.9	3 10.3	8 27.6	7 24.1

問29 - 1 乳がん検診を受けなかった理由（女性のみ 複数回答）

子宮がん検診を「受けなかった」と回答した人（749人）に、受けなかった理由をたずねた結果、全体では、「自覚症状がない」が33.9%で最も高く、「検診の対象年齢ではない」が12.8%、「日時が合わない」が12.6%、「検診場所・日時を知らない」が12.4%、「検査に羞恥心や苦痛を伴う」が11.3%、「お金がかかる」が11.1%などとなっている。

女性／年齢別でみると、「自覚症状がない」は60～69歳が47.9%で最も高くなっている。

問29-1 乳がん検診を受けなかった理由（女性のみ）



問29-1 乳がん検診を受けなかった理由（女性のみ）

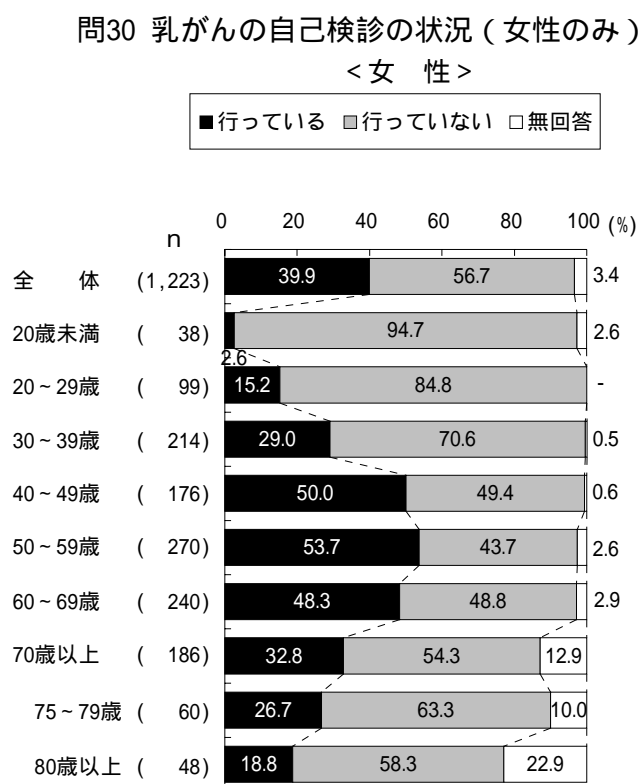
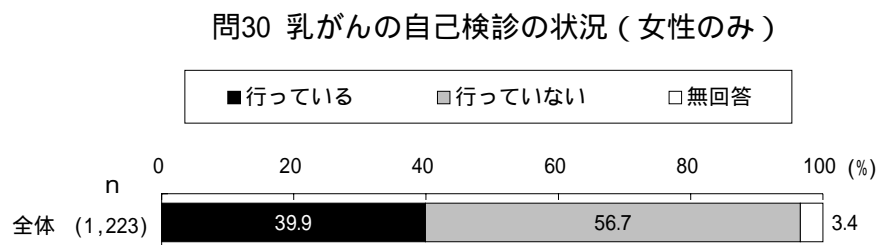
〔 上段：実数
下段：% 〕

< 女 性 >

	n	健康に自信がある	自覚症状がない	前回の検査で異常がなかった	日時が合わない	検診場所・日時を知らない	がんといわれるのが怖い	検査に不安や疑問がある	検査に羞恥心や苦痛を伴う	がんで通院・入院・自宅療養中	お金がかかる	検診の対象年齢ではない	その他	無回答
全 体	749 100.0	61 8.1	254 33.9	59 7.9	94 12.6	93 12.4	53 7.1	38 5.1	85 11.3	4 0.5	83 11.1	96 12.8	122 16.3	63 8.4
20歳未満	38 100.0	6 15.8	4 10.5	1 2.6	2 5.3	4 10.5	1 2.6	2 5.3	2 5.3	1 2.6	4 10.5	28 73.7	1 2.6	2 5.3
20～29歳	92 100.0	10 10.9	29 31.5	5 5.4	12 13.0	30 32.6	7 7.6	4 4.3	8 8.7	1 1.1	22 23.9	35 38.0	9 9.8	2 2.2
30～39歳	148 100.0	10 6.8	34 23.0	5 3.4	23 15.5	35 23.6	13 8.8	10 6.8	23 15.5	- -	25 16.9	19 12.8	32 21.6	- -
40～49歳	89 100.0	5 5.6	29 32.6	7 7.9	20 22.5	13 14.6	8 9.0	7 7.9	14 15.7	- -	17 19.1	3 3.4	14 15.7	3 3.4
50～59歳	134 100.0	8 6.0	55 41.0	19 14.2	16 11.9	6 4.5	10 7.5	7 5.2	18 13.4	- -	6 4.5	3 2.2	24 17.9	12 9.0
60～69歳	140 100.0	12 8.6	67 47.9	13 9.3	19 13.6	2 1.4	9 6.4	7 5.0	15 10.7	1 0.7	6 4.3	1 0.7	22 15.7	17 12.1
70歳以上	108 100.0	10 9.3	36 33.3	9 8.3	2 1.9	3 2.8	5 4.6	1 0.9	5 4.6	1 0.9	3 2.8	7 6.5	20 18.5	27 25.0
75～79歳	37 100.0	6 16.2	12 32.4	5 13.5	2 5.4	1 2.7	1 2.7	1 2.7	- -	- -	- -	1 2.7	8 21.6	7 18.9
80歳以上	28 100.0	1 3.6	10 35.7	- -	- -	- -	1 3.6	- -	1 3.6	1 3.6	2 7.1	3 10.7	8 28.6	7 25.0

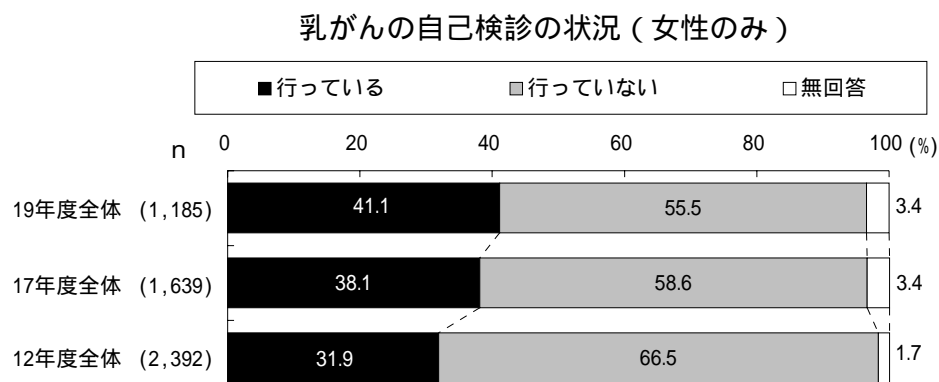
問30 乳がんの自己検診の状況（女性のみ）

全体では、「行っている」が39.9%、「行っていない」が56.7%となっている。
女性/年齢別で見ると、「行っている」は、50～59歳が53.7%で最も高くなっている。



12年度及び17年度調査結果と比較すると、「行っている」は調査ごとに増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】



12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

《10. 病気》

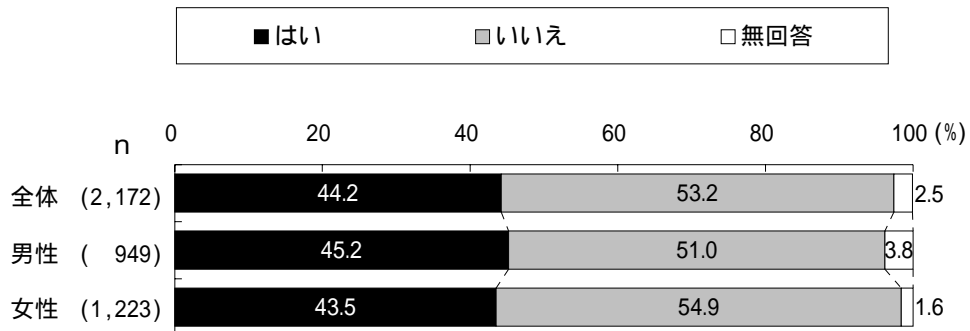
問31 治療中の病気や症状の有無

全体では、「はい」が44.2%、「いいえ」が53.2%となっている。

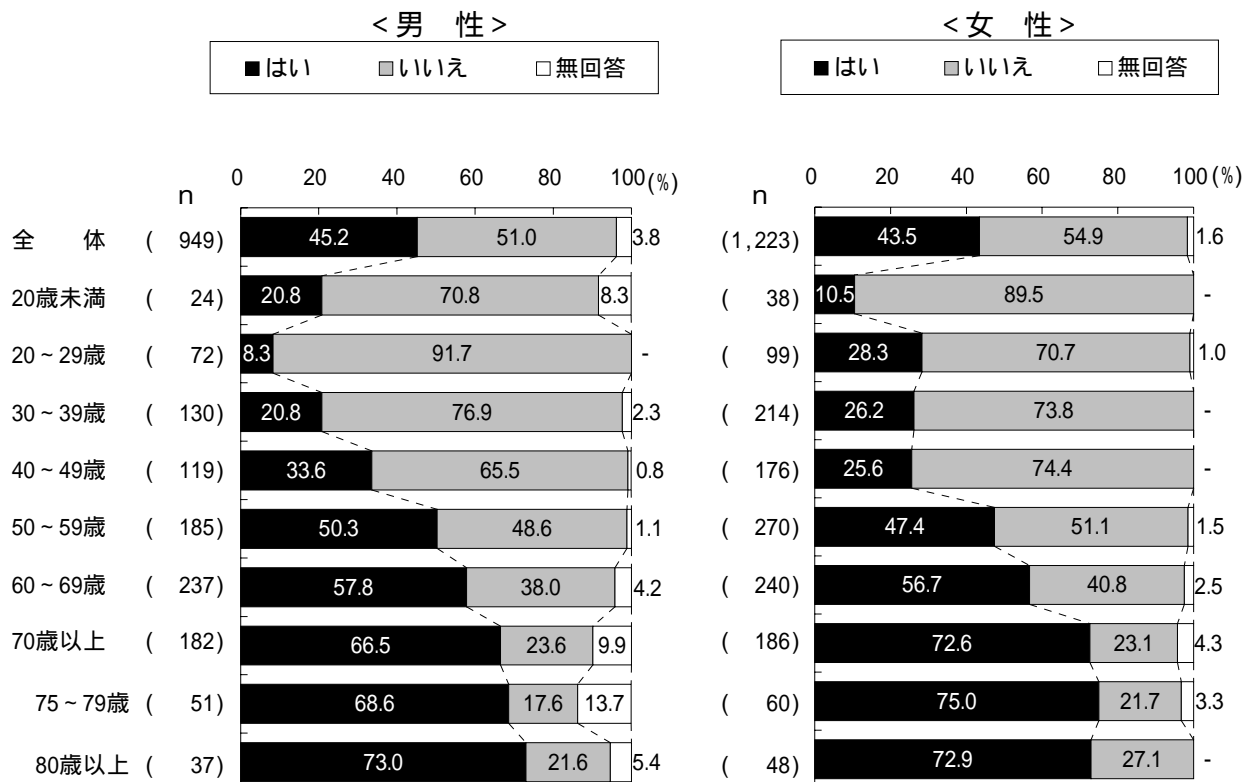
性別でみると、「いいえ」は、男性が51.0%、女性が54.9%で女性の方が3.9ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「はい」は、男女ともに70歳以上で高く、男性で66.5%、女性で72.6%となっている。

問31 治療中の病気や症状の有無（全体・性別）



問31 治療中の病気や症状の有無（性/年齢別）

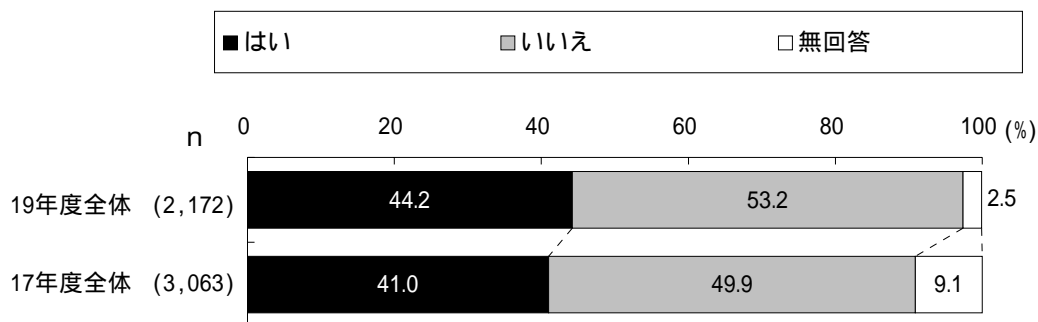


17年度調査結果と比較すると、全体では、「はい」(17年度：41.0% 19年度：44.2%)は3.2ポイント増加している。

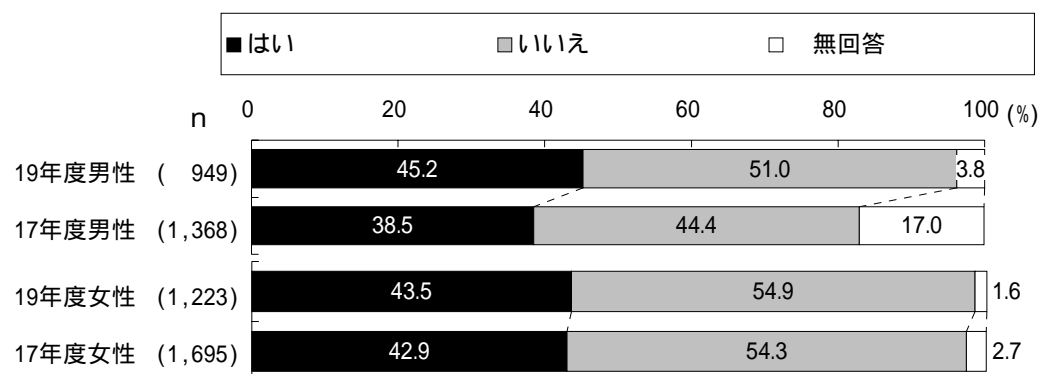
性別では、「はい」が男性(17年度：38.5% 19年度：45.2%)で6.7ポイント増加している。

【17年度調査との比較】

治療中の病気や症状の有無(全体)



治療中の病気や症状の有無(性別)



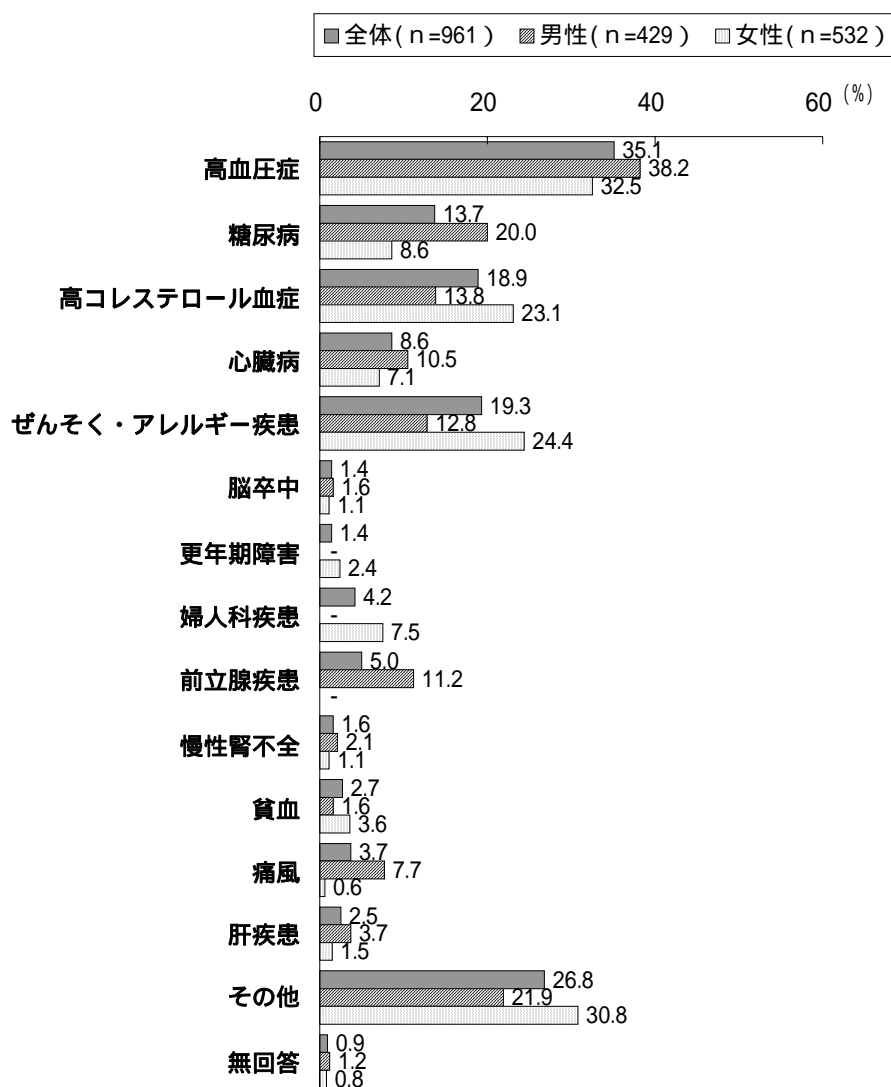
問31 - 1 治療中の病気や症状の内容（複数回答）

治療中の病気や症状の有無について「はい」と回答した人（961人）に、その内容をたずねた結果、全体では、「高血圧症」が35.1%で最も高く、「ぜんそく・アレルギー疾患」が19.3%、「高コレステロール血症」が18.9%、「糖尿病」が13.7%などとなっている。

性別で見ると、「高血圧症」は、男性が38.2%、女性が32.5%で男性の方が5.7ポイント高く、「糖尿病」でも、男性が20.0%、女性が8.6%で男性の方が11.4ポイント高くなっている。逆に、「高コレステロール血症」は、男性が13.8%、女性が23.1%で女性の方が9.3ポイント高くなっている。このほか、「心臓病」は、男性が10.5%、女性が7.1%で男性の方が3.4ポイント、「ぜんそく・アレルギー疾患」は、男性が12.8%、女性が24.4%で女性の方が11.6ポイント高くなっている。また、「痛風」は、男性が7.7%、女性が0.6%で男性の方が7.1ポイント高くなっている。

性/年齢別で見ると、「高血圧症」は、男女ともに70歳以上で高く、男性で52.1%、女性で52.6%となっている。

問31-1 治療中の病気や症状の内容（全体・性別）



問31-1 治療中の病気や症状の内容（性別／男性）

上段：実数
下段：%

		＜男 性＞														
	n	高血圧症	糖尿病	高コレステロール血症	心臓病	ぜんそく・アレルギー疾患	脳卒中	更年期障害	婦人科疾患	前立腺疾患	慢性腎不全	貧血	痛風	肝疾患	その他	無回答
全 体	429	164	86	59	45	55	7	-	-	48	9	7	33	16	94	5
	100.0	38.2	20.0	13.8	10.5	12.8	1.6	-	-	11.2	2.1	1.6	7.7	3.7	21.9	1.2
20歳未満	5	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-
	100.0	-	-	-	-	40.0	-	-	-	-	20.0	-	-	20.0	40.0	-
20～29歳	6	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-
	100.0	-	-	-	-	83.3	-	-	-	-	-	16.7	-	-	33.3	-
30～39歳	27	1	1	1	-	9	-	-	-	-	-	-	2	3	12	-
	100.0	3.7	3.7	3.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-	7.4	11.1	44.4	-
40～49歳	40	12	11	2	1	5	-	-	-	-	1	-	4	1	14	1
	100.0	30.0	27.5	5.0	2.5	12.5	-	-	-	-	2.5	-	10.0	2.5	35.0	2.5
50～59歳	93	33	19	17	5	13	1	-	-	3	3	1	11	3	22	1
	100.0	35.5	20.4	18.3	5.4	14.0	1.1	-	-	3.2	3.2	1.1	11.8	3.2	23.7	1.1
60～69歳	137	55	26	28	16	14	2	-	-	20	2	3	12	6	23	2
	100.0	40.1	19.0	20.4	11.7	10.2	1.5	-	-	14.6	1.5	2.2	8.8	4.4	16.8	1.5
70歳以上	121	63	29	11	23	7	4	-	-	25	2	2	4	2	19	1
	100.0	52.1	24.0	9.1	19.0	5.8	3.3	-	-	20.7	1.7	1.7	3.3	1.7	15.7	0.8
75～79歳	35	24	7	4	7	1	2	-	-	7	-	-	-	1	5	-
	100.0	68.6	20.0	11.4	20.0	2.9	5.7	-	-	20.0	-	-	-	2.9	14.3	-
80歳以上	27	14	6	1	6	3	-	-	-	10	-	2	-	-	3	1
	100.0	51.9	22.2	3.7	22.2	11.1	-	-	-	37.0	-	7.4	-	-	11.1	3.7

問31-1 治療中の病気や症状の内容（性別／女性）

上段：実数
下段：%

		＜女 性＞														
	n	高血圧症	糖尿病	高コレステロール血症	心臓病	ぜんそく・アレルギー疾患	脳卒中	更年期障害	婦人科疾患	前立腺疾患	慢性腎不全	貧血	痛風	肝疾患	その他	無回答
全 体	532	173	46	123	38	130	6	13	40	-	6	19	3	8	164	4
	100.0	32.5	8.6	23.1	7.1	24.4	1.1	2.4	7.5	-	1.1	3.6	0.6	1.5	30.8	0.8
20歳未満	4	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-
	100.0	-	-	-	-	50.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	75.0	-
20～29歳	28	-	-	-	-	23	-	-	1	-	-	3	-	-	5	-
	100.0	-	-	-	-	82.1	-	-	3.6	-	-	10.7	-	-	17.9	-
30～39歳	56	-	-	-	-	24	-	-	13	-	-	3	-	2	24	-
	100.0	-	-	-	-	42.9	-	-	23.2	-	-	5.4	-	3.6	42.9	-
40～49歳	45	6	2	4	1	10	-	3	8	-	-	4	-	-	19	-
	100.0	13.3	4.4	8.9	2.2	22.2	-	6.7	17.8	-	-	8.9	-	-	42.2	-
50～59歳	128	40	11	33	5	29	1	8	7	-	-	4	1	2	42	2
	100.0	31.3	8.6	25.8	3.9	22.7	0.8	6.3	5.5	-	-	3.1	0.8	1.6	32.8	1.6
60～69歳	136	56	19	42	4	26	-	2	6	-	1	-	-	3	39	-
	100.0	41.2	14.0	30.9	2.9	19.1	-	1.5	4.4	-	0.7	-	-	2.2	28.7	-
70歳以上	135	71	14	44	28	16	5	-	4	-	5	5	2	1	32	2
	100.0	52.6	10.4	32.6	20.7	11.9	3.7	-	3.0	-	3.7	3.7	1.5	0.7	23.7	1.5
75～79歳	45	26	3	11	8	6	1	-	-	-	-	1	1	1	13	-
	100.0	57.8	6.7	24.4	17.8	13.3	2.2	-	-	-	-	2.2	2.2	2.2	28.9	-
80歳以上	35	16	6	9	6	4	1	-	3	-	3	3	1	-	11	-
	100.0	45.7	17.1	25.7	17.1	11.4	2.9	-	8.6	-	8.6	8.6	2.9	-	31.4	-

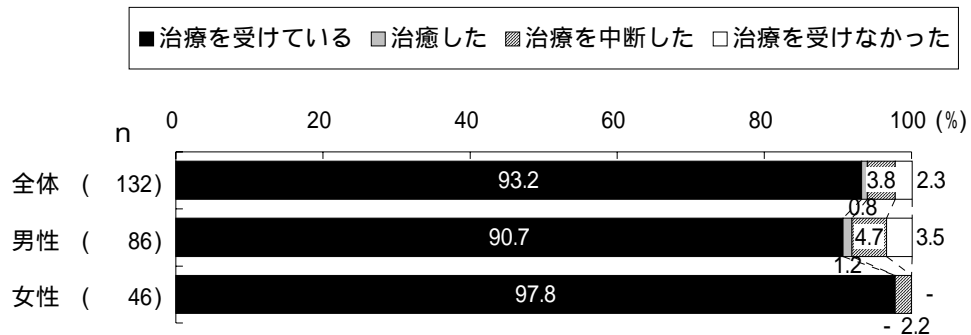
問31 - 2 糖尿病の治療（食事・運動療法も含む）の状況

治療中の病気や症状で「糖尿病」と回答した人（132人）に、治療の状況をたずねた結果、全体では、「治療を受けている」が93.2%で最も高く、「治癒した」が0.8%となっている。一方、「治療を中断した」が3.8%、「治療を受けなかった」が2.3%となっている。

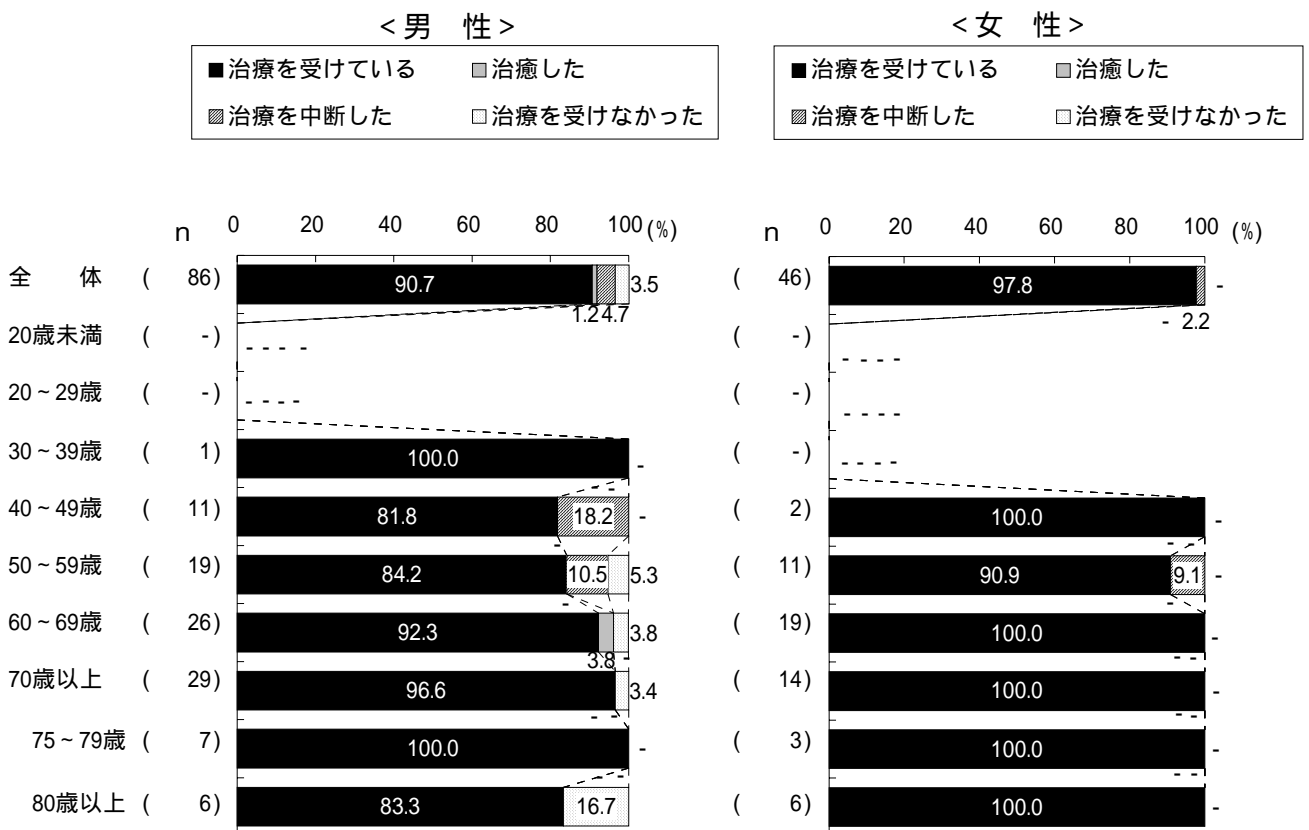
性別でみると、「治療を受けている」は、男性が90.7%、女性が97.8%で女性の方が7.1ポイント高くなっている。

性/年齢別については、回答者数が少ない層が多いため、図表を参考として掲載している。

問31-2 糖尿病の治療（食事・運動療法も含む）の状況（全体・性別）



問31-2 糖尿病の治療（食事・運動療法も含む）の状況（性/年齢別）



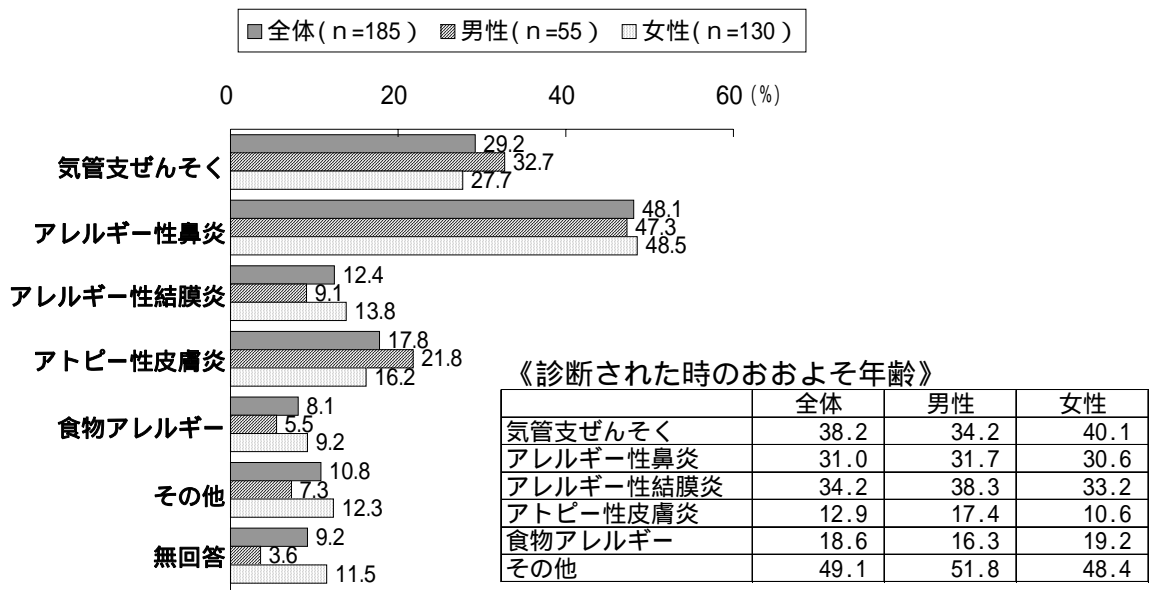
問31 - 3 ぜんそく・アレルギー疾患について医師から言われた診断名（複数回答）

治療中の病気や症状で「ぜんそく・アレルギー疾患」と回答した人（185人）に、医師から言われた診断名をたずねた結果、全体では、「アレルギー性鼻炎」が48.1%で最も高く、「気管支ぜんそく」が29.2%、「アトピー性皮膚炎」が17.8%、「アレルギー性結膜炎」が12.4%、「食物アレルギー」が8.1%となっている。

性別でみると、「気管支ぜんそく」は、男性が32.7%、女性が27.7%で男性の方が5.0ポイント高く、逆に、「アレルギー性結膜炎」は、男性が9.1%、女性が13.8%で女性の方が4.7ポイント高くなっている。また、「アトピー性皮膚炎」は、男性が21.8%、女性が16.2%で男性の方が5.6ポイント高く、逆に、「食物アレルギー」は、男性が5.5%、女性が9.2%で女性の方が3.7ポイント高くなっている。

性/年齢別については、回答者数が少ない層が多いため、図表を参考として掲載している。

問31-3 ぜんそく・アレルギー疾患について医師から言われた診断名（全体・性別）



問31-3 ぜんそく・アレルギー疾患について医師から言われた診断名（性/年齢別）

	<男 性>								<女 性>							
	n	気管支ぜんそく	アレルギー性鼻炎	アレルギー性結膜炎	アトピー性皮膚炎	食物アレルギー	その他	無回答	n	気管支ぜんそく	アレルギー性鼻炎	アレルギー性結膜炎	アトピー性皮膚炎	食物アレルギー	その他	無回答
全 体	55	18	26	5	12	3	4	2	130	36	63	18	21	12	16	15
	100.0	32.7	47.3	9.1	21.8	5.5	7.3	3.6	100.0	27.7	48.5	13.8	16.2	9.2	12.3	11.5
20歳未満	2	-	1	1	1	-	-	-	2	2	1	-	-	1	-	-
	100.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	100.0	100.0	50.0	-	-	50.0	-	-
20～29歳	5	2	3	1	2	-	-	-	23	5	13	3	12	4	1	-
	100.0	40.0	60.0	20.0	40.0	-	-	-	100.0	21.7	56.5	13.0	52.2	17.4	4.3	-
30～39歳	9	3	5	-	3	1	-	-	24	4	12	5	7	2	-	4
	100.0	33.3	55.6	-	33.3	11.1	-	-	100.0	16.7	50.0	20.8	29.2	8.3	-	16.7
40～49歳	5	3	2	1	-	-	-	1	10	-	5	3	1	1	3	1
	100.0	60.0	40.0	20.0	-	-	-	20.0	100.0	-	50.0	30.0	10.0	10.0	30.0	10.0
50～59歳	13	3	5	1	2	1	2	-	29	6	15	3	1	1	4	3
	100.0	23.1	38.5	7.7	15.4	7.7	15.4	-	100.0	20.7	51.7	10.3	3.4	3.4	13.8	10.3
60～69歳	14	3	8	-	2	1	2	1	26	9	13	3	-	1	5	5
	100.0	21.4	57.1	-	14.3	7.1	14.3	7.1	100.0	34.6	50.0	11.5	-	3.8	19.2	19.2
70歳以上	7	4	2	1	2	-	-	-	16	10	4	1	-	2	3	2
	100.0	57.1	28.6	14.3	28.6	-	-	-	100.0	62.5	25.0	6.3	-	12.5	18.8	12.5
75～79歳	1	1	-	-	-	-	-	-	6	4	2	-	-	-	-	1
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	66.7	33.3	-	-	-	-	16.7
80歳以上	3	-	2	1	1	-	-	-	4	3	1	1	-	1	-	-
	100.0	-	66.7	33.3	33.3	-	-	-	100.0	75.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-

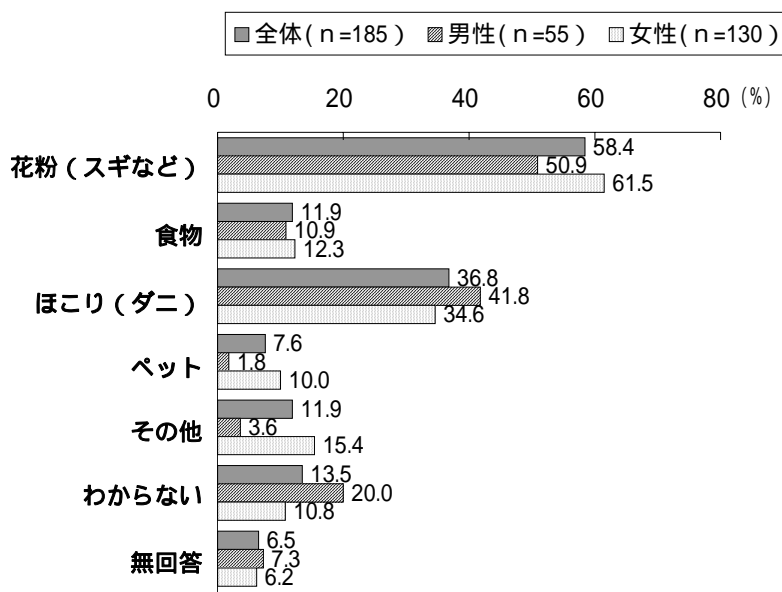
問31 - 4 ぜんそく・アレルギー疾患の原因（複数回答）

治療中の病気や症状で「ぜんそく・アレルギー疾患」と回答した人（185人）に、その原因をたずねた結果、全体では、「花粉（スギなど）」が58.4%で最も高く、「ほこり（ダニ）」が36.8%、「食物」が11.9%、「ペット」が7.6%となっている。

性別で見ると、「花粉（スギなど）」は、男性が50.9%、女性が61.5%で女性の方が10.6ポイント高く、逆に、「ほこり（ダニ）」は、男性が41.8%、女性が34.6%で男性の方が7.2ポイント高くなっている。また、「ペット」は、男性が1.8%、女性が10.0%で女性の方が8.2ポイント高くなっている。

性/年齢別については、回答者数が少ない層が多いため、図表を参考として掲載している。

問31-4 ぜんそく・アレルギー疾患の原因（全体・性別）



問31-4 ぜんそく・アレルギー疾患の原因（性/年齢別）

< 男 性 >									< 女 性 >								
	n	花粉（スギなど）	食物	ほこり（ダニ）	ペット	その他	わからない	無回答		n	花粉（スギなど）	食物	ほこり（ダニ）	ペット	その他	わからない	無回答
全 体	55	28	6	23	1	2	11	4	130	80	16	45	13	20	14	8	
	100.0	50.9	10.9	41.8	1.8	3.6	20.0	7.3	100.0	61.5	12.3	34.6	10.0	15.4	10.8	6.2	
20歳未満	2	1	-	1	-	-	-	1	2	1	1	1	-	-	-	-	
	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	
20～29歳	5	3	1	4	1	-	1	-	23	12	5	10	5	3	4	-	
	100.0	60.0	20.0	80.0	20.0	-	20.0	-	100.0	52.2	21.7	43.5	21.7	13.0	17.4	-	
30～39歳	9	6	2	6	-	-	-	-	24	18	5	14	5	3	2	-	
	100.0	66.7	22.2	66.7	-	-	-	-	100.0	75.0	20.8	58.3	20.8	12.5	8.3	-	
40～49歳	5	4	-	3	-	-	-	-	10	7	1	3	-	-	2	-	
	100.0	80.0	-	60.0	-	-	-	-	100.0	70.0	10.0	30.0	-	-	20.0	-	
50～59歳	13	5	1	3	-	-	3	2	29	20	1	12	2	4	2	2	
	100.0	38.5	7.7	23.1	-	-	23.1	15.4	100.0	69.0	3.4	41.4	6.9	13.8	6.9	6.9	
60～69歳	14	7	1	3	-	1	6	-	26	18	1	4	1	6	2	1	
	100.0	50.0	7.1	21.4	-	7.1	42.9	-	100.0	69.2	3.8	15.4	3.8	23.1	7.7	3.8	
70歳以上	7	2	1	3	-	1	1	1	16	4	2	1	-	4	2	5	
	100.0	28.6	14.3	42.9	-	14.3	14.3	14.3	100.0	25.0	12.5	6.3	-	25.0	12.5	31.3	
75～79歳	1	-	-	1	-	-	-	-	6	1	-	1	-	1	1	2	
	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	16.7	-	16.7	-	16.7	16.7	33.3	
80歳以上	3	2	1	1	-	-	-	-	4	-	1	-	-	1	1	1	
	100.0	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-	100.0	-	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	

問31 - 5 アレルギー疾患の原因となっている食物（複数回答）

「ぜんそく・アレルギー疾患」の原因について「食物」と回答した人（22人）に、その食物をたずねた。ただし、全体的に回答者数が少ないため図表を参考として掲載している。

問31-5 アレルギー疾患の原因となっている食物（全体・性別）

〔単位：実数〕

	n	小麦	卵	そば	乳製品	落花生	その他	無回答
全 体	22	-	5	4	2	-	11	2
男 性	6	-	1	-	1	-	2	2
女 性	16	-	4	4	1	-	9	-

問31-5 アレルギー疾患の原因となっている食物（性 / 年齢別）

〔上段：実数〕
〔下段：％〕

< 男 性 >

	n	小麦	卵	そば	乳製品	落花生	その他	無回答
全 体	6	-	1	-	1	-	2	2
20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	1	-	-	-	-	-	1	-
30～39歳	2	-	-	-	1	-	-	1
40～49歳	-	-	-	-	-	-	-	-
50～59歳	1	-	1	-	-	-	-	-
60～69歳	1	-	-	-	-	-	1	-
70歳以上	1	-	-	-	-	-	-	1
75～79歳	-	-	-	-	-	-	-	-
80歳以上	1	-	-	-	-	-	-	1

< 女 性 >

	n	小麦	卵	そば	乳製品	落花生	その他	無回答
全 体	16	-	4	4	1	-	9	-
20歳未満	1	-	-	-	-	-	1	-
20～29歳	5	-	1	3	1	-	2	-
30～39歳	5	-	2	1	-	-	2	-
40～49歳	1	-	1	-	-	-	-	-
50～59歳	1	-	-	-	-	-	1	-
60～69歳	1	-	-	-	-	-	1	-
70歳以上	2	-	-	-	-	-	2	-
75～79歳	-	-	-	-	-	-	-	-
80歳以上	1	-	-	-	-	-	1	-

問31 - 6 糖尿病の治療を中断した理由（複数回答）

「糖尿病」の「治療を中断した」と回答した人（5人）に、その理由をたずねた。ただし、全体的に回答者数が少ないため図表を参考として掲載している。

問31-6 糖尿病の治療を中断した理由（全体・性別）

〔単位：実数〕

	n	自覚症状がなかったから	検査値に変化がなかったから	以前より検査値がよくなったから	食事療法が面倒だったから	運動療法が面倒だったから	服薬・投薬管理が面倒だったから	民間療法を行っていたから	治療に家族や職場などの理解や支援が得られなかったから	治療にお金がかかったから	病院に行く時間が取れなかったから	病院に行く手段がなかったから（交通手段、付き添いの不在など）	その他
全 体	5	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
男 性	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
女 性	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

問31 - 7 糖尿病の治療を受けなかった理由（複数回答）

「糖尿病」の「治療を受けなかった」と回答した人（3人）に、その理由をたずねた。ただし、回答者が少ないため、全体の図表を参考として掲載している。

問31-7 糖尿病の治療を受けなかった理由（全体・性別）

[単位：実数]

	n	自覚症状がなかったから	検査値がそれほど悪い値とは思わなかったから	糖尿病は治らないと聞いていたから	治療にお金がかかるから	治療が面倒・大変そうだったから	自力（自己管理）あるいは民間療法で治せると思っていたから	病院に行く時間がなかったから	糖尿病であることを周囲に知られたくなかったから	その他
全 体	3	1	-	-	-	-	1	-	-	1
男 性	3	1	-	-	-	-	1	-	-	1
女 性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

《11．女性専用外来》

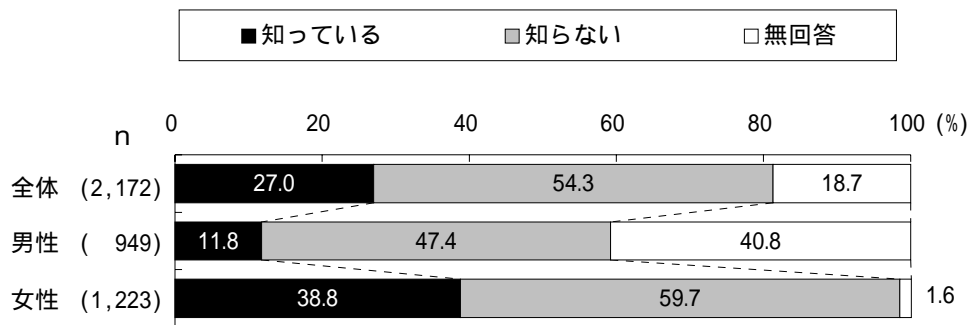
問32 「女性専用外来」の認知

全体では、「知っている」が27.0%、「知らない」が54.3%となっている。

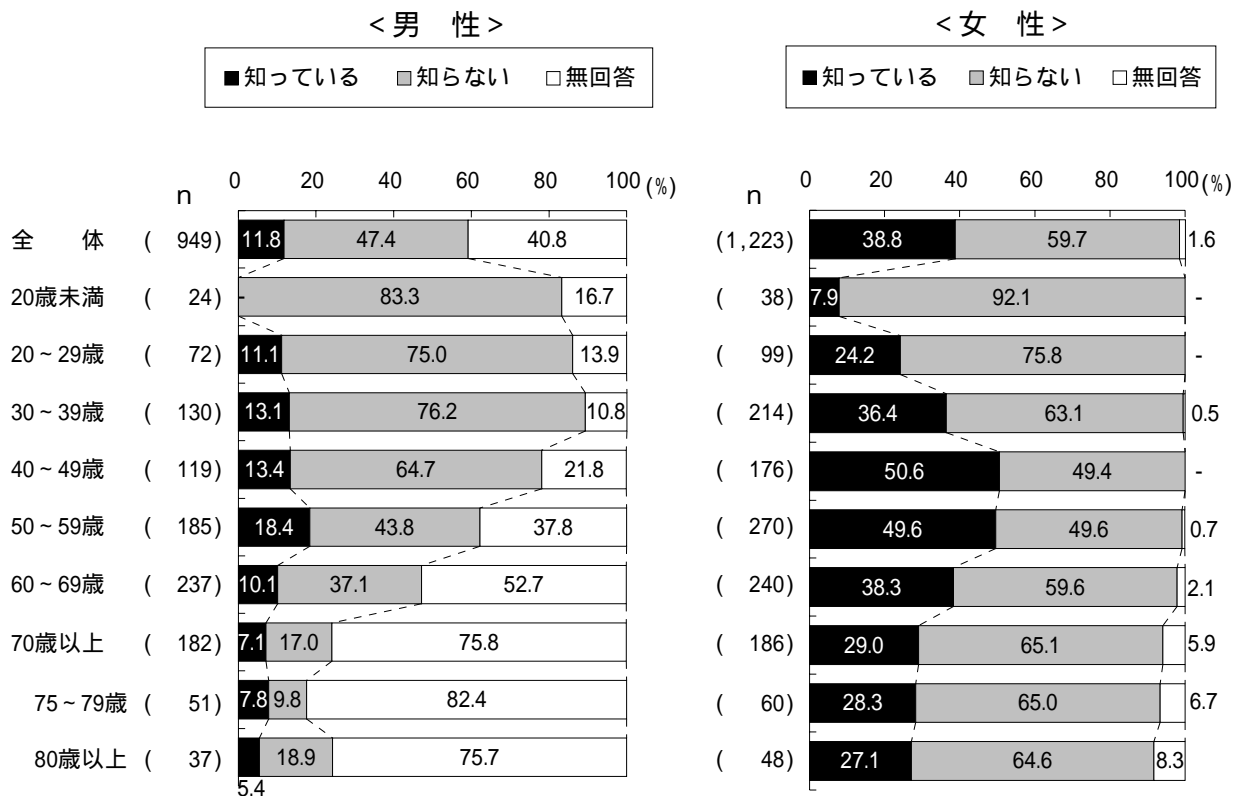
性別でみると、「知っている」は、男性が11.8%、女性が38.8%で女性の方が27.0ポイント高く、逆に、「知らない」は、男性が47.4%、女性が59.7%で男性の方が12.3ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「知っている」は、女性では40～49歳が50.6%、50～59歳が49.6%で高く、逆に、「知らない」は女性の20歳未満で92.1%と高くなっている。

問32 「女性専用外来」の認知（全体・性別）



問32 「女性専用外来」の認知（性/年齢別）

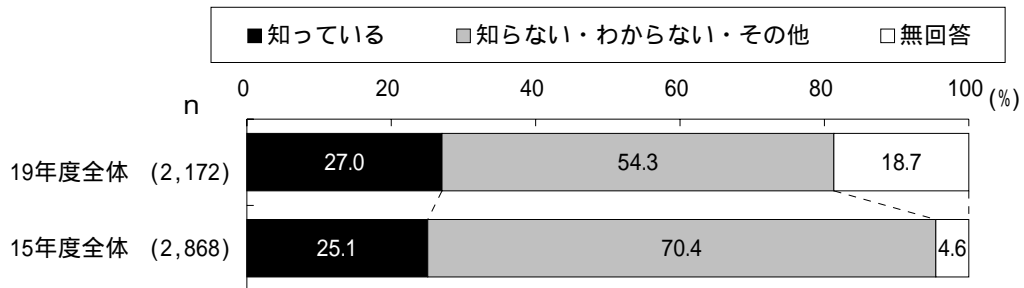


15年度調査結果と比較すると、全体では、「知らない」(15年度：70.4% 19年度：54.3%)が16.1ポイント減少している。

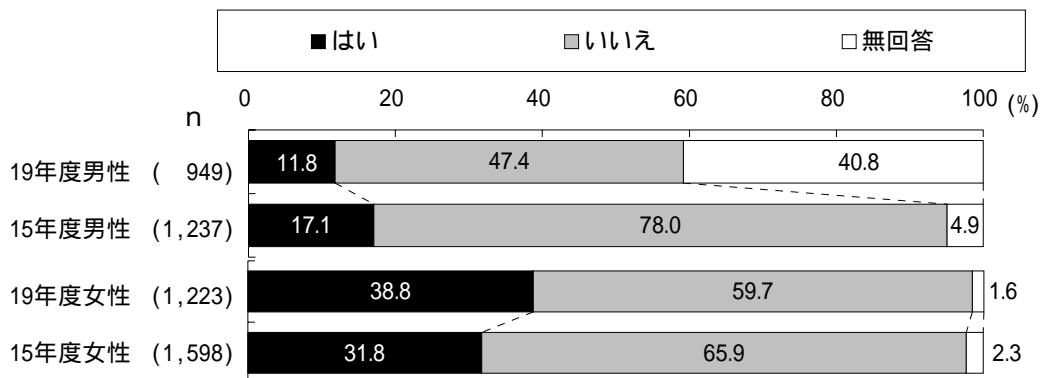
性別では、女性で、「知っている」(15年度：31.8% 19年度：38.8%)が7.0ポイント増加し、「知らない」(15年度：65.9% 19年度：59.7%)が6.2ポイント減少している。

【平成15年度調査との比較】

「女性専用外来」の認知（全体・性別）



「女性専用外来」の認知（性別）



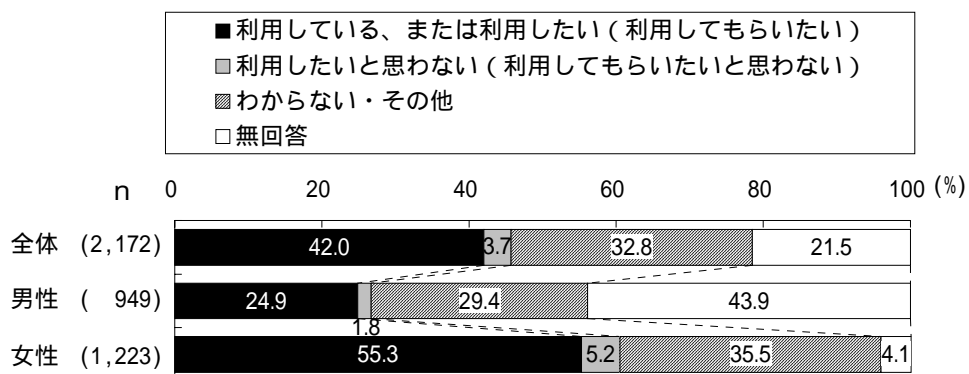
問33 「女性専用外来」の利用意向

「利用している、または利用したい(利用してもらいたい)」が42.0%で最も高く、「利用したいと思わない(利用してもらいたいと思わない)」が3.7%、「わからない・その他」が32.8%となっている。

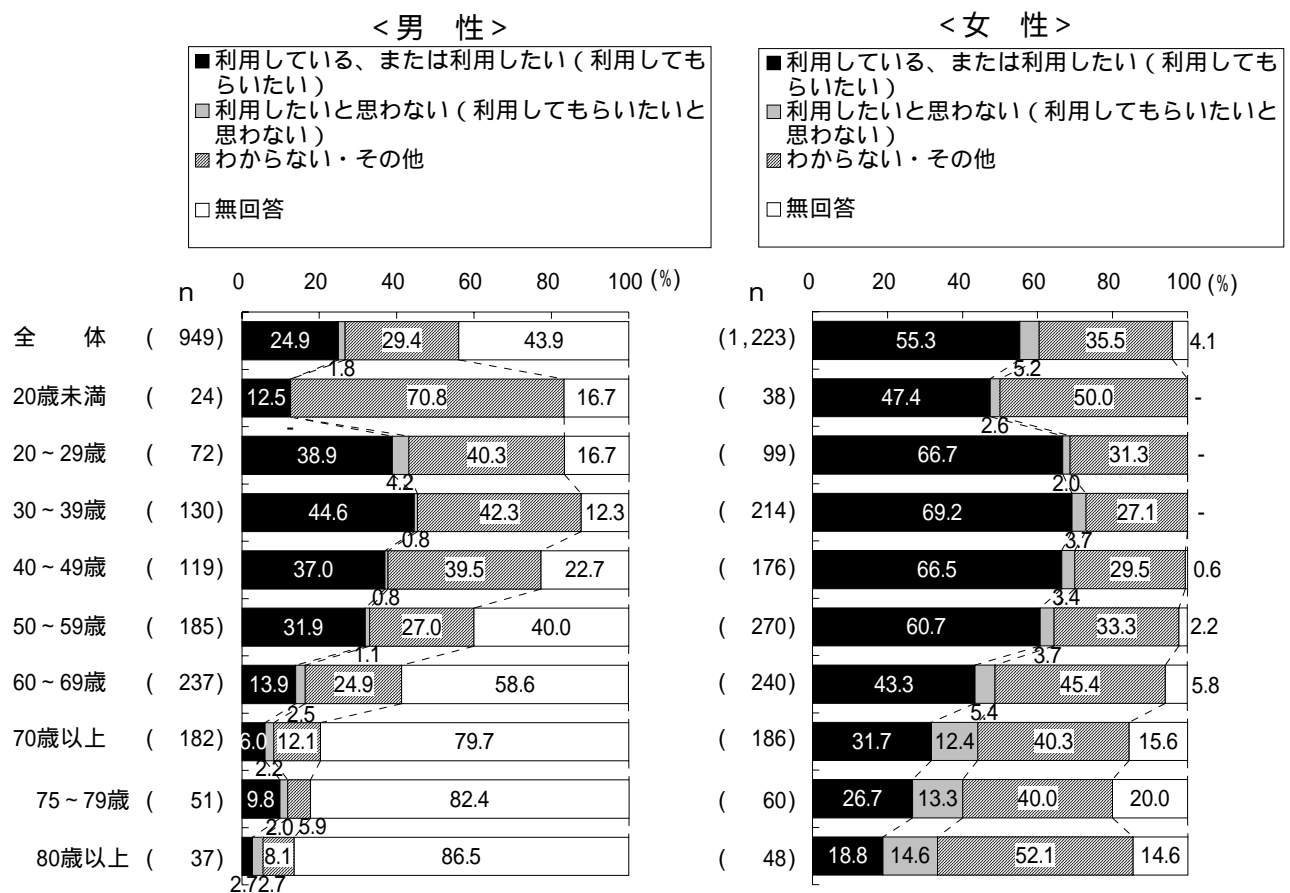
性別でみると、「利用している、または利用したい(利用してもらいたい)」は、男性が24.9%、女性が55.3%で女性の方が30.4ポイント高くなっている。また、「利用したいと思わない(利用してもらいたいと思わない)」でも、男性が1.8%、女性が5.2%で女性の方が3.4ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「利用している、または利用したい(利用してもらいたい)」は、男女ともに30~39歳で高く、男性で44.6%、女性で69.2%となっている。

問33 「女性専用外来」の利用意向(全体・性別)



問33 「女性専用外来」の利用意向(性/年齢別)

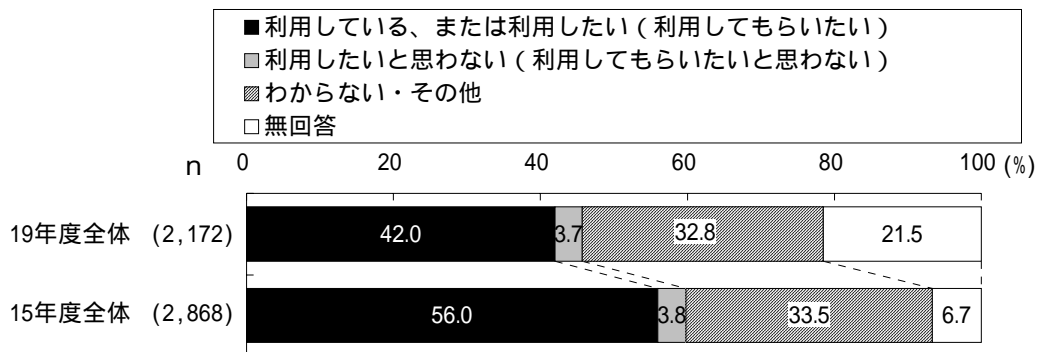


15年度調査結果と比較すると、全体では、「利用している、または利用したい(利用してもらいたい)」(15年度：56.0% 19年度：42.0%)が14.0ポイント減少している。

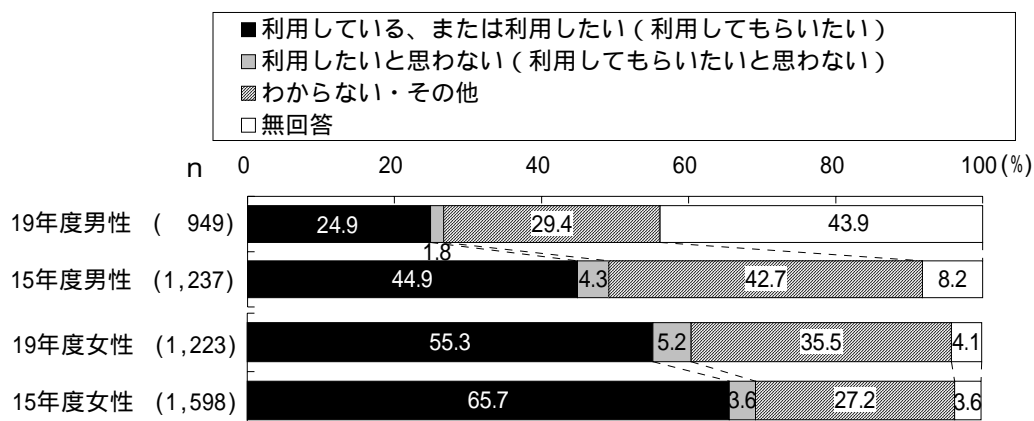
性別では、女性で、「利用している、または利用したい(利用してもらいたい)」(15年度：65.7% 19年度：55.3%)が10.4ポイント減少し、「わからない・その他」(15年度：27.2% 19年度：35.5%)が8.3ポイント増加している。

【平成15年度調査との比較】

「女性専用外来」の利用意向(全体)



「女性専用外来」の利用意向(性別)



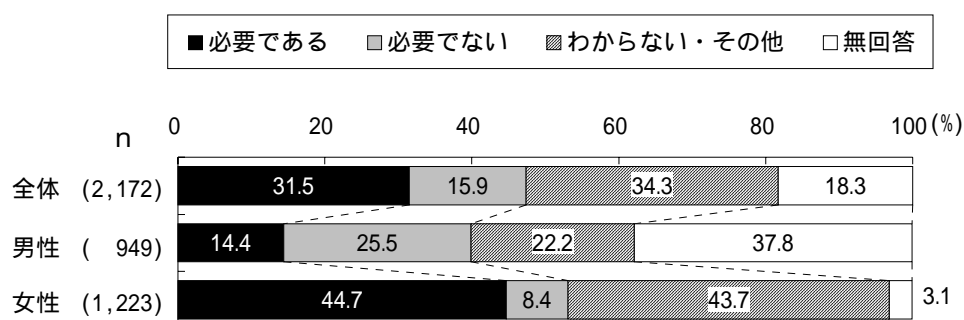
問34 「男性専用外来」の必要意向

全体では、「必要である」が31.5%、「必要でない」が15.9%、「わからない・その他」が34.3%となっている。

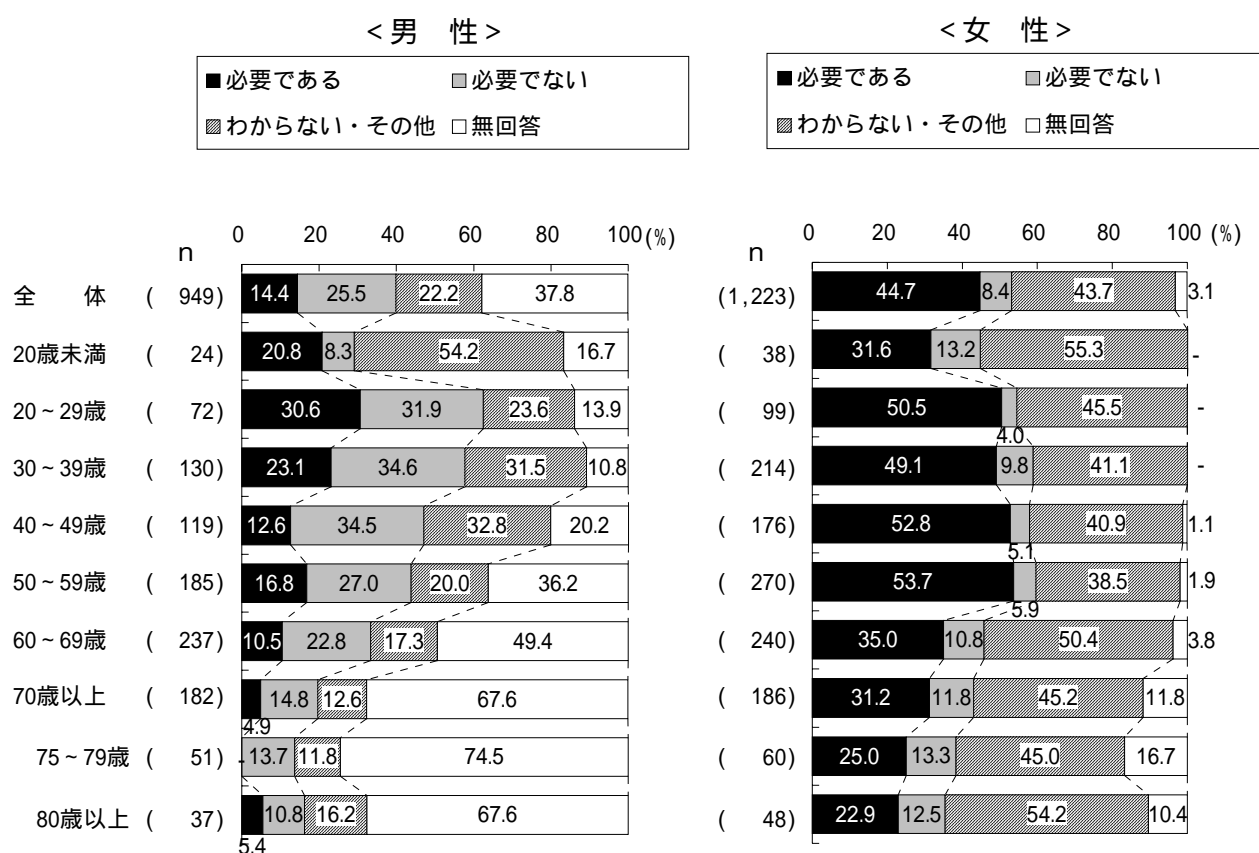
性別でみると、「必要である」は、男性が14.4%、女性が44.7%で女性の方が30.3ポイント高く、逆に、「必要でない」は、男性が25.5%、女性が8.4%で男性の方が17.1ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「必要である」は、男性では20～29歳が30.6%、女性では50～59歳が53.7%で最も高くなっている。逆に、「必要でない」は、男性の30～39歳で34.6%、40～49歳で34.5%と高くなっている。

問34 「男性専用外来」の必要意向（全体・性別）



問34 「男性専用外来」の必要意向（性/年齢別）



《12. 性差を考慮した健康相談》

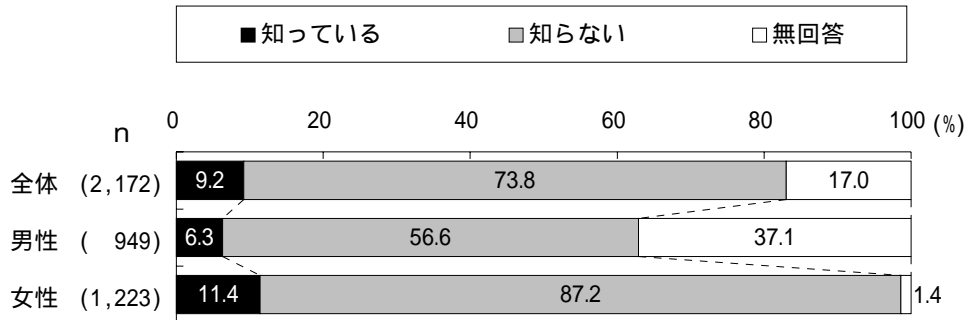
問35 「女性のための健康相談」の認知

全体では、「知っている」が9.2%、「知らない」が73.8%となっている。

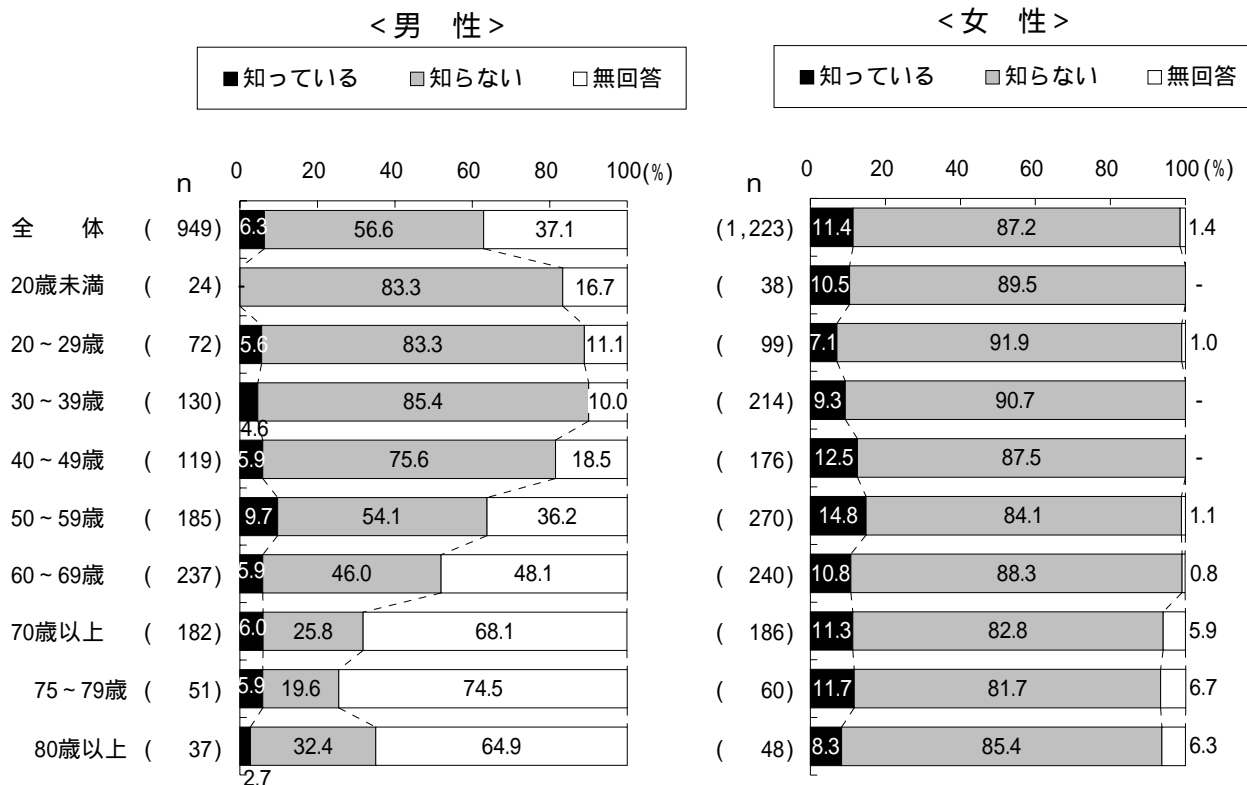
性別でみると、「知っている」は、男性が6.3%、女性が11.4%で女性の方が5.1ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、女性では、年齢による特に大きな違いはみられず、「知らない」が80%以上となっている。

問35 「女性のための健康相談」の認知（全体・性別）



問35 「女性のための健康相談」の認知（性/年齢別）



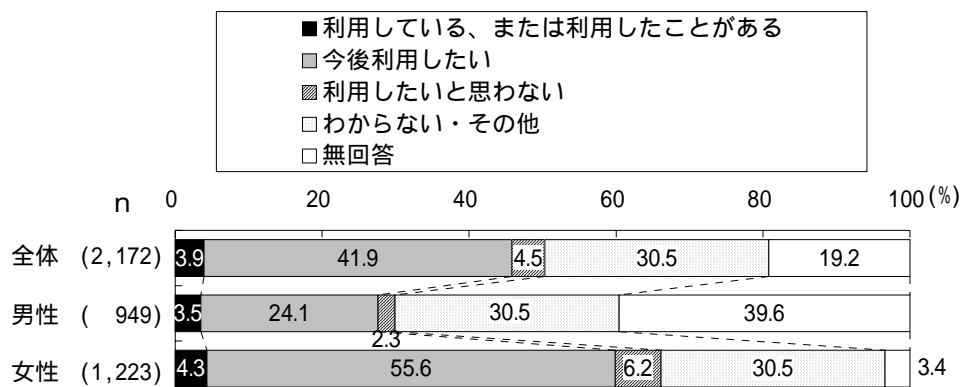
問36 「女性のための健康相談」の利用意向

全体では、「利用している、または利用したことがある」が3.9%、「今後利用したい」が41.9%、「利用したいと思わない」が4.5%、「わからない・その他」が30.5%となっている。

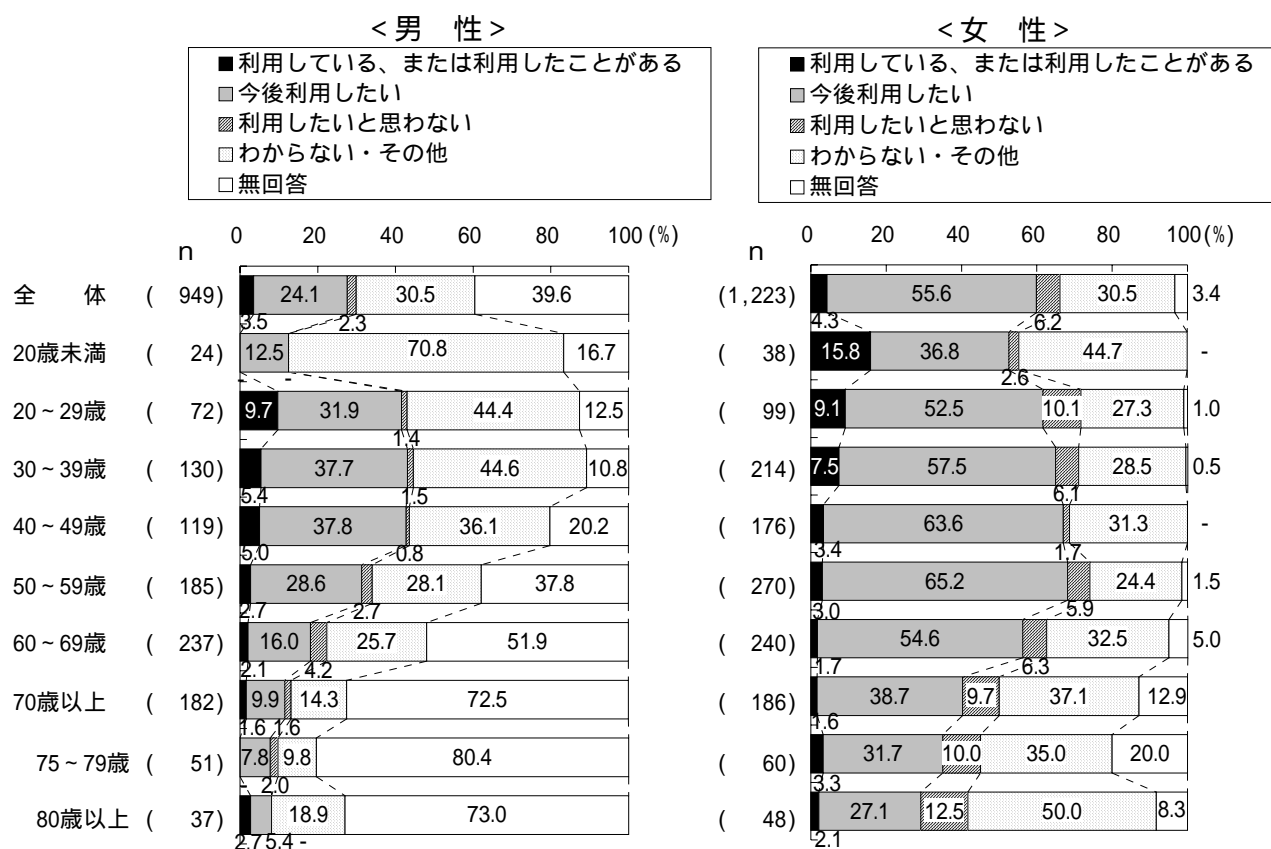
性別でみると、「今後利用したい」は、男性が24.1%、女性が55.6%で女性の方が31.5ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「今後利用したい」は、女性では50～59歳が65.2%、40～49歳が63.6%と高くなっている。

問36 「女性のための健康相談」の利用意向（全体・性別）



問36 「女性のための健康相談」の利用意向（性/年齢別）



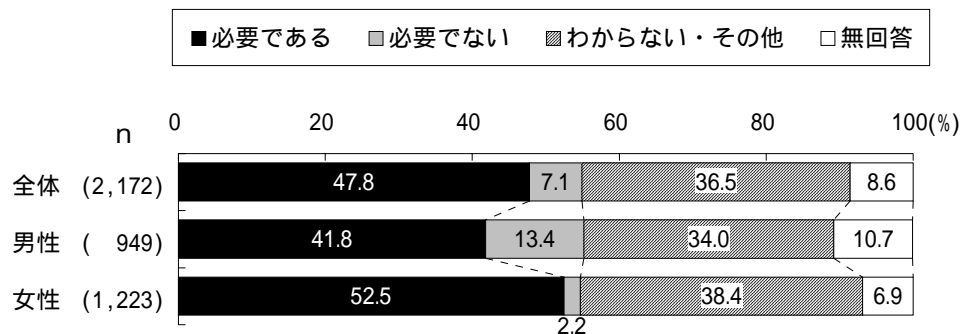
問37 「男性のこころと身体健康相談」に対する考え

全体では、「必要である」が47.8%で最も高く、「必要でない」が7.1%、「わからない・その他」が36.5%となっている。

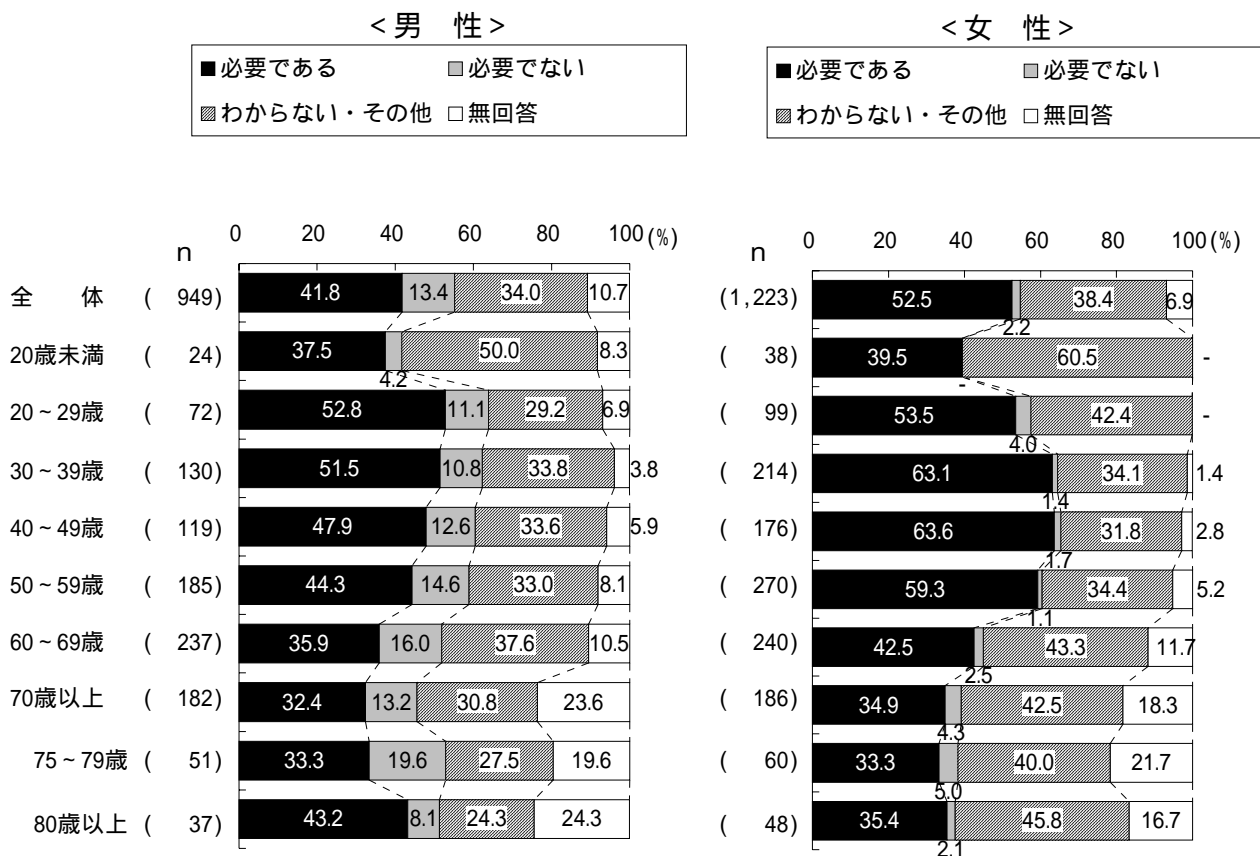
性別でみると、「必要である」は、男性が41.8%、女性が52.5%で女性の方が10.7ポイント高く、逆に、「必要でない」は、男性が13.4%、女性が2.2%で男性の方が11.2ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「必要である」は、男性では20～29歳が52.8%、30～39歳が51.5%、女性では40～49歳が63.6%、30～39歳が63.1%で高くなっている。

問37 「男性のこころと身体健康相談」に対する考え（全体・性別）



問37 「男性のこころと身体健康相談」に対する考え（性/年齢別）



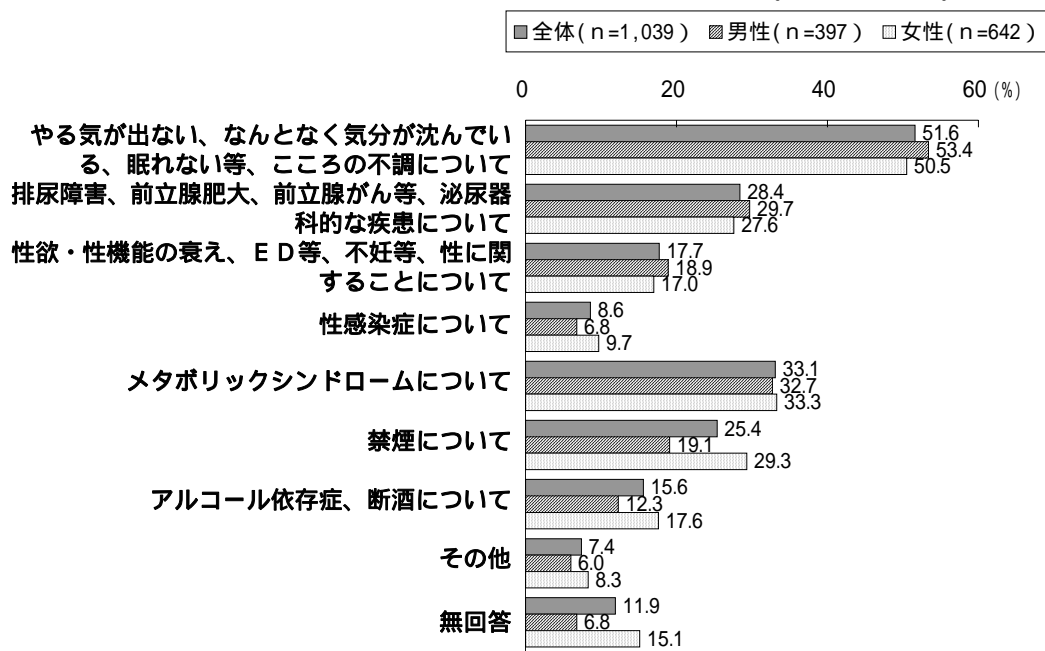
問37-1 「男性のための健康相談」で相談したい内容（複数回答）

「男性のための健康相談」が「必要である」と回答した人（1,039人）に、相談したい内容をたずねた結果、全体では、「やる気が出ない、なんとなく気分が沈んでいる、眠れない等、こころの不調について」が51.6%で最も高く、「メタボリックシンドロームについて」が33.1%、「排尿障害、前立腺肥大、前立腺がん等、泌尿器科的な疾患について」が28.4%、「禁煙について」が25.4%、「性欲・性機能の衰え、ED（勃起障害）等、不妊等、性に関することについて」が17.7%、「アルコール依存症、断酒について」が15.6%などとなっている。

性別でみると、「禁煙について」は、男性が19.1%、女性が29.3%で女性の方が10.2ポイント高く、「アルコール依存症、断酒について」でも、男性が12.3%、女性が17.6%で女性の方が5.3ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「やる気が出ない、なんとなく気分が沈んでいる、眠れない等、こころの不調について」は、男女ともに30～39歳で高く、男性で73.1%、女性で63.7%となっている。

問37-1 「男性のための健康相談」で相談したい内容（全体・性別）



問37-1 「男性のための健康相談」で相談したい内容（性/年齢別）

（上段：実数）
（下段：%）

	<男性>									<女性>																															
	n	沈んでいない、眠れない等、こころの不調について	やる気が出ない、なんとなく気分が沈んでいる、眠れない等、こころの不調について	排尿障害、前立腺肥大、前立腺がん等、泌尿器科的な疾患について	性欲・性機能の衰え、ED等、不妊等、性に関することについて	性感染症について	メタボリックシンドロームについて	禁煙について	アルコール依存症、断酒について	その他	無回答	n	沈んでいない、眠れない等、こころの不調について	やる気が出ない、なんとなく気分が沈んでいる、眠れない等、こころの不調について	排尿障害、前立腺肥大、前立腺がん等、泌尿器科的な疾患について	性欲・性機能の衰え、ED等、不妊等、性に関することについて	性感染症について	メタボリックシンドロームについて	禁煙について	アルコール依存症、断酒について	その他	無回答																			
全体	397	212	118	75	27	130	76	49	24	27	642	324	177	109	62	214	188	113	53	97	100.0	53.4	29.7	18.9	6.8	32.7	19.1	12.3	6.0	6.8	100.0	50.5	27.6	17.0	9.7	33.3	29.3	17.6	8.3	15.1	
20歳未満	9	7	1	4	2	1	2	1	-	-	15	9	4	4	4	6	6	6	6	1	3	100.0	77.8	11.1	44.4	22.2	11.1	22.2	11.1	-	-	100.0	60.0	26.7	26.7	26.7	40.0	40.0	40.0	6.7	20.0
20～29歳	38	26	5	10	5	10	9	5	3	3	53	27	7	9	9	14	16	11	5	13	100.0	68.4	13.2	26.3	13.2	26.3	23.7	13.2	7.9	7.9	100.0	50.9	13.2	17.0	17.0	26.4	30.2	20.8	9.4	24.5	
30～39歳	67	49	10	13	7	19	15	11	2	4	135	86	39	38	22	50	48	33	9	21	100.0	73.1	14.9	19.4	10.4	28.4	22.4	16.4	3.0	6.0	100.0	63.7	28.9	28.1	16.3	37.0	35.6	24.4	6.7	15.6	
40～49歳	57	38	6	8	5	23	9	4	6	4	112	69	26	23	11	40	32	19	13	13	100.0	66.7	10.5	14.0	8.8	40.4	15.8	7.0	10.5	7.0	100.0	61.6	23.2	20.5	9.8	35.7	28.6	17.0	11.6	11.6	
50～59歳	82	47	30	19	5	36	17	15	2	3	160	77	48	22	8	62	45	21	9	21	100.0	57.3	36.6	23.2	6.1	43.9	20.7	18.3	2.4	3.7	100.0	48.1	30.0	13.8	5.0	38.8	28.1	13.1	5.6	13.1	
60～69歳	85	25	35	16	2	20	17	6	6	8	102	37	36	8	4	28	26	14	11	11	100.0	29.4	41.2	18.8	2.4	23.5	20.0	7.1	7.1	9.4	100.0	36.3	35.3	7.8	3.9	27.5	25.5	13.7	10.8	10.8	
70歳以上	59	20	31	5	1	21	7	7	5	5	65	19	17	5	4	14	15	9	5	15	100.0	33.9	52.5	8.5	1.7	35.6	11.9	11.9	8.5	8.5	100.0	29.2	26.2	7.7	6.2	21.5	23.1	13.8	7.7	23.1	
75～79歳	17	5	9	2	1	10	3	2	3	1	20	4	4	-	5	2	2	-	7	1	100.0	29.4	52.9	11.8	5.9	58.8	17.6	11.8	17.6	5.9	100.0	20.0	20.0	-	-	25.0	10.0	10.0	-	35.0	
80歳以上	16	6	7	-	-	2	1	2	1	3	17	6	5	1	2	3	6	2	2	4	100.0	37.5	43.8	-	-	12.5	6.3	12.5	6.3	18.8	100.0	35.3	29.4	5.9	11.8	17.6	35.3	11.8	11.8	23.5	

《13. 健康増進事業》

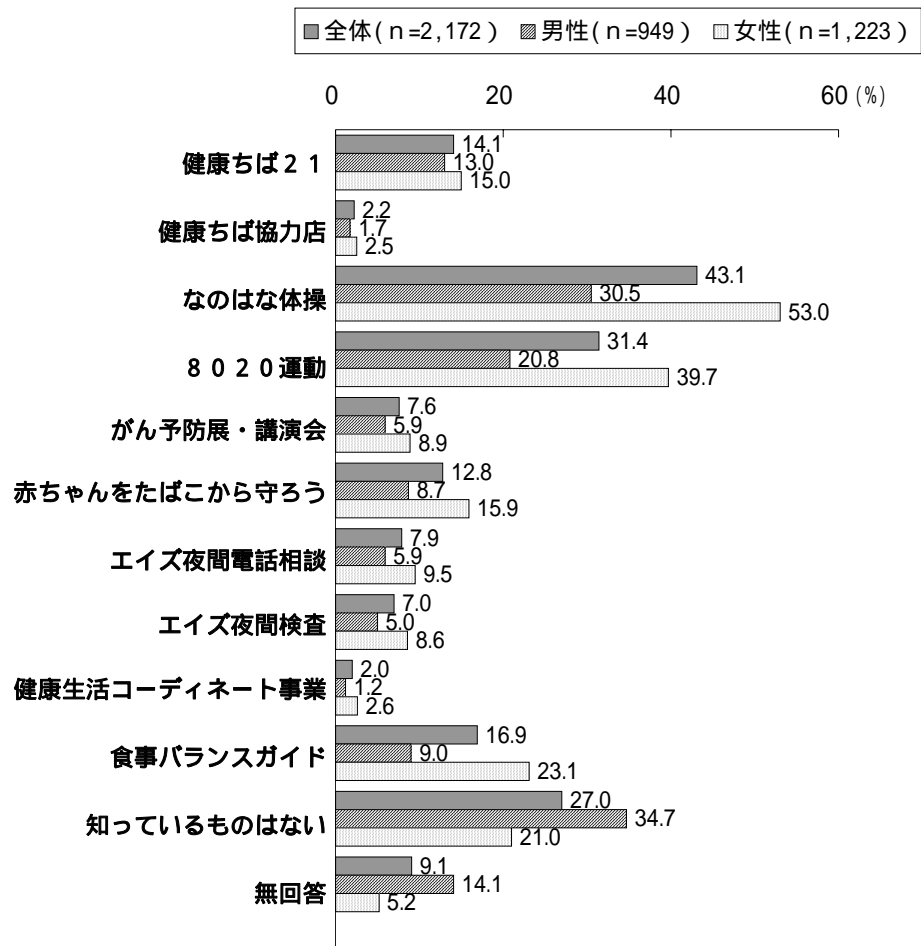
問38 健康づくり事業やことばで知っているもの（複数回答）

全体では、「なのはな体操」が43.1%で最も高く、「8020運動」が31.4%、「食事バランスガイド」が16.9%、「健康ちば21」が14.1%、「赤ちゃんをたばこから守ろう」が12.8%などとなっている。一方、「知っているものはない」が27.0%となっている。

性別でみると、女性の方が男性よりも高いものが多く、順に列挙すると、「なのはな体操」は男性が30.5%、女性が53.0%で22.5ポイント、「8020運動」は男性が20.8%、女性が39.7%で18.9ポイント、「赤ちゃんをたばこから守ろう」は男性が8.7%、女性が15.9%で7.2ポイント、「エイズ夜間電話相談」は男性が5.9%、女性が9.5%で3.6ポイント、「エイズ夜間検査」は男性が5.0%、女性が8.6%で3.6ポイント、「食事バランスガイド」は男性が9.0%、女性が23.1%で14.1ポイント差となっている。逆に、「知っているものはない」は、男性が34.7%、女性が21.0%で男性の方が13.7ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「なのはな体操」は、男性では20歳未満が54.2%、女性では50～59歳が60.4%で最も高くなっている。また、「知っているものはない」は、男性では60～69歳が43.5%、女性では70歳以上が33.3%で最も高くなっている。

問38 健康づくり事業やことばで知っているもの（全体・性別）



問38 健康づくり事業やことばで知っているもの（性別／男性）

（上段：実数
下段：％）

<男 性>

	n	健康 ちば 2 1	健康 ちば 協力 店	な の は な 体 操	8 0 2 0 運 動	が ん 予 防 展 ・ 講 演 会	赤 ち ゃ ん を た ば こ か ら 守 ろ う	エ イ ズ 夜 間 電 話 相 談	エ イ ズ 夜 間 検 査	健 康 生 活 コ ー デ ィ ネ ー ト 事 業	食 事 バ ラ ン ス ガ イ ド	知 っ て い る も の は な い	無 回 答
全 体	949 100.0	123 13.0	16 1.7	289 30.5	197 20.8	56 5.9	83 8.7	56 5.9	47 5.0	11 1.2	85 9.0	329 34.7	134 14.1
20歳未満	24 100.0	1 4.2	- -	13 54.2	7 29.2	- -	4 16.7	3 12.5	1 4.2	- -	3 12.5	5 20.8	2 8.3
20～29歳	72 100.0	12 16.7	2 2.8	33 45.8	18 25.0	2 2.8	7 9.7	3 4.2	7 9.7	1 1.4	5 6.9	20 27.8	4 5.6
30～39歳	130 100.0	11 8.5	3 2.3	61 46.9	32 24.6	5 3.8	13 10.0	11 8.5	10 7.7	1 0.8	16 12.3	35 26.9	7 5.4
40～49歳	119 100.0	12 10.1	4 3.4	30 25.2	31 26.1	2 1.7	8 6.7	6 5.0	8 6.7	2 1.7	13 10.9	42 35.3	14 11.8
50～59歳	185 100.0	32 17.3	3 1.6	68 36.8	40 21.6	10 5.4	12 6.5	10 5.4	7 3.8	1 0.5	19 10.3	58 31.4	23 12.4
60～69歳	237 100.0	29 12.2	2 0.8	51 21.5	39 16.5	17 7.2	25 10.5	15 6.3	10 4.2	2 0.8	14 5.9	103 43.5	35 14.8
70歳以上	182 100.0	26 14.3	2 1.1	33 18.1	30 16.5	20 11.0	14 7.7	8 4.4	4 2.2	4 2.2	15 8.2	66 36.3	49 26.9
75～79歳	51 100.0	10 19.6	- -	11 21.6	7 13.7	10 19.6	4 7.8	2 3.9	- -	2 3.9	4 7.8	18 35.3	13 25.5
80歳以上	37 100.0	2 5.4	- -	4 10.8	5 13.5	1 2.7	2 5.4	1 2.7	1 2.7	- -	2 5.4	13 35.1	13 35.1

問38 健康づくり事業やことばで知っているもの（性別／女性）

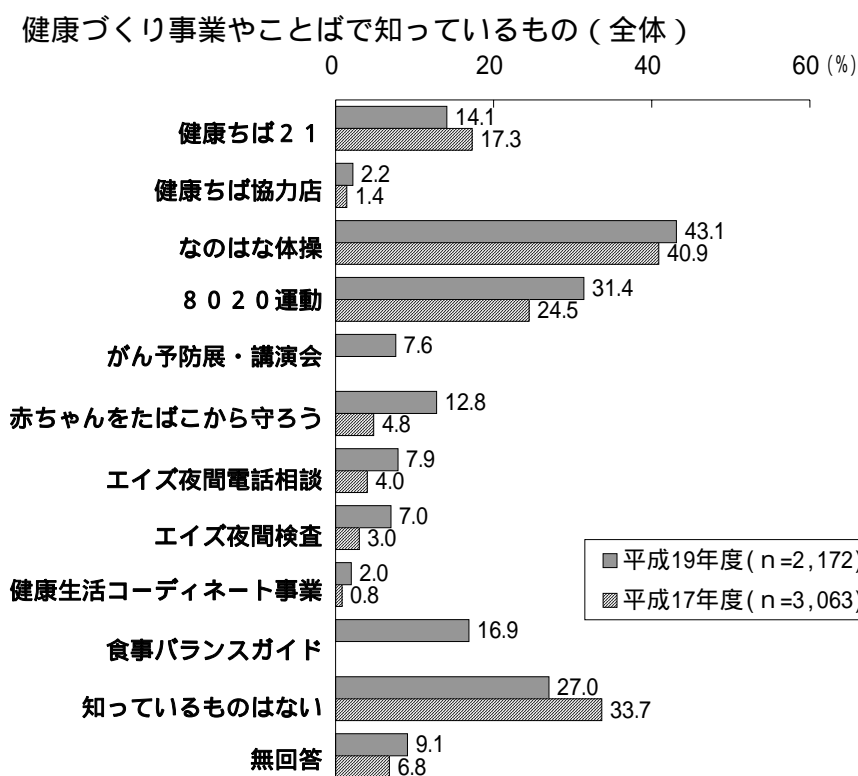
<女 性>

	n	健康 ちば 2 1	健康 ちば 協力 店	な の は な 体 操	8 0 2 0 運 動	が ん 予 防 展 ・ 講 演 会	赤 ち ゃ ん を た ば こ か ら 守 ろ う	エ イ ズ 夜 間 電 話 相 談	エ イ ズ 夜 間 検 査	健 康 生 活 コ ー デ ィ ネ ー ト 事 業	食 事 バ ラ ン ス ガ イ ド	知 っ て い る も の は な い	無 回 答
全 体	1,223 100.0	183 15.0	31 2.5	648 53.0	485 39.7	109 8.9	194 15.9	116 9.5	105 8.6	32 2.6	282 23.1	257 21.0	64 5.2
20歳未満	38 100.0	9 23.7	- -	20 52.6	17 44.7	1 2.6	4 10.5	3 7.9	7 18.4	2 5.3	7 18.4	9 23.7	1 2.6
20～29歳	99 100.0	14 14.1	2 2.0	59 59.6	50 50.5	4 4.0	20 20.2	7 7.1	7 7.1	1 1.0	33 33.3	13 13.1	2 2.0
30～39歳	214 100.0	27 12.6	5 2.3	122 57.0	87 40.7	12 5.6	44 20.6	20 9.3	23 10.7	2 0.9	60 28.0	39 18.2	4 1.9
40～49歳	176 100.0	25 14.2	4 2.3	92 52.3	98 55.7	16 9.1	35 19.9	20 11.4	15 8.5	5 2.8	54 30.7	31 17.6	8 4.5
50～59歳	270 100.0	48 17.8	4 1.5	163 60.4	123 45.6	30 11.1	39 14.4	30 11.1	27 10.0	9 3.3	62 23.0	48 17.8	3 1.1
60～69歳	240 100.0	36 15.0	12 5.0	129 53.8	71 29.6	26 10.8	31 12.9	23 9.6	16 6.7	6 2.5	41 17.1	55 22.9	16 6.7
70歳以上	186 100.0	24 12.9	4 2.2	63 33.9	39 21.0	20 10.8	21 11.3	13 7.0	10 5.4	7 3.8	25 13.4	62 33.3	30 16.1
75～79歳	60 100.0	5 8.3	2 3.3	19 31.7	9 15.0	2 3.3	5 8.3	3 5.0	3 5.0	2 3.3	8 13.3	24 40.0	7 11.7
80歳以上	48 100.0	5 10.4	1 2.1	14 29.2	11 22.9	6 12.5	5 10.4	1 2.1	1 2.1	- -	3 6.3	15 31.3	9 18.8

選択肢数が異なるが、参考として17年度調査結果と比較すると、全体では、「赤ちゃんをたばこから守ろう」(17年度：4.8% 19年度：12.8%)が8.0ポイント、「8020運動」(17年度：24.5% 19年度：31.4%)が6.9ポイントと大きく増加している。逆に、「知っているものはない」(17年度：33.7% 19年度：27.0%)が6.7ポイント減少している。

性別では、「赤ちゃんをたばこから守ろう」が男女ともに増加し、男性(17年度：3.4% 19年度：8.7%)で5.3ポイント、女性(17年度：6.0% 19年度：15.9%)で9.9ポイント増加している。このほか、女性では、「8020運動」(17年度：28.9% 19年度：39.7%)が10.8ポイント、「エイズ夜間検査」(17年度：3.4% 19年度：8.6%)が5.2ポイント、「エイズ夜間電話相談」(17年度：4.5% 19年度：9.5%)なども増加している。また、「知っているものはない」は、男性(17年度：42.0% 19年度：34.7%)で7.3ポイント、女性(17年度：27.0% 19年度：21.0%)で6.0ポイント減少している。

【17年度調査との比較】



健康づくり事業やことばで知っているもの(性別)

(上段：実数
下段：%)

	n	健康ちば21	健康ちば協力店	なのはな体操	8020運動	がん予防展・講演会	赤ちゃんをたばこから守ろう	エイズ夜間電話相談	エイズ夜間検査	健康生活コーディネーター事業	食事バランスガイド	知っているものはない	無回答
19年度男性	949	123	16	289	197	56	83	56	47	11	85	329	134
	100.0	13.0	1.7	30.5	20.8	5.9	8.7	5.9	5.0	1.2	9.0	34.7	14.1
17年度男性	1,368	210	17	430	259		46	46	34	9		574	148
	100.0	15.4	1.2	31.4	18.9		3.4	3.4	2.5	0.7		42.0	10.8
19年度女性	1,223	183	31	648	485	109	194	116	105	32	282	257	64
	100.0	15.0	2.5	53.0	39.7	8.9	15.9	9.5	8.6	2.6	23.1	21.0	5.2
17年度女性	1,695	321	25	822	490		102	77	57	16		457	59
	100.0	18.9	1.5	48.5	28.9		6.0	4.5	3.4	0.9		27.0	3.5

調查票

平成20年3月
生活習慣に関するアンケート調査
報告書

「千葉県生活習慣に関するアンケート」へのご協力をお願い

千葉県では、県民の皆様が健康で生き生きとした生活をおくり、長寿を達成することができるよう、県民一人ひとりが健康に関心を持ち、家庭や学校・職場の仲間と一緒に健康づくりなどに取り組んでいくための仕組みや、それらの取り組みを支援する環境づくりを行ってまいりました。

そこで、本年度は今後の健康づくり施策を展開していくための参考とさせていただくために、皆様の健康や生活習慣などについてお伺いする「千葉県生活習慣に関するアンケート」を実施することといたしました。

調査をお願いする方は、県内在住の15歳以上の6,000人の方で、住民基本台帳から無作為に抽出させていただきました。

調査は、回答をアンケート用紙にご記入いただき、同封の封筒(切手は、不要です)でご返送いただく方法です。封筒に、住所やお名前を書かないで返送してください。

なお、調査はすべて無記名で行ないますので、集計結果等の公表等で回答者にご迷惑をおかけすることは一切ありません。回答いただいた調査票は、今後の健康施策を検討するため、有効に活用させていただき、他の目的には使用しません。

この調査結果は、県民の皆様全体の健康状態や健康づくりの現状などを表す重要な資料となりますので、回答にご協力をお願い申し上げます。

また、調査結果は千葉県のホームページ <http://www.pref.chiba.jp/> で公表されます。

お手数ですが、**平成 19 年 12 月 28 日(金)まで**にご投函ください。

ご不明の点がございましたら、下記までお問合せください。

千葉県庁 健康福祉部 健康づくり支援課

電 話 : 0 4 3 - 2 2 3 - 2 6 6 0

F A X : 0 4 3 - 2 2 5 - 0 3 2 2

「千葉県生活習慣に関するアンケート」

平成19年

この調査は、皆様の健康に関することについておたずねし、これからの健康づくりの推進に必要な基礎資料を得ることを目的に行います。

ご回答いただいた調査票は、今後の健康施策を検討するため、有効に活用させていただき、他の目的には使用しません。

（ご記入上のお願い）

お送りした封筒にお名前が記入されている方の状況等について回答を記入してください。

お名前やご住所を記入する必要はありません。

ご記入は、黒か青のボールペンをお使いください。

お答えは、あてはまるものの番号に をつけるか、() に記入してください。

Q1 あなたのお住まいの市町村は？

ア	1	我孫子市	カ	8	香取市	タ	15	館山市	フ	22	船橋市
イ	2	いすみ市		9	鎌ヶ谷市	チ	16	千葉市	マ	23	松戸市
	3	市川市	キ	10	木更津市		17	銚子市	ミ	24	南房総市
	4	市原市		11	君津市	ト	18	東金市	モ	25	茂原市
	5	印西市	サ	12	佐倉市	ナ	19	流山市	ヤ	26	八千代市
ウ	6	浦安市		13	山武市		20	習志野市			
カ	7	柏市	シ	14	白井市	ノ	21	野田市			

Q2 あなたの性別は？

1 男性	2 女性
------	------

Q3 平成19年(今年)11月1日現在のあなたの年齢は？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
15歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	80歳 以上
19歳	24歳	29歳	34歳	39歳	44歳	49歳	54歳	59歳	64歳	69歳	74歳	79歳	

《1. あなたの健康について》

あなたは毎日をどのように感じ、日常の活動をどのくらい自由にできるかをお聞きます。
以下の質問について、一番良くあてはまるものの番号を一つ選んでください。

問1 全体的に見て、過去1ヵ月間のあなたの健康状態はいかがでしたか。(はひとつ)

- | | | |
|---------|-----------|------------|
| 1 最高に良い | 3 良い | 5 良くない |
| 2 とても良い | 4 あまり良くない | 6 ぜんぜん良くない |

問2 過去1ヵ月間に、体を使う日常活動(歩いたり階段を昇ったりなど)をすることが身体的な理由でどのくらい妨げられましたか。(はひとつ)

- | | | |
|----------------|------------|-------------------|
| 1 ぜんぜん妨げられなかった | 3 少し妨げられた | 5 体を使う日常活動ができなかった |
| 2 わずかに妨げられた | 4 かなり妨げられた | |

問3 過去1ヵ月間に、いつもの仕事(家事も含みます)をすることが、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか。(はひとつ)

- | | | |
|----------------|------------|-----------------|
| 1 ぜんぜん妨げられなかった | 3 少し妨げられた | 5 いつもの仕事ができなかった |
| 2 わずかに妨げられた | 4 かなり妨げられた | |

問4 過去1ヵ月間に、体の痛みはどのくらいありましたか。(はひとつ)

- | | | |
|------------|-----------|------------|
| 1 ぜんぜんなかった | 3 軽い痛み | 5 強い痛み |
| 2 かすかな痛み | 4 中くらいの痛み | 6 非常に激しい痛み |

問5 過去1ヵ月間、どのくらい元気でしたか。(はひとつ)

- | | | |
|------------|-------------|---------------|
| 1 非常に元気だった | 3 少し元気だった | 5 ぜんぜん元気でなかった |
| 2 かなり元気だった | 4 わずかに元気だった | |

問6 過去1ヵ月間に、家族や友人とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか。(はひとつ)

- | | | |
|----------------|------------|---------------|
| 1 ぜんぜん妨げられなかった | 3 少し妨げられた | 5 つきあいができなかった |
| 2 わずかに妨げられた | 4 かなり妨げられた | |

問7 過去1ヵ月間に、心理的な問題(不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり)にどのくらい悩まされましたか。(はひとつ)

- | | | |
|----------------|------------|------------|
| 1 ぜんぜん悩まされなかった | 3 少し、悩まされた | 5 非常に悩まされた |
| 2 わずかに悩まされた | 4 かなり悩まされた | |

問 8 過去1ヵ月間に、日常行う仕事(仕事、学校、家事などのふだんの行動)が、心理的な理由でどのくらい妨げられましたか。(はひとつ)

- | | | |
|----------------|------------|-----------------|
| 1 ぜんぜん妨げられなかった | 3 少し妨げられた | 5 日常行う活動ができなかった |
| 2 わずかに妨げられた | 4 かなり妨げられた | |

問 9 あなたの体格についてお伺いします。

ア あなたの身長と体重をご記入ください。(cm 単位、 kg 単位でお答えください。)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 現在の身長 () cm | 2 体重 () kg |
|----------------|-------------|

イ あなたのおへその高さでのお腹まわりはどれですか。(はひとつ)

- | | | |
|-----------|------------------|-----------|
| 1 85cm 未満 | 2 85cm ~ 90cm 未満 | 3 90cm 以上 |
|-----------|------------------|-----------|

ウ あなたは、現在の体重についてどのように考えていますか。(はひとつ)

- | | |
|------------|--------------------------|
| 1 今より増やしたい | 3 今より少し(4 kg 以内)減らしたい |
| 2 このままでよい | 4 今よりかなり(4 kg を超えて)減らしたい |

問 10 あなたは、体重管理のためにどのようなことをしていますか。(はいくつでも)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 食事量のコントロール | 3 その他 () |
| 2 運動 | 4 していない |

問 11 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)とは、「内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常をおこしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態」のことです。この内容を知っていましたか。(はひとつ)

- | | | |
|------------|---------------------------|--------|
| 1 内容を知っている | 2 言葉を聞いたことはある
が内容は知らない | 3 知らない |
|------------|---------------------------|--------|

《 2 . 栄養・食生活について》

問 12 あなたは、ふだん1週間に何日朝食をとりますか。(はひとつ)

- | | |
|----------|----------|
| 1 6日以上 | 3 2 ~ 3日 |
| 2 4 ~ 5日 | 4 1日以下 |

問 13 あなたは、ふだん外食する時や食品を購入する時に、栄養成分の表示を参考にしていますか。(はひとつ)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 いつもしている | 3 ほとんどしていない |
| 2 時々している | 4 栄養成分表示を知らない |

問 14 あなたが、現在とっている食事をどのように思いますか。(はひとつ)

- 1 大変良い
- 2 良い

- 3 少し問題がある
- 4 問題が多い

問14-1へ

(問14で「3」か「4」とお答えの方に)

問 14-1 あなたの食事について、今後どのようにしたいと思いますか。(はひとつ)

- 1 今より良くしたい
- 2 今のままを続けたい
- 3 特に考えていない

《3. 運動について》

問 15 あなたは、日常生活で健康の維持・増進のために意識的に身体を動かしたり、運動したりしていますか。(はひとつ)

- 1 いつもしている
- 2 時々している

問15-1へ

- 3 以前はしていたが現在はしていない
- 4 まったくしたことがない

問15-2へ

(問15で「1」か「2」とお答えの方に)

問 15-1 どのような強さの運動をしていますか。(はひとつ)

- 1 強い運動(ジョギング、エアロビクス、サッカー、テニス、水泳、登山、柔道、空手等)
- 2 やや強い運動(ウォーキング(速歩)、ジャズダンス、水泳(ゆっくり)、卓球、ソフトボール、野球、ゴルフ(カートを使わない)、強いウエイトトレーニング等)
- 3 軽い運動(ウォーキング(通常の歩行速度)、ボーリング、体操、ゴルフ(カートを使う)、軽・中程度のウエイトトレーニング等)
- 4 非常に軽い運動(散歩(ゆっくり)、ストレッチング、ヨガ、キャッチボール、ゲートボール等)

(問15で「3」か「4」とお答えの方に)

問 15-2 運動について今後どのようにしたいと思いますか。(はひとつ)

- 1 運動したい
- 2 運動するつもりはない
- 3 特に考えていない
- 4 病気等で運動ができない

問 16 あなたは、1回30分以上の運動を、週2回以上、1年以上していますか。(ウォーキング、ストレッチのような、軽く汗をかく運動も含みます。)(はひとつ)

- 1 はい
- 2 いいえ

問 17 あなたの仕事以外の日常生活における買い物や散歩などを含めた外出の状況を選んでください。(はひとつ)

- 1 よく外出する
- 2 ほとんど外出しない
- 3 どちらともいえない

《4．休養・心の健康について》

問 18 あなたは、この1カ月間に不満・悩み・苦勞・ストレスなどがありましたか。(はひとつ)

- | | | |
|-----------|--------|------------|
| 1 たくさんあった | 問18-1へ | 3 あまりなかった |
| 2 多少あった | | 4 まったくなかった |

(問 18 で「1」か「2」とお答えの方に)

問 18-1 あなたは、その不満・悩み・苦勞・ストレスなどを処理できていると思いますか。(はひとつ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1 十分できている | 3 あまりできていない |
| 2 何とかできている | 4 まったくできていない |

問 19 あなたは、毎日の睡眠で休養が十分とれていると思いますか。(はひとつ)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 十分とれている | 3 あまりとれていない |
| 2 まあとれている | 4 まったくとれていない |

《5．たばこについて》

問 20 あなたは、たばこを吸っていますか。(はひとつ)

- | | | |
|-----------------|--------------|--------------|
| 1 現在、吸っている | 問20-1、問20-2へ | 3 もともと吸っていない |
| 2 以前は吸っていたが、やめた | 問20-1へ | |

(問 20 で「1」か「2」とお答えの方に)

問 20-1 吸い始めたのは、何歳ですか。

- | |
|---------|
| 1 () 歳 |
|---------|

(問 20 で「1 現在、吸っている」とお答えの方に)

問 20-2 喫煙することについてどう思いますか。(はひとつ)

- | | | |
|--------|------------|-----------|
| 1 やめたい | 2 本数を減らしたい | 3 やめる気がない |
|--------|------------|-----------|

《6．お酒について》

問 21 あなたは、ふだん 1 週間に何日お酒を飲みますか。(はひとつ)

1 6～7日くらい	4 ほとんど飲まない
2 3～5日くらい	5 まったく飲まない
3 1～2日くらい	

問21-1、問21-2へ

(問 21 で「1」か「2」か「3」とお答えの方に)

問 21-1 お酒を飲む日は、日本酒換算 で平均どれくらい飲みますか。(はひとつ)

1 1合未満	3 2～3合未満
2 1～2合未満	4 3合以上

(問 21 で「1」か「2」か「3」とお答えの方に)

問 21-2 お酒の量・飲む日数についてどう思いますか。(はひとつ)

1 飲むのをやめたい	4 飲む量と日数を減らしたい
2 飲む量を減らしたい	5 飲む量も日数も減らす気はない
3 飲む日数を減らしたい	

日本酒 1 合(180ml)は、おおよそ次のお酒に含まれるのと同じアルコール量です。

ワイン (度数 14%) 180ml	=	ビール・発泡酒 (度数 5%) (500ml)	=	焼酎 (度数 25%) 100ml (度数 35%) 70ml	=	ウイスキー・ブランデー (度数 43%) 60ml
--------------------------	---	-------------------------------	---	--------------------------------------	---	---------------------------------

《7．歯について》

問 22 現在、あなたの歯は何本ありますか。ただし親知らず歯は数えませんが、さし歯は数えます。(はひとつ)

1 全部ある(28本)	4 ほとんどない(1～9本)
2 ほとんどある(20～27本)	5 まったくない(0本)
3 半分くらいある(10～19本)	

問 23 あなたは、定期的に歯の健康診査を受けていますか。(はひとつ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

問 24 あなたは、定期的に歯石除去や歯面清掃を受けていますか。(はひとつ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

問 25 あなたは、定期的に歯科医師、歯科衛生士等から正しい歯ブラシの使い方についての指導を受けていますか。(はひとつ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 26 あなたは、フッ素入りの歯磨き剤を使っていますか。(はひとつ)

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1 フッ素入りを使っている | 3 フッ素入り歯磨き剤を使っていない・歯磨き剤を使っていない |
| 2 フッ素入りと決めていない | 4 フッ素入りかどうかわからない |

問 27 あなたは、歯ブラシ以外の器具を使って、歯や歯のすき間の手入れをしていますか。
(はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1 デンタルフロス・糸(付き)ようじ | 4 水流式口腔洗浄器 |
| 2 歯間ブラシ | 5 その他 |
| 3 歯間刺激子(ラバーチップ、トゥースピック) | |

《 8 . 健康診断・生活習慣病について》

問 28 あなたは過去 1 年間に、健診(健康診断や健康診査)や人間ドッグを受けましたか。
(はひとつ)

がんのみの検診、妊産婦検診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検査は、健診に含みません。

- | | | |
|------|--------|-------|
| 1 はい | 問28-1へ | 2 いいえ |
|------|--------|-------|

(問 28 で「1 はい」とお答えの方に)

問 28-1 健診の結果、肥満、高血圧症(血圧が高い)、糖尿病(血糖が高い)、血中の脂質異常(総コレステロール、LDL(悪玉)コレステロールや中性脂肪が高い、または、HDL(善玉)コレステロールが低い)に関する指摘を受けましたか。(はひとつ)

〔 健診結果にあわせて書面に、「血圧が高めなので、塩分の摂取を控えましょう」「再検査を受けてください」等記載されている場合を含みます。 〕

- | | | |
|------|--------------|-------|
| 1 はい | 問28-2、問28-3へ | 2 いいえ |
|------|--------------|-------|

(問 28-1 で「1 はい」とお答えの方に)

問 28-2 次のどのようなことについて、指摘を受けましたか。(はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 肥満 |
| 2 高血圧症(血圧が高い) |
| 3 糖尿病(血糖が高い) |
| 4 血中の脂質異常(総コレステロール・LDL(悪玉)コレステロール)・中性脂肪(トリグリセライド)が高い、または、HDL(善玉)コレステロールが低い) |

(問 28-1 で「1 はい」とお答えの方に)

問 28-3 指摘を受けたことについて、保健指導（食事や生活習慣の改善の指導）を受けましたか。 医療機関で受けた指導も含まれます。（ はひとつ）

1 はい 問28-4、問28-5へ 2 いいえ

(問 28-3 で「1 はい」とお答えの方に)

問 28-4 保健指導された内容についてどの程度実行していますか。（ はひとつ）

1 おおむね実行している 2 一部実行している 3 実行していない 問 28-6 へ

(問 28-3 で「1 はい」とお答えの方に)

問 28-5 最終的に、医療機関を受診するように勧められましたか。（ はひとつ）

1 はい 問28-7へ 2 いいえ

(問 28-4 で「2」か「3」とお答えの方に)

問 28-6 保健指導された内容を実行していない理由は何ですか。（ はいくつでも）

- 1 具体的になにをしたらいいかわからないから
- 2 保健指導された内容を実行しても効果がないと思うから
- 3 食生活の改善をするのが面倒だから
- 4 運動するのが面倒だから
- 5 家族や職場などの協力が得られないから
- 6 保健指導された内容を実行するのにお金がかかるから
- 7 自覚症状がないから
- 8 その他（ ）

(問 28-5 で「1 はい」とお答えの方に)

問 28-7 その後、医療機関に行きましたか。（ はひとつ）

1 はい 2 いいえ

《 9 . がんについて》

問 29 この1年間に以下のがん検診を受けましたか。（ はそれぞれひとつ）

胃がん	肺がん (胸部エックス線検査や喀痰細胞検査のこと)	大腸がん	子宮がん (女性の方のみお答えください)	乳がん (女性の方のみお答えください)
1 受けた	1 受けた	1 受けた	1 受けた	1 受けた
2 受けなかった	2 受けなかった	2 受けなかった	2 受けなかった	2 受けなかった

→ 問 29-1 へ

(問 29 で「2 受けなかった」とお答えの方に)

問 29-1 それぞれのがん検診について、受けなかった理由を選んでください。

(はいいくつでも)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん (女性のみ)	乳がん (女性のみ)
1 健康に自信がある	1	2	3	4	5
2 自覚症状がない	1	2	3	4	5
3 前回の検査で異常がなかった	1	2	3	4	5
4 日時が合わない	1	2	3	4	5
5 検診場所・日時を知らない	1	2	3	4	5
6 がんといわれるのが怖い	1	2	3	4	5
7 検査に不安や疑問がある	1	2	3	4	5
8 検査に羞恥心や苦痛を伴う	1	2	3	4	5
9 がんで通院・入院・自宅療養中	1	2	3	4	5
10 お金がかかる	1	2	3	4	5
11 検診の対象年齢ではない	1	2	3	4	5
12 その他	1	2	3	4	5

問30は、女性の方のみお答えください

問 30 乳がんの自己検診を行っていますか。(はいひとつ)

- | | |
|---------|----------|
| 1 行っている | 2 行っていない |
|---------|----------|

《10. 病気について》

問 31 あなたは、現在、医師から言われている、または治療中の病気や症状がありますか。

(はいひとつ)

- | | |
|-------------|-------|
| 1 はい 問31-1へ | 2 いいえ |
|-------------|-------|

(問 31 で「1 はい」とお答えの方に)

問 31-1 その病気に をつけてください。(はいいくつでも)

- | | | |
|----------------|----------|--------|
| 1 高血圧症 | 6 脳卒中 | 11 貧血 |
| 2 糖尿病 問31-2へ | 7 更年期障害 | 12 痛風 |
| 3 高コレステロール血症 | 8 婦人科疾患 | 13 肝疾患 |
| 4 心臓病 | 9 前立腺疾患 | 14 その他 |
| 5 ぜんそく・アレルギー疾患 | 10 慢性腎不全 | |

▶ 問31-3、問31-4へ

(問 31-1 で「2 糖尿病」とお答えの方に)

問 31-2 現在、治療(食事・運動療法も含む)を受けていますか。(はひとつ)

- | | | |
|------------|-------------|--------|
| 1 治療を受けている | 3 治療を中断した | 問31-6へ |
| 2 治癒した | 4 治療を受けなかった | 問31-7へ |

(問 31-1 で「5 ぜんそく・アレルギー疾患」とお答えの方に)

問 31-3 医師から言われた診断名に をつけ、診断された時のおおよその年齢を()
に記入してください。(はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 気管支ぜんそく ()歳 | 4 アトピー性皮膚炎 ()歳 |
| 2 アレルギー性鼻炎 ()歳 | 5 食物アレルギー ()歳 |
| 3 アレルギー性結膜炎 ()歳 | 6 その他 ()歳 |

(問 31-1 で「5 ぜんそく・アレルギー疾患」とお答えの方に)

問 31-4 医師からぜんそく・アレルギー疾患の原因は何だと言われていますか。
(はいくつでも)

- | | |
|-------------|----------|
| 1 花粉(スギなど) | 4 ペット |
| 2 食物 問31-5へ | 5 その他() |
| 3 ほこり(ダニ) | 6 わからない |

(問 31-4 で「2 食物」とお答えの方に)

問 31-5 医師からアレルギー疾患の原因となっている食物は何だと言われていますか。
(はいくつでも)

- | | |
|------|----------|
| 1 小麦 | 4 乳製品 |
| 2 卵 | 5 落花生 |
| 3 そば | 6 その他() |

(問 31-2 で「3 治療を中断した」とお答えの方に)

問 31-6 糖尿病の治療を中断した理由を選んでください。(はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 自覚症状がなかったから |
| 2 検査値に変化がなかったから |
| 3 以前より検査値がよくなったから |
| 4 食事療法が面倒だったから |
| 5 運動療法が面倒だったから |
| 6 服薬・投薬管理が面倒だったから |
| 7 民間療法を行っていたから |
| 8 治療に家族や職場などの理解や支援が得られなかったから |
| 9 治療にお金がかかったから |
| 10 病院に行く時間が取れなかったから |
| 11 病院に行く手段がなかったから(交通手段、付き添いの不在など) |
| 12 その他 |

(問 31-2で「4 治療を受けなかった」とお答えの方に)

問 31-7 糖尿病の治療を受けなかった理由を選んでください。(はいくつでも)

- 1 自覚症状がなかったから
- 2 検査値がそれほど悪い値とは思わなかったから
- 3 糖尿病は治らないと聞いていたから
- 4 治療にお金がかかるから
- 5 治療が面倒・大変そうだったから
- 6 自力(自己管理)あるいは民間療法で治せると思ったから
- 7 病院に行く時間がなかったから
- 8 糖尿病であることを周囲に知られたくなかったから
- 9 その他

《11. 女性専用外来について》

千葉県では、県立病院をはじめ、いくつかの医療機関に「女性専用外来」が開設されています。「女性専用外来」とは、女性の身体的症状、精神的な不安などについて、からだところの両面から総合的に診療を行う外来です。

問 32 あなたは、「女性専用外来」を知っていましたか。(はいひとつ)

- 1 知っている
- 2 知らない

問 33 あなたは、「女性専用外来」を利用したい(または家族に利用してもらいたい)と思いますか。(はいひとつ)

- 1 利用している、または利用したい(利用してもらいたい)
- 2 利用したいと思わない(利用してもらいたいと思わない)
- 3 わからない・その他

問 34 あなたは、「女性専用外来」と同じように「男性専用外来」が必要だと思いますか。(はいひとつ)

- 1 必要である
- 2 必要でない
- 3 わからない・その他

《12. 性差を考慮した健康相談について》

県内の全ての健康福祉センターまたは保健所で「女性のための健康相談」を実施しています。「女性のための健康相談」とは、女性医師等が女性の心身の症状について1人30分程度の時間をかけて相談を受け、アドバイスをし、必要があれば医療機関を紹介するものです。

問 35 あなたは「女性のための健康相談」を知っていましたか。(はいひとつ)

- 1 知っている
- 2 知らない

問 36 あなたは、「女性のための健康相談」を利用したい（または家族に利用してもらいたい）と思いますか。（ はひとつ）

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1 利用している、または利用したことがある | 3 利用したいと思わない |
| 2 今後利用したい | 4 わからない・その他 |

問 37 県では、中高年男性の自殺の増加やストレスによる心身の不調など、働きざかりの男性の健康問題に対応するため、県内の2か所で専門医による「男性のこころと身体の健康相談」を始めました。

あなたは、「男性のこころと身体の健康相談」が必要だと思いませんか。（ はひとつ）

- | | | |
|---------|--------|-------------|
| 1 必要である | 問37-1へ | 3 わからない・その他 |
| 2 必要でない | | |

（問 37 で「1 必要である」とお答えの方に）

問 37-1 「男性のための健康相談」で相談したい内容は何か。（ はいくつでも）

- | |
|--|
| 1 やる気が出ない、なんとなく気分が沈んでいる、眠れない等、こころの不調について |
| 2 排尿障害、前立腺肥大、前立腺がん等、泌尿器科的な疾患について |
| 3 性欲・性機能の衰え、ED(勃起障害)等、不妊等、性に関することについて |
| 4 性感染症について |
| 5 メタボリックシンドロームについて |
| 6 禁煙について |
| 7 アルコール依存症、断酒について |
| 8 その他() |

《13. 健康増進事業について》

問 38 次に掲げる健康づくり事業やことばのうち、ご存知のものをすべて選んでください。（ はいくつでも）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 健康ちば21 | 7 エイズ夜間電話相談 |
| 2 健康ちば協力店 | 8 エイズ夜間検査 |
| 3 なのはな体操 | 9 健康生活コーディネート事業 |
| 4 8020運動 | 10 食事バランスガイド |
| 5 がん予防展・講演会 | 11 知っているものはない |
| 6 赤ちゃんをたばこから守ろう | |

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒でご返送ください。（切手は不要です）